

白石市文化財調査報告書第51集

渡辺家文書Ⅱ

～現況目録2～

白石市教育委員会

渡辺家文書調査研究会

白石市文化遺産活用推進委員会

白石市文化財調査報告書第51集

渡辺家文書Ⅱ

～現況目録2～

白石市教育委員会
渡辺家文書調査研究会
白石市文化遺産活用推進委員会

目次

序文

ごあいさつ

凡例

執筆者紹介

I 論考と解説

1 渡辺家文書目録Ⅱの概要	荒武 賢一朗……………1
2 渡辺屋の質屋商い	荒武 賢一朗……………4
3 幕末における紙布の生産と取引	清水 翔太郎……………10
4 渡辺屋儀蔵と親族の連携	荒武 賢一朗……………15
5 江戸からの書状	荒武 賢一朗……………19

II 目録

(W6—18—1) (W7—12—23)……………40

6 伝染病流行にみる渡辺家と医療の関わり	鬼丸 諒……………24
7 渡辺屋と宇都宮商人 —佐野屋丹兵衛との取引を中心に—	清水 翔太郎……………28
8 福島方面との取引関係	荒武 賢一朗……………32
9 山形商人と古手取引	荒武 賢一朗……………36

序 文

平成二八年三月に『渡辺家文書Ⅰ』が、白石市文化財調査報告書（第四九集）として刊行されました。

これは「寿丸」渡辺家から白石市に寄託された、古文書類の内から、二六六〇点余りの文書目録一覧と、その中の経営に関する文書の論考と解説を付した報告書です。この度、前書と同じく、東北大学東北アジア研究センターの荒武賢一朗先生を中心とした「渡辺家文書調査研究会」によってその後の調査が進み、『渡辺家文書Ⅱ』刊行の運びとなりました。

目録の数はおおよそ三三〇〇点に及び、時代は江戸中期から幕末の混乱期を経て明治中後期にわたります。書状や領収証など多い文書の内容を見ますと、衣類（呉服・太物・古手）、紙・紙布、醸造、不動産などで、渡辺家の多角経営を裏付けるものです。特に遠隔地（江戸時代では仙台藩領域外）の商家との取引に関連する文書が発見され、同家の営業範囲が山形や福島、遠くは江戸とその周辺の関東地区、更に大阪まで達していることも明らかになりました。いずれもその地域の有力商家で、商取引を通して種々の情報を得ていることも、渡辺家の業績安定に寄与しているといえるかもしれません。

また、白石地区内に関しましては、地域住民の要請によって質屋業が許可されたことは前書でも記されていますが、新たに見出された文書の調査で、金融面での地元貢献ともいえる内容が見えてきました。

膨大な史料の調査検証によってまとめられた文書目録から、当時の白石を代表する商家・渡辺家の業務内容が分かり、さらに白石の商業史にも触れることができる今回の報告書の完成は、後世への文化財保全の意味でも大きな役割を果たすものと確信いたします。

平成二九年三月

白石市文化遺産活用推進委員会

委員長 細田 紀明

あいさつ

「渡辺家文書Ⅰ」に引き続き、白石の商家である渡辺家の文書目録「渡辺家文書Ⅱ」現況目録2」が発刊されました。

これも東北大学東北アジア研究センター准教授荒武先生はじめ研究者の皆様の多大なるご協力の賜物と存じます。

今回の報告書では、三二八三点の文書目録のほかに、今回の史料調査で明らかになった渡辺家の様相について論考で紹介されています。その中では、福島や山形、宇都宮、江戸で渡辺家が行っていた取引についてや、そのネットワークから得られたコレラの流行に関する情報などがあり、また白石にゆかりのある紙布も登場します。そのほかに、質屋としての渡辺家の役割について新たに解明したこと、渡辺家内部におけるやり取りなどが論考で解説され、様々な面から渡辺家文書を見ることができそうです。

現在、調査中のものも含め、明らかになった文書の数は一万八千点以上にのぼり、これからも史料整理に伴い史料の確認数は増え続けていくと考えられます。今後とも史料所有者の渡辺様のご理解と、荒武先生をはじめ、研究者の皆様のご協力を賜りながら、文書群の全貌が明らかになることを心待ちにしております。

平成二九年三月

白石市教育委員会

教育長 武田 政春

凡例

一、白石市・渡辺家文書は、同家に伝来してきた古文書から構成されている。調査途中のため総点数は不明（二〇一七年二月現在・約一万八千点）であるが、本書には三二八三三の文書目録を収載した。

一、文書の整理は保存状況に応じて実施した。本書ではそのうち箱六（W6―18―1）の途中から箱七の途中（W7―12―23）までを紹介するが、原文書は番号順で文書保存箱に収納している。

一、箱ごとの文書内部の配列は、保存状況に応じて文書番号を設定した。番号を設定後、内容が多岐にわたる文書については、枝番を付して詳細な情報を掲載している。

一、本書における文書目録の掲載項目は、箱番号・文書番号・枝番・表題（内容）・作成年月日・差出人・受取人・形態・状態／備考、の順番である。

一、表題は原題をもとに作成しているが、原題がない、もしくは主意内容の補記が必要な場合は、○内に必要な情報を記した。

一、差出人と受取人は原則として二名までを記載し、三名以上の場合は一名の記載と○内にその他の人数を記した。また、屋印（屋号・商号）は、「○」や「ㄥ五V」のように表記した。

一、破損などにより判読不能の箇所は、一字の場合「■」、二字以上または字数不明の場合は「□」で表記した。

一、年代不詳の場合は、「年月日未詳」などの表記をおこない、文書の内容やその前後関係などで推測できる場合には○で補足した。

一、字体は原文記載の通りを基本としているが、常用漢字を優先的に使用する場合を含む。

一、「渡辺・渡邊・渡部」および「儀蔵・義蔵・儀造」などの表記は原文にしたがって記載し、誤記と思われる名前などについてもそのまま表記した。

調査参加者紹介（五十音順）

○荒武 賢一朗（あらたけ けんいちろう）

東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門准教授

岡 慎太郎（おか しんたろう）

栃木県立黒羽高等学校講師

○鬼丸 諒（おにまる りょう）

公益財団法人札幌市芸術文化財団職員

黒田 風花（くろだ ふうか）

東北大学大学院文学研究科博士前期課程在籍

○清水 翔太郎（しみず しょうたろう）

東北大学大学院文学研究科博士後期課程在籍

早坂 昌英（はやさか まさひで）

宮城県美里町立南郷中学校教諭

本木 成美（もとぎ なるみ）

松島町教育委員会教育課技師（学芸員）

渡辺 信男（わたなべ のぶお）

白石市文化財保護委員会委員長、渡辺家子孫

*○印は本書論考・解説編の執筆を担当

【謝辞】 渡辺家文書の調査は、渡辺信男氏のご了解のもと、東北大学東北アジア研究センター、ならびに同センター上廣歴史資料学研究部門、白石市教育委員会生涯学習課の皆様方からの多大なご支援によっておこなわれている。本書の刊行には白石市教育委員会の皆様方、とくに生涯学習課の日下和寿、岸野太一両氏にご尽力を賜った。また、この調査の開始を企図された白石市図書館の櫻井和人氏には、現在に至るまでご助言をいただいている。関係各位に、記して謝意を申し上げる次第である（荒武）。

I 論考と解説

1 渡辺家文書目録Ⅱの概要

荒武 賢一朗

本書は、平成二五年（二〇一三）より現在まで継続中の白石市渡辺家文書の調査から、二〇一六年発行の前書（『渡辺家文書Ⅰ』現況目録Ⅰ〜）に引き続き、目録の一部とその内容についての考察および解説をまとめたものである。

これまでの調査の経緯や、渡辺家の歴史などに関する概要は、前書にて基本情報を紹介しているので、あわせて参照されたい。なお、前書は発行部数に限りがあるため入手困難となっているが、白石市図書館、宮城県図書館をはじめ所蔵機関における閲覧ができる。また発行者である白石市教育委員会の委託を受けて、東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門のホームページにて全文をPDFファイルにてダウンロードが可能であるため、ぜひとも読者各位の積極的な利用をお願いしたい（東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門ホームページ <http://uehiro-tohoku.net/>）。

また前書編集集中に、所蔵者である渡辺信男氏が『ある百姓の覚え書き』（二〇一五年一二月刊）を出版された。この著書では渡辺家の歴史的な展開、家の由緒や領主・片倉氏との関係など、豊富な情報が明らかになっ

た。白石の歴史を研究する者にとっては待望の著書刊行であり、本書でも随所で活用させていただいた。『ある百姓の覚え書き』も、白石市図書館や宮城県図書館などで閲覧できるので、ぜひご参照いただきたい。

本書収載の文書目録

本書では、前書の二六五九点（文書番号W1〜W6―17―80）に続く、三二八三点（同W6―18―1〜W7―12―23）を収録した。この刊行によって、おおよそ六千点の文書目録を公開できたことになる。本書で紹介する史料は、江戸時代後期の天保七年（一八三六）から明治三四年（一九〇一）にかけての商業関係文書と租税の領収書が中心となっており、当時の経営や取引関係などが具体的に把握できるようになったことが前書と比較して、本書の大きな意義といえよう。

ただし、作成時期のわからない年代不詳の文書が数多くあり、それらの具体的な年月日が定かではないか、おおよそ幕末から明治初年の史料だと推定している。年代は確定できないものの、内容から「近代」「明治」「近代」といったように、○で補足した文書もある。また、年代不詳のなかでも前後関係による推定と、同じ袋や紙縫（こより）で一括している場合は、同じく○で「嘉永元年」などのように表記したものがあ。いずれも現時点における推定であり、若干の「年次のゆれ」があることもご了解願いたい。

論考・解説では今回発見することのできた文書の内容を紹介しているが、興味深い記述ながら執筆を見送った課題もたくさんある。たとえば、

この目録の半数余りを占めるW7-1には明治時代の領収書が一括してあり、当時渡辺家が所有していた土地、営業にかかる租税の内訳が把握できる。ここからは、渡辺家が白石本郷のほか、周辺の村落に土地を所有し、その範囲は周辺村落のほか、七ヶ宿村や伊具郡など現在の白石市域を超えた状況も確認できる。また詳細な領収証によって、渡辺家の家計も垣間見えてくるが、紙幅の関係から今回の解説では掲載を見送っている。今後、引き続き関係文書を調査していく際に検討を深めていきたい。

本書の論考・解説

渡辺家（屋号・渡辺屋）は、太物（呉服）商売のほか、紙・紙布・質屋・古手（古着）・醸造（醤油・味噌）・塩など、「萬商（よろずあきない）」と呼ばれる多角経営をおこなっていた。本書収載の文書目録にも、右の取引関係を示す書状や覚が多数を占める。これによって、個々の取引が具体的にわかるほか、仙台などの領内各地、江戸・宇都宮・福島・山形を中心とした領外の商家からの来状がたくさんあり、これまで知ることのなかった渡辺家の取引状況や商業的諸関係の情報を得ることができた。とくに、論考・解説で取り上げている太物や紙布、古手といった衣類・繊維関連の商売は、遠隔地商人との交流によって成立しており、これを本業の柱に据える渡辺家の経営にとって領外商家とのつながりは不可欠であったことが想定される。また、広域的な商業関係とともに、白石城下および近隣村落との付き合いも当然ながら密接であった。それ

には、遠隔地より仕入れた商品の売買が存在するほか、質屋という地域内（町内）の商いや、紙および紙布生産者からの仕入れ、醤油・味噌の販売が柱となっている。

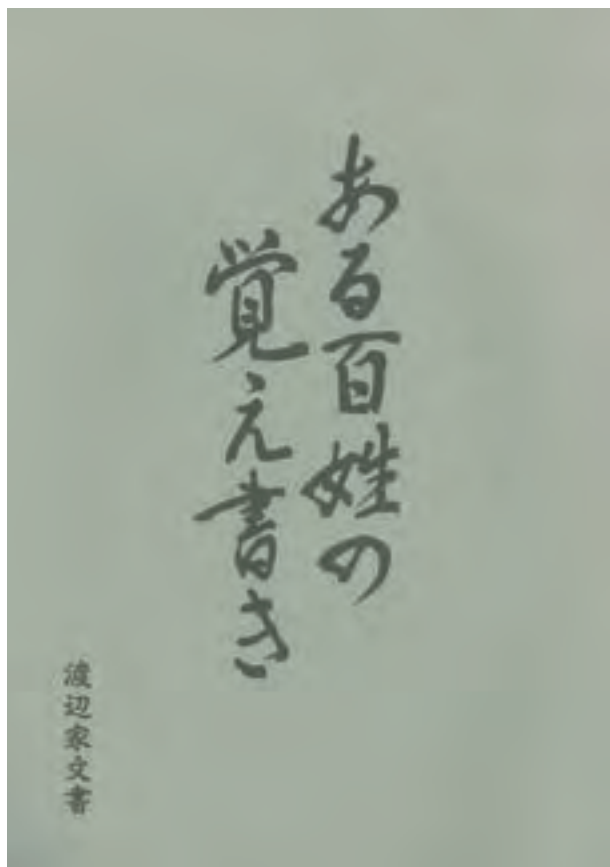
論考・解説の最初には、渡辺家が経営していた業種のうち、質屋業を取り上げた。これは、前書でも解説を試みているが、本書所収目録にある史料から新しい史実が浮かび上がったため、再度詳しい内容を記し、当時の質屋がどのような形で社会運営に関わっていたのかを論じている。また、これも経営に大きな役割を果たした紙布についてもその生産や取引手法について紹介した。紙布に関していえば、渡辺家の歴史のみならず、白石名産の一角を占めた紙布の研究にも少なからず貢献できると考えている。家の経営に関連して、渡辺家と親族の連携についても触れている。渡辺家から分家・独立をする二家とともに、幕末維新期の混乱を乗り越える様子は親族間の書状から確認でき、様々な協力関係を示唆しているように見受けられた。本来、白石町内の商家との交流も取り上げるべきだが、本書の成果をふまえながら今後検討を加えていきたい。

後半の論考では、江戸・宇都宮・福島方面・山形の商家から届いた書状をもとに、分析をおこなった。江戸との関係は太物商売を中心に不可欠な構成要素であり、多くの商用について情報が行き交っている様子が見える。また商売に限らず、渡辺家と江戸の取引先が親密な関係を持っていたことに注目し、いくつかの内容を紹介している。そのなかでも、渡辺儀蔵が伊勢参詣の途中、江戸に立ち寄っていることや、江戸からコレラ流行の話が伝えられていることなど、幕末期の社会情勢も意識して

論じている。コレラの情報を起点として、白石の医療についても詳しく述べているので、ぜひごらんいただきたい。

宇都宮や福島方面、山形との関係は極めて重要であり、大きな売買を手掛けていたことも新しい情報として紹介した。宇都宮と江戸は連動し、渡辺屋の関東・江戸への窓口として存在感を持っているほか、福島・伊達郡の商人たちとの関係は近隣地域としても特筆すべき内容を看取できた。山形とは古手を入手すること、白石からは塩などの商品が出荷されている点も、少し視野を広げて東北地方の商品流通とその担い手を検討する意義があるだろう。

本書を通じて、渡辺家文書の史料をさらに深く読み込み、歴史研究を発展させていく所存である。読者各位にもぜひ一読いただき、興味のある課題に挑んでいただければ幸いである。



『ある百姓の覚え書き』

2 渡辺屋の質商い

荒武 賢一朗

東京や大阪など大都市の街中を歩いていると、駅前や商店街のなかに質屋をよく見かける。私たちが「質屋」と聞いてイメージするのは、品物を質入れしてお金を借りるというものだが、高価なブランド品の買い取りが主たる目的になってきた現代社会では少々その取引方法は形を変えているかもしれない。しかし、最近の傾向でも「価値のある品物」と引き換えに金銭が支払われることが基本になっているのである。

質物の取引は、質屋が動産商品を預かり、その見返りに金銭を貸して成立する小口金融のひとつに数えられる。日本では「金貸し」や「無尽（むじん）・頼母子（たのもし）」と並んで鎌倉時代以前から存在したとされる庶民金融であり、これが現在の質屋業にもつながっている。

渡辺屋の質屋開業

渡辺屋が質屋を始めるのは、弘化三年（一八四六）十一月のことである（『渡辺家文書目録Ⅰ』）。この開業許可を得るために役所へ提出した願書の控は本書所収目録にも含まれている（W6―25）。この開業の願書では、それまで渡辺屋が居を構える白石の中町には質屋がなく、町内の者たちは不便であったことが理由に記されていた。『目録Ⅰ』掲載の「質屋の役割」では、開業直後と元治元年（一八六四）と推定される

質商いに関する文書を紹介し、①質入れをする者は中町住民のほか、長町や本町など近隣の人々であったこと、②質草（質入れする品物）は絹織物・生糸・ふとん・杉板・紙類、それに脇指（脇差し）が確認でき、さらには刀もそこに加わることが示唆されること、③質入れ主（質草によつて金銭を借りる者）が手にする一回あたりの金額は銭六百文から金一両まで、取引に応じてさまざまであるものの、時には高額に及ぶ場合があったこと、などを指摘した。

本書所収目録では、質商いに関する文書が弘化四年（一八四七）から嘉永二年（一八四九）ごろの約二百点（W6―18）、年代不詳ながら幕末期と推測できる一四点（W6―62）、明治二年（一八七八）の佐久間久蔵一件に関する文書五点（W7―2―1）などが含まれている。以下では、その内容について検討し、『目録Ⅰ』で示した取引との共通点や違いなどを考えてみたい。

質屋を利用する人々

これまでの傾向として、質入れをする者は渡辺屋の所在する中町、長町や本町といった近隣住民であった。渡辺家文書の質場方関係の多くは、「覚」と題する簡略形式の史料であるため、必ず質入主の居所が示されていないが、今回の目録で判明するだけでも右の三か町と、短ヶ町・新町・亘理町など白石城下の町人居住地域が確認できる。また、鷹巣村など近接する城下周辺村落からも質入れがあったように見受けられ、渡辺屋の質屋業は町人や百姓たちが利用していたことを裏付けていよう。



W 6—25

とくに、W 6—18 所収の文書は開業からわずか三年ほどの期間に集中しているが、この短期間で中町に限らない利用者の地域的な広がりがあることを認めることができる。

庶民のなかで存在感を示していた渡辺屋の質商いは、ごく一部ではあるものの、領主片倉氏配下の武士たちにも注目されていた。「質屋の役割」(『目録Ⅰ』)で紹介した弘化三年(一八四六)と推定する一二月一日付け書状(W 6—1—77)を改めて書き留めておこう。これは、鈴木久兵衛なる人物から刀の質入れが依頼された件を記したものが、実際に取引が成立したかどうか定かではない。この鈴木久兵衛は、片倉家中の「一番座」に名前を連ねる武士であり、年代からすると当主は鈴木久兵衛成保だったと想定できる(川村一九九七)。この一番座とは資格を示しているが、片倉家中では最上位の「一家」、その下の「家老家」、「着座」に続く家臣団の位置にあった。成保の先祖は、片倉小十郎景綱の時代に武者奉行を務め、大坂の陣にも従軍した由緒を持つ。白石でも名家と呼べる武家からの申し入れであったが、これも「質屋の役割」で示したように、渡辺屋儀蔵は質屋開業の際に「武具・馬具・兵具・鉄炮の質取りはしない」と表明していた。その約束事に基づいて、渡辺屋は鈴木木の依頼を断ったのではないか、というのが筆者の見立てであった。しかし、次の史料では片倉家中の武士が刀を質入れした重要な事実を述べている。

【W 6—18—57】

口上

一刀壹腰指上申候間正金六切、去年中も借用致置候刀ニ御座候間、御かし可被下候、以上

(弘化五年) 二月十二日

猶々手形ニて御渡可被下候

御本家

大内辰五郎

渡部義藏様

如件

小十郎家中

小関慶治(印)

この口上と題した文書の差出人は大内辰五郎で、受け取ったのは渡部義藏(渡辺儀藏)である。大内辰五郎家は片倉家中「二番座」の家柄で、この史料を作成した弘化五年当時は安信という人物がいた(川村一九九七)。川村要一郎の著した家臣の系譜によると、安信は天保八年(一八三七)に祖父安近が病死したことに伴い家督を継承したが、弘化二年に「不届(ふとどき)」のため知行高の五分の一を召上げられ、同四年には病気を理由に隠居を命じられている。この経過から大内家は極めて厳しい状況にあったと推察できるが、右の文書はその直後に記されたことになる。

文書の内容では、刀壹腰(一腰〓腰は刀を数えるときの単位)を渡辺屋に差し上げるので金六切(一切〓一步、六切は一両二歩となる)を貸してほしいという依頼と、この刀は去年(弘化四年)にも借用致した(質入れした)刀であることが述べられている。この二月二日付けの口上によって刀と引き換えに金六切を貸したのかは不明であるものの、前年には質入れしたことがわかる。

続いて鉄炮(鉄砲)の取引も確認できたので参照されたい。

【W6-18-90】

売渡し申一札之事

私義、要用御座候二付、所持之鉄炮金壹両也、借受売渡し申候処実正二御座候、右品元利取揃返金二相及候ハ、無異儀被相戻被下度、仍而一札如件

小十郎家中

小関慶治(印)

弘化四年

未六月三日

質屋

義藏殿

表題には「売渡し」とあるが、片倉小十郎の家来だった小関慶治は、自らが所有する鉄砲の見返りに金一両を借り受けた。この元金一両と利息が返金できれば我が手に鉄砲を戻してほしい、とこの証文を締めくくる。一口に鉄砲と言っても、武器であるものや狩猟用などいくつかの用途が思いつくが、ここでは片倉の家中を称する武士が質草としているので、武器とみて間違いない。

これらの史料から確認できるのは、片倉家中の武士が渡辺屋に刀や鉄炮を質入れしており、それがたびたび繰り返されていた可能性も示唆することであろう。質屋開業の前提に立ち戻ると、①町人ではない武士を相手にしている、②取り扱わないとしていた刀・鉄炮(武器)が質草に

なっていた、という事実が明らかになった。言うまでもなく、これらは武士の象徴といえる「必需品」で、だからこそ高額の質草になるという側面を有していたのである。とりわけ中級および下級の武家はそれほど裕福ではないと指摘されてきたが、本来町人・百姓を相手とする私営質屋に領主側にいる侍たちが一時的な助けを求めている点も注目できよう。

質草と代金

現金を得たい人々が持ち込む質草には、着物類からふとん、生糸、材木など多様な商品が含まれている。質入主から渡辺屋に送られた文書では、「ゆかた一枚代銭一貫三百五十文」(W6-18-31)、「上杉原(紙)三十帖など質入、金四十一切余り(〓金十両)」(W6-18-77)、「羽織一枚質入代金弍朱」(W6-18-142)などというように、具体的な質草とその数量、さらに代金がわかってくる。次に、いくつかの事例を紹介してみたい。

【W6-18-34】

おほへ

一壱貫文

かや壱はり

右之品、未ノ八月中御願申上候品ニ御座候ところ、手形ふんせつ仕候間、此人江御渡し被下度奉願上候、以上

申〔嘉永元年〕ノ

五月廿九日

安兵衛

渡部や様

この史料は、渡辺家文書の質屋関係でよくみかける書式といえ、最初に表題の「おほへ(覚)」があり、代金(銭)と質草を記し、これに続いての説明が続く。文書を作成した安兵衛なる人物は、かや(蚊帳)一張(張〓蚊帳を数えるときの単位)を渡辺屋に預け、銭一貫文を入手した。それが未年の八月とあるので、弘化四年(一八四七)八月のことだろう。それから九か月ほど過ぎた嘉永元年五月二九日に、安兵衛は代金を渡辺屋に支払い、蚊帳の請け戻しをおこなった。しかし、手形(質札)を「ふんせつ(〓紛失のこと)」してしまつたらしく、文書の引き換えができないものの、此人(安兵衛の代わりに渡辺屋に向いた人物)へ蚊帳を渡してください、と願ひ出ている。

手形がなくても質入れた品物を請け戻すことができるのか、という疑問も浮かぶが、渡辺屋と顔なじみで、信用できるといふ人物ならばこのようなやりとりが可能だったのであろう。実際に「手形紛失」の文言を添えた覚書は多数含まれており、渡辺屋の取引では常態化していたかもしれない。

【W6-18-41】

覚

一四百文

大しま

風呂敷壱枚

右之通、手形紛失仕候間、此者さし上申候、無延引此品御渡ス被成度奉

願上候

申〔嘉永元年〕ノ

栄蔵

三月廿二日

中町

渡邊儀蔵様

この嘉永元年三月二二日の栄三から渡邊儀蔵に送られた文書も「手形紛失の請け戻し」について記されている。注文するのは、大しま（鳥）の風呂敷が一枚で代銭が四百文だったことである。風呂敷一枚に四百文の価値があったのか、それが高いのか、という問いかけもしたくなるが、そのあたりは今後の史料分析をもとに紹介できるように努めたい。

【W6-18-58】

口上

去春中、伊左衛門従弟ヲ以、薬式包・脇さし沓腰御頼仕、金子拾切借用仕候処、右之内元金五切ト利足御勘定仕候間、薬式包御渡可被下候、残品も不違受取申候間、前文之通御渡可被下候、以上

長町

清左衛門（印）

〔嘉永元年〕四月十一日

渡部や

庄松様

同

甚蔵様

この文書は、長町の清左衛門が渡邊屋甚蔵と、庄松（分家）に宛てたものだが、これまで紹介してきた書式と異なり、やや複雑な感じがする。嘉永元年四月一日と推定する作成時から、「去春（さるはる）」とあるので弘化四年を指すと思われる時期に、伊左衛門の従弟が薬二包と脇差一腰を渡邊屋に質入れし、金十切（＝金二両二歩）を借りた。そのうち元金五切と利足（利息）を支払うので、質草のうち薬二包を請け戻したという。ここにみられるような「分割払い」方式もあったことが指摘できる。

社会における質屋

本稿では、渡邊屋の質商いを利用する人々、そして金銭を借り受けるための品物について紹介してきた。『目録Ⅰ』の内容から、より多くの情報が集まったので、具体例が示す取引の実態も詳しくを増している。とくに、刀や鉄炮といった武士が取り扱う道具を取り上げたが、渡邊屋の質業が町人や百姓に限らず、片倉氏の家来たちからも「頼りにされている」様子が看取できた。開業当初の規則はともかく、実態面からこのような事例をみると、武士だから、町人だからという身分・職業的差別はなく、また中町だから、鷹巣村だからという町村の区分も生じず、広範な「お客」がいたことを証明している。これは社会の運営を考えるうえで極めて重要ではないだろうか。この質物取引で最も意識されるの

は「信用」だったのである。

【参考文献】

- ・ 渋谷隆一・鈴木亀二・石山昭次郎『日本の質屋―近世・近代の史的研究―』（早稲田大学出版部、一九八二年）
- ・ 川村要一郎訳・編『白石城主片倉氏と家臣の系譜』（創栄出版、一九九七年）
- ・ 荒武賢一郎「質屋の役割」（『白石市文化財調査報告書第四九集 渡辺家文書目録Ⅰ〜現況目録Ⅰ〜』白石市教育委員会、二〇一六年）
- ・ 荒武賢一郎「質屋は商売か―歴史的にみた「公益」を考える―」（『歴史学フォーラム二〇一五の記録―』歴史学フォーラム二〇一五実行委員会、二〇一六年、一四〜一五頁）

3 幕末における紙布の生産と取引

清水 翔太郎

白石和紙の研究については、片倉信光氏が著書『白石和紙 紙布 紙衣』においてその歴史と工程を詳しくまとめているが、ここでは書名にあるように紙布に関して論じられている。紙布とは、経糸に絹糸を用い、緯糸に紙のより糸を使って織った織物のことを言う。主に夏物の衣類として全国に流通したほか、江戸時代中期以降には、最上級の紙布が將軍家や仙台伊達家と姻戚関係にあった公家近衛家などへの献上品として、あるいは諸大名家への贈答品として用いられた。

紙布は、片倉家中の武家で内職により生産され、それが白石商人の手渡し、広く全国各地へと流通したとされる。ここではその実態について、渡辺家文書の関連史料の紹介を交えて見ていくこととする。なお、『渡辺家文書Ⅰ』に前半部が収録されているものも含めてW6収録の文書を用い、史料の多く残されている文久年間から慶応年間（一八六一～六八）を分析対象とした。

紙布生産を支えた片倉家中

幕末期、渡辺屋に紙布を納めていた片倉家中の武士として、堤権太夫がいた。渡辺家文書には、堤からの書状や覚書が多く残されており、そのなかで渡辺屋に納品した紙布の量などが判明する。関連する文書を仔細に見ると、堤は一度に縞紙布をおおよそ十反ほど納めており、慶応二年（一八六六）には、七月三日に十反（W6―12―108）、同十日に十一反（W6―12―152）、同二十六日には十反（W6―12―230）と、一か月に三十反ほどを渡辺屋に送っていたことがわかる。ただし、時を同じくして、渡辺屋には仙台的奈良屋八兵衛から百反程の注文があり、それ以前にも百反前後の大きな注文が相次いでいたので、需要に応えるには堤家から納入された分のみでは足りなかった。そのため、ほかにも入手経路があったことが想定されるが、これについては今のところ明らかではない。なお、明治時代になると、堤と同じ片倉家旧臣の小島左膳も紙布を生産し、渡辺屋に納めていることがわかる。堤家の知行高は二貫八百文で家格は「二番座」と中級の家臣であったのに対し、小島家は知行高九貫文で家格は「一家」というように片倉家中では上級家臣であった。この小島家には、幕末維新期に堤権太夫の三男が養子に入ったようで（『白石城主片倉氏と家臣の系譜』）、生家で身に付けた技術を養家に持ち込み、家計を支えるため、明治時代になって生産を始めたのではないだろうか。

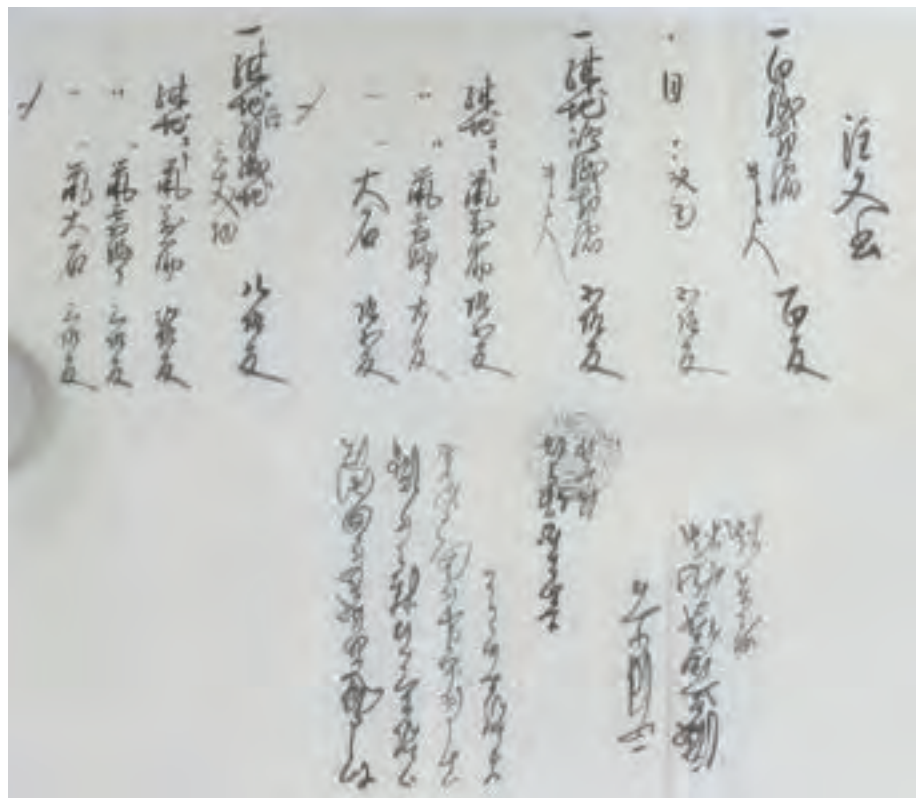
取引先の概要

このようにして生産された紙布は、渡辺屋からどこへ送られたのだろうか。まず、江戸の商人伊勢屋林蔵が、白石に来て紙布五反を購入した事例（W6―17―9）があり、遠隔地の商人が直接買い付けにやってきたことも判明する。その他、福島の小倉屋和助（W6―20―48など）や仙台大町の松屋長次郎（W6―20―15）などが、渡辺屋と紙布の小口取引を行っていた形跡も追うことができた。しかし、やはり注目すべきは大量に買い付ける商人たちの存在であろう。本書目録で明らかのように、一度に百反以上に及ぶ大口の取引先が二件あった。それは先述した仙台的奈良屋八兵衛と、大坂の泉屋孫助である。多くの紙布を求めた奈良屋と泉屋の取引について実態を詳しく見ていくことにしよう。

仙台奈良屋八兵衛との取引

奈良屋（岩井）八兵衛（作兵衛）は、仙台国分町で呉服商を営んでいた。奈良屋は一七世紀後半に仙台に進出した近江商人で、安政二年（一八五五）に仙台藩の財用方御用達主立に任じられ、藩財政の運営にも関与したことで知られている（『仙台市史 通史編五 近世編三』）。

W6―20―54



右の史料は、文久四年（一八六四）のものと推定される奈良屋の注文書で、白紙布縮百反、紺地嶋紙布縮五十反、紺地薄羽織地八十反、三種類合わせて二百三十反を早々に送って欲しいと記してある。これが差し出されてから三週間後、奈良屋から催促の書状が届いている。そこには

「遠方江間(まにあいかね)二合兼候間、精々早御出来之分計り、此度別紙之通り御願申上候」(W6-20-21)とあり、具体的な地名は詳らかではないが、買い取った紙布を奈良屋が遠方へ送るにあたり、指定された期日に間に合わないため、早々に出荷することを渡辺屋に求めているのである。ここで言う「遠方」が具体的にどこかは定かではないが、このほかにも、注文した紙布を江戸へ送るため、急いで出荷することを求めている書状(W6-17-62)もある。つまり渡辺屋から仕入れた紙布は、仙台城下をはじめ藩領内に限らず、奈良屋の手により江戸あるいは他の地域に流通していったのである。

渡辺屋では、江戸在住の取引先で中核的存在だった長谷川家(長山三三)などの紙布の取引に関する記録はなく、先の伊勢屋のように小口の取引はあったようだが、まとまった量の紙布を直接売買することはなかったと見て良い。なお、奈良屋との取引については、明治九年(一八七六)の注文書も残っており、明治維新以後も続いたことがわかる。

大坂泉屋孫助との取引

泉屋孫助の詳細は定かではないが、大坂瓦町(現大阪市中央区)に店を構えていた呉服商のようである(W7-96-69)。

W6-20には、泉屋からの書状四点が含まれており、これらから取引の過程、内容などがわかる。まず、十月廿(二十)日付の書状(W6-20-89)の注文から取引の交渉が始まり、十二月二十五日付の書状(史料②)では追加の注文と輸送方法について記されている。その後、

四月十五日付の書状(W6-20-62)で荷物到着の報告がなされ、五月十五日付の書状(W6-20-11)で為替金にて代金の支払いを済ませた連絡があり、一連の取引が終了する。

【史料② W6-20-9】

十一月廿二日付之御状十二月廿三日相達し辱拜見仕候、当年別而寒気強御座候処、其御地御家内御揃愈御安全御座珍重御儀奉存候、当方無異義罷居候間、乍憚御安意可被下候、扱先日紙布類注文御頼申上候処、御承引被成下辱安気仕候、就而ハ直段之義御働可被下候様御頼申上候処、此節柄諸色高直ニ付而ハ是迄通り今又々直上ケニも可相成之思召ニ而、白縮ニ而三十七匁位、紺じまニ而十匁位羽織地卅式匁位之由、扱々高直之事ニ御座候得共是もまづ凡之御見当ニ御座候間、何分精々骨折ヲ以今一段下直ニ可被成下候様別而御頼申上候

一、右荷物四月中迄ニ大坂表着之義、兼而御頼申上候処、兎角延引ニ相成候間、江戸表深川迄御送り可被下候段御尤ニ奉存候得共、夫も二度手間ニ御座候間、矢張大坂江直々御送り可被下候、尤江戸今大坂迄ハ並便リニ而賃先拂之御取斗可被下候、何卒右之次第ニ御座候間、御手元今急々御仕入、早春ニ御仕出シ可被下候、甚御都合ニ寄、深川仙臺屋敷内田上壮次郎殿方迄御届被下候而も宜敷候、且又長道中之義ニ付、兎角外箱われ大井ニ損し申候間、目方軽キ物ニ而損し不申様願上候、南部合利杯ニ御入被下候而ハ如何ニ御座候哉、此義呉々も御念御入可被下候様御頼申上候

此度追注文

- 一、紙布白縮着尺 三十反
- 一、白むじ（無地）羽織 三十反

右之通御頼申上候

一、当地も追々静二相成申候、公方様二も冬中ニ御到着と申事二而、御先供井伊様并ニ御老中方二も此程より追々御着ニ相成申候、当地ニ何故ニ御滞留とも相分り不申候、尚其内萬々申上候、年内余日も無之候、折角御取仕舞可被成候、当来陽萬也、恐々謹言

（文久二年）十二月廿五日 泉屋孫助

渡邊屋儀藏様

右の翻刻史料は、十二月二十五日付の書状である。ここでは最後に、大坂の動静が記され、「公方様」、すなわち十四代將軍徳川家茂が到着予定とあることから、この書状が記された時期は文久三年（一八六三）の將軍上洛の準備段階であり、その前年文久二年のものであることがわかる。つまり、これらの書状による紙布取引は、文久二年十月から翌年五月までのおよそ半年間のこととなる。

まず冒頭に十一月二十二日付の渡辺屋の書状が、十二月二十三日に到着したとあるので、白石から大坂に書状が届くまでおよそ一か月かかっ

ていたことがわかる。次に、十月に注文した紙布の値段について、物価高騰の中で渡辺屋から値上げを提示されたようで、それに対し泉屋は値下げを依頼している。

本書状での主題は、紙布の輸送方法についてである。泉屋では、四月中に大坂に荷物が届くように注文していたが、遅れているので江戸深川経由で送ると、渡辺屋から伝えられたようである。それに対し泉屋は、それでは二度手間であり、白石から大坂へ直接送って欲しいと言う。しかし都合によっては、仙台藩深川屋敷内の田上壮次郎まで届けても構わないとある。つまり、渡辺屋が深川経由で送るとするのは、仙台藩の深川屋敷経由で送るということであつた。仙台藩の深川屋敷は、元禄十年（一六九八）以降、幕末まで蔵屋敷としてあつて、ここに国許からの買米が納められ、藩役人と蔵元により米問屋へ売り渡された（『仙台市史 通史編四 近世二』）。田上壮次郎について詳しいことはわからないが、仙台藩の財政に関与し、屋敷への出入りを許可された商人のひとりと考えられる。渡辺屋は、田上の取引荷物とともに江戸から海路で送ることを想定していたのではないだろうか。

また、大坂までの長い道中において、泉屋は外箱が割れることを危惧し、軽い紙布に損傷がないよう南部合利（行李）などに入れてはどうかと提案をしている。実際、どのような経路で輸送されたかは定かではないが、四月十三日に紙布百六十五反が「御念御入二而繩卷之御手数二而箱もわれ不申候」と、箱も割れずに無事泉屋へ届いたことが記される（W6―20―62）。このような遠隔地間の取引では迅速かつ慎重に商品

を届けることが意識されていたが、紙布を覆う外箱にも工夫が必要だった。またもうひとつ問題は、「三月朔日出式箱之御状いまた（未だ）着不仕候」と記すように、荷物が届いた一方で、取引を決済するための仕切書が未着だったことである。渡辺屋と泉屋の取引は、江戸大伝馬町の長谷川次郎吉を介して為替により代金の支払いが行われたが、泉屋では金額がわからないため、ひとまず金百両を長谷川に渡している。それから一か月後、ようやく仕切書が大坂に届き、残金十両余りが渡辺屋に支払われている。つまり、ここで紹介した取引では紙布百六十五反が百十両余りで売買されたのである（W6-20-11）。

このように泉屋は、渡辺屋にとって紙布の大口の取引先として存在感を有したが、五月十五日付の書状では、伊具郡丸森で生産された金山紬五十反の注文もなされており、紙布以外の織物取引が行われていた様子も窺える。ただし、こうした取引の関係は、明治時代に入ってから途絶えたようで、それは渡辺屋が懇意にする山形の長谷川吉郎次によってもたらされた情報で明らかになる。吉郎次も泉屋との為替取組を手掛けていたが、明治三年（一八七〇）の段階で渡辺屋の依頼により紙布代金の回収を試みたものの、泉屋の屋敷が見つからず、それが困難になっていた。

紙布取引の実態解明は、渡辺屋の経営を検討するうえで欠かせない作業であり、また関連文書も随時確認できているため、今後も深めていきたい。もちろん白石紙布全体の研究や、幕末維新期の織物流通史への波及も期待するところである。

【参考文献】

- ・片倉信光『白石和紙 紙布 紙衣』慶友社、一九八八年
- ・川村要一郎訳・編『白石城主片倉氏と家臣の系譜』創栄出版、一九九七年
- ・『白石市史 第一卷（通史編）』白石市、一九七九年
- ・『仙台市史』（通史編四、近世二、二〇〇三年）・（通史編五、近世編三、二〇〇四年）

4 渡辺屋儀藏と親族の連携

荒武 賢一朗

渡辺家代々の当主や家系の変遷については、これまで『仲間義定録』や『ある百姓の覚え書き』で紹介されている（白石市二〇〇四、渡辺二〇一五）。これらの成果によって、初代定吉からの家の歴史をたどることが可能で、また本書所収の目録に該当するのは七代喜伴（弘化四・一八四七年没）、八代喜則（天保元・一八三〇年頃生）明治一〇・一八七七年没）、九代喜光（天保八・一八三七年頃生）明治三四・一九〇一年没）の三代にわたる時期である。三人の当主については、『目録I』の清水翔太郎「渡辺屋儀藏の人的諸関係」にて考察されているが、八代儀藏は七代の実弟、九代儀藏は七代の嫡子にあたる（白石市二〇一六）。また、清水氏が整理しているように、儀藏家の周囲には、新宅「井丸」佐吉家、七代目の実弟・喜清が嘉永六年（一八五三）に興した分家「丸角」庄松家という有力二家が本家と連携を図りながら、個々の経営を展開していた。

一族内における書状のやりとり

渡辺信男氏作成の家系図によれば、六代儀藏喜治（天保八年没）の嫡子が七代喜伴、次男に庄松（丸角）、五男に喜成（井丸の義兵衛喜言の養子となって三代目佐吉になる）、そして六男に八代喜則がいる。つま

り、江戸時代後期から幕末期にかけての渡辺屋三家は実の兄弟で切り盛りしており、それゆえに商売の戦略においても密接な関係にあった。三家では書状のやりとりを頻繁におこなっているほか、仙台や近隣地域に商用で出張する際にはお互いの仕事を分担し、何か大きな案件が生じたときには集まって相談をすることもある。ただし、文書のなかで作成年月日をはっきりわかるものは別として、年代不詳の場合は関係が判然としない場合もある。それは、儀藏家の当主および後継者は「儀藏」「義藏」「甚藏」「豊吉」といった名前を同じ人物が襲名していくためである。今後、文書ごとの詳細を明らかにすると、整理が行き届くと思われるが、現時点では「これは七代目の文書か」、「八代目の文書か」といったようにきれいな線引きができない場合があることをご了承いただきたい。

まずは、その年代不詳の文書から紹介していこう。「W6-38」には、作成者と宛先に儀藏・義藏・甚藏・庄松・豊吉・佐吉の名前があり、親族のなかで交わされた書状が多く含まれている。おそらく七代喜伴とその兄弟たちが活躍していた時期のものと推測しているが、原文にしたがっていくつか内容を読み解いてみたい。

旅先の兄より

○W6-38-16-1 九月九日 兄↓豊吉殿

前後の史料から、「兄」とあるのは儀藏のことで、儀藏はこの時期に仙台へ出張し、柳町の三浦屋に滞在していた。豊吉は白石におり、主人

の留守を預かっていたと思われる。冒頭で儀蔵は無事に過ごしているの
で「御安心下さるべく候」と述べ、九月五日に「忠太郎様」と仙台で会っ
たという。「忠太郎様御登仙」と書き、会った際には白石の名産である
葛粉をもらったとしているので、忠太郎は片倉家中の武士ではないかと
推察する。そのとき、「御金之義委細承知」をしたので昨八日に金百切
を納めたとする。これを豊吉にも承知してほしい旨を伝えている。御金
とするのは御用金・献納金であろうと思われ、百切（＝金二五両）もの
大金を上納したことになるうか。

また後段には「惣太郎様より跡三十両も」貸してくれという書状が届
いたので、加えて出金をしなければならぬが差し上げるよう手配する
と記されていた。忠太郎への二五両と惣太郎への貸金三十両の合計五五
両を用立てたことになる。

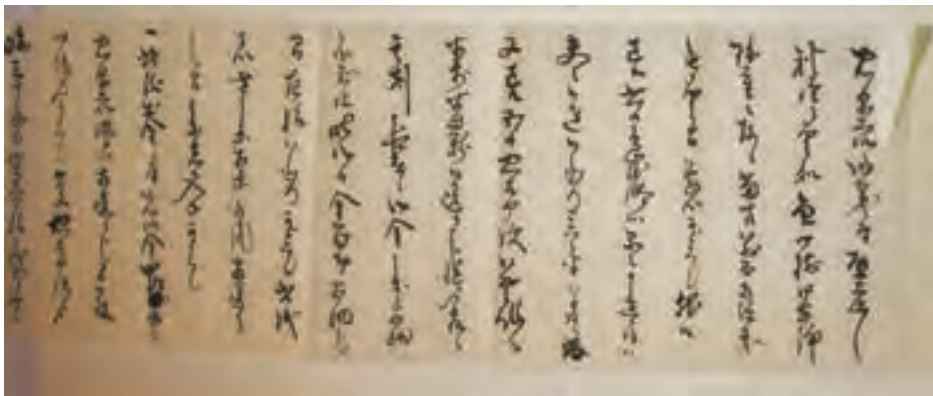
これに対して、豊吉は「御兄様」へ長文の手紙を送っている。

豊吉・佐吉・伊太右衛門の文書

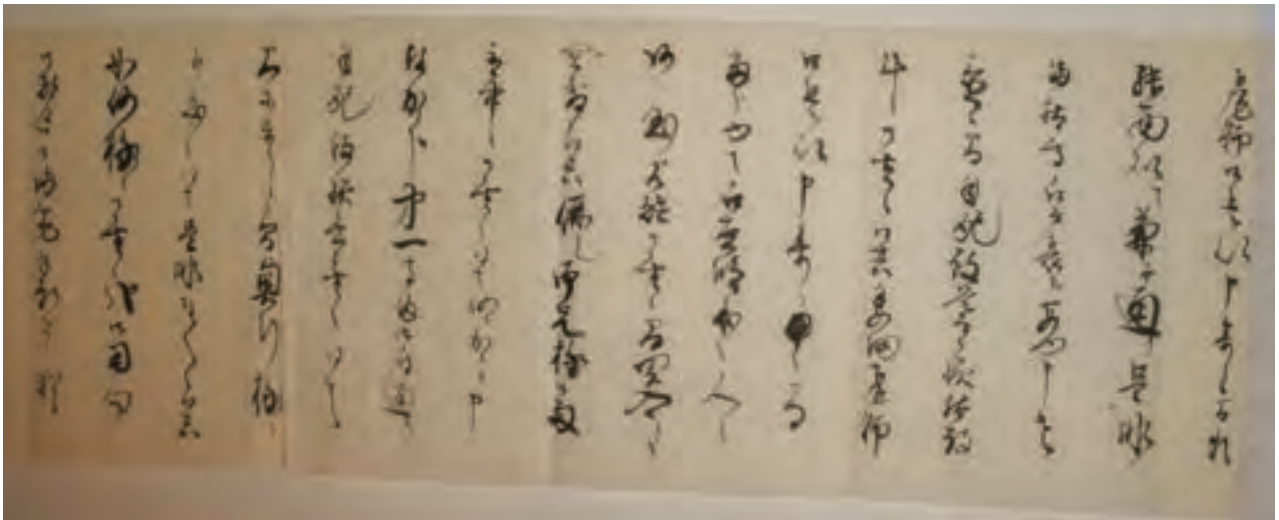
○W6—38—16—16 九月十一日 豊吉↓御兄様

豊吉は留守を預かる身として、儀蔵に「業務報告」を送っているとい
うのが本史料の性格である。たとえば「(九月)十日八つ時比、大竹両
人被参候」として、この兩人と商品の売買について交渉をおこなったこ
とや、そのなかで「併し御兄様御留主中ニ御座候得者、何かト申なから」
返事を保留するなど、細かな記述が目立つ。たくさん文章を書き連ねた
ので気が引けたのか、「先者取急ぎ早々申上候間、御帰宅万々申上候迄

用向計、早々如此御座候、以上」と締めくくっている。
右の事例は儀蔵が出張中ということから、長文のやりとりが多かった
が、普段の文書は商用に特化して極めて簡素な覚書という傾向がある。
店は別に構えているが、井丸も丸角も近所であり、込み入った話となれ
ば直接面談することもあっただろう。



W6—38—16—1



W6—38—16—16

【W6—38—16—34—10】

い(亥)ノ七月 渡邊屋儀蔵↓渡邊屋佐吉様

覚

二月二日

一 銀貳拾六匁七分七厘五毛

松山島(縞) 壹反

三月廿五日

一 三拾三匁

ち、み五反

右之通り御座候、以上

このような商品売買に関する事務的な文書が一般的な親族間のやりとりである。

W6—38には、三家以外にも渡辺屋伊太右衛門からの文書も収載されている。伊太右衛門家は初代定吉の実家にあたり、渡辺氏一統の本来である。

【W6—38—15—2】

卯(近世) 十月十七日 渡部や伊太右衛門↓渡部甚蔵様

この文書には、当年七月四日から九月九日までの取引品目と代金が記されている。冒頭の七月四日には「紺絞り四丈四尺」の代銭八百八十文、最後の九月九日には「絹小納戸一丈八尺」の代銭二百三十四文など、この期間の合計銭四貫四百七十六文を勘定している。

【参考文献】

- ・『渡辺家文書調査報告書 仲間義定録』（白石市文化財調査報告書第二八集、白石市教育委員会、二〇〇四年）
- ・渡辺信男編『ある百姓の覚え書き』（私家版、二〇一五年）
- ・『渡辺家文書Ⅰ―現況目録Ⅰ―』（白石市文化財調査報告書第四九集、白石市教育委員会、二〇一六年）



W6-38-15-2

5 江戸からの書状

荒武 賢一朗

渡辺屋が手掛ける諸商売で、多彩な取引関係を有するのは江戸・東京である。江戸からは多くの絹織物・木綿・古手などが白石に運ばれ、これを入手した渡辺屋を介してまた近郊へと流通経路を広げていく。

渡辺家文書に登場する江戸からの文書は、極めて多いが本書所収の目録では、次の商人たちが顔をのぞかせる。

【江戸・東京の商人たち】

伊勢屋利平、近江屋彦兵衛、川喜田久太夫、蔵田屋定次郎、外村与左衛門、

長谷川源右衛門、長谷川次郎吉

出自や具体的な人物像がよくわからないものを含むが、川喜田、外村、長谷川については先行研究があり、その詳細を看取できる。

川喜田久太夫（かわきた・きゅうだゆう）

川喜田久太夫家は、伊勢国津を拠点として、江戸などに出店を持つ伊勢商人である。伊勢商人が得意とする木綿取引を川喜田も主たる商いとして、江戸時代前期から活躍していた（林一九六七）。

川喜田久太夫から渡辺家に届けられた文書は、一三点確認できる。その時期は、文久二年（一八六二）から慶応元年（一八六五）である。作

成者には、久太夫の名前が記されているが、久兵衛や傳兵衛といった手代が連名で書いているため、実質的な発信者は渡辺屋を担当する使用者であった。印鑑には「大傳馬壹」の地名がみえるので、現在の東京都中央区日本橋大伝馬町（一丁目）の江戸店から送られた。大伝馬町は奥州道中の発着点に近く、江戸最古の「町」として有名で、当町には木綿問屋が七〇軒以上あったとされ、その六割は伊勢商人の店だったという。

川喜田の書状では、「太物惣仕切書」「諸代仕切書」の送付や、送金についての連絡が多い。渡辺屋向けの取扱商品としては、太物類や木綿類が中心だったと示唆される。元治元年（一八六四）三月二五日付けの書状では、次のようなことが記されていた（W6-20-90）。「先達而中、夏物注文被仰聞」とあり、渡辺屋から川喜田に「夏物」の注文をしたことがわかる。旧暦の三月二五日であるから、新暦では五月初旬ごろになる。渡辺屋が夏物（衣類）をあらかじめ仕入れ、季節商品を販売しようとしていたこともあわせて想定できよう。ただ、川喜田はそれを受けて商品の確保に着手したが、「品払底二而取持兼大井二延引致し、何共申訳無之」と、渡辺屋の注文明品が見当たらないため詫びを入れている。続けて、それが「漸々先日小揚二相成」、白石に向けて発送したとある。このような書状の内容から、渡辺屋の商売についての特徴や、江戸とのやりとりを知ることができよう。川喜田との取引では、わかる範囲でも金四〇両から六〇両前後の送金に関して触れられているため、少なくとも幕末期に太物や木綿を大量に買い付けていたといえる。

外村与左衛門（とのむら・よざえもん）

外村与左衛門家は、近江国神崎郡金堂（こんどう）村（現滋賀県東近江市五個荘金堂町）を發祥とする近江商人である（上村二〇〇〇）。江戸時代の屋号は「布屋」「近江屋」で、その当主は昭和に至るまで「与左衛門」を代々襲名していた。現在、外与株式会社として呉服関連を含む繊維品の製造販売を手掛けている。

本書で紹介した文書目録に限れば、渡辺家と外村家の関係は明治二一年（一八八八）の一三点になるが、両者の取引はこれよりさかのぼる可能性がある（W6-60）。文書の発信者である外村与左衛門の印鑑には、「東京・富沢町（現東京都中央区日本橋富沢町）」とあるので、外与の東京店から出されたものとわかる。富沢町は後述する長谷川家などが店を構える大伝馬町とも隣接し、繊維関係の大店が立ち並んでいた。また、特色としては古手（古着）商いを営む商人たちが多数居住したことも知られる。

外与から渡辺屋に販売された商品は、呉服類が中心であり、明治二一年九月一七日付けの「記」（W6-60-7）には、絹織物類「五本・五百四十枚・千百三拾四反、代金六百三拾七円」余り、木綿類「三百廿二枚、代金百三拾四円」余りで、合計約七七一円の勘定が記載してある。ここで残されている勘定覚は一か月ほどの期間に集中しており、その他の取引を含めておよそ千円の取引高になっている。

白石に本拠を置き、地元のほか東北各地と取引関係を持つ渡辺家が、全国展開をおこなう近江商人と接点を持つのは幕末期と推定できるが、

明治維新以降にそのつながりを強化していくとすれば、日本経済史を考えていくうえでも示唆深い。

長谷川源右衛門

長谷川家は伊勢国松阪を代表する商人であり、貞享三年（一六八六）に木綿仲買をしていた三代目長谷川次郎兵衛が江戸大伝馬町一丁目木綿問屋を興した。同家は元禄一五年（一七〇二）に大伝馬町一丁目「長谷川源右衛門店」を開業している（北島一九六二）。

この長谷川源右衛門からの書状は本書所収の目録で三二点検出できる。時期は天保一四年（一八四三）から慶応元年（一八六五）で、さきの川喜田と比べると、長谷川源右衛門との付き合いは古く、その取引規模も大きいことが想定される。基本的には、商品代金の「仕切書」や、渡辺屋からの注文品を発送したことなどを伝える文書が多くを占める。特筆すべきは、八代渡辺儀蔵が伊勢参詣に赴いた慶応元年春の状況にふれていることであろう（W6-37-55）。これは、慶応元年四月八日付けの長谷川源右衛門、宗兵衛、小兵衛から渡部屋儀蔵様、御店衆中様として出された書状にある。長谷川からの記述では「此度儀蔵様伊勢御参宮二付」とあり、儀蔵が江戸に逗留して長谷川の店に訪れたことを告げる。儀蔵は商品の注文をして（「品切御用向被仰付」）くれたので、大変ありがたく思っていることと、「何より之御土産物頂戴」してこれまた嬉しいと謝意を白石の本宅へ伝えた。儀蔵が直接注文した商品で、すぐに入手できた物は早速白石へ発送したことと、今回出荷できなかつ

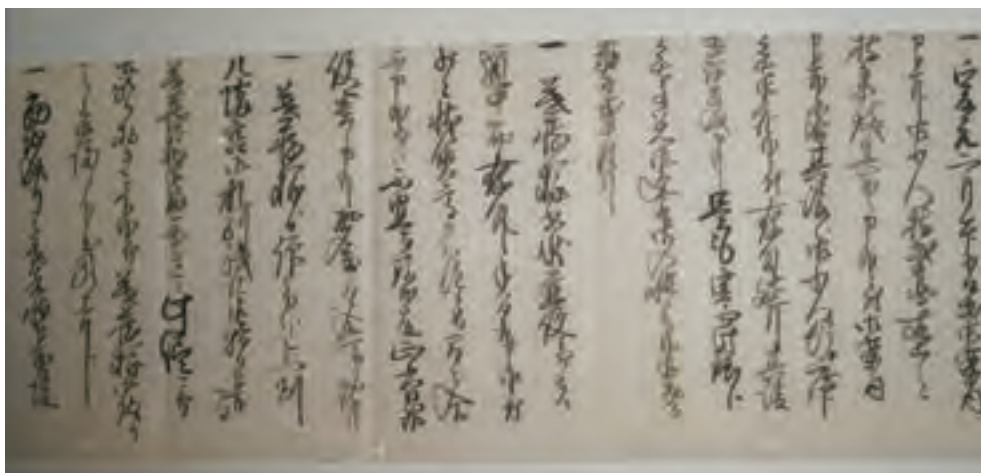
た品物は「御主人様（儀藏）も御承引」のうえ、早々に出荷するとも添えてある。また、「御主人様」はこちらでの用務を済ませ、「爰元（長谷川）御機嫌克御出立二相成」と儀藏の動向にも触れていた。懇意にする江戸の取引先との関係を読み解く情報であるとともに、旅先における儀藏の様子を知る手がかりとしても貴重な記述である。

長谷川次郎吉

長谷川源右衛門店と同じく、長谷川次郎兵衛家の経営する五店のひとつ、長谷川次郎吉店とも密接な取引関係を有していた。文政七年（一八二年）に発刊された『江戸買物独案内』にも、長谷川源右衛門、丹波屋次郎兵衛、亀屋武右衛門、戎屋六郎次とともに「長谷川治郎吉」の名前があり、この長谷川五店（いずれも所在は大伝馬一丁目）がすべて紹介されている。長谷川次郎吉店は天明三年（一七八七）に長谷川家の「向店」として開業しており、一時期は当主が引退した際の「隠居店」であったようである（三重県松阪市の長谷川家文書調査を手掛けておられる茂木陽一氏（三重短期大学教授）のご教示による）。

長谷川次郎吉からの書状については、本書所収の鬼丸諒「伝染病流行情報にみる渡辺家と医療の関わり」でも詳しく述べられているので、あわせて参照されたい。源右衛門と同様に次郎吉店からも三二点の文書が届いているが、内容はおもに「江戸の相場」や「取引代金・為替決済」にかかるものであった。たとえば、文久四年（一八六四）と推定する二月八日付けの書状では、渡辺屋から商品代として為替金百三七兩三步が

次郎吉店に入金されたことが語られる（W6-20-57）。また、さきの慶応元年春に儀藏が伊勢参詣に出かけたときの様子についても触れている。



W6-37-47

四月二日付け書状では、江戸に滞在した儀蔵から託された荷物六箇を発送し、同じく依頼を受けた儀蔵自筆の書状を白石に送るとしている（W6-37-47、宛先は「渡邊屋義蔵様・豊吉様」となっているが、件のように儀蔵は不在のため豊吉に送ったことになる）。しかし、「義蔵様書状並便二而は、道中筋存外之手間取申候付、少々状賃高ク候得とも間二合不申候而ハ不宜と存候故」として、送料が高くなったことを示している。また、儀蔵から「上州八幡宮御札」を白石へ送るよう言われたので、「義蔵様御帰国」のときにお渡しください、と述べている。

その後、儀蔵は伊勢への歩を進め、四月下旬には東海道を移動していた。その様子は次の書状で判明する。

【W6-37-68】

（端裏書）○サマ

一筆啓上仕候、暖氣之節ニ御座候得とも先以其御表御店中様御揃、益々御勇健ニ可被遊御 座奉珍重候処ニ而、当方無事罷在申上候、乍憚御安心思召申候

一義蔵様御義、金谷宿々御状御遣し被下候二付、幸イ御表家中紺野源右衛門・村上兵馬兩人御出被下候二付、右書状御願申上候得者、定而御受取被下候半而難有奉存候

一義蔵様より御注文残少々御座候二付、〈井丸〉御両家分取合壹箇也、紺野源右衛門・村上兵馬兩人江御願申上候間、無事着御受取被下度候、扱駄賃・造賃不残御尊店様之帳合仕候間、何卒御手数之段恐入候得共、〈井丸〉御店様与割合御受取被下候、尤も此度〈井丸〉様へも駄賃・

造賃之義ハ反数応し御尊店へ御渡し被下候様ニ御案内申上置候、別紙ニ直書相認メ加封差上申候間、御入手被成下、荷着御引合御入帳被下候様願上候

一当地成行之義者、先状申上候後、差而相替不申同様持合取引仕候、何卒々々此末とも不相替御懇情被成下、不相替御注文之程願上候、まつハ右申上度如此ニ御座候
恐々謹言

長谷川次郎吉（印）

藤七

（慶応元年）四月廿五日

渡邊屋義蔵様

豊吉様

貴下

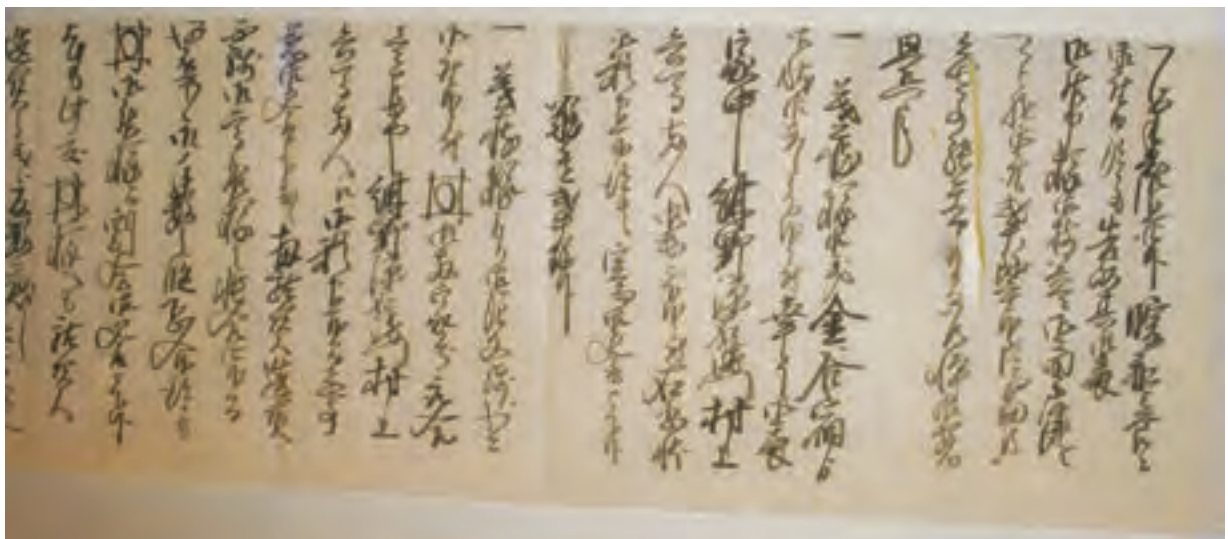
最初の箇条では、義蔵（儀蔵）が金谷宿（東海道金谷宿、現静岡県島田市金谷）より書状を次郎吉に送ってきたので、たまたま店に来た白石の紺野・村上両氏に託したことを述べている。また二条目には儀蔵より長谷川が受けてきた注文品が少し残っていたため、新宅井丸渡辺屋への送付分を合わせて、これも紺野・村上にお願いしたとある。また、駄賃や荷造り賃は渡辺屋の負担になるので、荷物の割合に応じて井丸店と支払ってほしいと付け加えている。

渡辺屋および白石へ太物や木綿・古手を供給していた伊勢商人の長谷川両家や川喜田家、また外村与左衛門家のような近江商人がいつごろ接

点を持ったのか、今後も注意深く文書の内容を検討していきたい。

【参考文献】

- ・北島正元編著『江戸商業と伊勢店』（吉川弘文館、一九六二年）
- ・林玲子『江戸問屋仲間の研究―幕藩制下の都市商業資本―』（御茶の水書房、一九六七年。のち改装版、一九七八年）
- ・上村雅洋『近江商人の経営史』（清文堂出版、二〇〇〇年）



W6—37—68

6 伝染病流行情報にみる渡辺家と医療の関わり

鬼丸 諒

白石および仙台藩領、また遠隔地との商業取引を通じて、渡辺家には多くの情報もたらされた。それは、商品や金融のみならず、他地域における社会的動静も含まれる。本稿では、幕末期から明治時代にかけて日本列島を襲った伝染病流行についてふれてみたい。まずは、次の史料を御覧いただきたい。

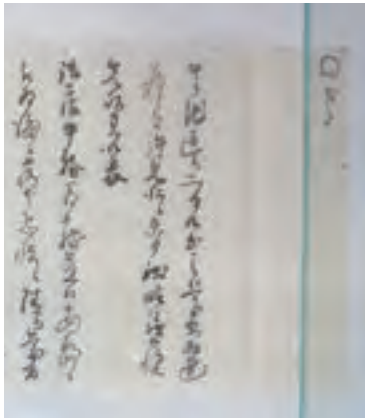
【史料翻刻】(W6-50-32)

(端裏書)

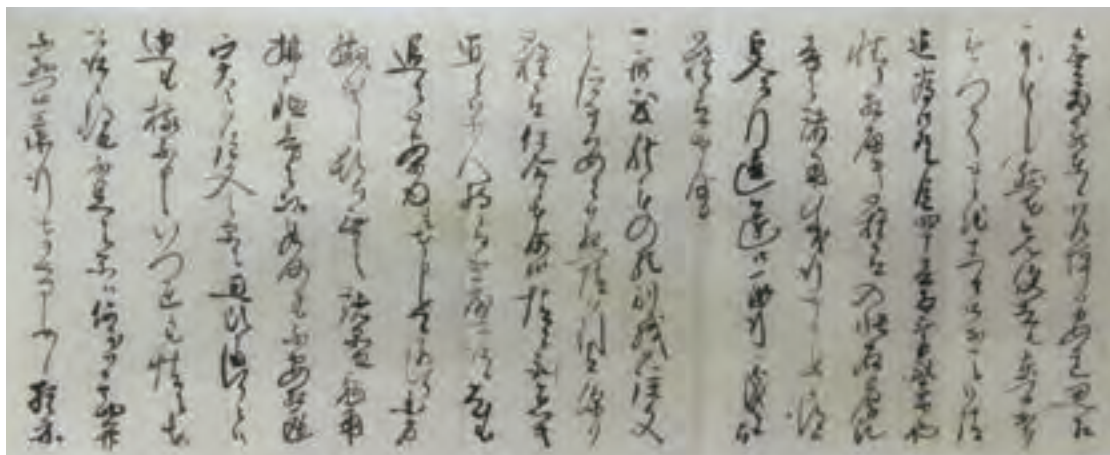
○サマ

(本文)

貴地過ル二日御出之尊書相達
難有拜見仕候未夕残暑強候得共
先以其御表
御店中様為御稼益御安静ニ
被為渡候段奉恐悦候随而当方
無事罷在候乍憚御安意思召
可有之然者先便去ル本二日書ヲ



もつて貴地拾二日御出之御請
返為御登金四十壺両三分二朱也
隨二相届キ難有入帳右御厚礼
旁々諸用成行奉申上候得共
更ニ御遠近御取行可被成候ハ、
難有奉存候
一此度此ものか別紙御注文
被仰付段々御懇情御引立深ク
難有仕合ニ奉存候情々取急キ
近々御小人持ニ而加取可仕候尤も
追々御案内も奉申上候通り国方
織ぬの髪と無之諸品共兎角
払底旁々以如何ニも不安払底
実ニ御注文之品々思ひ通りニハ
迎も極不申いつれニも情々以
可仕候得共不足之品ハ何分御勘弁
不惣御承引奉申上候猶亦
望物品之儀御飛書被仰付却而
奉恐入候格別手段と申上候
ニも無之品々利口之所相決
御小人持へ加入可仕候已来何成
とも無御遠慮被仰付可有之情々



伺吟相決差上可申候

一のふれん地兼尺二而拾式丈程御入用之よし承知仕候大体

壹反鯨二而式丈四五尺位之もの二

御さ候右ヲ四反近く御小人返り

江加入差出し可申上候

一当方麻疹流行之儀御承引

御尋被下御懇情之段深難有

御礼奉申上候此程ハ大キ弱リ

安心仕候得共先頃より全時コロリと

申病流行相始り五ヶ年

已前流行仕候病と同様馴共

今一段手早く早キハ壹時式時

位二而死ス軽キハ二日三日位二而

コロリ〜と死ス事夥々敷

事二御さ候麻疹二而も不怪

怪我人有之候所又々コロリ

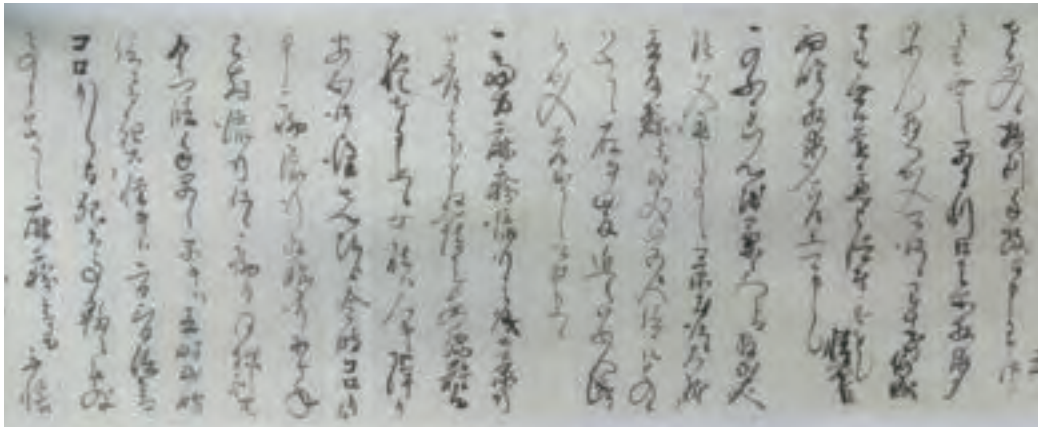
二而多分之怪我人恐入候事二

御さ候貴地迄も此程ころり

流行仕候よし何義軽く相濟

早々退去候方專一奉願上候

先者貴答迄右御礼申上度



如斯御座候

恐惶謹言

八月十五日

当賀

長谷川次郎吉（印）

豊七

渡辺屋儀藏様

豊吉様

貴下

【解説】

本史料は江戸の商人である長谷川次郎吉・豊七から渡辺儀藏（Ⅱ八代当主喜則）・豊吉（Ⅱのち儀藏、九代当主喜光）に宛てた書状である。年代は前後の史料の保存状況などから考えて文久二年（一八六二）と推定される。全体を概観してみると、以前渡辺家に送金を依頼して、それが先日無事着金したことや、渡辺家から注文を受けたものの、江戸では布や紙が払底して値が張っており注文の品々を思い通りに調達しづらくなっていることなど、主に商取引に関する事柄について述べられているが、本史料の最後の部分には江戸での「コロリ」流行についての記述がある。「コロリ」とは、伝染病の一種のコレラのことである。商取引に関する書状のなかで、なぜコレラの流行情報が記述されたのだろうか。



また、この情報は渡辺家にどのような影響を与えたのだろうか。本稿では渡辺家に残された書状に出てくる伝染病流行情報を手がかりとして、渡辺家と医療の関わりについて考えてみたい。

日本におけるコレラ流行と渡辺家への情報伝達

そもそもコレラとはどのような病気なのだろうか。コレラはもともと、紀元前四〇〇年ごろからインドのガンジス河流域やその周辺に限定して流行した、激しい下痢と嘔吐を伴う伝染病である。¹それが一九世紀になると、近代文明の進展に伴う交通の活発化により世界中で流行するようになった。

一九世紀初頭から二〇世紀初頭までの約百年間で大きく六回の世界流行があったが、日本にもコレラ菌が外国船によって持ち込まれ、数回の流行があった。一回目の流行は文政五年（一八二二）である。朝鮮半島から対馬を経由して西日本各地で猛威を振るった。発病した人々は絞るような腹痛や下痢・嘔吐に苦しみ、本史料にも記載があるように二〜三日でコロリコロリと亡くなっていったことから、コレラのことを「コロリ（虎狼痢）」と呼んで恐れるようになったという。なお、このときの流行は西日本が中心であり江戸などでは流行しなかった。

二回目は開国後の安政五年（一八五八）、上海から長崎に入港したアメリカ船がコレラ菌を持ち込み流行が始まった。このときの流行の勢いは凄まじく、西日本だけではなく江戸や遠く離れた箱館にまで及んだ。²仙台藩領内でも仙台北下や石巻を中心に流行したようである。

そして三回目の流行が文久二年（一八六二）である。本史料にはこのときの江戸でのコレラ流行の様子が描かれている。また、「貴地迄も此程ころり流行仕候よし」と、当時白石でもコレラが流行していたことをほのめかすような記述もある。実際、仙台藩領内でも安政の流行に続いて再び石巻方面で流行したと伝えられ、³人々の生活に深い爪痕を残していたことがうかがえる。

症状の激しさや致死率の高さから恐れられたコレラの流行が、人々の経済活動にも大きな影響を与えたであろうことは想像に難くない。とりわけ、相手が立たなければ自らも立たない商家にとっては、互いの消息や活動地の情報は大きな生命線となっていたに違いない。そのため、江戸の長谷川家では商売にも甚大な影響が出ると考えられたコレラの流行情報を書状に記載し、白石の渡辺家へ伝えようとしたのであろう。

宮城病院白石分院の設立と渡辺家の関わり

先述のとおり、日本では幕末期にコレラが流行し、仙台藩領内でも主に石巻を中心に猛威を振るっていたようであるが、白石においては特に目立った流行はなかったようである。むしろ白石でコレラが流行するのは明治に入ってからで、明治一五年（一八八二）秋に流行したものが顕著である。

白石では同年三月に、県立宮城病院（東北大学附属病院の前身）の分院として、宮城病院白石分院が開院した。⁴明治初期であるが、バルコニー付ガラス窓二階建ての本館と、病室各五室を擁する二病棟からなり、幕

末の著名な蘭医である緒方洪庵に学んだ横山謙ら医員の体制も含めて、当時宮城県内随一の病院であった。宮城病院は当初から本分院ともに経営が苦しかったためか、白石分院は開院からわずか二年半で廃院となったようであるが、開院直後のコレラ流行に際しては大いに活躍したという。⁵

この病院の設立の原動力となったのが白石の住民たちによる寄付であるが、大口の寄付者のなかに、当時の白石地方の経済界をリードしていた上西国八や米竹清右衛門とともに渡辺儀藏（『九代当主喜光』・佐吉の両名の名前が見える。病院設立と本史料との直接的な関連は見られないものの、特に寄付者に名を連ねた儀藏（喜光）は本史料の受け取り手でもあったため、文久二年時点で仙台藩領外におけるコレラなどの伝染病流行による惨状を認識していたことは確実であり、幕末期に渡辺家内で伝染病に対する恐怖の認識が醸成された結果、二十年後の病院設立のための寄付につながった可能性も考えられるのではないだろうか。そのように考えると、渡辺家内で伝染病に対する認識が蓄積されて、病院設立のための寄付へとつながっていく流れのなかで、本史料はその最初期の史料として位置づけられることから、病院の設立など地域の医療を考えるうえで重要な史料といえるだろう。

以上のように、渡辺家では幕末期において他地域の商人との書状のやり取りの中で、コレラ等の伝染病流行情報を入手し、伝染病に対する認識を深めていた。さらに渡辺家は、明治初期には当時県内随一の医療レベルを誇ったといわれる宮城病院白石分院の設立に関与し、白石におけ

る医療体制の充実を図ることで地域社会に貢献していたのである。

【注】

- 1 以下、コレラの概要や流行の様子については、立川昭二『病気の社会史―文明に探る病因』岩波書店、二〇〇七年（初出…一九七一年）、酒井シヅ『病が語る日本史』講談社、二〇〇八年（初出…二〇〇二年）を参照した。
- 2 宮城県史編纂委員会編『宮城県史』二二一（災害）（宮城県史刊行会、一九六二年）。執筆者の青木大輔氏は領内寺院の過去帳の分析を通して、このときはまず江戸から石巻へ海路で伝えられ、その後陸路や水路で仙台や涌谷などへ伝播した可能性を指摘しており、白石など藩領南部ではあまり流行しなかったとしている。
- 3 前掲『宮城県史』二二一
- 4 宮城病院白石分院の概略については、白石市史編さん委員編『白石市史Ⅰ』（白石市、一九七九年）、及び公立刈田病院史編纂委員会編『公立刈田病院史』（公立刈田病院、一九五七年）を参照した。
- 5 病院はその後、再建・改組を経て、現在は公立刈田総合病院となっている。建物は昭和二九年より中央公民館・図書館として活用された後、現在の白石市図書館前に移転し文化財保存庫となっていたが、平成二十年に市の有形文化財（建造物）に指定され、現在は解体・保存されている（白石市ホームページ <http://www.city.shiroshimiyagi.jp/soshiki/30/372.html>）。
- 6 本史料以外にも、同じく文久二年のものと推定される書状W6―50―33では、宇都宮の商人佐野屋丹兵衛が宇都宮での麻疹流行について伝えていることなどから、渡辺家では商家のネットワークを通じて、文久二年時点ですでにコレラ以外にも様々な流行性の病気についての知識を得ていた可能性が高い。

7 渡辺屋と宇都宮商人

―佐野屋丹兵衛との取引を中心に―

清水 翔太郎

本書に目録を掲載したW6およびW7には、呉服・太物・紙布・古手などの呉服・衣類の取引関係文書が多数含まれており、いくつもの包紙やこよりでまとめられている。例えばW6―37は、こより付紙に「丑ノ盆前諸方書状」とあり、慶応元年（＝丑年、一八六五）の正月から盆までに各地の取引先から届いた書状や仕切状が一括してある。これらを見ていくと、実に丁寧かつ几帳面に文書を扱っていたことがわかるが、渡辺屋では衣類の商用文書は、個別の取引先あるいは地域ごとに分別するのではなく、届いた時期ごとにまとめて保管していたようである。そこには長谷川次郎吉をはじめとした江戸、奈良屋八兵衛などがいた仙台、小倉屋和助ほかの有力商人が軒を並べる福島、長谷川吉郎次や三浦屋権四郎の活躍する山形といった各地からの書状と共に、下野国宇都宮の商人からの書状が多く含まれている。とくに本稿では、白石と江戸の中間に位置する宇都宮との関係に焦点を絞り、渡辺屋との関係を詳しく紹介したい。

『渡辺家文書Ⅰ』に掲載されたものを含めて、宇都宮商人から届いた文書は左記の通りで、時期ごとに一括されている。年代別の傾向からみると、W6―60は明治時代のものであるが、それ以外は幕末期である

ことが明らかであろう。ここでは、『渡辺家文書Ⅰ』に掲載された文書を交えつつ、W6収載の文書を中心に、幕末における宇都宮商人との取引の実態を論じることとする。

文書番号	年代	備考
W6-4	慶応2年	
W6-6	文久3年（盆後）	
W6-8-4	慶応3年カ	「う」と記された文書あり
W6-9	未詳	
W6-10	元治元年	
W6-15	文久3年	「亥年仕切盆前分」
W6-17	文久3年	「亥」と記された文書あり
W6-20	文久～元治カ	
W6-35	慶応元年（盆後）	
W6-37	慶応元年（盆前）	「丑ノ盆前諸方書状」
W6-50	文久2年	
W6-60	明治21年	

取引先の概要

宇都宮商人との関係が形成された時期は定かではないが、史料上確認できる限り、取引先の顔ぶれは変わらず、佐野屋丹兵衛、佐野屋久右衛門、玉屋長蔵と明治時代まで途絶えることなく継続していた。いずれも宇都宮を代表する古着商人であるが、後述するように、古手に限らず、呉服や太物も取り扱っており、渡辺屋との取引も後者が中心であった。

宇都宮城下では、寺町と宮嶋町に古着屋が集中し、寛政年間（一七八九～一八〇一）の古着仲間には四〇から五〇人の商人が加入していたとされる。その中でも筆頭だったのが佐野屋（菊池）治右衛門である。渡辺屋と付き合いの深かった佐野屋丹兵衛（吉田家、以下佐丹と略記）、佐野屋久右衛門（鈴木家、以下佐久と略記）はいずれもその別家である。近年、寺内由佳氏により、佐野屋一統をはじめとする古着商人の同族関係など、一統における「家」としての側面が注目され、その運営の実態が明らかにされつつある（寺内二〇一四・二〇一五）。ここでは、寺内氏の成果を参照しつつ、佐丹の事例を中心に見ていきたい。

佐野屋治右衛門は古くから古着商及び質屋を営み、天保期以降は木綿取引及び金融業を中心に営んでいた。別家を創設し、出店を増やしていったのは、享保年間（一七一六～三六）以降のこととされる。渡辺屋は、この本家と取引関係はなく、宇都宮商人の中で最も盛んに取引関係をつなげたのは、別家の一つであった佐丹であった。佐丹は、文化一〇年（一八一三）、吉田丹兵衛が本家と同じ寺町内に別家し、時期は定かではないが、江戸大伝馬町（現東京都中央区）にも出店を構えている。佐丹

に次いで、渡辺家との取引の多かった佐久は佐丹よりも早く、宝暦年間（一七五一～六四）に治右衛門家から別家したようである。

佐丹との取引

佐丹から渡辺家に届いた送り状から、取引内容、金額、輸送方法等を確認し、その取引の実態を見ていくことにしよう。

【史料 W6-37-50】

一筆啓上仕候、暖氣之砌御座候所、先以其表御店衆中様益御安康ニ被遊御座候、恐悦至極ニ奉存候

一、過日ハ御主人様之御儀、上方筋御見物旁御出府被遊、毎度不相替御懇情御引立御用向被仰付、千萬難有仕合ニ奉存候、其砌御手合申上候代呂物都合式箇也、御小人持荷送り、近々差贈り可申上候間、其着御改御記帳被遊可被下候、若又相違等も御座候ハ、早速被仰付可被下候、尚また御品切も被為在候ハ、多少ニ限らず御注文被仰付被下度、偏ニ奉申上候

一、当地成行之儀、別而相替り不申候得共、兎角品拂底之故か追々引メ申候間、其御思召ニ而御商用御駈引被遊可被下候、先者買附御案内迄、早々如此ニ御座候 恐々謹言

（慶応元年）四月八日 佐野屋

丹兵衛

佐多八

文助

渡辺屋

儀蔵様

御店中様

右の史料は慶応元年（一八六五）に八代渡辺屋儀蔵が、伊勢参宮の道中、宇都宮に立ち寄り、佐野屋で見分して注文した商品の送り状である。この書状が差し出された三日後、江戸大伝馬町の長谷川次郎吉からも同様の送り状が差し出されており、儀蔵が伊勢参宮の途上、取引先に立ち寄り、直に商品を確認した上で契約を結んでいたことがわかる。儀蔵はその生涯で何度か白石の商人たちとともに伊勢への旅をしているが、普段から付き合ひのある遠隔地の取引先との関係を直接確認した。伊勢への旅路は本来の参詣が目的のみならず、商業取引を円滑に行うためにも重要な意味を有していたことが指摘できよう。

この書状では、儀蔵が買い付けた代呂物しろもの（商品）合わせて二個分の荷物を「小人持」で送るとある。これは、走り使いの者に持たせて送るということであるから、宇都宮から陸路で白石まで届けられたことになる。他にも注文品を飛脚で送ることを記した書状（W6―20―68）もあり、当時宇都宮商人からの荷物の大部分は、奥州街道を北上して輸送されたものと考えられる。

それでは、奥州街道を通ってどのような商品が白石に届けられたのであろうか。例えば、文久三年（一八六三）の佐丹からの覚（W6―6―38）をみると、結城袖十反が銀三百九十二匁で売られている。おそら

く宇都宮に近い地域で産出された絹織物をはじめとして、比較的高価な呉服が取引されていた。なお、慶応元年七月二十五日の覚（W6―13―6―15）では、江戸店へ金七十九兩余、宇都宮本店へ金八十八兩余、総計で金百六十七兩三步が佐野屋に支払われている。これは、この前半期の取引代金（渡辺屋の購入分）と考えられるが、少なくとも幕末期には渡辺屋と佐野屋の間で絶えず高額な取引が行われていたことがわかる。

ここまで述べてきたように、渡辺屋にとって宇都宮商人は重要な取引先のひとつであったのだが、決して白石において儀蔵だけが取引をしていたわけではない。儀蔵家の分家井丸渡辺屋でも当主佐吉が宇都宮の佐丹に出向き、自らの買い付けとあわせて本家の分も商品を確認して取引をしている（W7―50―7）。また、佐丹から儀蔵と佐吉、さらには同じく白石で商売を営む山崎屋（米竹）清右衛門へ連名で差出された書状（W6―20―39）も残されており、渡辺屋の一族以外にも取引関係があったことを指摘できる。

これまでの研究で判明する限り、宇都宮の古着商は会津若松の商人と多額の取引をしていたとされる（『宇都宮市史』）。それに加えて、渡辺家文書からは白石商人も重要な取引先のひとつであったことが指摘できるのであり、北関東から南東北一帯において広範な取引関係が想定できるのではないだろうか。渡辺家文書に残された宇都宮商人との取引関係を記した多くの文書は、白石商人、さらには南東北各地の商人との取引の実態を今後明らかにしてくれるだろう。

【参考文献】

寺内由佳「一九世紀宇都宮の商家経営と相続―古着商人の家史・家法から―」

ら―」(『比較日本学教育研究センター研究年報』第一〇号、二〇一四年)

〇一四年)

寺内由佳「一九世紀宇都宮の商家同族集団―古着商人の家史・家法から―」(『お茶の水史学』五八号、二〇一五年)

―」(『お茶の水史学』五八号、二〇一五年)

『宇都宮市史 近世通史編』宇都宮市、一九八三年



W6-6-38

8 福島方面との取引関係

荒武 賢一朗

江戸時代において白石の商人たちが江戸方面に取引を広げようとするならば、最初に現れる大きな町は福島之城下町である。地理的にも白石から仙台と同じぐらいの距離にある福島は渡辺屋にとっても重要な都市であった。

福島方面の取引先

その福島とともに、信達地方など周辺地域は商業取引でも密接な関係にあった。本書収載の目録から判明する商人たちの名前を列挙しておく。

【福島】 阿子島三十郎、御馬屋長六、小倉屋和助、小島屋善兵衛、加島

屋吉右衛門、光白屋清兵衛、五島屋半右衛門、槌屋太助

【梁川】 和泉屋五郎助、越後屋惣兵衛、近江屋惣兵衛、中村屋久兵衛、

余子沢屋治右衛門

【桑折】 佐藤佐助、佐藤新右衛門、松本屋清左衛門、吉田屋幸八

【舟生】 斎藤喜蔵

【保原】 淀屋文蔵

右に整理したように、渡辺家文書に登場する福島の商人は八家、梁川

(現福島県伊達市) は五家、桑折は四名、舟生(ふにゅう、現伊達市)

と保原(現伊達市)の各一家となっている。居所が明らかではない商人のなかにも福島および伊達郡の者が含まれる可能性もあろう。

福島・加島屋吉右衛門

最初に福島・本町の加島屋吉右衛門から渡部屋義蔵(渡辺屋儀蔵)と、分家の正恣(庄松)へ宛てた文書を読みたい。

【W6-19-2】

文略御高免被遊可被下候、大暑之節ニ御座候得共、先以御店中様御揃益々御勇健ニ被遊御座珍重之御義奉賀下候、然者先日両面新五よふ御注文被仰付之所品切仕、仲間中吟味いたし候得共、昨年之古物ニ而不向キ之所、今夕方極上之結城両面着仕候間、早速飛脚便ニ御送り申上候間、御改御入手被遊可被下候、則左ニ

覚

一 三拾匁也 上々結城 両面一反

メ

右之通相働キ差上候、御改御入帳可被下候、先者添状旁々申上度如此ニ

御座候 恐惶謹言

〔天保一四年〕七月五日

加島屋吉右衛門

代 喜兵衛(印)

渡部屋

義蔵様



W6—19—51

天保一四年（一八四三）七月五日に出されたこの書状では、先頃渡辺屋から加島屋に織物の注文があったが、品切れのため加島屋の加盟する仲間でも探してみたが、昨年に生産された古物しか見つからなかった。しかし、この七月五日夕方に極上の結城（縞）が入荷したので、早速飛脚便で渡辺屋へ送付したとある。この加島屋が送った上々の結城は両面織（表裏を違う柄で織った生地）一反で代銀は三十匁と書かれており、「相働き（安価）」をしたので商品を確認したうえで帳簿に記載してほし

いと伝えてきた。同時期の加島屋吉右衛門からの書状をそれぞれ精査してみると、「物形絞り十反」（W6—19—12）、「白地中形三反」（W6—19—22）など織物関係の取引が多く、加島屋から渡辺屋への販売経路を知ることができる。またその一方で、天保一四年十月二四日付けの「覚」（W6—19—25）には、加島屋から紙布代として銀一匁余りを儀藏と庄松に支払っていることがわかる。つまり、福島からは太物などが白石にもたらされ、代わって渡辺屋より白石名産の紙布が加島屋へ売られていたのである（紙布については本書「幕末における紙布の生産と取引」を参照されたい）。

紙布と和紙

慶応元年閏五月十五日に福島の小島屋善兵衛、伊兵衛の両名が渡辺屋儀藏宛に記した書状（W6—37—75）では、紙布が少々必要になったため、この文書が到着したら早速に送付してほしいという依頼が述べられている。文中には繰り返して「急きもの」であり、早々の手配を求めるとともに、値段については「成ル丈ケ御出情成し下さるべく候」として、安価にて仕入れをしたいという希望にも触れている。小島屋関係では紙布の取引のみ判明するため、福島に向けた紙布の流通には複数の経路が存在していたと考えられよう。

白石および周辺村落で生産する紙布の原料には、こちらも特産物の和紙が使用される。渡辺屋は紙取引において、小原村などから入手していたが、舟生の斎藤喜藏から寄せられた文書を見ると、示唆深い情報が含

まれていた。

【W6-36-84】

(前略)

一紙相場之儀も旧冬よりは大分安直ニ相成り申候様子ニ御座候、何卒御注文被下度奉願上候、

尤此節相場之儀左ニ

一 兵印 四八 九状 地元ニ而

一 極安ものニ而 四八 十二状 同断

一 枚原上もの 六拾本五厘 同断

一 与二郎紙 四八 八五 同断

右之通何分々々御伺申上候、此直段ニ而御引合ニ候ハ、何卒御注文被下度、伏而奉願上候、まづは当用合申度は如斯ニ御座候 謹言

正月廿八日

舟生村

齋藤喜蔵

白石町

渡辺屋甚蔵様

御店衆中様

残念ながらこの史料は年代不詳であるが、おそらく近世(幕末期カ)のものだと推定している。齋藤喜蔵からは、紙相場の値段がかなり安価となっており、渡辺屋からの注文を待っている旨が伝えられている。四種の商品名と相場価格が記されているが、「極安もの」や「枚原上もの」

とあるのはいずれも紙のことであり、また「地元ニ而」と表記するのは舟生村および近隣の産品だったことを示唆している。これら紙類の値段で納得されるなら、ぜひ注文をしてほしいという文面であった。実際に渡辺屋が伊達郡周辺から紙を仕入れていたかどうかは定かではないものの、先方からはこのような紙取引の売り込みがあり、購入する機会を持っていたと読み取ることができる。

太物の購入

桑折の商人では、吉田屋幸八からの書状が最も多く、本書収録の目録にも一三点の文書が含まれている。吉田屋も福島商人たちと同じように、太物を渡辺屋に販売し、紙布を注文するという関係が認められ、天保一五年(一八四四)七月には金五十両ほどの太物代金が計上されていた(W6-19-56)。この時期の両者についてみると、金額・数量ともに太物が圧倒的に多く、渡辺屋にとって吉田屋からの仕入れは大きな存在だったと考えられる。

福島や伊達郡からは離れた距離にあるが、会津若松の福田屋佐助と笹屋友八とも渡辺屋は接点を持っていた。福田屋は印鑑に「地太物卸」とあるので、太物商いで渡辺屋と取引をしていたようである(W6-20-67)。元治二年(一八六五)四月四日付けの福田屋から渡辺儀蔵宛てた書状(W6-37-52)では、①福田屋から八郎右衛門という者が渡辺屋に参上し、万端の御厚情とともに御用向を仰せ付けられた(商品の注文を受けた)こと、②その注文は四十反(おそらく太物)で「宜

敷御引合御売捌遊ばされたく」と伝え、③代金などは「別紙仕切書」に記載されていると思われるが、「右相場（今回の取引価格）二而御引合二相成候ハ、跡注文」を沢山してほしい、といった内容が述べられている。渡辺家文書には越後の商人との取引があったため、会津および越後まで織物を中心とした関係が広がっていたことも想定できる。

渡辺家文書をひもとくと、地理的にも近接する福島方面との取引は大きな存在であり、福島から入る太物類、白石から出荷する紙布を基幹として、両者の関係が構築されていたことが裏付けられた。渡辺屋にすれば、北関東や江戸に向かう経路としても重要であり、またそれよりはやや度合いは少ないが、会津および越後への経路も領外取引の経路として確保されている。



W6—19—56

9 山形商人と古手取引

荒武 賢一朗

江戸時代の渡辺屋にとって、山形との関係は極めて重要であり、多くの商人とのやりとりが検出できる。また、山形商人もさまざまな諸商品の流通を想定できる渡辺屋との取引を強く望んでいた。白石と山形を結ぶ売買の諸関係は両地に限らず、全国的な商品の行き交いを円滑に進める貴重な経路だったことも推測できよう。そこでまず、本書所収の目録で明らかになる山形の商人たちを挙げておこう。

山形の取引先

【山形城下】①市村屋喜兵衛、②岩瀬屋太惣治、③近江屋権治、④笹間屋留吉、⑤鈴木屋幸吉、⑥西谷清兵衛、⑦長谷川吉郎治、⑧福嶋屋彦治郎、⑨松屋又兵衛、⑩三浦屋権四郎、⑪村居清七、⑫山口屋利助

右の一二家はいずれも山形城下の七日町および十日町に居住する商人である。江戸時代における山形の商業活動は、この両町を中心に展開されていた。当時の様子を伝える書物によれば、山形は大商人が多く、米沢や仙台との売買も盛んに行われていたことや、十日町で「絹布類一切の諸用」を済ませられること、また上方（関西地方）商人が出店（支店）を開設し、「絹物・小間物・金物、何にても」自由に取引ができて町中は賑わっていると書かれている（『山形県史』第三巻）。

これまで山形商人については、「のこぎり商い」で成功を収めたとして高く評価されてきた。この「のこぎり商い」とは、取引先との駆け引きを巧みにおこない、上手に利益を得ていたことを意味する（のこぎり（鋸）は「押す」と「引く」の両方で切っていく）。山形の場合では、地の元米・大豆・麦などの穀物、そして特産品である紅花・青苧（あおそ、カラムシの表皮から採れる繊維で布作りの原料になる）・煙草などを上方や江戸へ出荷し、その帰り荷物として繰綿・古手（古着）・砂糖・塩を仕入れて当地にて卸売りをする、というものである（『山形県史』第三巻）。よく知られているように、山形町は最上川舟運を活かして庄内地方から日本海海運を用い、上方など西日本と結び付き、また江戸時代後期以降は蝦夷地との交易も深められていった。

渡辺屋と取引をおこなっている商人たちもいわゆる「大店（おおだな）」であることが想定でき、上記の繁栄に貢献していたと思われる。安政二年（一八五五）に刊行された『東講商人鑑』に掲載された商人を確認すると、②・⑦・⑩の三家が掲載されている。岩瀬屋太惣治は「呉服・麻物・太物・古着」、長谷川吉郎治は「繰綿・太物卸店」、三浦屋権四郎は「太物・小間物」、とそれぞれの主たる取扱商品が明記されており、三家とも呉服や綿など繊維関係の商売をしていたことがわかる。



『東講商人鑑』（安政2・1855年刊）

当地を治めていた「山形藩」は、江戸時代初期の最上氏が外様大名であつたほかは、親藩および譜代大名が頻繁に入れ替わりながら明治維新を迎えている。ここで最も長く領有していた譜代大名の秋元氏（一七六七〜一八四五年の間、六万石）は、五人の御用達を任命していたが、そのなかに長谷川吉郎治と村居清七も含まれていた。村居は御用達筆頭であり、士分（武士）として扶持米も支給されている。また、秋元氏の後継となつた水野氏（一八四五〜一八七〇年の間、五万石）は、この五人

のほかに、新たに三人の御用達を加えているが、このうちに三浦屋権四郎の名前がある。御用達は大名家の財政運用に深く関与するほか、主として役割を期待されるのは財政難を打開するための調達金および献納金を拠出することにあつた。片倉氏配下にあつて士分格を得た渡辺家と同様に、見返りとしては武士（家臣）の待遇や年貢米の払い下げを受けるなどの特権が付与されている。

長谷川吉郎治からの書状

山形商人一一家のうち、最も頻繁に書状が送られていたのは長谷川吉郎治からであつた。江戸時代の長谷川家に関しては岩田浩太郎氏によって詳しく経営分析が進められており、同家が手掛けた紅花取引の実態が解明されたのみならず、全国に広がる商業的諸関係のありようが明らかにされている（岩田二〇〇八）。また、岩田氏の論考には、長谷川家と白石の石津屋重郎（十郎）左衛門が関係していることも指摘されており、山形と白石の関係を読み解くうえでも興味深い。

【W6―20―79】

（端裏） 渡部本家様

一筆啓上仕候、残暑退兼候処 御尊店様益御勇健ニ可被遊御座候、珍重御儀ニ奉存候、拙店も無事罷在申候、乍憚御休意思召可被成候
一残金之儀、別紙ニ差引書入封差上候間、御引合御都合被成下候而、使孫右衛門方へ無御氣遣ひ御渡し被成下候様奉願上候

一当春仕入木綿古手も追々荷着入ニ相成候間、不相変御注文被成下候様
奉願上候、御案内之通、上方表も高直之仕入ニ御座候得共、何分出情
相働差上候間、宜敷御承引可被下候、委細孫右衛門伺上ヲ以可申上候
間、宜敷御聞取可被成下候、先ハ右之段申上度如此御座候、恐々謹言
〔元治元年〕八月三日
長谷川吉郎治

渡辺儀藏様
御店中様

長谷川からの書状では、ここで登場する孫右衛門なる者が渡辺屋へ出
向いて商談をしていることがわかる。右の史料では伝達事項が二点あ
り、最初にはこれまでの残金（渡辺屋が長谷川に支払うべき商品代金）
の勘定を別紙にて届けているので、確認したうえで使の孫右衛門へ渡し
てほしいと記されている。後半部分は、古手（古着）の注文をぜひお願
いしたいとの売り込みであった。この年の春に仕入れを決めていた木綿
古手がそろそろ山形に到着するためだが、この商品は上方からもたらさ
れることを示唆している。上方でも古手の仕入値段は高騰しているが、
販売価格は安くできるように努力するので（何分出情相働差上候間）、よ
ろしくご検討いただきたい旨を重ねて伝えている。また、詳しくは孫右
衛門が白石に行った際に申し上げるとも付け加えた。

三浦屋権四郎からの書状

長谷川家と並んで渡辺家文書に多く伝来しているのは、三浦屋権四郎
からの書状である。次の史料は幕末期のものである。

〔W6―37―59〕

（端裏）〇様

一筆啓上仕候、暖和之砌ニ御座候処、先以 御尊家様益々御勇健被遊御
座珍重之御義奉存候、随而当下店無異罷在申候間、乍恐御休意思召被
遊可被下候

一毎度御引立ヲ以御品切ものにて右被仰付千万々々忝仕合奉存候、別紙
之通直々極々出情奉差上候間、宜敷御落手被遊被下候、被仰聞内唐
薄染出来不申さよう申上候、未夕荷着不仕、誠ニ乍残念此度間似合兼
申候、後便無相違差上可申候間、暫時御猶予被成下度奉願上候

（中略）

一古手之義、入割被仰聞誠ニ奉恐入候得者、兼而御案内之通一統相場此
程下店にて者極々薄口せんにて差上、当所宜直段より式、三分方相働
き奉差上候義御座候、直引之義者迎茂相成兼候甚々当惑仕候、依而是
非ト被仰聞候無扱奉存候故、品ものにて御引請申より外無之（中略）
何卒下店丈ケ思召御勘弁ヲ以右様御取執之程一入奉願上候（中略）実
以多分口せん御貫ひ申上候義なれハ如何様可仕候得共、前文仕合乍恐
御堅察之程一入奉願上候（以下省略）

〔慶応元年〕四月七日

三浦屋権四郎

宗吉（印）

渡辺儀藏様

豊吉様

御店中様

三浦屋の記す文面からは、前半には渡辺屋が注文した商品のうち、唐薄の染作業ができておらず、商品がまだ到着していないため、今回の発送に間に合わなかったことを告げている。注目すべきは後半の古手取引についてであろう。両者の間で古手の売買がおこなわれていたが、三浦屋の言い分からすると、①三浦屋は極めて安い口銭(手数料)で商品(古手)を送っており、山形の相場価格より安く渡辺屋に提供しているためこれ以上の値引きはできない、②実際のところたくさん口銭をもらっているならば何とか値引きをできるが、前文のような事情で難しいことを理解していただきたい、といった話であった。このような駆け引きがいづもおこなわれていたわけではないが、商人同士の生々しい交渉過程が垣間見える。

山形との関係は、太物や古手などを渡辺屋が仕入れているほか、白石からは塩や砂糖が送られていた。とくに三浦屋は、頻繁に山形の諸相場について情報を送ってきており、商人同士の緊密な情報交換が確認できる。

【参考文献】

- ・『山形県史』第三卷(近世編下)、山形県、一九八七年。
- ・『山形風流松木枕・山形雑記・山形石ひろい』(山形市史資料第六四号)、山形市史編集委員会、一九八二年。
- ・岩田浩太郎「山形長谷川家の商業活動―奥羽の商都―の巨大紅花商人―」(『山形大学歴史・地理・人類学論集』第九号、二〇〇八年)



W6—19—56

Ⅱ 目 録

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W6 18	1				質場方諸切手入(袋、自園精製 豊田園の袋を再利用)	(年月日未詳)	質屋儀藏		袋	破損あり
W6 18	2				覚(小半挂四拾巻など指上候間、此ものへ質上候様願い上げにつき)	(嘉永元年)五月廿三日	鈴木屋忠兵衛	渡部屋義藏様	状	
W6 18	3				覚(手形五切買、紙布壹反式丈六尺につき)	未(弘化4年)ノ九月廿八日			状	
W6 18	4				(書状、品物手形改め、此者に御渡し下さるべく候につき)	(嘉永元年)八月四日	畑中徳次(印)	渡辺儀藏様	状	前欠
W6 18	5				口上(手形分を此ものに御渡し成し下されたぐにつき)	(嘉永元年)十一月廿五日	()十郎	中町二而・しち屋義藏様	状	破損甚大
W6 18	6				覚(先日紙布御預り、かや壹張此者に相渡し候様下されたぐにつき)	(嘉永元年)六月十二日	高橋敬左衛門(印)	中町・渡部儀藏様	状	
W6 18	7				(書状、金壹切半にて女帯式筋頼み候などにつき)	(嘉永元年)六月三日	本町・栄藏	渡部屋義藏様	状	破損甚大
W6 18	8				覚(五月十六日入金の件、只今御出下さるべく候につき)	(嘉永元年)六月十日	源三郎	渡部屋様	状	破損あり
W6 18	9				(覚、代金足し候様御頼み下さるべく候につき)	(嘉永元年)六月十一日	高橋敬左衛門	渡部儀藏様	状	破損甚大
W6 18	10				(覚、手形紛失のため此ものへ御渡し下さるべく候につき)	(嘉永元年)六月五日	今岐・伊三郎	中町・渡部屋義藏様	状	
W6 18	11				(覚、高薄地三反御引受下されたぐ、御手かた九切御かし願いにつき)	(嘉永元年)六月廿七日	久左衛門内	渡部甚藏様	状	
W6 18	12				口上(此品へ銭壹貫六百文御かし下されたぐ、あるいは五百文成りとも願いにつき)	(嘉永元年)六月四日	武縁寺	渡部御本家様	状	
W6 18	13				(覚、今少し出しかかりに相成、一両日延長願いにつき)	(嘉永元年)六月七日	菅野屋留治	渡部屋旦那様	状	
W6 18	14				覚(こんのむちり・あわせメ武器品代金壹切、買い渡し延引御渡し成し下されたぐにつき)	(嘉永元年)十一月一日	長町・助治、同・文治	しちや儀藏様	状	
W6 18	15				口上(嶋ゆかた代銭壹貫五百文につき)	(嘉永元年)	中町・仁兵衛(印)	中町・儀藏様	状	
W6 18	16				覚(なつ物七拾品にて御かし下されたぐ候につき)	(嘉永元年)六月十二日	本町・喜助(印)	中町・渡邊屋様	状	
W6 18	17				(書状、只今入用のため何卒此人へ金貳朱御渡し下されたぐ候につき)	(嘉永元年)五月廿八日	御城ノ・栄吉(印)	中町(二而)・(渡部)儀藏様	状	
W6 18	18				(覚、枡壹枚・同はんでん壹枚にて金壹切御かし下されたぐ候につき)	(嘉永元年)六月六日	湯村源八郎	渡部義藏様	状	
W6 18	19				口上(上着壹枚・太織男帯壹本にて貸銭壹貫八百文、手形紛失のため御断り申上候につき)	申(嘉永元年)ノ七月十四日	千葉屋順吉(印)	質屋義藏殿	状	
W6 18	20				口上(うす色ノもも引代銭六百文、廿八日に御渡し下されたぐにつき)	(嘉永元年)五月七日	本町・栄藏	中町・しちや義藏様	状	
W6 18	21				(書状、金三両御かし下されたぐ候につき)	(嘉永元年・月未詳)八日	平兵衛(印)、<math>\text{カク}>大畑屋)	中町・しちや義藏様	状	
W6 18	22				(書状、金七両おかし下さるべく候につき)	(嘉永元年)	もかみや(印)	○サマ	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 18	23				(覚、長町平兵衛名前にて借り置き候金巻切巻朱受け方致し候につき)	(嘉永元年)六月初日	湯村源八郎	渡辺屋儀藏殿	状	
W6 18	24				口上(寶物元利共に御受取御渡し下さるべく候につき)	(嘉永元年)八月十八日	渡辺屋平八(印)	渡部屋庄奈様	状	
W6 18	25				(書状、利足の内八百文指遣候間、御受取下されたるにつき)	(嘉永元年)七月廿六日	みのや守之介	渡辺義藏様	状	
W6 18	26				口上(四品何分御無心様御取替下されたるにつき)	(嘉永元年)五月廿四日	短ヶ町・居掛り <small>の</small> ・島清吉	しちや義藏様	状	
W6 18	27				口上(地金銀巻枚にて此者に御渡し下さるべく候につき)	(嘉永元年)五月廿三日	三沢や清藏	中町・しちや義藏様	状	
W6 18	28				(書状、御願み置き候品、手形紛失につき)	(嘉永元年)極月廿一日	新町・善八	しちや・渡部屋義藏様	状	
W6 18	29				口上(格子嶋古絵巻ツ指上候間、何卒御手形六枚御貸し下されたるにつき)	(嘉永元年)五月廿三日	新町・善八	上	状	
W6 18	30				口上(右三品御氣遣いにより、金子御かし下されたる願い上げ候につき)	(嘉永元年)十二月十五日	新町・善八	しちや儀藏様	状	
W6 18	31				覚(ゆかた巻枚代銭巻貫三百五十文、手形紛失につき)	(嘉永元年)六月二日	短ヶ町・久藏(印)	しち屋様	状	前欠
W6 18	32				口演(右ふたしな、御手形六切御かし成し下されたるにつき)	(嘉永元年)四月七日	儀兵衛	渡辺様	状	
W6 18	33				(書状、品物御預りのため金札御渡し下されたるにつき)	(嘉永元年)五月廿七日	勝之助	渡邊庄松様	状	
W6 18	34				おほへ(かや巻はり代巻貫文手形ふんしつ仕候間、此人へ御渡し下されたる願い上げ候につき)	申(嘉永元年)ノ五月廿九日	安兵衛	渡部や様	状	
W6 18	35				口上(俵吉御預りの品物、私方ニ而始末仕候につき)	(嘉永元年)五月廿九日	本町・栄藏(印)	甚藏様	状	
W6 18	36				口上(格子縮男袴、手形紛失仕候、何卒御渡し成し下されたるにつき)	(嘉永元年)五月廿七日	本町・栄藏(印)	しちや義藏様	状	破損あり
W6 18	37				口上(金巻分御かし下されたるにつき)	(嘉永元年)五月十日	武藏兵衛	渡部屋御本宅	状	
W6 18	38				入記(破物膳・重箱・砂鉢など御預り成し下されたる願上候につき)	(嘉永元年)四月六日	儀兵衛	渡邊庄松様	状	
W6 18	39				(書状、弘化四年八月十五日すき中かたつきのはかた巻まへ代巻貫文ニ御あつかり、此者へ御わたし下され候につき)	(嘉永元年)四月七日	鷹巣村・駒藏	わたなへや義藏様	状	
W6 18	40				(書状、金四面借仕りたく、此者へ成し下されたる願い、上げ候につき)	(弘化5年)二月廿七日	菅野屋留治(印、 <small><small>カ</small>+>奥州・白石・本町・菅野屋)</small>	渡部様	状	
W6 18	41				覚(大しま風呂敷巻枚代四百文手形紛失仕候間、此者さし上申候、御渡し成られたる願上候につき)	申(嘉永元年)ノ三月廿二日	栄藏	中町・渡邊儀藏様	状	
W6 18	42				覚(すぬいゆかた巻反代銭四百文書上)	(弘化5年)二月廿九日	文七	しちや・渡庄様	状	
W6 18	43				口上(晩方まで八百文御貸し下されたる願い、上げ候につき)	(嘉永元年)極月十九日	新町・善八	中町・しちや儀藏様	状	破損あり
W6 18	44				(書状、先月中持参の品へ正金仕置候処、また御貸し下されたる願い上げ候につき)	(弘化5年)二月十六日	千葉屋順吉	渡邊屋庄松様	状	破損あり
W6 18	45				(覚、巻張代銭八百文など書上)	(嘉永元年)	たまり屋方		状	
W6 18	46				覚(金式切指上候間、御請取手形御渡し成し下されたるにつき)	(嘉永元年)五月廿六日	本町・源三郎	渡邊屋様	状	破損あり

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 18	47				覚(先月中質物御預申候紙布元利御渡しにつき)	申(嘉永元年)之三月朔日	短町・平兵衛(印)	中町・甚藏様	状	
W6 18	48				口上(金六切御かし下されたく候につき)	(弘化5年)正月七日	廣しまや		状	後欠
W6 18	49				口上(金壹両にて貸し置き候品物さし上げにつき)	(弘化5年)二月廿四日	丸生店	○印買場様	状	破損あり
W6 18	50				(覚、御蔵米式俵御預りのため金式切半御かし下さるべく候につき)	(弘化5年)正月元日	古鍛冶町・湯村源八郎(印)	渡部儀藏殿	状	
W6 18	51				口上(右品にて銭式貫文御かし下されたく願ひ上げ候につき)	(弘化5年)正月八日	本町・小の屋源右衛門	中町・しちや儀藏様	状	
W6 18	52				口演(御手形六枚御貸し下されたくにつき)	(弘化5年)二月二日	善八	しちや・■大後六様	状	破損あり
W6 18	53				口上(御預りの式品へ銭壹貫式百文つづ御かし下されたく願ひ上げ候につき)	(嘉永元年)三月十日	高のす<三>村・駒藏	中町・渡邊や儀藏様	状	
W6 18	54				口上(紛失の地かね八百文の手形、見出し候につき)	(嘉永元年)三月	長町・順七郎(印)	質屋義藏様	状	
W6 18	55				(覚、まくわ・三本くわなど紛失の由申上候につき)	(嘉永元年・月末計)十六日	深谷村・平沼屋		状	破損甚大
W6 18	56				(書状、二月廿五日頃御預りの品、紛失仕候につき)	(嘉永元年)三月六日	中町・伊三郎	中町・渡邊屋様	状	前欠カ
W6 18	57				口上(去年中、刀壹腰指し上げ正金六切借用につき)	(弘化5年)二月十二日	大内屋五一良	御本家・渡部義藏様	状	
W6 18	58				口上(薬式包・脇さし壹腰御預け、金子借用の利息につき)	(嘉永元年)四月十一日	長町・清左衛門(印)	渡部や庄松様、同甚藏様	状	
W6 18	59				(覚、代銭壹貫文指し上げ候間、一昨日御預けの古あわせ御渡し下されたく候につき)	(嘉永元年)四月廿三日	栄藏	わたなへ様	状	(木札)
W6 18	60				口上(しまゆかた・形付ゆかたの手形紛失いたし候間、御渡し下さるべく候につき)	(嘉永元年)四月廿二日	湯村源八郎(印)	渡部屋甚藏殿	状	
W6 18	61				(書状、当月十八、九日頃代銀メ八百匁借用の手形紛失のため御渡し下さるべく候につき)	(弘化5年)二月廿九日	北屋真	渡邊様	状	
W6 18	62				(書状、女帯など式品代金壹切、および元利共に差上申候につき)	(弘化5年)正月廿六日	高のす<三>村・駒藏(印)	中町・渡邊屋儀藏様	状	2紙点
W6 18	63				口上(代銭九百式文および利分まで指し上げ候につき)	(弘化5年)正月十一日	長町・栄藏、本町・儀吉内より	中町・義藏様	状	
W6 18	64				(書状、御相談の品物直々御渡し下されたくにつき)	申(弘化5年)二月十六日	短ヶ町・貞治	中町・渡部正松様	状	
W6 18	65				(書状、御預り置申候鉄四俵之内、此ものへ壹俵御渡し下されたく候につき)	(嘉永元年)三月廿七日	宮城源右衛門	渡部正松様	状	
W6 18	66				質物受方證文之事(私品物買取候につき)	(嘉永元年)三月十八日	大畑屋源藏(印、中町)	渡邊義藏殿	状	
W6 18	67				覚(白筵式丸など指上候間、金子御見合候につき)	(弘化5年)二月十七日	大畑屋平兵衛	渡部屋義藏様、質屋組頭様	状	
W6 18	68				覚(金式両壹歩借用のため御蔵米六俵御預いたし候につき)	弘化五年申二月	本郷預人・直吉(印)、同村請負・才藤庄吉(印)	渡部屋儀左衛門殿	状	
W6 18	69				(書状、わた八へ質にて金子御かし下されたく候につき)	(弘化5年)二月十二日	栄藏(印)	義藏様	状	
W6 18	70				(覚、わた八二ツ代金三分など書上)	(嘉永元年)			状	
W6 18	71				覚(式歩金・文金・四文銭・ネリ錢メ金九切御預り依頼につき)	(弘化5年)正月廿九日	菅野屋留治	渡部屋様	状	
W6 18	72				(覚、白ち・み三反・こし帯五十八本など諸色代金式両勘定につき)	(嘉永元年)	鈴木や太平(印)		状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6	18	73			覚(ゆかた代銭七百文、此者へ御わたし下され候につき)	(嘉永元年)十二月廿二日	本町・三五郎	七や<ヤ>・わたなべさま	状	
W6	18	74			(書状、此者へ品物御渡し下され候につき)	(弘化5年)正月十六日	三町・内々	渡邊義藏様	状	
W6	18	75			覚(碗質入金式両、此者に御貸し渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)四月十一日	萬源(印、<1>ヤ大>仙台領・白石町)	庄森様	状	
W6	18	76			覚(此もの分元利御受けの上、質物御渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)四月十日	村上代治郎	渡部正松様	状	
W6	18	77			覚(上杉原三十帖など質入にてメ金四十壹切七分五リ(十両)御かし下され候につき)	(嘉永元年)	短町々	渡部様	状	
W6	18	78			(覚、別紙質札のうち半紙厚手廿帖入など此度限り諸勘定にて御代替下さるべく候につき)	(嘉永元年)五月廿三日	長町・清左衛門(印)	中町・義藏様	状	
W6	18	79			(覚、借入金拾切・利銭式百文返済につき)	(嘉永元年)四月十八日	長町	中町・義藏様	状	
W6	18	80			口上(当月十五日しちぢ御頼み、この手形なくし、此者へ御渡し成し下されたく候につき)	(嘉永元年)四月廿五日	勘藏(印)	義藏様	状	
W6	18	81			(書状、昨日願上候菅河の段、今迄切半貸増依頼につき)	(嘉永元年・月末詳)八日	荒町々	渡邊様	状	
W6	18	82			(書状、利足の内へ金式朱御請取成し下されたくにつき)	(嘉永元年)四月二日	菅野屋留治	渡部屋旦那様	状	
W6	18	83			(書状、去極月廿三日代銭四貫文借用の手形、此人へ御渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)三月九日	長町々・千葉順六(印)	中町・渡邊義藏様	状	
W6	18	84			口上(銀指壹本質入金銀五百文、此人へ御渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)九月十二日	亘り町・栄三郎	渡部屋様	状	
W6	18	85			覚(質入代銭壹貫文、此者へ御渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)四月七日	山中文治	しちや義藏様	状	
W6	18	86			(覚、森合村百性圓藏の品物御預り下さるべく候につき)	(嘉永元年・月末詳)廿七日	(印、<1>ヤ>奥州・仙臺・白石中町・穀問屋・生酒屋勇次郎)	しちや甚藏様	状	
W6	18	87			(覚、半天壹枚など代銭貳貫八百文、そのうち壹貫文さし上にて半天ぬき受け仕りたく候につき)	(弘化5年)二月廿八日	三五郎	しちや様	状	
W6	18	88			覚(品物を此者に御渡し成し下されたくにつき)	申(弘化5年)ノ正月十一日	長町・八五郎(印)	中町・わたなべ儀藏様	状	
W6	18	89			おほへ(ふとん綿入壹つ・上田嶋船入半てん壹つなどメ六品書上)	(嘉永元年)			状	
W6	18	90			賣渡し申一札之事(私所持の鉄炮、金壹両につき)	弘化四年未六月三日	小十郎家中・小関慶治(印)	質屋義藏殿	状	
W6	18	91			覚(代金および元利勘定などにつき)	申(弘化5年)正月廿九日	請取・渡部庄兵衛(印)、請主・佐藤及(印)	渡部甚藏殿	状	
W6	18	92			(書状、風呂敷壹枚、此人へ御渡し下さるべく候につき)	(嘉永元年)八月十四日	伊兵衛(印)	中町・義藏様	状	
W6	18	93			(書状、質物請け戻し申したく候などにつき)	申(嘉永元年)卯月廿四日	左馬介	渡辺義藏様	状	
W6	18	94			覚(かんさし式本代金壹分勘定につき)	(嘉永元年)七月廿四日	山田彦四郎		状	
W6	18	95			(書状、拾八品指上代金拾両、此者へ御渡し願ひ上げ候につき)	(嘉永元年)七月廿一日	なら屋喜六	渡部義藏様、御店中様	状	破損あり
W6	18	96			(書状、金子相出し請け戻し願ひにつき)	(嘉永元年)七月十五日	三井左馬介	渡辺義藏様	状	
W6	18	97			口上(願ひ、申上候品物につき)	(弘化5年)弐月廿四日	丸生	○印御店様	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6	18	98			(書状、御渡し金子の義御勘定につき)	(嘉永元年)七月二十二日	佐川甚助(印)	中町・〇渡儀様	状	
W6	18	99			覚(金壹切半、此人へ御渡し下さるべく候につき)	(嘉永元年)	本町・栄藏	中町にて・義藏様	状	
W6	18	100			口上(男帯諸方仕りたく御座候処、此者に御渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)	本町・栄藏(印)	中町・しちや儀藏様	状	
W6	18	101			口上(金貳切半御貸し下されたく願ひ上げ候につき)	(嘉永元年)八月四日	清八	しちや儀藏様	状	
W6	18	102			覚(十切口、生糸・木綿式反など書上)	申(嘉永元年)之八月朔日	短町・平兵衛	渡部様	状	
W6	18	103			覚(布疋反取引につき)	(嘉永元年)六月廿日	丸生	〇印御店様	状	
W6	18	104			覚(金五切指上候などにつき)	(嘉永元年)六月廿四日	左藏	渡庄様	状	
W6	18	105			口上(風呂敷受方仕りたく御座候、此者に御渡し下されたく願ひ上げ候につき)	(嘉永元年)六月廿七日	本町・栄藏	中町・しちや儀藏様	状	
W6	18	106			口上(御藏表巻後、此書附引替御渡し下さるべく候につき)	(嘉永元年)六月十七日	佐川甚助(印)	〇渡様	状	
W6	18	107			口上(此巻品へ金壹切、五、六日の間御かし下さるべく候につき)	(嘉永元年)九月十二日	湯村源八郎	渡部義藏様	状	
W6	18	108			口上(此品へ金子御かし下さるべく候につき)	(嘉永元年)九月十六日	湯村源八郎	渡部義藏様	状	
W6	18	109			(書状、品物取替下さるべく、此人へ御渡し下され候につき)	(嘉永元年)九月廿一日	片城渡り<マ>・与頭・栄吉	義藏様	状	
W6	18	110			覚(此度受方仕候、拙子方ニ而請合、右品引替御渡し下されたく願ひ上げ候につき)	申(嘉永元年)九月十日	新井屋栄次郎(印、奥州・白石・長町・新井屋)	渡部儀藏様	状	破損あり
W6	18	111			(覚、春梅一枚など代銀三匁書上)	午(弘化3年)三月十五日			状	
W6	18	112			(書状、御預り申上候内、当月流に相成候分につき)	(嘉永元年)九月三日		〇しちやサマ	状	
W6	18	113			(書状、三口之処へ利足金壹分指上申候間、御取り延ばし願ひ上げ候につき)	(嘉永元年)			状	
W6	18	114			紛失物覚(ゆかた壹枚などにつき)	(嘉永元年)七月十三日	坂谷村・豊藏		状	
W6	18	115			(書状、金壹切御かし下され候様願ひにつき)	(嘉永元年)八月十九日	湯村源八郎	渡辺義藏様	状	
W6	18	116			(覚、林吉預け置き候品代銭壹貫貳百文受方仕候につき)	嘉永元年八月廿二日	本町・菅野屋留次	■(質)屋儀藏殿	状	破損あり
W6	18	117			口上(勝吉よりしち入御願ひ、手形御渡し成し下されたくにつき)	(嘉永元年)十月三日	中町・勘右衛門	中町・庄松様	状	破損あり
W6	18	118			(覚、手形御渡し成し下されたくにつき)	(嘉永元年)七月	[]村・[]	し(ちや儀藏様カ)	状	破損甚大
W6	18	119			口上(病人相出ごまり申候間、しち物持参にて金拾切御かし下されたく候につき)	(嘉永元年)七月七日	中町・徳泰	庄委様、渡辺甚藏様	状	破損あり
W6	18	120			質札失紛之事	(嘉永元年)九月廿三日	父・永藏、伊〔 〕	質屋義藏殿	状	破損あり
W6	18	121			覚(利八十文不足分御かし下されたくにつき)	(嘉永元年)九月五日	湯村源八郎	渡辺義藏様	状	
W6	18	122			覚(質物采月中御留置下されたくにつき)	(嘉永元年)九月五日	<イ>店	丸質店様	状	
W6	18	123			口上(此品物金壹切にて御預り成し下されたくにつき)	(嘉永元年)十月廿九日	大町・豊吉	本家・渡辺屋様	状	
W6	18	124			(書状、御札紛失仕候につき)	(嘉永元年)	長町・清八(印)	しちや儀藏様	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 18 125					(書状、源三郎殿持参の品物、金五両御貸し下され候につき)	(嘉永元年)十二月廿日	丸生屋	○印質場様	状	
W6 18 126					覚(あわせ巻杖代金壹切御渡し成し下されたくにつき)	(嘉永元年)十一月廿八日	長町・文治	しちや甚蔵様	状	
W6 18 127					(書状、三沢村山内殿と申す人、御氣遣い無く御かし下さるべく候につき)	(嘉永元年)十一月三日	三尾屋斐助	○渡部屋殿	状	破損あり
W6 18 128					口上(只今指上申候品、拙者方が受方相成申候間、御預り下されたくにつき)	(弘化5年)二月廿日	本町・栄蔵	本家・義蔵様	状	
W6 18 129					覚(御預りのわき差、金子式分差上候にて御渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)	長町・文治	本家・渡辺屋甚蔵様	状	
W6 18 130					(覚、わた入三品風呂敷包ニ而遣し、金壹両貳朱御かし下さるべく候につき)	(嘉永元年)十一月廿二日	丹野泰之助		状	後欠カ
W6 18 131					覚(あわせ巻つなど質入のため御手形三切御渡し成し下されたくにつき)	(嘉永元年)十一月九日	長町・光之助	中町・しちや・渡義様	状	
W6 18 132					口上(品物此者に御わたし下されたくにつき)	(嘉永元年)十月二日	伊三郎(印)	渡邊屋儀蔵様	状	
W6 18 133					口上之覚(金貳切指上のため品物御渡し成し下されたくにつき)	(嘉永元年)霜月廿四日	鍛冶町・傳七(印)	渡部屋甚蔵様	状	
W6 18 134					口上(鉄炮壹丁<マ>当座御預り成し下されたくにつき)	(嘉永元年)十一月十二日	長町・順吉	中町・質屋義蔵様	状	
W6 18 135					(書状、質入代錢三百文、此者に御渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)十月一日	文治	御本家様	状	
W6 18 136					口上(縮袷一枚、質入代金壹切余、手形紛失のため御渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)極月廿二日	長町・順吉(印)	質屋義蔵様	状	
W6 18 137					口上(正金拾両御拝借願につき)	(弘化5年)正月四日	吾のや庄吉(印、刈田・白石)	○様	状	
W6 18 138					口上(此品にて錢五百文御かし下さるべく候につき)	(嘉永元年)十月廿六日	武祿寺	渡部御本家様	状	
W6 18 139					口上(綿入壹つ質入代錢貳貫百文、手形紛失のため御渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)十二月十日	長町・順吉(印)	質屋義蔵様	状	
W6 18 140					(書状、質入代錢壹貫文御渡し成し下されたくにつき)	(嘉永元年)十一月廿日	文治	中町・御本家様	状	
W6 18 141					おほへ(質入品代錢百文にて御取替下されたくにつき)	申(弘化5年)ノ正月七日	小田屋源右衛門	渡部儀蔵様	状	
W6 18 142					覚(羽織壹枚質入代金貳朱勘定につき)	(嘉永元年)	(刷印、刈田郡白石町・質屋儀蔵)		状	破損甚大
W6 18 143					口上(布半天壹枚質入代錢七百文、此ものへ御渡し成し下さるべく候につき)	(嘉永元年)九月廿八日	長町・順吉(印)	質屋義蔵様	状	
W6 18 144					口上(股引壹枚質入代錢五百文、此ものに御わたし成し下されたくにつき)	(弘化5年)二月十二日	大町屋市次(印)	中町・義蔵様	状	
W6 18 145					(覚、質入代金壹切御渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)十月十一日	大町屋市次	中町・義蔵様	状	破損甚大
W6 18 146					口上(ふとん質入代金壹切半、此者に御渡し下さるべく候につき)	(嘉永元年)	本町・栄蔵	中町・儀蔵様	状	
W6 18 147					(書状、品物へ御取替下さるべく候につき)	(嘉永元年)九月十九日	栄吉(印)	義蔵様	状	破損甚大
W6 18 148					口上(小弁慶縮古綿入壹ツ御見合、此ものへ金子御かし下さるべく候につき)	(嘉永元年)極月十三日	長町・順吉	質屋義蔵様	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 18 149					(書状、今日金式朱指遣申候、永々御世話に相成謝し奉り候につき)	嘉永元申十二月十三日	左馬之助	義藏様	状	
W6 18 150					(覚、銭壹貫貳百文など金銭書上)	(嘉永元年)	(印、白石中町・渡部)		状	
W6 18 151					(覚、民治殿銭壹貫貳百文など金銭書上)	(嘉永元年)	(刷印、刈田郡白石町・質屋儀藏)		状	
W6 18 152					(書状、此品物へ金銭御かし下されたたくにつき)	(嘉永元年)十二月三日	千葉屋順吉	渡邊屋庄松様	状	
W6 18 153					(覚、生糸三百九匁質入代金拾五切御かし下さるべく候につき)	(嘉永元年)十一月十二日	彦助永や・惣之助		状	
W6 18 154					口上(鶴ぞぶ吹指上につき)	(嘉永元年・月末詳)十三日	庄五郎	御兄様	状	
W6 18 155					(覚、赤わん十人前、質入代銭六百文など品々御わたり下されたたくにつき)	(嘉永元年)	亘り町・栄三郎		状	破損あり、端裏に「い廿九・糸百八十八」とあり
W6 18 156					(書状、質札紛失ながら私品物に相違御座なく候につき)	申(嘉永元年)ノ十二月八日	坂谷村・伊右衛門	しち屋儀藏殿	状	破損甚大
W6 18 157					(書状、十二月廿八日入品もの、質入代金拾六切御渡し成し下されたたくにつき)	(弘化5年)正月六日	あわ屋源三郎	渡部屋庄松様	状	
W6 18 158					覚(質入代金壹切御かし下されたたくにつき)	(弘化5年)正月十六日	亘り町・栄三郎	渡部屋義藏様	状	破損甚大
W6 18 159					覚(質入代銭壹貫四百文、此者へ御渡し成し下されたたくにつき)	(弘化5年)二月五日	助藏	中町・しちや様	状	
W6 18 160					(書状、本町住居伊右衛門義、貸置参り申候につき)	(弘化5年)正月十四日	庄五郎	甚藏殿	状	
W6 18 161					口上(先刻御預けの品もの代金壹両余指上、品もの此者に御渡し下されたたくにつき)	(弘化5年)正月十四日	あわ屋源三郎	渡部屋義藏様	状	
W6 18 162					(書状、亘り町栄三郎質入の刀式腰・切羽袴など私方引取、元利御勘定御受取下さるべく候につき)	(弘化5年)正月廿六日	鈴木藤左衛門(印)	渡部儀藏様、御同性<??>儀兵衛様	状	
W6 18 163					(書状、借入金三両(中手形五十六切)返却につき)	(弘化5年)正月十二日	三木庄左衛門	渡部義藏様	状	端裏に「手形五十六切添ル」とあり
W6 18 164					口上(質入の嶋ゆかた壹枚、金式朱ト貳百文にて御渡し下されたたく候につき)	(弘化5年)二月十一日	清水小路・おなよ	渡部屋儀藏様	状	
W6 18 165					覚(目六・五十帖など質入代金四両貳歩御貸し下さるべく候につき)	(弘化5年)二月九日	短町・大畑屋平助	渡部義藏様、御店中様	状	
W6 18 166					口上(きんのかんさし質入代金壹切受合、御品御渡し下されたたく候につき)	(嘉永元年)	いしば田屋代・丈右衛門(印)	わたなへや義藏様	状	
W6 18 167					口上(去年十二月十三日御預りの品物につき)	(弘化5年)正月廿八日	中目村・与兵衛	中町・義藏様	状	破損あり
W6 18 168					覚(脇さし代金壹両など質入代金拾五切半勘定につき)	(嘉永元年・月末詳)廿日	渡義	大平殿	状	
W6 18 169					覚(衣類しふ紙包壹ツ質入手形紛失のため依頼につき)	西(嘉永2年)正月十五日	新井屋栄次(印、奥州・白石・長町)	渡部甚藏様	状	
W6 18 170					(覚、質入の半てん、右の人に御渡し下されたたくにつき)	(嘉永元年)霜月廿六日	小田屋源右衛門	渡部儀藏様、御家族中	状	
W6 18 171	1				(覚、金壹切貳朱貸入の手形紛失につき)	申(嘉永元年)ノ十二月廿八日	伊藤伊右衛門(印)	渡辺屋甚藏殿	状	
W6 18 171	2				口上(真綿一抱など質物として金式歩御かし下されたたくにつき)	(嘉永元年)十二月廿七日	長町・利藏(印)	質屋儀藏様	状	
W6 18 171	3				口上(手形紛失のため私方二而始末相立候につき)	申(嘉永元年)ノ十二月廿七日	千葉屋順吉(印)	質屋義藏様	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 18	171	4			口上(ふとん二枚を質物として金貳両御かし下されたくにつき)	(嘉永元年)正月七日	廣しまや	渡辺屋様	状	
W6 18	171	5			(書状、御家内様御歳年遊ばされ御座候間、珍重御儀につき)	(嘉永元年)			状	
W6 18	171	6			(覚、脇差受方仕るべく候につき)	(嘉永元年)			状	
W6 18	171	7			口上(去年の八月頃、忠兵衛殿御願いの品物につき)	(嘉永元年)正月六日	丸生	○印質場様	状	
W6 18	171	8			(書状、古脇など受方金三歩などにつき)	(嘉永元年)十一月廿九日	短期・鈴木屋吉兵衛(印)	渡辺御本宅・質屋御支配様中	状	
W6 18	172				覚(質物御渡し下されたくにつき)	西(嘉永2年)ノ二月六日	伊右衛門(印)	中町・渡辺屋儀蔵様	状	
W6 18	173				口上(金拾切御かし下されたくにつき)	(嘉永2年)正月廿一日	村上代治郎(印)	中町・正松様	状	
W6 18	174				覚(相預り候質物御渡し下されたくにつき)	西(嘉永2年)ノ二月四日	傳七	本家・渡辺儀蔵様	状	
W6 18	175				(覚、黒衣白五はば風呂敷、質入銭八百文札ふんしつにつき)	西(嘉永2年)ノ正月十一日	武儀兵衛(印)	渡部御本宅	状	
W6 18	176				口上(拾壹品、当月廿二日まで正金拾五切御かし成し下されたくにつき)	(嘉永2年)			状	
W6 18	177				覚(はかまだ銭壹貫文、此者に御渡し成し下されたくにつき)	(嘉永元年)十月廿八日	文治	御本家様	状	
W6 18	178				(書状、あいしもの裕代金壹切壹朱借用、此者へ御渡し下されたくにつき)	(嘉永元年)十一月廿四日	栄吉(印)	中町・儀蔵様	状	
W6 18	179				おぼへ(あや壹反代金半切御かし下さるべく候につき)	(嘉永2年)二月十四日	惣藏	渡部儀蔵様	状	
W6 18	180				(書状、脇指三腰・草羽織壹枚などにて正金五両御かし下されたくにつき)	(嘉永元年)十一月廿二日	大畑屋平治	渡部甚蔵様	状	
W6 18	181				(書状、正月御預りの品物内、金貳朱をもって御ぬき下されたく願い、上げ候につき)	(嘉永2年)二月八日	傳右衛門	たまり屋様	状	
W6 18	182				口上覚(御品物壹枚入置のところ、此者に御出し遣し下さるべく候につき)	(嘉永2年)二月廿九日	本町・箱木屋伊三郎(印)	中町・渡辺儀蔵様	状	
W6 18	183				覚(手形紛失のため私請合相立申候につき)	申(嘉永元年)十二月十二日	新井屋英次郎(印、<イ>ヲ>奥州・白石・長町・新井屋)	渡辺甚蔵様	状	
W6 18	184				口上(当月申請方の品々御座候間、御気支えなく御貸し成し下されたくにつき)	(嘉永元年)十二月十二日	長町・順吉	質屋義蔵様	状	
W6 19	1				江戸福嶋山形書状并仕切入(袋)	(天保15年)			袋	W6-19全体の袋
W6 19	2				(書状、御注文仰せ付けられ候品、品切仕候につき)	(天保14年)七月五日	加島屋吉右衛門代・喜兵衛(印、<イ>ヲ>福嶋・加嶋屋)	渡部屋義蔵様、正松様	状	
W6 19	3				(書状、御品切御用向仰せ付けられ候につき)	(天保14年)五月廿五日	長谷川源右衛門、清兵衛	渡部屋儀蔵様、庄松様、御店兼中様	状	
W6 19	4				(書状、大物仕切書失念仕候につき)	(天保14年)十一月朔日	(従桑折)吉田屋幸八、安吉	(白石中町)渡邊屋儀蔵様、庄松様、御店中様	状	
W6 19	5				(覚、○代金六切に朱など差引三歩朱余返上につき)	(天保14年)十月朔日	又五郎方	庄松様	状	
W6 19	6				覚(生染形付取合貳式反売代金貳両貳分受取につき)	(天保14年)閏九月十八日	市村屋幸兵衛(印、羽州・山形・十日町)	仙台白石・渡辺屋儀蔵様	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 19	7				(書状、唐花子拾反代銀百五拾三匁など諸色代銀メ七百拾四匁勘定、記帳成し下されたく候につき)	(天保14年)十月十八日	長谷川吉郎次	渡邊屋儀藏様、庄松様	状	包紙共
W6 19	8				寛(生染形三反代銀三拾九匁受取につき)	(天保14年)閏九月十八日	西谷清兵衛(印、羽州山形十日町)	渡部儀藏様	状	
W6 19	9				寛(嶋印五反代銀六拾三匁など諸色代銀メ百九拾六匁受取につき)	(天保14年)閏九月十八日	<ヤ>十>店(印)	渡部屋儀藏様	状	
W6 19	10				寛(真田帯壹九代銀五匁五分など諸色代金メ七匁式分式未奈受取につき)	(天保14年)閏九月十八日	近江屋權治(印)	渡部儀藏様	状	
W6 19	11				寛(地繪木軸取合六反・川越地綿取合三反メ代金三匁余請取につき)	卯(天保14年)閏九月十八日	市村屋幸兵衛(印、羽州<ヲ>徳>山形・十日町)	仙臺白石・渡辺屋儀藏様	状	
W6 19	12				寛(惣形紋り十反など諸色代銀メ貳百五匁五分御送りのところ御入帳下さるべく候につき)	う(天保14年)ノ五月十八日	加島屋吉右衛門・喜兵衛(印、福嶋<ヤ>吉>金銀不用・加嶋屋)	渡部屋儀藏様、正奈様	状	
W6 19	13				寛(極上油紙拾枚代銀八匁三分三厘上につき)	卯(天保14年)五月廿三日	なへ屋吉次郎	渡部儀藏様	状	
W6 19	14				寛(吉崎四拾反・緑葉貳拾反代金八匁壹分・六分九厘勘定につき)	(天保14年)正月十六日	長谷川源右衛門、清兵衛(印、金銀不用)	渡部屋儀藏様、庄奈様	状	
W6 19	15				(書状、兵藏様より土蔵戸前鉄四組御注文の件につき)	卯(天保14年)十月八日	か山形、長谷川吉郎治	白石・渡邊屋儀藏様	状	
W6 19	16				寛(白石行紙代錢三百八十六文受取につき)	卯(天保14年)九月二日	嶋屋佐右衛門(印)	長谷川源右衛門様	状	
W6 19	17				寛(千草拾五反など諸色代金メ七匁壹分余受取につき)	(天保14年)九月廿五日	中村屋久兵衛(印、<ヲ>三>奥州・梁川・中村屋)	渡邊屋儀藏様	状	
W6 19	18				寛(赤紙代銀十匁勘定につき)	卯(天保14年)七月	山形ノ・福嶋屋八治郎	中町・儀藏様	状	
W6 19	19				(書状、才料源吉様へ荷物武筒、飛脚便をもつて御願い、および金子拾貳匁式分にて御用向仰せ付けられ候などにつき)	(天保14年)閏(9)月廿五日	長谷川源右衛門、清兵衛(印、金銀不用)	渡部屋儀藏様、庄奈様	状	
W6 19	20				(寛、絵半紙るい・大判紙布など紙類相場価格書上)	(天保14年)			状	2匁1点
W6 19	21				寛(男五反代銀十七匁式分勘定につき)	(天保14年)九月十一日	長谷川源右衛門(印、<ヤ>三>金銀不用)	渡部屋儀藏様、庄奈様	状	
W6 19	22				寛(白地中形三反代銀三拾匁など諸色代銀貳百四拾匁壹分差上につき)	う(天保14年)ノ五月十一日	加島屋吉右衛門、喜兵衛(印、<ヤ>吉>加島屋・福島・本町)	渡部屋儀藏様、正奈様	状	
W6 19	23				寛(金印四反代銀六拾三匁など諸色代金メ七匁貳朱・百九拾貳文受取につき)	(天保14年)八月廿九日	近江屋權治(印、羽州・山形・十日町・近江屋權治・大物古着類)	渡辺屋儀藏様	状	
W6 19	24				寛(青紙代銀八匁五分など諸色代銀メ九匁式分受取につき)	(天保14年)閏九月十九日	村居清七(印、羽州・山形・十日町)	渡部庄松様	状	
W6 19	25				寛(織布代銀拾壹匁七分差上につき)	(天保14年)十月廿四日	かしまや吉右衛門、喜兵衛(印、<ヤ>吉>加島屋・福島・本町)	わたなへや儀藏様、庄松様	状	
W6 19	26				寛(赤紙代銀十匁勘定につき)	(天保14年)六月廿二日	福嶋屋彦治郎(印、<カネ>永>出羽・最上・山形・福嶋屋)	儀藏様	状	
W6 19	27				寛(菊袖三反代銀五拾三匁四分受取につき)	卯(天保14年)閏(9)月十八日	(印、羽州・山形・十日町・太物古着・岩勢屋太惣治)	仙台白石・渡辺屋儀藏様	状	
W6 19	28				寛(さらし六反代銀四拾貳匁など諸色代銀壹貫廿六匁四分勘定につき)	卯(天保14年)ノ十月十二日	加島屋吉右衛門(印、<ヤ>吉>加嶋屋・福島・本町)	渡部屋儀藏様、庄松様	状	
W6 19	29				(書状、別紙の通り直段出情御願申上、勘定の扣封人御願いにつき)	(天保14年)九月廿一日	長谷川源右衛門、清兵衛(印、<ヤ>三>金銀不用)	渡部屋儀藏様、庄奈様	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 19	30				覚(唐針拾壹疋・イ印五百枚・結紙百枚など書上)	(天保14年)十一月三日	大丸屋三藏代・熊吉	渡部屋儀藏様、庄松様、御店中様	状	
W6 19	31				覚(綿格子弁慶取合四反代銀五拾六匁など諸色代銀メ四百六拾四匁八分御入手下さるべく候につき)	辰(天保15年)ノ六月十四日	加高屋吉右衛門(印、福嶋・本町・加嶋屋)	渡部屋義藏様、庄松様、御店中様	状	
W6 19	32				覚(織布(ほか諸色)代銀貳拾三匁五分など書上)	辰(天保15年)ノ二月廿二日	か島屋吉右衛門(印、<ヤ>吉 >福嶋・本町・加嶋屋)	渡部屋義藏様、正松様	状	
W6 19	33				覚(下白五反など諸色代銀五十七匁七分御送りにつき)	辰(天保15年)ノ十二月五日	か島屋吉右衛門(印、<ヤ>吉 >福嶋・本町・加嶋屋)	渡部屋義藏様、庄松様	状	
W6 19	34	1			覚(銅代銀百二十匁など諸色代銀貳貫百三拾九匁六分五厘・七百廿文勘定につき)	辰(天保15年)ノ七月二日	か島屋吉右衛門(印、<ヤ>吉 >福嶋・本町・加嶋屋)	渡部屋義藏様、庄松様	状	
W6 19	34	2			覚(ち、み代銀三百拾七匁八分三厘など諸色代銀メ壹貫貳百拾四匁七分六厘、別紙へ差し加え勘定につき)	(天保15年)七月二日	か島屋吉右衛門(ほか2名)(印、 <ヤ>吉>福嶋・本町・加嶋屋)	渡部屋義藏様、庄松様	状	
W6 19	35				覚(三舛格子手拭貳枚・騎印白地五枚など諸色代銀四百九匁貳分貳厘受取につき)	卯(天保14年)極月十一日	吉田屋幸八(印、<ヤ>吉>奥州・伊達・桑折・吉田屋)	渡部屋儀藏様	状	
W6 19	36				仕切金(新花園三州白四拾反・新吉岡三州白貳拾反など反物八拾貳反代銀八百四拾匁五分につき)	辰(天保15年)十一月朔日	吉田屋幸八、安吉(印、<ヤ>吉 >奥州・伊達・桑折・吉田屋)	渡部屋儀藏様、庄松様、御店中様	状	
W6 19	37				仕切書覚(浪印真岡五端・静印古織組合嶋五端・鈴印イセ相弁慶五端など諸色代金壹両三分余につき)	辰(天保15年)五月十二日	吉田屋幸八、安吉(印)	渡部屋儀藏様、庄三郎様、御店中様	冊	
W6 19	38				(書状、只今下落の姿は一向御座無く、今一段引き下げ候様願上につき)	(天保15年)霜月十五日	長谷川源右衛門、清兵衛(印)	渡部屋儀藏様、庄松様、御店中様	状	
W6 19	39				覚(大内惣メ高金五拾両貳分式朱・百九拾七文受取につき)	辰(天保15年)七月十九日	吉田屋幸八(印、<ヤ>吉>奥州・伊達・桑折・吉田屋)	渡部屋儀藏様、庄松様	状	
W6 19	40				覚(花園百・吉野百・桜野六十など三百三拾壹反代金四拾八匁分勘定につき)	(天保15年)八月	長谷川源右衛門、清兵衛(印)	渡部屋儀藏様、庄松様	状	付箋あり
W6 19	41				覚(糸桜四拾反・吉崎四拾反書上)	(天保15年)五月廿二日	長谷川源右衛門	渡部屋儀藏様、庄松様	状	
W6 19	42	1			覚(糸桜四拾反・吉崎四拾反代金拾両貳分、および飛脚ちん金三分式朱など勘定につき)	(天保15年)五月廿五日	長谷川源右衛門	渡部屋儀藏様、庄松様	状	
W6 19	42	2			覚(奥州行太物貳箇駄賃金三分式朱・九拾三文受取につき)	(天保15年)五月廿五日	嶋屋佐右衛門(印)	長谷川源右衛門様	状	
W6 19	43				太物之仕切書(会津壹反・納戸納壹反など諸色代銀貳貫貳百七匁五分七厘につき)	辰(天保15年)十一月廿一日	吉田屋幸八、安吉(印)	渡部屋儀藏様、庄松様、御店中様	冊	
W6 19	44				太物之仕切(河内相弁慶五反・薄朝摩五反など諸色代銀壹貫貳百六拾五匁七分につき)	天保十五年辰八月吉日 (廿九日)	長谷川吉郎治	渡邊屋庄松殿	冊	
W6 19	45				覚(結城拾反・納戸無地壹疋など諸色代銀壹貫四百九拾八匁九分請取につき)	卯(天保14年)閏九月十八日	長谷川吉郎次(印、羽州・山形・十日町・長谷川)	渡邊屋正奈様	状	
W6 19	46				仕切金(新花園貳十反・新糸桜四十反など反物百貳反代銀九百五拾三匁三分七厘につき)	辰(天保15年)四月十八日	吉田屋幸八(印、<ヤ>吉>奥州・伊達・桑折・吉田屋)	渡邊屋儀藏様、御店中様	状	
W6 19	47				辰年仕切覚(夏結城貳反・花園貳反など諸色代銀壹貫六百拾六匁三分五厘につき)	辰(天保15年)ノ五月十一日	か島屋吉右衛門(印、<ヤ>吉 >福嶋・本町・加嶋屋)	渡部屋儀藏様、庄松様	冊	
W6 19	48				(書状、浅キ巻五反・下白十反代銀メ七拾八匁御引合御帳合下さるべく候につき)	(天保15年)二月十三日	か島屋吉右衛門、喜兵衛(印、 <ヤ>吉>福嶋・本町・加嶋屋)	渡部屋儀藏様、正松様	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 19	49				(書状、不足金早々御送金の程願上などにつき)	(天保15年)八月廿三日	長谷川源右衛門、清兵衛(印)	渡部屋儀藏様、庄松様、御店兼中様	状	
W6 19	50				(書状、此度金子五両相添、別紙の通り直致御願申上候につき)	(天保15年)九月八日	長谷川源右衛門、清兵衛(印)	渡部屋儀藏様、庄松様、参人々御中	状	
W6 19	51				(書状、品切ばかりの御注文御礼、着候節は御改め御入手下さるべく候につき)	(天保15年)五月十一日	か島屋吉右衛門、喜兵衛(印)、 <ヤ吉>福嶋・本町・加嶋屋)	渡部屋儀藏様、正奈様	状	
W6 19	52	1			(書状、春中よりの調書に相違などあれば当廿三日着にて御送り下され候などにつき)	(弘化元年)十二月十七日	か嶋屋吉右衛門、源兵衛(印)	渡部屋儀兵衛様、庄松様	状	W6-19-52-1・2は一括
W6 19	52	2			調書(太もの代銀貳貫三拾七匁六分三厘勘定につき)	(弘化元年)十二月十七日	か嶋屋吉右衛門、源兵衛(印)	渡部屋儀藏様、庄松様	状	
W6 19	53				(書状、注作品品切のため有合品御送り申上候につき)	(天保15年)五月十八日	か嶋屋吉右衛門代・喜兵衛(印)、 <ヤ吉>福嶋・本町・加嶋屋)	渡部屋義藏様、正奈様	状	
W6 19	54	1			寛(筋紙四十帖、御役紙として白石商人儀藏に売り渡し候につき)	とら(天保13年)ノ十二月十六日	大町・大丸屋三藏(印)	御仲御会所	状	W6-19-54-1・3は一括
W6 19	54	2			(証文、筋紙四拾帖異儀無く、また仙台仲会所へ相納むべく候につき)	同年(天保13年)十二月十七日	仲会所(印)		状	奥書：仲口改所・進兵衛(印)
W6 19	54	3			(証文、筋紙四拾帖見届候につき)	同年(天保13年)同月(12月)	各取南方長町御刺肝入・与八郎(印)、同候断・恵藏(印)		状	
W6 19	55				(書状、御品切御注文のため代金七両貳分御入封下され候につき)	(天保15年)正月十六日	長谷川源右衛門、清兵衛(印)	渡部屋儀藏様、庄奈様	状	
W6 19	56				寛(大物メ高金三拾貳両三分など諸色代金四拾八両貳分式朱ト三百拾匁匁三分四厘・式百五拾匁文勘定につき)	辰(天保15年)七月三日	吉田屋幸八(印)、<ヤ吉>奥州・伊達・桑折・吉田屋)	渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6 19	57				寛(しなな代銀三貫四百七拾五文受取につき)	(天保15年)八月廿九日	山口屋利助(印、山形・七日町)	白石・儀藏様	状	
W6 19	58				寛(金三歩式朱御まけ差し申され候代金受取につき)	(天保14年)閏九月廿三日	鑄物師・金十郎(印、羽州・最上・山形)	十日町・長谷川吉郎治様	状	
W6 19	59				口上(仕切代金御渡し成し下されたく候につき)	(天保15年)十一月朔日	石津屋兵藏(印)	義藏様	状	
W6 19	60				寛(林細しほり代銀七拾匁など諸色代銀メ百九拾匁差上につき)	(天保15年)四月十三日	吉田屋幸八(印)、<ヤ吉>奥州・伊達・桑折・吉田屋)	渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6 19	61				寛(座五反代銀十五匁六分など諸色代銀メ壹貫貳百六十三匁八分壹厘勘定につき)	(天保15年)十月廿五日	長谷川源右衛門(印)、清兵衛	渡部屋儀藏様、庄松様、御店兼中様	状	
W6 19	62				寛(惣形絞り取合三反代銀三拾四匁六分など諸色代銀メ百四拾七匁六分請取につき)	辰(天保15年)十一月廿一日	五嶋屋半右衛門(印、福嶋・中町)	渡部屋儀藏様、正松様	状	
W6 19	63				寛(此度御送り金四拾五両貳分壹朱の内訳書上)	(天保15年)八月	長・清兵衛	渡・儀藏様、庄松様	状	
W6 19	64				寛(寅ち八七代銀拾壹貫八百匁など荷物代銀受取につき)	辰(天保15年)八月廿八日	村居・清七(印)、<ヤ万>山形・十日町)	渡部屋儀藏様	状	
W6 19	65				寛(店五反代銀八匁五分など諸色代銀メ六百六拾匁五分勘定につき)	(天保14年)閏九月廿五日	長谷川源右衛門、清兵衛(印)、<ヤ三>金銀不用)	渡部屋儀藏様、庄奈様、御店兼中様	状	
W6 19	66				寛(嶋拾貳反代銀貳百七拾三匁受取につき)	(天保15年)十月六日	新井屋伊平治	渡邊屋儀藏様、庄松様	状	
W6 19	67	1			寛(千草七反代銀八拾六匁壹分など諸色代銀メ四百八拾匁九分受取につき)	卯(天保14年)極月廿八日	吉田屋幸八(印)、<ヤ吉>奥州・伊達・桑折・吉田屋)	渡邊屋儀藏様	状	W6-19-67-1・2は一括

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 19	67	2			覚(半染五反代銀四十七匁五分受取につき)	(天保14年)十二月廿八日	中村屋久兵衛(印、<ヤル三>奥羽・梁川・中村屋)	渡邊儀藏様	状	
W6 19	68				覚(閏九月十九日式五かへ金四両式分余受取につき)	卯(天保14年)十月十七日	村居清七代・喜八(印)	白石・渡辺儀藏様	状	
W6 19	69				覚(生羽かたぎ包代金壹分式朱・百八拾文受取につき)	卯(天保14年)閏(9)月十八日	(印、<大上>羽州・山形・十日町・呉服麻物・大物古着・岩瀬屋太惣治)	渡辺屋儀藏様	状	
W6 19	70				覚(金六両壹分・壹匁六分三厘、内金貳分請取につき)	(天保15年)十一月十五日	長谷川源右衛門(印)	渡部屋儀藏様、庄松様	状	
W6 19	71				覚(白地大かた拾反など諸色代金拾五両貳分ト八匁五分三厘勘定につき)	(天保15年)三月十四日	長谷川源右衛門(印、<ヤ三>金銀不用)	渡部屋儀藏様、庄松様	状	
W6 19	72				覚(大白地大かた拾反など諸色代金貳拾七両ト四匁九分八厘勘定につき)	(天保15年)九月	長谷川源右衛門、清兵衛	渡部屋儀藏様、庄松様	状	
W6 19	73				(書状、先達御品切御注文仰せ付けられ千万有り難く早速取揃、京屋便りヲもって送付につき)	(天保15年)十一月五日	(〆江戸)長谷川源右衛門、清兵衛(印、<ヤ三>金銀不用)	(奥州白石)渡部屋儀藏様、庄松様	状	包紙共
W6 19	74				覚(寅と九〇など諸色代銀拾壹匁八百文勘定につき)	(天保15年)八月晦日	(従山形)村居清七(印、<ヤ万>山形・十日町)	(仙臺白石・渡辺屋儀藏様)渡部屋儀藏様	状	包紙共
W6 19	75				(書状、源吉様御荷物無事、代金六両壹分式朱請取・入帳につき)	(天保15年)十月廿五日	長谷川源右衛門、清兵衛(印、<ヤ三>金銀不用)	渡部屋儀藏様、庄松様、御店衆中様	状	
W6 19	76				(書状、飛脚便りをさし上げ申候、三浦三反など諸品御入手下さるべく候につき)	(天保15年)六月十八日	加島屋吉右衛門	渡部屋儀藏様、庄松様	状	
W6 19	77				(書状、組花拾反など諸色代銀壹匁七百九拾九匁七分勘定、品物差上につき)	(天保15年)九月三日	(〆山形)長谷川吉郎治	(白石)渡辺屋庄松様	状	
W6 20	1				(書状、要物書の品々は下店で御入手遊ばされ候につき)	(元治元年)八月十四日	長谷川次郎吉、吉助(印)	渡部屋儀藏様、忠兵衛様	状	こより共
W6 20	2				(書状、白紙布類を別紙の通り御送り成し下され、無事入手などにつき)	(元治元年)三月十一日	ならや作兵衛、長三郎	渡辺屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 20	3				(書状、仕切の通り御送金成し下され入帳仕候などにつき)	(文久4年)正月廿一日	川喜田久太夫、久兵衛(印、<ヒ川>大傳馬壹、金銀不用)	渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様	状	
W6 20	4				(書状、送付荷物のうち箱壹箇都合などにつき)	(文久3年)十二月廿四日	同(渡辺)儀藏	白石町・渡辺豊吉殿	状	
W6 20	5				(書状、今日売上の件、および何分用心、專一に存じ候などにつき)	(元治元年)九月廿九日	同(渡辺)・甚兵衛(儀藏)	白石中町・渡辺屋豊吉殿	状	端裏に「儀藏」とあるが「書中の差出人は「甚兵衛」
W6 20	6				(書状、先日要物相頼み置き、豊吉へ御申付下され候などにつき)	(元治元年)二月廿一日	甚兵衛	御伯父様、豊吉殿	状	
W6 20	7				(書状、金五十五両それぞれ御渡し申上候などにつき)	(元治元年)八月十一日	甚兵衛	御叔父様	状	
W6 20	8				(書状、昨夕御当番のため仰せ上げられ候条々承知仕候などにつき)	(元治元年)二月廿六日	甚兵衛	御伯父様(まか2名)	状	
W6 20	9				(書状、先日紙布御願ひ申上、御承引のため直段の義も申上候などにつき)	(文久2年)十二月廿五日	泉屋孫助	渡辺屋儀藏様	状	
W6 20	10				(書状、米など取引につき)	(元治元年)四月七日		渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 20	11				(書状、御手元ニ而御任入御働き、五十反ばかり御遣し下さるべく候御願ひにつき)	(元治元年)五月十五日	泉屋孫助	渡辺屋儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6	20	12				覚(金拾六両五朱請取・入帳仕候、および將軍様も京都御用済、大坂表々蒸気船二而御下り御帰城遊ばされ候などにつき)	(元治元年)五月廿五日	長山三・豊七(印、<ヤ>三>大傳馬・金銀不用)	〇儀助様	状	
W6	20	13				(書状、旧冬中孫右衛門をもって御願申上候後、正月中二沢山御渡なし下され候などにつき)	(文久4年)正月十三日	長谷川吉郎治(印、<ヤ>七長>)	渡辺儀藏様、御店中様	状	
W6	20	14				(書状、別紙直段書上、代金百匁御入帳下さるべく候につき)	(文久4年)二月十五日	さのや久右衛門、直平	渡辺屋儀藏様、豊吉様	状	
W6	20	15				覚(鳴ち、み十反など御注文のため直段此ものへ御渡し下されたくにつき)	(文久4年)二月十五日	松屋長次郎(印、大町・松屋)、安兵衛	渡部屋義藏様	状	
W6	20	16				(書状、兼々御注文の品大いに延引仕候などにつき)	(元治元年)五月廿九日	長谷川次郎吉(印、大傳馬町・金銀不用)	渡部や儀藏様、豊吉様	状	
W6	20	17				(書状、御注文仰せ付けられ御札、別紙仕切の通り御御送り申候などにつき)	(元治元年)五月廿四日	松屋宗吉、助七(印、北越・今町・松屋)	渡辺儀藏様、御店衆中様	状	
W6	20	18				(書状、誠にもって国元高直のため金子を福田光白屋様方へ御送り下されたく候などにつき)	(元治元年)六月十日	笹や友八(会津友八)(印、会津・若松・大町・笹友)	渡部儀藏様、半兵衛様、御店衆中様	状	
W6	20	19				(書状、此度支配役退役仕り、跡役は文吉などにつき)	(元治元年)二月廿九日	佐野屋丹三郎(ほか2名)	(渡部サマ) 渡辺屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6	20	20				(書状、拙店へ上下地注文、貴店様へも申し出され候由などにつき)	(元治元年・月末詳)廿二日	義藏	御本家様	状	
W6	20	21				(書状、先便中紙布縮の類、極急ぎの品注文申上候所、早く御出来の分ばかり別紙の通り御願ひ申し上げたくにつき)	(文久4年)二月朔日	ならや作兵衛、辰三郎	渡辺屋儀藏様、豊吉様	状	
W6	20	22				注文覚(紺地縮紙布三拾反などにつき)	(文久4年)二月初日	奈良屋作兵衛、辰三郎	渡辺屋儀藏様、豊吉様	状	
W6	20	23				(書状、御品切御注文の品飛脚にて御送り、無事御入帳成し下され候につき)	(文久4年)二月十五日	長谷川次郎吉、忠七(印、大傳馬町・金銀不用)	渡辺や儀藏様、豊吉様	状	
W6	20	24				覚(淺黄無地式反代銀四十六匁九分三厘請取につき)	(文久4年)正月十三日	鈴木屋庄兵衛	渡部義藏様、御店様中	状	
W6	20	25				(覚、納戸紙拾反など直段相働き差上候につき)	子(文久4年)ノ正月廿六日	鈴木屋幸吉、庄兵衛(印、山形・十日町・金銀不用<ヤ>吉>鈴木屋)	渡辺義藏様、御店衆中様	状	
W6	20	26				覚(しの十五反代銀三拾四匁五分御入帳下さるべく候につき)	亥(文久3年)十一月九日	鈴木屋幸吉、庄兵衛	渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6	20	27				(覚、塩舌阿三分式朱など当地相場伝達につき)	(文久4年)正月廿七日	三浦屋権四郎(ほか2名)	渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6	20	28				(書状、御注文の品々不足のためとても買入れがたく候、および当地相場直段伝達につき)	(元治元年)三月四日	長谷川次郎吉、豊七(印、大傳馬町・金銀不用)	(〇サマ) 渡辺屋儀藏様、豊吉様	状	
W6	20	29				(書状、此度御直下ケ仰せのため諸品いずれも損毛相立敷ケ敷次第に御座候などにつき)	(元治元年)七月五日	長谷川源右衛門代・惣兵衛(印、<ヤ>三>金銀不用)		状	
W6	20	30				覚(めりあ式代銀九十三匁分勘定につき)	子(元治元年)七月	吉兵衛	渡部屋儀藏様	状	
W6	20	31				覚(紺上縫拾反などメ式拾式反指送り候につき)	(元治元年)五月廿二日	鈴木屋幸吉(印、<ヤ>吉>山形・十日町・鈴木屋)	渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6	20	32				(書状、当春中御預りの諸代惣仕切書相認め候につき)	(文久4年)二月十八日	川喜田久大夫、傳兵衛(印)	渡邊屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6	20	33				(書状、此程中諸品直下ケ仰せのため諸人大難澁種々艱難などにつき)	(元治元年)六月十一日	長谷川次郎吉、忠七(印、<ヤ>三>大傳馬町・金銀不用)	(〇サマ) 渡部や儀藏様、豊吉様	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 20	34				二白(兼而延引の松山島漸々入船無く、過ル十三日無事着のため御入帳成し下され候につき)	(元治元年)六月十三日	長・豊七	○儀藏様、豊吉様	状	
W6 20	35				(書状、宗調書今便御覧に入れ奉り御引合成し下されたく候につき)	(元治元年)六月廿三日	さのや久右衛門、直厚	(○サマ) 渡辺屋義藏様、豊吉様	状	
W6 20	36				寛(大櫃上々地綿代銀巻貫三百九拾八匁六分勘定につき)	卯(慶応3年)ノ六月十日	笹屋友八(印、会津・若松・大町・笹友)	渡部儀藏様、半兵衛様、御店衆中様	状	
W6 20	37				(書状、紙櫃上物三状、大急入用などにつき)	(元治元年)六月廿一日	伊勢屋弥兵衛	関屋喜六様	状	W6-20-38と関連あり
W6 20	38				(書状、金三朱にて紙代少々にても戻るところ、紙にて御遣し下されたく願ひ上げ候につき)	(元治元年)			状	前欠カ、W6-20-37と関連あり
W6 20	39				(書状、元米品不足のところ旧冬遠州難二而難舟、および諸品下直のため売入なし、買入多く候につき)	(文久4年)正月廿一日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	山崎屋清右衛門様(ほか2名)	状	前欠カ
W6 20	40				追啓上申上候(成行の儀諸品引き立て、気配地みなどにつき)	(文久4年)正月五日	長谷川次郎吉、豊七(印、<ヤ>三>大傳馬町・金銀不用)	渡辺屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 20	41				初相場覚(古新・生雲才・綿相場祝義取引につき)	(文久4年)正月六日	長谷川源右衛門、惣兵衛	上	状	
W6 20	42				相庭(古新三反八分など書上)	(文久4年)正月四日	長谷川治郎吉		状	
W6 20	43				初相庭(三州上銘式百七十七両など綿類祝儀取引書上)	(文久4年)正月三日	長谷川次郎吉		状	
W6 20	44				(書状、下店も相応の取仕舞、昨年中の御厚情御引立の御礼につき)	(文久4年)正月五日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	渡辺屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 20	45				(書状、御注文仰せ付けられ御札、大物代金八拾四両巻歩・三百八拾巻文皆済、および大物類頓と品払底などにつき)	(文久4年)正月十四日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)(印、野州・宇都宮・寺町・佐野屋丹兵衛)	渡辺屋儀藏様(ほか2名)	状	端裏に「渡邊様、紙包式」添」とあり
W6 20	46				(書状、此度栄八殿へ金廿五両御預け、うち五両は打綿カイ入の様子にて御承引下さるべく候、および米・大豆・玉さト<砂糖>など相場直段などにつき)	う(慶応3年)十二月廿二日	三浦屋権四郎(印、<ヤ>三>金銀不用・三権)	渡辺義藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 20	47				追啓申上候(初相場成行は別紙の通り、国元気配強く追も夏物は下落の見込みなく、元米品払底のため困り入り候などにつき)	(文久4年)正月八日	長谷川源右衛門代・惣兵衛(印、<ヤ>三>金銀不用)	渡部屋儀藏様、庄次様	状	
W6 20	48				(書状、大急の紙布上下地九疋・白無地三反など御送り下されたくにつき)	(元治元年)三月十六日	小倉屋和助(<ヤ>辻>)	渡部や儀藏様、御店中様(渡儀サマ)	状	
W6 20	49				寛(紙布しま十反注文につき)	(元治元年)三月十四日	十一屋三藏	渡邊屋義藏様、御店中様	状	
W6 20	50				(書状、御蔭様にて時分物相片付御札、および御手数ながら御品物手配下されたくにつき)	(文久4年)正月十五日	さのや久右衛門、木平	(○サマ) 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	破損あり
W6 20	51				寛(金拾四両三歩・百六拾文受取につき)	子(文久4年)正月十三日	さのや久右衛門(印、佐野屋)	渡邊屋儀藏様	状	
W6 20	52				(書状、別紙の通り注文申上、何分早々御送り成し下されなど依頼につき)	(文久4年)正月十一日	奈良屋作兵衛、辰三郎	渡部屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 20	53				(書状、先便御注文の品御小人持にて菅筒 中野日屋武左衛門殿へ向け御送り申上候などにつき)	(文久4年)正月廿一日	長谷川源右衛門、惣兵衛(印、<ヤ>三>金銀不用)	渡部屋佐吉様、宗三郎様	状	
W6 20	54				注文書(白紙布縮百反・紺地薄羽織地八拾反などにつき)	(文久4年)正月十一日	奈良屋作兵衛、辰三郎(印、<ヤ>二>京都・奈良屋)	渡邊屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 20	55				(書状、宮佐久出し荷物今日着のため貴店様分駄賃銀六匁八分式り勘定につき)	(文久4年)二月三日	<井丸>	寿丸様	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 20	56				(書状、品々御注文仰せ付けられ御札、いずれ近日のうち持合の品だけ御小人持にて御送り申上候などにつき)	(文久4年)正月十八日	長谷川源右衛門・惣兵衛(印、<ヤ>三>金銀不用)	(渡部屋儀藏様、渡部屋儀藏様、豊吉様)	状	
W6 20	57				(書状、先便の為普金百三十七両三歩入帳、および御注文の松山島払底のため入帳なく当惑などにつき)	(文久4年)二月八日	長谷川次郎吉、豊七(印、<ヤ>三>大傳馬一)	(○サ>) 渡辺屋儀藏様、豊吉様	状	端裏に「直附入」とあり
W6 20	58				(書状、去秋太もの代金百三十七両三分請取、および御注文のうち浅きは品切、其外取合は今便飛脚出し候につき)	(文久4年)正月十八日	長谷川次郎吉、豊七(印、<ヤ>三>大傳馬一・金銀不用)	(○サ>) 渡辺や儀藏様、豊吉様	状	
W6 20	59				(書状、御注文の品々別紙へ直段上申、<井丸>サ>荷物へ加入などにつき)	(元治元年)三月廿日	さのや久右衛門、直平	渡邊屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 20	60				(書状、此度江戸宮共荷物纏々着仕候、正松様へ御紙面差上のごころ御伝達下さるべく候につき)	(元治元年)四月三日	中屋平兵衛	(○様) 渡辺屋儀藏様、御店衆中様	状	破損あり
W6 20	61				(書状、此度御送りの品無事着、また仕切書入封のため御引合下さるべく候につき)	(元治元年)四月七日	小倉屋和助	渡辺屋義藏様、御尊店中様	状	
W6 20	62				(書状、先便十二日出しの紙布弔箱到着、其後仕出しを箱合わせ羽織地取交反数百六拾五反受取につき)	(元治元年)四月十五日	泉屋孫助	渡邊屋儀藏様	状	
W6 20	63				(書状、此度注文の品物直段、および御品切などにつき)	(元治元年)五月七日	小倉屋和助(印、<丸>辻>奥州・福島・小倉屋)	渡部屋義藏様、御店中様	状	
W6 20	64				(書状、下拙義十七日無事着、山形<丸>長>より孫右衛門殿参り金苞両相渡し、および紙類至而不揃いのため買方御見合下さるべく候などにつき)	(元治元年)五月廿一日	兄分(從御城下・同<渡邊屋>義藏)	豊吉殿、藤平殿(白石中町・渡邊屋豊吉殿)	状	
W6 20	65				(書状、大坂泉屋孫助殿より未だ御と荷物なく、また追注文の代金三十七両弔式米・七匁だけ御登せ、および注文方などにつき)	(元治元年)四月十八日	長谷川次郎吉、豊七(印、<ヤ>三>大傳馬一)	渡辺屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 20	66				(書状、紙布・絹縮五枚だけ大急御送り下さられたくにつき)	(元治元年)四月廿七日	小倉屋和助(<丸>辻>)	白石・渡辺や義藏様	状	
W6 20	67				(書状、御注文の品取り揃え御送り申上候につき)	(元治元年)四月十一日	福田屋佐助(印、<丸>ヤ>さ>奥州・會津・若松、地太物卸・福田屋佐助)	渡部屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 20	68				(書状、御注文仰せ付けられ候品、別紙仕切書の通り飛脚次をもって差送り申上候につき)	(元治元年)四月廿一日	さのや丹兵衛(ほか2名)	渡辺屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 20	69				(書状、兼而御注文の伊予夏縮の儀、未だ入船無く松山会所へ問い合わせなどにつき)	(元治元年)四月十八日	長谷川源右衛門代・惣兵衛(印、<ヤ>三>金銀不用)	渡部屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 20	70				(書状、先月仰せ付けられ候矢印白しぼり五反差上候につき)	(元治元年)四月十八日	小倉屋和助(印、<丸>辻>小倉屋)	(渡儀サ>) 渡辺屋儀藏様	状	
W6 20	71				(書状、御注文の品差送り、品不足のため高直・直段増に相成候につき)	(元治元年)二月廿三日	中村次郎兵衛	(渡儀サ>) 渡辺儀藏様、御店衆中様	状	
W6 20	72				(書状、相繰振合よりは余程精々相働き差上申候、御披見御承引下されたくにつき)	(元治元年)三月廿七日	(<丸>ヤ>木>) 佐野屋丹兵衛(ほか2名)	(渡儀サ>) 渡辺屋儀藏様、同庄松様	状	
W6 20	73				(書状、紙布白無地五枚など注文につき)	(元治元年)四月六日	よしとや孝八	渡辺屋儀藏様	状	
W6 20	74				(書状、<井丸>サ>へ注文の下まめ嶋、未だ着申さず候につき)	(文久3年)十二月十九日	さのや久右衛門、直平	(○サ>) 渡辺屋義藏様、豊吉様	状	
W6 20	75				覚(小嶋寅之助様より届ケ金弔米・弔百文請取につき)	(元治元年)四月廿一日	松本屋清左衛門(印、奥州・伊達・桑折・松本屋)	渡辺義藏様	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 20	76				(書状、油屋栄治殿より荏種、貴家様へも貸入に相成候由につき)	(元治元年・月未詳)廿七日	佐吉	豊吉様、藤兵衛様	状	
W6 20	77				入日記(竊三拾貳反などメ六十四反につき)	子(元治元年)四月	松屋宗吉(印、北越・今町)	渡辺儀藏様	状	
W6 20	78				(書状、大坂泉孫殿紙布代のうち金百両、当地村七股為替ニ而相渡り、儘に入帳仕候につき)	(元治元年)五月五日	長谷川次郎吉・豊七(印)	(○サマ) 渡辺屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 20	79				(書状、何分出情相働き差上候、高直の仕入ながら御承引下されたくにつき)	(元治元年)八月三日	長谷川吉郎治	(渡部本家様) 渡辺儀藏様、御店中様	状	
W6 20	80				寛(織布六枚代銀百五拾五匁など諸色代銀メ八百拾五匁八分勘定につき)	(文久4年)正月十七日	鈴木屋幸吉	渡辺義藏様	状	
W6 20	81				注文書(紙布上下地拵疋につき)	子(元治元年)ノ七月廿一日	奈良屋作兵衛、辰三郎	渡辺屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 20	82				(書状、諸品仕切書差上、着の御は御引合御入帳下されたくにつき)	(元治元年)四月五日	中屋平兵衛	渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様	状	
W6 20	83				(書状、金五拾壹兩壹歩・貳百七拾文御送り成し下され御礼につき)	(元治元年)七月廿一日	さのや久右衛門、直平	渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様	状	
W6 20	84				(書状、金五拾三兩壹歩ト貳百七拾文受取につき)	子(元治元年)七月廿一日	さのや久右衛門(印、<カ十>野州・宇都宮・佐野屋)	渡辺屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 20	85				(書状、品切中奉書貳百枚、尤極上のところ直段御働き下され急便にて御送り下されたく候、当十八日申刻頃伏見長州様御屋敷へ会津様御人数押し寄せ、俄に大砲打掛御惣方争戦につき)	(元治元年)七月廿八日	山さきや良助代・政五郎	渡辺屋儀藏様、御店中様	状	
W6 20	86				(書状、盆前中の品物代金百三拾貳圓三分三釐・三百四拾六文皆済の御礼、爰元相場は変わりなく直下ケ御触のため何となく不人気ながら諸品極乱底につき)	(元治元年)七月廿一日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)(印、<カリヤヤ木>野州・宇都宮・寺町・佐野屋丹兵衛)	(渡儀様) 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様	状	
W6 20	87				(寛、大坂瓦町中橋西へ入・泉屋孫助)	(元治元年)	小嶋屋善兵衛	渡邊屋儀藏様	状	
W6 20	88				(寛、添状同封のため早速御届ケ下され候につき)	(文久4年)正月十六日	泉屋孫助(印)	渡邊屋儀藏様、御店中	状	
W6 20	89				(書状、ケ印貳拾反など紙布類都合百反注文につき)	(元治元年)十月廿日	川喜田久太夫、傳左衛門(印、<ビ>川大傳馬臺・金銀不用・河喜田)	渡辺屋儀藏右衛門様、御店衆中様	状	
W6 20	90				(書状、先達夏物御注文仰せ付けられ御礼、品乱底にて取揃延引ながら漸々先日水揚取入御送付につき)	(元治元年)三月廿五日			状	
W6 20	91				(書状、京屋便をもって仕立物御注文仰せ付けられ御礼、このうち持合なき品あり、不揃いの分は後便にて送付につき)	(元治元年)			状	後欠カ
W6 20	92				(書状、金六兩受取、および松山島大延引のため当年の御売ものには成りかたぐ御詫申上候につき)	(元治元年)七月廿五日	はせ川次郎吉、豊七(印、<ヤマ>大傳馬一・金銀不用)	渡部や儀藏様、豊吉様	状	
W6 21					(書状、陣羽織御預り下され、金拾貳切御貸し下されたく願上候につき)	(慶応2年)九月七日	高橋豊	渡邊義藏様	状	
W6 22					寛(渡部庄松上納錢百拾壹文相済につき)	寅(慶応2年)十二月廿日	鈴木忠五郎、川田幸藏(印)	(渡部庄松)	状	
W6 23					(金子勘定帳、上西甚藏・金五拾切などにつき)	(近世・年月日未詳)			冊	丁はずれ、破損あり、4紙1点
W6 24					(書状、昨日新宅分金三拾切余請取、および今日中入釜のため拾五切御かし下されたくにつき)	(近世・年未詳)八月廿二日	古内左衛門	中町・庄松殿	状	破損あり
W6 25					乍恐賀屋渡世御免被成下度奉願上候御事(控)	(弘化3年)	刈田郡白石中町・百姓・儀藏(ほか4名)	大肝入殿	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 26					(書状、此節生糸大變の御始末、扱々困り入り迎も御国産方立割の分いずれ御見合成し下されなど御内々申上候につき)	(近世・年未詳)六月廿五日	越河町・けんたん	渡部様	状	
W6 27					(書状、入用の養千万指送り土貢に込り入り申候、三之助様御廻し金のうち五切、当十一月月中旬まで御貸し下されたく候などにつき)	(近世・年未詳)五月廿三日	本澤平左衛門	渡部儀左衛門様	状	
W6 28					(覚、格差ツ代金壹切半ト三百貳拾文、此者へ御渡し下されたくにつき)	(近世・年未詳)十月廿六日	短ヶ町・清治	中町二而・御本家・渡部や様	状	
W6 29					(書状、唐紙方など代金貳両余さし上申候、塩は頓と失念仕り参着次第申上候などにつき)	(近世・年未詳)六月十九日	長町・安五郎	中町・庄奈様	状	
W6 30					覚(織布代など諸色代金貳拾五兩余勘定につき)	申(明治5年)ノ三月廿二日	大丸	渡甚様	状	
W6 31					(書状、公私の要用にて金拾兩拜借いたしたくにつき)	(近世・年未詳)七月十五日	小小屋三軒目	中町・庄松様	状	
W6 32					おほへ(さけ・さかな代など酒肴代金三兩六十三錢請取につき)	(明治・年未詳)九月十三日	あさか(印)	上	状	
W6 33					(書状断簡、金五切程の恩借仕りたたくにつき、裏面は慶応二年寅十月五日改常用の書上あり)	(慶応二年寅十月五日)			状	前後欠
W6 34					御寄進方水油通	弘化三年年四月吉日	渡部屋儀藏	延命寺様	冊	破損あり
W6 35 1					調書(正松様分メ百六反代銀八百四拾九匁八分七厘など諸色代金メ七拾壹兩貳分・五百六十六文御引合御算用下さるべく候につき)	丑(慶応元年)十一月	佐野屋丹兵衛(印、<カヤヤ木>野州・宇都宮・寺町・佐野屋丹・兵衛)	渡部屋儀藏様、正松様	状	こより共、こより付紙「丑年歳後分泉宮・仕切營巻」とあり
W6 35 2					太物仕切書(糸桜など四拾三反代金メ拾七兩三分余引合成し下されたくにつき)	(慶応元年)十二月十一日	川喜田久太夫(印)(ほか2名)	渡辺屋儀藏殿	状	
W6 35 3					覚(金貳拾貳兩三分貳朱余勘定、内金三兩のほか不足金御待ちにつき)	丑(慶応元年)十二月	光白屋清兵衛(印、<ヤヤ>奥州・福島・光白屋)	白石・渡辺儀藏様	状	
W6 35 4					覚(紺五分壹枚代金拾四兩貳分式朱など諸色代金メ五拾四兩貳分・三百四十九匁勘定につき)	(慶応元年)十二月五日	丁子屋甚兵衛	渡辺儀藏様、御店中様	状	
W6 35 5					仕切書(紺帯代銀五拾七匁など諸色代銀メ貳百九匁五分、佐野屋より受取につき)	丑(慶応元年)ノ十二月五日	山崎屋佐吉(印、<ヤヤ佐>山崎屋佐吉)	渡辺儀藏様、御店中様	状	
W6 35 6					調書(九月十日代銀三貫七百六拾四匁など諸色代銀メ三貫七百六拾五匁余引合御記帳下さるべく候につき)	(慶応元年)十一月	いせ屋利平、惣七(印)	渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 35 7					宗調覚(八月廿一日代銀壹貫八百四拾九匁など諸色代銀メ貳貫三百拾一匁五分仕切につき)	丑(慶応元年)十二月	佐野屋久右衛門、孝輔(印、<カヤ>佐野屋)	渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 35 8					仕切書(柳拾反代銀三百六十き匁など諸色代金百五拾兩三分・五匁八分九厘につき)	(慶応元年)十一月廿三日	長谷川源右衛門	渡部屋儀藏殿	冊	
W6 35 9					○太物仕切書(は百枚代銀六百八十五匁など諸色代金メ百七兩貳分ト拾壹匁四分五厘、差引五拾七兩貳分ト拾壹匁四分五厘につき)	慶應元乙丑十一月	長谷川次郎吉、藤七(印)	渡辺屋儀藏殿	冊	
W6 35 10					覚(代銀六貫貳百四拾匁壹分引合につき)	丑(慶応元年)十月	外村忠兵衛、久次郎(印、<カヤヤボ>金銀不用・外忠)	渡辺儀藏様	状	
W6 35 11					覚(筒方代銀三貫四百七十三匁六分など諸色代銀メ六貫貳百四十匁壹分勘定につき)	(慶応元年)		御印様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6	35	12				入日記(下帯式百四十・天切手拭百本御改め受取下され候につき)	(慶応元年)九月十九日	長岡屋勘七	渡辺儀藏様、御店中様	状	
W6	35	13				寛(柴畔壹反代金九兩壹分など諸色代金メ五拾三兩余勘定につき)	(慶応元年)七月廿八日	丁子屋甚兵衛	渡辺儀藏様、御店中様	状	
W6	35	14				仕切書(小倉単袴など諸色代金メ三拾四兩三分一朱、希着の御御改め御引合御入帳下されたくにつき)	(慶応元年)七月	佐野屋丹次郎、徳藏	渡邊屋儀藏様、御店衆中様	冊	
W6	35	15				寛(下帯式百四十代銭七拾式匁など諸色代銀メ三百四匁・八拾四貫文受取につき)	丑(慶応元年)九月十九日	長岡屋勘七(印)	渡辺儀藏様、長谷川御店様	状	
W6	35	16				○仕切番附寛(壹番メ九百九拾匁四分など諸色代銀メ九貫三百九拾式匁につき)	丑(慶応元年)閏五月	奈良屋権兵衛(印、播州・姫路・奈良屋)	渡辺儀藏様	状	
W6	35	17				仕切寛(地ゆふき壹反代銀五拾六匁五分など諸色代銀メ四百六拾式匁四分につき)	(慶応元年)九月三日	佐野屋久右衛門、孝助(印、野州・宇都宮・鉄炮町・金銀不用・佐野屋久右エ門)	渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様	状	
W6	35	18				直附寛(は前掛五拾枚代銀式拾式匁五分などメ前掛百枚につき)	(慶応元年)九月十一日	長谷川次郎吉、藤七(印、大傳馬一、金銀不用)	渡邊屋儀藏様	状	
W6	35	19				式番(中一綿入十など古手六品書上)	(慶応元年)閏五月二日	(印、<イ>イ>播州・姫路・古手仕入所、奈良屋権兵衛)	渡辺儀藏様	状	
W6	35	20				壹番(中上拾十など古手六品書上)	(慶応元年)閏五月二日	(印、<イ>イ>播州・姫路・古手仕入所、奈良屋権兵衛)	渡辺儀藏様	状	
W6	35	21				寛(奴(紺織文様)の(極上紺)代など諸色代銀式百六拾四匁八分勘定につき)	(慶応元年)九月十三日	佐野屋丹兵衛(印、<イ>イ>木>野州・宇都宮・寺町・佐野屋丹兵衛)	渡辺屋儀藏様、御店中様	状	
W6	35	22				<イ>イ>出(の・羽・那などメ式十八反書上)	(慶応元年)九月廿七日			状	
W6	35	23				直附書(髪炮花色など織物書上)	(慶応元年)十月十八日	長谷川次郎吉、藤七	渡邊屋儀藏様	状	
W6	35	24				惣調書(りう久代など諸色代金三拾四兩余勘定につき)	(慶応元年)十月	佐野屋丹次郎、徳藏	渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6	35	25				寛(品代金拾七兩余勘定につき)	(慶応元年)九月十九日	長岡屋勘七(印、<イ>イ>河國・長岡屋勘七)	渡邊儀藏様、長谷川御店様	状	
W6	35	26				寛(紫間など書上)	(慶応元年)九月廿四日	永国屋甚七	渡邊儀藏様	状	
W6	35	27				仕切書(本場廣巾五反代銀百六拾九匁御記帳下さるべく候につき)	丑(慶応元年)九月廿一日	佐野屋丹兵衛(印、<イ>イ>木>野州・宇都宮・寺町・佐野屋丹兵衛)	渡部屋儀藏様	状	
W6	35	28				仕切寛(鉄納戸白地判字物など百三拾九反代銀三貫七百六拾四匁入帳下さるべく候につき)	(慶応元年)九月十一日	いせや和平、惣七(印、<イ>イ>平>堀江壹・金銀不用)	渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店中様	冊	
W6	35	29				仕切書(本場廣薄色拾反代銀四百拾匁御記帳下さるべく候につき)	(慶応元年)九月朔日	長谷川源右衛門、清兵衛(印)	渡部屋儀藏殿	冊	
W6	35	30				仕切書(本場廣薄色拾反代銀四百拾匁御記帳下さるべく候につき)	(慶応元年)八月廿八日	佐野屋丹兵衛(印)	渡邊屋儀藏様、御店中様	状	
W6	35	31				仕切寛(郭薄色・仕卷薄など代銀壹貫八百四拾九匁につき)	(慶応元年)八月廿一日	佐野屋久右衛門、孝助(印)	渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様	状	
W6	35	32				寛(清薄花色・忍・仁など宜敷御引合御入帳下さるべく候につき)	丑(慶応元年)八月二日	外村忠兵衛、久次郎(印)	渡辺儀藏様、御店中様	冊	
W6	35	33				直附書(白地さらしなど式拾反、川喜田久太夫殿へ相届申候などにつき)	丑(慶応元年)ノ八月十一日	長谷川次郎吉、藤七(印)	渡邊屋儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6	35	34				仕切書(講拾反・本場黒紙五反など代銀壹貫六百拾八匁四分につき)	丑(慶応元年)八月八日	佐野屋丹兵衛	渡部屋儀藏様	冊	
W6	35	35				覚(子ふとん・周佐織布段など御入帳下さるべく候につき)	丑(慶応元年)八月廿五日	外村忠兵衛、久次郎(印)	渡辺屋儀藏様、御店中様	状	
W6	35	36				直附書(紺干糸・糸桜など四拾三反御引合入帳願上候につき)	(慶応元年)八月十三日	川喜田久太夫(印)(ほか2名)	渡邊屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6	35	37				仕切書(金巾薄花・宗かたなど七十式反代銀壹貫六百九拾九匁御入帳下さるべく候につき)	(慶応元年)八月	佐野屋丹兵衛(印)、<リヤ木>江戸・大傳馬堂・佐野屋丹兵衛)	渡辺屋儀藏様	冊	
W6	36	1				覚(上下地御紋付など売上代銀五百拾八匁請取につき)	(近世・年未詳)三月十一日	渡辺屋儀藏(印)	源左衛門様	状	こより共
W6	36	2				(断簡、縮十疋反・織地三十反・中まき書十帖)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	36	3				(断簡、大藏金子之事・大庄屋返金之事など箇条書)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	36	4				上(安三十反・延半切極上十紙など書上)	(近世・年月日未詳)	糸吉	渡義様	状	
W6	36	5				(書状断簡、追而大暑ニ・来候処)	(近世・年月日未詳)			状	後欠
W6	36	6				(書状、此度上京のため祝義相送り、披露願ひ候につき)	(近世・年未詳)三月二日	小嶋隠居	中町・渡部・藤兵衛殿	状	
W6	36	7				(覚、ゆきき尺寸、廿四日まで御出来につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	36	8				(書状、先日七藤にて世話下され御礼につき)	(近世・年未詳)二月廿五日	山万・佐兵衛	寿丸・豊吉様	状	
W6	36	9				口上(才田垣御渡し成し下され候様、只今御首尾参り候などにつき)	(近世・年未詳)二月廿五日	山万・佐兵衛	渡部豊吉様	状	
W6	36	10				覚(六百枚代金沓分式未など諸色代金書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	36	11				(書状、一杯御勤め申したく、今日七ツ頃より御越し下されたく候につき)	(近世・年未詳)二月廿九日	北角	渡義様	状	
W6	36	12				(書状、白ちぢみ式反の直段御尋ね、仰せ下されたく候につき)	(近世・年未詳)二月廿八日	つ、み	義藏様、豊吉様	状	
W6	36	13				(覚、きせる・ちり紙半紙など諸色書上)	(近世・年月日未詳)			状	前後欠
W6	36	14				(書状、伊勢御参詣之由、御旅行御祝義につき)	(近世・年未詳)三月朔日	小見轡門	渡部甚藏様	状	
W6	36	15				口上(上坂の義一紙申し受け、一寸御伺い申上候につき)	(近世・年未詳)二月廿六日	佐兵衛	豊吉様	状	
W6	36	16				(書状、御一向御出成し下されたく願ひ候につき)	(近世・年未詳)二月廿六日	角山・和助	寿丸御主人様	状	
W6	36	17				(書状、饞別金式朱差上につき)	(近世・年未詳)二月二日	北角	渡義様	状	
W6	36	18				(書状、参宮の義、都合よろしき義につき)	(近世・年未詳)二月三日	亘り・十郎左衛門	甚藏様	状	
W6	36	19				(書状、太刀拵え添、御扱いに相成候につき)	(近世・年未詳)正月十四日	角山・和助	寿丸御主人様	状	
W6	36	20				覚(下大方沓つ御渡し下されたくにつき)	(近世・年未詳)二月十五日	やま上店	○御店様	状	
W6	36	21				(書状、明晩登仙致候、荷かるにて仙表へ相登らせ候品御座候ハ、御遣し下され候故につき)	(近世・年未詳)二月廿五日	小林助右衛門	中町・渡部甚藏様	状	
W6	36	22				(書状、悴伝六、去月中より病症相煩ひ候などにつき)	(近世・年未詳)二月廿七日	斎藤屋傳吉	渡部屋儀藏様	状	
W6	36	23				(書状、当月廿日頃迄ニは<カ>ソフ方など御両人御登仙之訳承知仕候につき)	(近世・年未詳)二月廿七日	御城下分・あらいや真兵衛	白石町・渡邊屋儀藏様	状	
W6	36	24				(書状、上品一枚・漉ちり紙・御奉書百帖御送り下され候につき)	(近世・年未詳)二月廿五日	佐藤屋栄助	渡部甚藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6	36	25				(書状、注文の紙帯廿反など御送り下されたく候につき)	(近世・年未詳)二月廿七日	国分町・奥孝	白石町・渡義様	状	
W6	36	26				(書状、御勘定帳巻巻キ、此者へ御かし下されたく候につき)	(近世・年未詳)二月晦日	岡ノ和助	○豊吉様	状	
W6	36	27				(書状、三ノ皮菅御送り下されたく候につき)	(近世・年未詳)二月廿五日	佐藤屋栄助(印、<カ>さ>仙台・大町三丁目)	渡部屋儀藏様、豊吉様	状	
W6	36	28				(書状、御預りのため御証文御改めなどにつき)	(近世・年未詳)正月十六日	勇右衛門	儀藏様	状	
W6	36	29				(書状、明日八ツ時頃分御出下されたく候につき)	(近世・年未詳)正月廿五日	勇右衛門	甚藏様	状	
W6	36	30				(書状、売事方のため江戸表へ御登り直々相談などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	36	31				寛(小)松など諸品差し下されたく願ひ上げ候につき)	(近世・年月未詳)八日	松長(印)	渡儀様	状	
W6	36	32				(書状、紙布早速御送り成し下されたく候につき)	(近世・年未詳)二月廿一日	従御城下・奥山幸介(印、國分町・奥山)	白石中町・渡辺儀藏様	状	
W6	36	33				(封筒)	(近世・年未詳)二月廿六日	大町三丁目・佐藤屋栄助(印)	白石中町・渡辺儀藏様	封筒	墨引あり
W6	36	34				(書状、ちり紙厚手巻御送り下されたく願上候などにつき)	(近世・年未詳)二月廿四日	大いしや太吉	渡義様	状	
W6	36	35				(覚、義藏様など18名人名書上)	(近世・年月日未詳)		渡部儀藏様	状	
W6	36	36				(書状、一寸何卒御光来成し下されたく願ひ上げ候につき)	(近世・年未詳)正月晦日	鈴木味右衛門	渡部儀藏様	状	
W6	36	37				(書状、当年も相変わらず紙の儀御注文仰せ付けられたく願ひ上げ候につき)	(近世・年未詳)二月十六日	斎藤喜藏	渡部屋甚藏様	状	
W6	36	38				(書状、御書入御座候、左の通り御認め急々指し上げられ候につき)	(近世・年未詳)二月十七日	わた義	石重様、大味様	状	
W6	36	39				(書状、上ちり紙式箇御賣御成し下されたく、宜敷御送り願上奉り候につき)	(近世・年未詳)二月廿七日	(御城下大町三丁目)山本屋長兵衛	(白石・渡部屋儀藏様)渡儀様、藤兵衛様	状	
W6	36	40				(書状、紙面山田庄右衛門へ御渡し下されたく候につき)	(近世・年未詳)三月朔日	沢口屋店・利兵衛	渡辺屋儀藏様	状	
W6	36	41				(書状、手製の麻、御祝いととして進上などにつき)	(近世・年未詳)二月十六日	聖屋味吉	白石中町・渡辺儀藏様	状	
W6	36	42				(覚、五文まん中百五十・せんへい百枚注文仕り、明後四日迄二御送り下され候につき)	(近世・年未詳)九月二日	渡辺屋儀藏	山田屋弥太郎様	状	
W6	36	43				(書状、半白ち、み式反きつ物御調下されたくにつき)	(近世・年未詳)二月廿五日	つ、み	義藏様	状	
W6	36	44				(書状、白ち、ミ上紙布式反御売下されたくにつき)	(近世・年未詳)二月十七日	従梁川・余子沢屋吉治右衛門	白石仲町・渡辺屋儀藏様	状	
W6	36	45				(図、鳥と太鼓)	(近世・年月日未詳)			状	前欠
W6	36	46				(覚、注文済みの紙類、此者に御渡し下されたく願ひ上げ候につき)	(近世・年未詳)二月廿四日	鶴ミ屋千右衛門	○御主人様	状	
W6	36	47				(書状、今般上京の段、今日八ツ時迄のうち私宅へ御越し成し下されたくにつき)	(近世・年未詳)二月十七日	小野市右衛門	渡邊甚藏様	状	
W6	36	48				(覚、あや織十反など三品数量書上)	(近世・年未詳)正月五日	奥孝	渡部や様、御店中様	状	
W6	36	49				(書状、昨夕御兄様御帰館に候哉、および單半切三貫御送り下され候につき)	(近世・年未詳)二月廿五日	<ヤ>上>千右衛門	○豊吉様	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 36	50				(書状、来ル廿七日ハツ頃より御光来成し下されたく願い上げ候につき)	(近世・年未詳)二月廿四日	平兵衛	儀藏様、傳五郎様	状	
W6 36	51				(書状、今日ハツ頃分鈴木殿など参るため御入来下されたく候につき)	(近世・年未詳)二月廿四日	春澤	渡辺御主人様	状	
W6 36	52				(覚、五連書代金四両貳朱・貳百六十文勘定につき)	丑(近世)正月十日			状	
W6 36	53				口演(玉子焼なべ、島渡拜借成し下されたく候につき)	(近世・年未詳)二月廿二日	芝辻内分・丹野喜兵衛	渡部甚藏様	状	
W6 36	54				(断簡、阿子嶋)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	55				(断簡、古市屋)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	56				(断簡、万屋万)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	57				(断簡、来月廿日朝、こしの屋)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	58				(断簡、志美寿様御丈)	子(近世)十月廿日		佐藤玄際様	状	後欠
W6 36	59				(覚、醤油五升入四樽につき)	申(近世)の十二月廿八日	白石町醤油造人・十郎左衛門(印)、越河町検断・武左衛門(印)		状	
W6 36	60				(断簡、来月廿日・おいち殿)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	61				(断簡、米竹)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	62				(断簡、治兵衛)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	63				(断簡、古市屋)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	64				(断簡、菅野屋)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	65				(断簡、白紙)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	66				(断簡、来月廿日朝・阿子嶋彦太郎様・御家内中様)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	67				(断簡、醤油)	(近世・年月日未詳)	白石町醤油造り人・十良左衛門、越河町検断・武左衛門		状	
W6 36	68				(断簡、六郎)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	69				(断簡、来る四日亡弟三回忌・佐藤おりふ殿)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	70				(断簡、佐久間在四郎様)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	71				(断簡、一条)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	72				(覚、石田・長沼・片平など苗字書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	73				(書状、川原町へ御立ち寄り、御覧下され候につき)	(近世・年未詳)十月廿六日	沢口安治	渡辺屋儀藏様	状	
W6 36	74				(書状、奥様より頼まれ候義、今廿五日御城へ罷出候につき)	(近世・年未詳)二月廿五日	千歳三郎右衛門	渡部儀藏殿	状	
W6 36	75				(書状、平吉ほか6名新並厚紙の分不納のため来ル廿七日迄に取立相納め候につき)	(近世・年未詳)正月廿三日	孝四郎	上小原村・紙漉屋清治殿	状	
W6 36	76				(書状、仰せ付けられ御用のため早速御城へ罷出らるべく候につき)	(近世・年未詳)二月廿四日	加藤重左衛門	渡辺儀藏殿	状	
W6 36	77				(書状、昨日相払い候生糸料など御勘定下されたくにつき)	(近世・年未詳)二月二日	源左衛門	渡辺屋内・藤平殿	状	
W6 36	78				(書状、奈何程くらいに御引請下され候哉、御聞き合わせ成し下され候様願い上げ候につき)	(近世・年未詳)正月十九日	左吉	御本家様	状	
W6 36	79				(覚、万三郎様・三貫三百三拾三文など直段書上)	(近世・年月日未詳)			状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 36	80				(断簡、来ル六日朝五ツ時・御家中様)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	81				(断簡、大工忠藏様)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	82				(断簡、来ル六日朝五ツ時・重太郎様)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	83				(断簡、来ル六日朝五ツ時・三澤屋専助様)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	84				(書状、紙相場の儀は昨冬よりは大分安直に相成候様子につき)	(近世・年未詳) 正月廿八日	(従伊達)舟生村・斎藤喜藏	(白石中町・渡辺屋儀藏様)白石町・渡辺屋甚藏様、御店衆中様	状	
W6 36	85				(書状、御注文の品は御使の人持参だけ送り申上候につき)	(近世・年未詳) 二月朔日	大いしや大吉	渡辺義藏様	状	
W6 36	86				(書状、来ル八日ごろ御登仙御申上兼候につき)	(近世・年未詳) 正月五日	<丸久>平兵衛	○御主人様	状	
W6 36	87				(書状、明日早々荷物式筒送り方につき)	(近世・年未詳) 二月四日	<丸久>平兵衛	寿丸御主人様	状	
W6 36	88				(書状、先刻の一条、丈左衛門様へ罷上りにつき)	(近世・年未詳) 二月六日	石十	寿丸御主人様	状	
W6 36	89				(書状、来月三日伊勢御参宮に御出立のうち、其節は御進中様残らず小子宅へ御席掛けに御立ち寄り下され候につき)	(近世・年未詳) 二月十九日	桑折・佐藤新右衛門	白石・渡辺儀藏様	状	
W6 36	90				口上(今日同方様へ罷出候都合に御座候間、いざれ後刻参上前に申し上げべく候につき)	(近世・年未詳) 二月六日	石重	寿丸御主人様	状	
W6 36	91				(書状、昨日御参館の御札、帳合見申候五五五に仕切、また塩引方別紙さし上申候につき)	(近世・年未詳) 正月廿九日	<丸久>平兵衛	寿丸御主人様	状	
W6 36	92				(書状、御年賀御祝の御札、先日々小見風邪および痘瘡相発し静養につき)	(近世・年未詳) 二月十七日	桑嶋与一郎	渡辺尊兄	状	
W6 36	93				(覚、御面とふながら御封仕りたくにつき)	(近世・年未詳) 正月二日	大丸	○様	状	
W6 36	94				(覚、杉原上物沓など注文申上候につき)	(近世・年月未詳) 八日	松長(印)	渡儀様	状	
W6 36	95				(書状、親類阿部平治郎、今十九日朝病死につき)	(近世・年未詳) 二月十九日	平村・後藤伊惣治	白石中町・()様	状	前欠
W6 36	96				(書状、明後廿一日に指し上げたく候につき)	(近世・年未詳) 二月十九日	源左衛門	儀藏様	状	
W6 36	97				廿日出立振廻候処○分(武左衛門様ほか21名書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 36	98				(書状、此度御上京の由承知仕り、御賤別<丸久>鳥目式拾文御受納下さるべく候につき)	(丑・近世) 三月朔日	教治	甚藏様	状	破損あり、端裏に「丑三月十一日改」とあり
W6 36	99				(封筒断簡、急用申し遣しのため御届け下さるべく候につき)	(近世・年未詳) 十月廿一日	御城下柳町・三浦屋徳恣	白石中町・渡部屋儀藏様	状	破損あり、封筒と断簡を別付
W6 36	100				(書状、寒中見舞、御年始あかまほしき袋相送り候につき)	(近世・年未詳) 二月十二日	豊吉	御兄様	状	
W6 36	101				(書状、御登仙千万有り難く、並三拾枚一帖何程に候哉などにつき)	(近世・年未詳) 二月十三日	佐藤屋栄助	渡部屋儀藏様	状	
W6 36	102				(書状、先達御尊来の御札、当地糸直段六拾七、八匁、上糸は六拾五、六匁売買最中に相成候につき)	(近世・年未詳) 六月廿三日	越後屋惣兵衛	渡部儀藏様、御店中様	状	前欠
W6 36	103				(書状、拙宅にて評儀仕候処、一向打残りのため私宅へ御越し下さるべく候につき)	(近世・年未詳) 三月卅日	庄吉	儀藏様	状	
W6 36	104				(書状、其節御都合能御取引大悦、桑折むさしや藤七殿金子入用出来などにつき)	(近世・年未詳) 正月廿二日	多山・和助	渡部御主人様	状	
W6 36	105				覚(亀甲形美黒紙志帖、此者に御私い下されたく候につき)	(近世・年未詳) 三月六日	生酒屋甚藏	山崎屋三治郎様、御店衆中様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W6	36	106				覚(布段代金式分巻余勘定につき)	丑(近世)ノ極月	渡部屋儀藏	阿子嶋屋利喜三良様	状	
W6	36	107				披口演(作日参館の際、煙筒御店の内へ落し候につき)	(近世・年未詳)十二月廿八日	鹿島ノ要右衛門	御本家・渡邊屋様	状	
W6	36	108				(書状、福しま分送り差上申候分、油紙壹枚など此者へ御遣し成し下された候につき)	(近世・年未詳)十一月廿八日	吉井屋	○様	状	
W6	36	109				(断簡、白紙)	(近世・年月日未詳)		豊吉様	状	破損あり
W6	36	110				(書状、帯地の入割一寸店へ出かけ披見いたし候処、この入割縁重申付候などにつき)	(近世・年未詳)七月九日	佐吉		状	
W6	36	111				(書状、年頭の挨拶につき)	(近世・年未詳)正月二日	松屋長左衛門	渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6	36	112				(書状、祖母はま、今七日晩六ツ時ごろ病死につき)	丑(近世)ノ二月七日	傳吉	傳之助殿	状	
W6	36	113				(覚、渡源分ちり紙など商品書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	36	114				(書状、旧臘持参品物、佐藤屋より請取につき)	(近世・年未詳)正月六日	佐藤与惣右衛門	渡部義藏様	状	
W6	36	115				(断簡、十八貫八百五十五式分七・九文)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	36	116				覚(葛粉甘など書上)	子(近世)ノ十一月廿九日	佐藤や作兵衛(印、<small>カウ</small>さ>仙台・大明三丁目)	渡辺や儀藏殿	状	
W6	36	117				覚(十月十八日代銭貳百七拾文など勘定につき)	(近世・年未詳)十一月九日	中町・儀藏	深谷ノ善之助様	状	
W6	36	118				入記(加藤直助殿などメ三箇につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	36	119				口上(今八ツ時御一盃指し上げたく、一寸御光来成し下されたくにつき)	(近世・年未詳)二月八日	山万・佐兵衛	渡部豊吉様	状	
W6	36	120				口上(金拾両御かし下されたく候につき)	(近世・年未詳)二月八日	山万・佐兵衛	寿丸・豊吉様	状	
W6	36	121				口上(金拾両御願い申上候間、品物など紙面御覽成し下されたくにつき)	(近世・年未詳)二月八日	山万・佐兵衛	寿丸・豊吉様	状	
W6	36	122				(書状、銀式丁御用立申上につき)	(近世・年未詳)二月八日	石井佐午八	渡部義藏様	状	
W6	36	123				(書状、越前奉書紙式状、福島表へ指上候様仰せにつき)	(近世・年未詳)二月十二日	市郎左衛門	渡辺屋儀藏殿	状	
W6	36	124				(書状、昨日御馳走様有り難く、および菅圓方四反指上申候につき)	(近世・年未詳)二月七日	左吉	儀藏様	状	
W6	36	125				覚(改正式両・中五百高甚殿方御渡しにつき)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	36	126				口上(今日御法事、不快ニ而罷出兼候、追日御礼参りにつき)	(近世・年月未詳)六日	立田教悦		状	
W6	36	127				覚(金拾両御払い下さるべく候につき)	(近世・年未詳)二月十六日	大十	寿丸様	状	
W6	36	128				(断簡、大みち・小みち・地和白)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	36	129				覚(七店分、店賃諸入用銭式十貫九十七文につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	36	130				(書状、熊吉をもって御城下分紙面相届ケ成し下され御札、紙之儀も当方へ送り上、何卒御買待上候願上につき)	(近世・年未詳)二月十七日	従伊達郡・舟生・斎藤喜藏	白石町・渡辺屋儀藏様	状	
W6	36	131				口上(今日大庄やにて大味・下拙大酔に罷成、先々よろしく御都合願いにつき)	(近世・年未詳)二月廿日	味右衛門、十郎左衛門	甚藏様	状	
W6	36	132				(覚、御用の義、早々宅へ罷越候につき)	(近世・年未詳)二月廿日	五郎兵衛	鈴木味右衛門殿(まか2名)	状	
W6	37	1				覚(紙包円満寺より受取につき)	(慶応元年)六月初日	越河・定光寺(印)	中町・渡辺屋儀藏様	状	こより共、こより付紙「丑」ノ盆前諸方書状とあり

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 37	2				(書状、毎度御引立諸品御用向仰せ付けられ厚く御札申上、別紙之通り出情御働き差上候、および坂上操綿など爰元御相場報知につき)	(慶応元年)六月十八日	三浦屋権四郎、宗吉	(○様) 渡辺御主人様、豊吉様、御店中様	状	破損あり
W6 37	3				(書状、生糸六反・四匁直々御飛脚にて御渡し申上候間、御改め御入帳成し下されたくにつき)	(慶応元年)六月十五日	奈ら屋八兵衛	渡部屋様	状	
W6 37	4				口上(毎度恐入候得共、外店行式通御届け願ひ上げ候につき)	(慶応元年・月未詳)朔日	<イヤ木>久助	○御店様	状	
W6 37	5				(書状、今般惣調書相認め御覧入候、御地御成行如何御座候哉、当地其後差手相替申さず兎角代呂物拂底につき)	(慶応元年)六月初日	<イヤ木>佐野屋丹兵衛(ほか2名)(印)、<イヤ木>大傳馬壹・金銀不用・佐野屋)	(渡儀サマ) 渡辺屋儀藏様、御店中様	状	
W6 37	6				(書状、別紙調書薄羽織地四十匁御引合御入帳成し下されたくにつき)	(慶応元年)六月八日			状	後欠カ
W6 37	7				(書状、川喜田久太夫腰ほか2名へ金式百七拾両御渡しにつき)	(元治2年)正月廿五日	長谷川次郎吉、藤七(印)	渡邊屋義藏様、豊吉様	状	破損あり
W6 37	8				(書状、当春中御願申上候品々しらへ書相認め、宣敷御引合下さるべく候につき)	(慶応元年)六月八日	伊勢屋利平、惣七	(○様) 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 37	9				注文覚(紙布縮式反・格子式反などメ拾三反につき)	(慶応元年)閏五月十五日	小島屋善兵衛、伊兵衛(印)	渡辺屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 37	10				注文書(紙布上下地拾疋・紙布石摺帛紗五拾枚御送り成し下されたくにつき)	(慶応元年)閏五月初日	奈良屋作兵衛、善兵衛	渡部屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 37	11				惣目録書(松山平之進持百貳拾四反代金五拾四兩三分余、駄賃合わせてメ五拾六兩余勘定につき)	(元治2年)三月廿一日	川喜田久太夫(印)(ほか2名)	渡邊屋儀藏殿	状	
W6 37	12				(書状、御主人様御出張、当地相場三川<河>白古新三反がへなど綿類取引につき)	(慶応元年)五月廿四日	長谷川源右衛門、小兵衛(印)、<ヤ三>金銀不用)	渡部屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 37	13				(書状、当夏直段追々引上当惑仕り、および此度仁五郎をもつて荷物運送などにつき)	丑(慶応元年)四月十三日	皆川屋兵吉	渡辺儀藏様、同庄右衛門様、同庄五郎様	状	
W6 37	14				(書状、先便をもつて紙布ちみ少々注文、夫々御手配成し下されたく候などにつき)	(慶応元年)閏五月拾日	(小善)小島屋善兵衛、伊兵衛	(渡儀サマ) 渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6 37	15				覚(丸〇・しか地巾横・百三十五匁など書上)	(慶応元年)閏五月十四日	丁子や久次	渡辺屋義藏様	状	
W6 37	16				覚(薄地新立斗十反など四品数量書上)	(慶応元年)五月七日	松田屋新藏	渡儀様	状	
W6 37	17				覚(紙布五拾端<ヤ>書上)	(慶応元年)閏五月七日	高橋屋喜右衛門(印)、<妹吉>間屋・仙臺・二日町・高橋屋)	渡部屋儀藏様	状	
W6 37	18				覚(紙通巻町書上)	丑(慶応元年)閏五月八日	大丸屋(印)、<丸大>仙臺大町四丁目・太物店・三藏)	上様	状	
W6 37	19				相庭(古新三反がへ、祇園式反九分など綿相場直段書上)	(元治2年)正月四日	長谷川治郎吉		状	
W6 37	20				(書状、江戸為替金八拾両壹歩式朱報知、御注文の仕立物類飛脚便をもつて無事着などにつき)	(元治2年)正月十四日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	(渡儀様) 渡部屋儀藏様、御店衆中様	状	破損あり
W6 37	21				舌代(御繁用のところ品物御届け成し下されたく候につき)	(元治2年)四月五日	<ヤ平>	○御店様	状	
W6 37	22				口上(此書状式通御届け成し下されたくにつき)	(元治2年)三月廿五日	長<ヤ三>	○御店様	状	
W6 37	23				(書状、白繻三拾枚など諸色代金九両貳分余送り候間、御入帳下されたくにつき)	(慶応元年)六月十一日	松田屋新藏(印)、芭蕉辻・松田屋)	渡部屋儀藏様、御店衆中	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 37	24				(書状、当地諸品相場などにつき)	(元治2年)二月十二日	<ヤ三>宇吉	○御主人様	状	
W6 37	25				追啓申上候(此度下店豊七義、退役仕候、跡役順当二而不調法者小子相勤申候などにつき)	(元治2年)正月五日	長谷川次郎吉・藤七(印、<ヤ三>大傳馬町・金銀不用)	渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6 37	26				(書状、御注文の品持ち合わせなく、当分出来申すべき見詰なくにつき)	(元治2年)二月十三日	ならや丹兵衛、文吉	(渡部屋儀藏様、御店衆中様)	状	
W6 37	27				(書状、先達而御願申上候品々惣仕切書相認め候間、御引合成立下されたくにつき)	(慶応元年)閏(5)月廿五日	川喜田久大夫、伊兵衛(印、大傳馬町・金銀不用)	渡部屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 37	28				(書状、此度栄八殿悴ヲもって直段出情差申上候につき)	(元治2年)二月十六日	三浦屋権四郎、宗吉	(○様)渡部屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 37	29				追啓申上候(衣地差引書御願ひ、御披見御承引成立下されたくにつき)	(元治2年)正月八日	長谷川源右衛門、丹兵衛(印、<ヤ三>金銀不用)	渡部屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 37	30				追啓(先御十分御取納遊ばされ候などにつき)	(元治2年)正月五日	染店	○御店様	状	
W6 37	31				初相場 綿三册上銀三百両などにつき)	(元治2年)正月八日	長谷川源右衛門、同忠兵衛	渡部屋儀藏様	状	
W6 37	32				(書状、先達而御出府に相成安堵、御厚配品々御用向仰せ聞かされ候につき)	(慶応元年)四月七日	九郎、彦兵衛、国藏	渡部屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 37	33				(書状、品切注文直印出情候働き御送り成し下されたく願ひ上げ候につき)	(慶応元年)六月十一日	なら屋作兵衛	渡部屋儀藏様	状	
W6 37	34				(書状、長谷川治郎吉渡り金五拾六両御取調成し下され候などにつき)	(慶応元年)二月廿五日	川喜田久大夫、傳兵衛(印、<ビシ>金銀不用・河喜田)	渡部屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 37	35				(書状、年頭御祝拜、諸用向御願ひ申上候などにつき)	(元治2年)正月十八日	佐野屋丹兵衛(印、<リヤ木>江戸・大傳馬町・佐野屋・丹兵衛)	渡部屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 37	36				(書状、下店義格別御引立御札、此度栄八殿をもつて注文仰せ付けられ、栄八殿水戸表出張により同人押近々貴地へ遣しのため其節品物差上につき)	(元治2年)二月三日	三浦屋権四郎、宗十郎(印、<ヤ三>羽州・山形)	渡部屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 37	37				(書状、下店義も御蔭をもつて相応の仕舞仕候、此度金五拾弍両三分三朱御登せ下され入帳につき)	(元治2年)正月十三日	佐野屋久右衛門、孝助	(○サマ)渡部屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様	状	破損あり
W6 37	38				(書状、江戸為替金八拾両忒分式朱入帳仕候、および御表御国産生糸追々高直の趣承知などにつき)	(元治2年)正月廿五日	さのや丹兵衛(ほか2名)(印、<リヤ木>野州・宇都宮・佐野屋丹兵衛)	(○サマ)渡部屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 37	39				(書状、昨秋中の太物代金四拾弍両は<ヤ三>より受取仰せ付けられ御札、および初相場成行御向ひ申上候などにつき)	(元治2年)正月廿一日	長谷川源右衛門(ほか2名)	(○様)渡部屋儀藏様、豊吉様	状	破損あり
W6 37	40				口上(渡部屋儀藏御序の節御届け下されたくにつき)	(元治2年)正月廿五日	<リヤ木>(佐野屋丹兵衛)	○様	状	
W6 37	41				注文書(縮拭布百拾反など極大急々御送り下されたく願ひ上げ候につき)	丑(元治2年)ノ正月十一日	奈良屋佐兵衛、辰三郎	渡部屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 37	42				(書状、米穀など取引につき)	(慶応元年)五月七日	三浦屋権四郎(ほか2名)(印、<ヤ三>羽州山形)	(○様)渡部屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 37	43				(書状、御注文の中打宗形出来次第相送り申上候につき)	(慶応元年)四月廿一日	伊勢屋利兵衛、惣七	(○様)渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6 37	44				(書状、差上申候品のうち御意に叶わなければ印をつけほしいことなどにつき)	(慶応元年)四月晦日	光白屋清吉(印、<ヤ三>奥州・福島、光白屋)	渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6 37	45				(書状、御用向仰せ付けられ品物買附、御入帳願ひ上げ候につき)	(慶応元年)五月十六日	光白屋清吉(印)	渡部屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 37	46				(書状、儀藏様当地御用済過ル二日爰元御出立、御逗留中仰せ付けられ候品々相送り申上候につき)	(慶応元年)四月十一日	<ヤハ平>伊勢屋利平、惣七	(○様へ) 渡邊屋儀藏様、御店中様	状	
W6 37	47				(書状、爰元十一日出をもつて義藏様御見分、および届物都合六箇送付などにつき)	(慶応元年)四月廿一日	長谷川次郎吉、藤七(印、<ヤハ三>大傳馬一・金銀不用)	(○サマ) 渡邊屋義藏様、豊吉様	状	
W6 37	48				(書状、御注文の品今便にて送付、直段は情々相働き別紙仕切書にて御引合下さるべく候につき)	(元治2年)二月廿八日	中村次郎兵衛、為助	渡邊儀藏様、御店衆中様	状	
W6 37	49				(書状、義藏様伊勢参宮御登り遊ばされ、日光御法事道中筋込み合い申候、および御上御用物など取交義藏様より届けもの都合六箇送付につき)	(慶応元年)四月十一日	長谷川次郎吉、藤七(印、<ヤハ三>大傳馬一・金銀不用)	(○様) 渡邊屋義藏様、御店中様	状	
W6 37	50				(書状、過日御主人様儀、上方筋へ御見物のため御出府遊ばされ代呂物都合式箇御送りにつき)	(慶応元年)四月八日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	渡辺屋儀藏様、御店中様	状	
W6 37	51				(書状、昨日丹野重次郎殿持ちにて御願いの品々、駄賃立替相渡し申上候につき)	(慶応元年)四月十一日	川喜田久太夫(ほか2名)(印)	渡辺屋儀藏様、御店中様	状	
W6 37	52				(書状、別紙仕切書の通り四拾反御送り申上候間、御売御願い上げにつき)	(元治2年)四月四日	福田屋佐助	渡部儀藏様	状	
W6 37	53				(書状、別紙仕切書の通り御入帳遊ばされ候につき)	(慶応元年)四月九日	さのや丹兵衛(ほか2名)	(渡義様) 渡辺屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 37	54				(書状、伊勢逗留中荷物通行ならず、仕切書相認め期日御構い申し上げずにつき)	(元治2年)四月五日	伊勢屋利平、惣七	(○様) 渡邊屋儀藏様、御店中様	状	
W6 37	55				(書状、儀藏様伊勢参宮のため御逗留中、願い上げの品々別紙仕切書の通り取り揃えにつき)	(慶応元年)四月八日	長谷川源右衛門(ほか2名)(印)	渡部屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 37	56				(書状、手合の品々取り揃え別紙の通り文吉殿持ち送り申上候などにつき)	(元治2年)三月廿日	佐野屋久右衛門、孝助	(○サマ) 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様	状	
W6 37	57				(書状、日光山御法事にて公家衆御下向遊ばされ、人馬差し支え荷物物の支配いずれ御相談申し上げたくにつき)	(元治2年)三月廿五日	長谷川次郎吉、藤七	(○サマ) 渡部屋義藏様、御店中様	状	
W6 37	58				(書状、別紙仕切書の通り御引き入れ御入帳遊ばされ候につき)	(元治2年)三月廿一日	佐野屋丹兵衛(ほか2名)	(渡義様) 渡辺屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 37	59				(書状、品もの御引請何卒御約成し下されたく願い上げ候につき)	(慶応元年)四月七日	三浦屋権四郎、宗吉(印)	(○様) 渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様	状	破損あり
W6 37	60				○百三拾三(白木細廿八反などメ九拾九反書上)	丑(元治2年)四月五日	<ヤハ三>店	○御尊印様	状	
W6 37	61				(書状、添書御上げ、石津屋様へ書状申し候御承知成し下されたくにつき)	(元治2年)三月朔日	奈良屋作兵衛、善兵衛	(ハタキサマ) 渡邊屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 37	62				(書状、荷着の節御引合御入帳遊ばされ候につき)	(元治2年)二月廿五日	長谷川次郎吉、藤七(印)	渡邊屋義藏様、御店中様	状	
W6 37	63				(書状、注文の紙布大急御送り、また綿紙白ちぢみ羽織地の分下されたく願い上げ候につき)	(元治2年)正月廿六日	奈良屋作兵衛、辰三郎	渡部屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 37	64				寛(嶋紙布七拾反・千筋十五・格子嶋五など御送り成し下されたく願い上げ候につき)	子(元治元年)ノ十二月十一日	奈良屋作兵衛、辰三郎	渡邊屋儀藏様、豊吉様	状	
W6 37	65				(書状、仕切書差し上げのため御引合成し下され候につき)	(元治元年)十二月廿一日	川喜田久太夫、伝兵衛(印)	渡邊屋儀藏様、御店衆中様	状	
W6 37	66				(書状、別紙の通り御預申上候分、大急御送り成し下されたくにつき)	(元治2年)正月十一日	奈良屋作兵衛、辰三郎	渡邊屋儀藏様、豊吉様	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 37	67				(書状、一尺大前かけ忝百、御送り申上候などにつき)	(慶応元年)五月十一日	長〔 〕(谷川)次郎■ (吉)(印)、藤七	渡邊屋儀藏様、豊吉様	状	破損あり
W6 37	68				(書状、義藏様より御注文の品々、および駄賃・造賃御合などにつき)	(慶応元年)四月廿五日	長谷川次郎吉(印)、<ヤマ> 大傳馬・金銀不用)	(○サマ) 渡邊屋義藏様、豊吉様	状	
W6 37	69				(書状、去月廿一日出をもつて仕切書加入御案内仕置候、残分各個は一両日中御小人持にて相送申上候につき)	(慶応元年)五月十五日	伊勢屋利平、惣七	(○サマ) 渡邊屋儀藏様、御店中様	状	
W6 37	70				注文書(紺縮羽織地五状・紺縮五状につき)	(慶応元年)五月十八日	<カネ太>店	○様	状	
W6 37	71				○百四拾四(紺かた十一状など)百十式状入帳につき)	丑(慶応元年)五月六日	<ヤマ>三>店	○御印様	状	
W6 37	72				(書状、御連様無事着御登り相成、東海道金谷宿より御状至來のため差上申候につき)	(慶応元年・月末詳)廿五日	丁山三、藤七	○豊吉様	状	
W6 37	73				(書状、紙布縮式十・紙布羽織三反急便ヲもつて御遣し下されたく願上候につき)	(慶応元年)閏五月三日	大丸屋三藏、新吉	渡辺屋義藏様、御中様	状	
W6 37	74				(書状、別紙の通り品切注文のため直段など御働き願ひにつき)	(慶応元年)十一月朔日	奈良屋作兵衛、善兵衛	渡部屋儀藏様	状	
W6 37	75				(書状、此度紙布少々入用のため別紙注文書之通り御送り下さるべく候、直段ノ成ル丈ケ御出清成し下さるべく候につき)	(慶応元年)閏五月十五日	(小善) 小島屋善兵衛、伊兵衛(印)、奥州福嶋<ヤマ>小<小嶋屋)	(渡儀サマ) 渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6 37	76				(書状、夏物御注文頂戴候共揃い兼ね、冬物追々買い込みなどにつき)	(慶応元年)閏五月朔日	さのや丹次郎、徳藏	渡部屋儀藏様、豊吉様、御尊店中様	状	
W6 37	77				(書状、十三日御状より荷物物の儀仰せ下されにつき)	(慶応元年)閏五月十三日	三浦屋又十郎	渡部豊吉様(3か2名)	状	
W6 37	78				寛(白石渡邊屋殿より大奉書七状など)五品御送りのため受取につき)	(慶応元年)五月拾九日	大いし屋太吉(印)	佐藤様	状	
W6 38	1				卯年書出し并受取書品々	(近世)			状	こより共
W6 38	2				寛(御役代・駄賃銀壹貫百九拾貳文請取につき)	(近世・年未詳)二月廿六日	小室新治郎	藤兵衛様	状	
W6 38	3				寛(たまり五升、何卒御かし下さるべく候につき)	(近世・年未詳)五月廿七日	ふご川周助(印)	白石中町・たまりや甚藏様	状	
W6 38	4				寛(手形八拾切半、請取につき)	(近世・年未詳)四月三日	伊勢屋九兵衛(印)、<カク大> 仙台・伊勢屋)	高橋屋甚兵衛様	状	
W6 38	5				寛(くりわだき本・保原淀屋分巻本、此者へ御渡し下されたくにつき)	(近世・年未詳)三月四日	三沢庄三郎(印)、<ヤマ>奥州・白石・新町)	渡部儀藏様	状	
W6 38	6				口上(醤油拾貳、御かし下されたくにつき)	(近世・年未詳)十一月十五日	田町・勝見四郎右衛門	渡部屋儀藏様	状	
W6 38	7				寛(なま小・百九拾など書上)	(近世・年未詳)十月卅日	助兵衛		状	
W6 38	8				寛(なまこ七拾五文など諸色代銭壹百七拾八文勘定につき)	申(近世)ノ十一月朔日	中町・七藏(印)	庄松様	状	
W6 38	9				寛(編引五本代金壹切三朱請取につき)	(近世・年未詳)十月廿日	清兵衛	庄松様	状	
W6 38	10				寛(白紙七百など書上)	(近世・年未詳)十月廿五日	庄三郎(印)		状	
W6 38	11				寛(八百六ノ魚売上代受取につき)	(近世・年未詳)十月廿五日	天神町・松吉(印)、<カヤ一・一ホ>仙台・角田・福岡屋)	上	状	
W6 38	12	1			寛(夜き大紋付き枚・くろ紋付丸引かけ太織など諸色代銭七貫三百九十文勘定につき)	とら(近世)十二月	水戸や久兵衛	本家・渡邊屋様	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 38	12	2			覚(三斗六升・四拾四俵など諸色代銭三貫五百四拾四文受取につき)	(近世・年未詳)十二月	佐藤茂林大	渡部甚藏様	状	
W6 38	12	3			覚(袴代など諸色代銀十弍匁勘定につき)	とら(近世・年未詳)極月	<六十>	寿丸様	状	
W6 38	12	4			覚(寅ノ年酒通メ錢七貫七拾六文請取につき)	寅(近世)十二月	澤はた・御酒藏(印)	中町・渡部屋甚藏様	状	
W6 38	12	5			覚(古手巻筒・荷造り入用など諸色代銀四匁七分受取につき)	(近世・年未詳)正月九日	丸山店	○御店様	状	
W6 38	12	6			覚(弁当ぬり直し・銀わんつくろひ代など諸色代銀弍匁弍分五リ・五拾文勘定につき)	寅(近世)ノ十二月	鈴木藤左衛門	渡部儀藏様	状	
W6 38	12	7			覚(綾拾弍反・服紗<ヤ>五十六枚代など諸色代銀百拾九匁七分・七匁文勘定につき)	寅(近世)十二月	鶴見屋傳右衛門	○御店様	状	
W6 38	12	8			覚(備金巾五反・表口五反代銀百三十一匁五分勘定につき)	寅(近世)三月	福嶋屋彦治郎	渡部屋儀藏様	状	
W6 38	12	9			覚(割付五十丁・四八掛五十など諸色代銀百廿匁八分七リ受取につき)	寅(近世)ノ十二月六晦日	石野屋兵藏	渡邊儀藏様、御店様中	状	
W6 38	12	10			覚(中ふく砂<ヤ>廿枚代銀弍拾③匁勘定につき)	トラ(近世)十二月	山田屋忠治郎	渡部屋儀藏様	状	
W6 38	12	11			覚(冷麦十四人様前・酒壺升五合代など酒飯代銭五貫四拾五文勘定につき)	寅(近世)十二月	小関屋利吉	渡部屋儀御勝手	状	
W6 38	12	12			覚(濁酒・清酒・冷麦・玉子代銭五貫弍百九拾弍文勘定につき)	寅(近世)十二月	小関屋弥左衛門	渡部屋御勝手	状	
W6 38	12	13			覚(手桶・半切代など諸色代銭弍貫九拾弍文受取につき)	(近世・年未詳)十二月卅日	柳屋菊藏	中町・儀藏様	状	
W6 38	12	14			覚(元糶五升五合・炭式俵代など諸色代銭弍拾弍貫八百九十一文勘定につき)	寅(近世)十二月	最上屋喜内	○サヤ	状	
W6 38	12	15			覚(大ゆり十代銭三百文勘定につき)	寅(近世)ノ十二月晦日	長町・叶屋	中町新宅・渡部様	状	
W6 38	12	16			覚(とふ・あけ代銭四百八拾文勘定につき)	(近世・年未詳)正月十六日	兼店	たまりや様	状	
W6 38	13	1			覚(中平め弍枚・いなた八十本代銭メ三貫四百八拾七文勘定につき)	(近世・年未詳)十月廿九日	久兵衛	佐竹屋忠兵衛様	状	こより共
W6 38	13	2			覚(しゐたけ百四本代銭六百弍拾四文などメ六百九拾七文請取につき)	寅(近世)ノ十月朔日	八百や圓四郎	庄松様	状	
W6 38	13	3			覚(しやくし代銭弍十匁文などメ弍百七拾九文請取につき)	(近世・年未詳)十月晦日	大庭屋吉右衛門	渡部屋儀藏様	状	
W6 38	13	4			覚(ごんにやく七枚・氷ごん廿枚など諸色代銭四百廿六文受取につき)	(近世・年未詳)十月卅日	八百や忠二郎	渡部屋甚藏様	状	
W6 38	14	1			口上(こし黄地甘本など、此ものへ御足し下されたくにつき)	卯(近世)十月廿六日	淀屋文藏(印、奥州・伊達郡・保原<ヤ>ト>淀屋)	渡辺屋儀藏様	状	こより共
W6 38	14	2			覚(奉書常紙五拾枚代銀四匁など紙代銀百拾八匁弍分三厘勘定につき)	う(近世)七月十三日	包屋十右衛門	渡辺屋儀藏様	状	
W6 38	14	3			(覚、大豆五丈十紙・小麦四丈十弍紙など書上)	丑(近世)ノ十一月廿四日			状	
W6 38	14	4			(覚、先刻願い上げの品物、此者へ御かし渡し下されたくにつき)	(近世・年未詳)七月八日	<ヤ>大>(印、奥州・仙台・白石・長町<ヤ>大>阿子嶋屋)	渡部様	状	
W6 38	14	5			覚(角へり弍反、此者へ御遣し成し下されたくにつき)	(近世・年未詳)八月廿四日	角生や正之助	○御店様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6	38	14	6			覚(赤紙・黄紙志状ずつ、何卒御申し下されたたくにつき)	(近世・年未詳)七月六日	<リヤ水>店(印、奥州・白石<リヤ水>)	丸御店様	状	
W6	38	14	7			覚(くわん式つなど御請取成し下されたたくにつき)	(近世・年未詳)八月二日	清水小路・源之助	中町・甚蔵様	状	
W6	38	14	8			(覚、何卒金壹両貳匁、御かし成し下されたたくにつき)	(近世・年未詳)六月九日	水戸や久兵衛	本家・渡部や御店様	状	
W6	38	14	9			口述(塩之方へ代銭拾貫文御入帳御覧下さるべく、小売に指し支え候間、何卒御貸し下さるべくにつき)	(近世・年未詳)二月十日	<ヤ大>	○サマ	状	
W6	38	14	10			口上(御手形式切、此者へ御かし成し下されたたくにつき)	(近世・年未詳)六月五日	つるみ屋直次	渡辺屋御本家様	状	
W6	38	14	11			口演(先日申上候品、御送り下されたたくにつき)	(近世・年未詳)十一月三十日	なら屋	渡部様	状	
W6	38	14	12			覚(御手形壹枚御借用成し下されたたくにつき)	(近世・年未詳)七月廿六日	清水小路・源之助(印)	中町・甚蔵様	状	
W6	38	14	13			口上(醤油御貸し下されたたくにつき)	(近世・年未詳)十一月十七日	小原村・清六	儀蔵様	状	
W6	38	14	14			覚(卯四月廿六日入、拾壹匁分代銀壹貫六百五拾文勘定につき)	卯(近世)七月	新治郎	渡部屋儀蔵様	状	
W6	38	14	15			覚(奉書七枚代金貳分勘定につき)	(近世・年未詳)八月十九日	生酒屋甚助(印、<カヤ>生>奥州・白石・本町・生酒屋)	渡甚様	状	
W6	38	14	16			覚(金六両下されたたくにつき)	亥(近世)ノ六月五日	小西和兵衛(印、<カヤ>仙台・河原町・砂糖・小西和兵衛)	渡辺屋儀蔵様	状	
W6	38	14	17			覚(金拾五両受取につき)	(近世・年未詳)五月七日	立身屋軍治代・太助(印)	渡部や儀蔵様、平治郎様	状	
W6	38	14	18			覚(女訓孝経二冊代金受取につき)	(近世・年未詳)九月十六日	伊勢屋半右衛門(印、<カヤ>仙台・國分町・十九軒・伊勢屋)		状	
W6	38	14	19			覚(売上代金拾八両貳分壹朱受取につき)	(近世・年未詳)七月廿九日	和泉屋五郎助(印、<カヤ>二>伊達・梁川・和泉五)	渡辺屋儀蔵様	状	
W6	38	14	20			覚(横帯三本代金拾五両三分三朱受取につき)	卯(近世)ノ二月廿五日	御馬屋長六(印、<カネ長>奥州・福嶋・中町・御馬屋)	渡部庄松様、藤平様	状	
W6	38	14	21			覚(黒地扇子廿本代銀拾五匁など諸色代銀々五十九匁分受取につき)	(近世・年未詳)六月五日	大丸屋三蔵	渡部屋儀蔵様、甚蔵様	状	
W6	38	14	22			覚(手形三拾切御貸し下されたたくにつき)	(近世・年未詳)八月廿五日	豊蔵	甚蔵様、御家内様中	状	
W6	38	14	23			(書状、先日御願い、申上候手形につき)	(近世・年未詳)九月十五日	<カネ十>店	寿丸御店様	状	
W6	38	14	24			覚(渡部儀蔵様分御手形三枚受取につき)	丑(近世)九月廿五日	検断・武左衛門(印)	御使衆	状	
W6	38	14	25			覚(救命丸十三代銀七匁五分など諸色代銀々四十九匁六分受取につき)	(近世・年未詳)八月十七日	大丸屋三蔵	渡辺義蔵様	状	
W6	38	14	26			送り状之事(練綿六本、急ぎ御送り成し下されたたくにつき)	(近世・年未詳)二月廿五日	御馬屋長六(印、<カネ長>奥州・福嶋・中町・御馬屋)	宿々御間屋様中、渡部屋庄松様行	状	
W6	38	14	27			覚(手形御渡し下されたたくにつき)	(近世・年未詳)八月廿七日	保科幸助(印)	中町・渡部屋様	状	
W6	38	14	28			覚(岩間屋分手形貳拾七面につき)	(近世・年未詳)八月廿四日	大畑屋九吉	渡部屋甚蔵様	状	
W6	38	14	29			(覚、金五匁、来卯三年分請取につき)	(近世・年未詳)十一月十七日	新左衛門	松太郎殿	状	
W6	38	14	30			覚(福島本宮通し代銭三百八拾文勘定につき)	丑(近世)五月二日	福島宿・間屋(印)		状	
W6	38	14	31			覚(赤丁印のうち○印木綿四ツ御送り下されたたくにつき)	丑(近世)四月晦日	和泉屋熊吉(印、<ヤ丁>和泉屋)	宿々御帳場中様	状	
W6	38	14	32			(覚、御塩四俵拜借願いにつき)	(近世・年未詳)七月七日	<ヤ大>	○御店様	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 38	14	33			(覚、借入金のうち八百弍拾九切余、此度相済につき)	(近世・年未詳)十二月		渡儀殿	状	
W6 38	14	34			覚(御手形沓切、此者に御拜借成し下されたるにつき)	(近世・年未詳)九月七日	保科幸助	中町・渡部屋様	状	
W6 38	14	35			(覚、甚兵衛御渡塩三俵、此人料銭八百七拾六文書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 38	14	36			覚(白つむぎ・わた代など諸色代銀百五拾八匁余勘定につき)	(近世・年未詳)十一月十六日	石津や十郎左衛門	渡辺甚藏様	状	
W6 38	14	37			覚(金五両御かし下されたるにつき)	(近世・年未詳)五月十四日	庄奈	甚藏様	状	
W6 38	15	1			覚(とら七月分十二月迄メ式斗沓升など代金四両三分沓朱・百九文勘定につき)	卯(近世)十月十八日	清次郎	儀藏様	状	こより共
W6 38	15	2			おほへ(紺紵り四丈四尺・紺小納戸沓丈八尺など諸色代銀四貫四百七拾六文勘定につき)	卯(近世)十月十七日	渡部や伊太右衛門	渡部甚藏様	状	
W6 38	15	3			覚(たはこ入地八十枚・平大巾弍反など諸色代銀百拾四匁九分六厘勘定につき)	(近世・年未詳)七月十三日	つるみ屋直次	渡邊屋甚藏様	状	
W6 38	15	4			覚(黒縁沓沓箱・御納戸弍反など諸色代金弍両三歩勘定につき)	卯(近世)七月	福嶋屋彦治郎	渡部屋義藏様	状	
W6 38	15	5			覚(しみたけ四十目・白砂糖百弍十目など諸色代銀九百六文勘定につき)	卯(近世)七月廿九日	日下屋圓四郎	渡部屋様	状	
W6 38	15	6			覚(わた類三百六十文・脚半百五十文など書上)	(近世・年未詳)七月	與八	寿丸様	状	
W6 38	15	7			覚(去盆前メ高金沓分三朱勘定につき)	寅(近世)十二月	渡邊屋義藏	丹野喜平様	状	
W6 38	15	8			覚(玉入拾八本など諸色代金沓切・六百三拾文勘定につき)	(近世・年未詳)十二月晦日	丹野喜兵衛	渡部甚藏様	状	破損あり
W6 38	15	9			覚(しみたけ四十・こんにやく三本など諸色代銀七百廿一文受取につき)	(近世・年未詳)八月二日	八百や忠兵衛	渡部や様	状	
W6 38	15	10			覚(並すいか・白砂糖など諸色代銀八百七拾弍文請取につき)	(近世・年未詳)八月二日	八百や圓四郎	渡部屋様御内	状	
W6 38	15	11			覚(小桶・つるべなど諸色代銀八百拾四文勘定につき)	(近世・年未詳)七月廿五日	桶屋兼奈	儀藏様	状	
W6 38	15	12			覚(平中巾弍反・男帯八本など諸色代銀百拾九匁八分・七百文勘定につき)	(近世・年未詳)七月	<カ>上→傳右衛門	○御店様	状	
W6 38	15	13			覚(活寿丸代銀拾七匁五分・八拾五文勘定につき)	卯(近世)七月	生酒屋良吉	渡辺屋儀藏様	状	
W6 38	15	14			覚(鶴ち、み十五反・紅梅三反など諸色代銀三十七匁・式貫七十文勘定につき)	卯(近世)七月	鶴見屋傳右衛門	○御店様	状	
W6 38	15	15			覚(飯わん内ぬり直し・飯わん繕いなど諸色代銀沓匁式分五リ・百三拾文受取につき)	卯ノ(近世)七月	鈴木藤左衛門	渡部儀藏様	状	
W6 38	15	16			覚(銭九百五拾六文書上)	卯(近世)七月	佐藤茂林太	渡部甚藏様	状	
W6 38	16	1			(書状、昨日金百切相納め候などにつき)	(近世・年未詳)九月九日	兄分	豊吉殿	状	こより共
W6 38	16	2			(覚、三十枚沓筒・か直など書上)	(近世・年月日未詳)			状	後欠
W6 38	16	3			(書状、御宅分別封葛粉御頼み書付御廻いたし候などにつき)	(近世・年未詳)九月七日	鈴木忠太郎	柳町・渡辺甚藏様	状	W6-38-16-20と関連あり
W6 38	16	4			(覚、小奉書拾帖・中五帖指添につき)	(近世・年未詳)九月七日	相原直兵衛	甚藏様	状	
W6 38	16	5			口上(五百帖金斗、千弍百帖の高に御とりかえ下され候などにつき)	(近世・年未詳)九月十日	渡辺屋源三郎	渡儀様	状	
W6 38	16	6			(書状、代金の義は下り候御、御勘定申上候などにつき)	(近世・年未詳)九月九日			状	前欠

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 38	16	7			(書状、昨五日亡兄初七日法事相動候につき)	(近世・年未詳)九月四日	小西屋松五郎	三徳様にて・渡辺儀藏様	状	
W6 38	16	8			覚(紙指引残り代錢壹貫百八拾六文など書上)	い(近世・年未詳)ノ七月	渡辺屋儀藏	高橋屋甚之丞様	状	
W6 38	16	9			(書状、昨日藤兵衛通向は兼ては奥筋より相下り候を買請候と申聞候などにつき)	(近世・年未詳)九月八日	豊吉	御兄様	状	破損あり
W6 38	16	10			(書状、先日御帰宅承知仕候、至而不印之様子とんと困入申候につき)	(近世・年未詳)十二月六日	白石・最上屋・平治郎	○御主人様	状	
W6 38	16	11			(和歌)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 38	16	12			(書状、通り候者あり、拙所は前書の通り御達し候などにつき)	(近世・年未詳)八月十五日	<ヤ>上>文吾郎	寿丸様	状	破損甚大、もとはW6-38-16-15と同じ文書
W6 38	16	13			(覚、昨日夕今日迄男嶋などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 38	16	14			(書状、御構い申し上げず赤面の至り、御用捨成されたく願ひ上げ候につき)	(近世・年未詳)九月七日	田町々・惣兵衛	白石の甚藏様	状	
W6 38	16	15			(断簡)	(近世・年未詳・八月十五日)			状	もとはW6-38-16-12の一部
W6 38	16	16			(書状、十日八つ時比、大竹兩人参られ、藤兵衛へ先日権兵衛殿御出張御度二金子請取申候につき)	(近世・年未詳)九月十一日	豊吉	御兄様	状	
W6 38	16	17			当御衛之部(長町傳右衛門殿・直次殿など人名書上)	(近世・年月日未詳)			状	後欠
W6 38	16	18			(書状、古平川様より申聞候間、下家二而相納候御金につき)	(近世・年未詳)九月五日	豊吉	御兄様	状	
W6 38	16	19			(覚、横濱も相留置候、又々角山分承候処、其内早々急キ忠兵衛殿ラもつて指上申候につき)	(近世・年月未詳)十二日	豊吉	御兄様	状	
W6 38	16	20			覚(葛粉五袋など御送り申上候につき)	(近世・年未詳)九月五日	白白石・同豊吉	御城下柳町・三浦屋二而・渡辺儀藏様	状	W6-38-16-3と関連あり
W6 38	16	21			(覚、御母様、俄に御指込のため豊吉様御紙面書置、別封ラもつて申上候につき)	(近世・年月未詳)廿四日			状	
W6 38	16	22			(書状、上納金<井丸>様より拝借にて上納仕候につき)	(近世・年未詳)二月廿四日	<ゾ>ガミー>平次郎	○御主人様	状	
W6 38	16	23			(書状、健生姉きた、今晩四ツ過より俄に持病指込候につき)	(近世・年未詳)二月廿四日	白白石・同庄泰	(御城下柳町二而・渡辺屋義藏様)甚藏様	状	
W6 38	16	24			(書状、昨日借用分改正三十五切につき)	(近世・年未詳)二月廿九日	久兵衛	平兵衛様	状	
W6 38	16	25			覚(ちり紙など品名書上)	(近世・年未詳)三月二日	人	○様	状	
W6 38	16	26			(書状、当五日忠太郎様御便ラもつて御用方一条申上、昨六日星比大竹権兵衛殿集められ候などにつき)	(近世・年未詳)九月七日	豊吉	御兄様	状	
W6 38	16	27			(覚、鈴木様明早朝御出立成され候などにつき)	(近世・年月日未詳)	同氏庄五郎	渡邊甚藏様	状	
W6 38	16	28			(書状、御部方御備金受けらるべく候などにつき)	(近世・年未詳)二月廿四日	庄泰	甚藏様	状	破損あり
W6 38	16	29			覚(仰せの通り直段にては当分なかなか買入御座無く、御兄様お仰せ下され候などにつき)	(近世・年未詳)二月廿四日	豊吉	御兄様	状	破損あり
W6 38	16	30			覚(匂ひん付江戸鞍代銀改正式分など御願申上候につき)	(近世・年未詳)二月十六日	丸角	御本家様	状	
W6 38	16	31			覚(<カ>大>分忠印式本など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 38	16	32			(覚、小見サマ・堤サマなど人名書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 38	16	33			(書状、仰せ付ければ候通り、色々かけ合申候、其さし糸致しかね候人も有りなどにつき)	(近世・年月未詳)十一日	豊吉	御兄様	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 38	16	34	1		覚(形付木綿不足・浅きしほり不足代銭四百両文勘定につき)	亥(近世)七月	渡邊屋儀藏	金子久右衛門様御内	状	帯封共
W6 38	16	34	2		覚(七月五日出荷不足分代銭百四拾文書上)	い(近世)ノ七月	渡辺屋儀藏	なか町・おもと(茂登)殿	状	
W6 38	16	34	3		覚(紙不足分代銭三百廿五文書上)	寅(近世)ノ七月	渡邊屋儀藏	達崎順吉様	状	
W6 38	16	34	4		覚(澗油代銭七百廿文書上)	亥(近世)七月	渡邊屋儀藏	佐竹屋惣兵衛殿	状	
W6 38	16	34	5		覚(ちり紙代銭四十七文書上)	亥(近世)七月	渡邊屋儀藏	才藤仁吉様	状	
W6 38	16	34	6		覚(未ノ盆前色々メ金式朱・五百八十四文・不足代銭三十文書上)	亥(近世)七月	渡邊屋儀藏	本町・吉五郎様	状	
W6 38	16	34	7		覚(布袋わた指引殘金・羽織苧反など諸色代金式朱・八百三文勘定につき)	亥(近世)七月	渡邊屋儀藏	浦丁・おひさ殿	状	
W6 38	16	34	8		覚(正月十二日かし代銭四十文書上)	亥(近世)七月	渡邊屋儀藏	本町・与之丞様	状	
W6 38	16	34	9		覚(未夏中メ高銭貳百四拾五文書上)	い(近世)ノ七月	渡邊屋儀藏	小関屋亀吉様	状	
W6 38	16	34	10		覚(松山烏苧反代銀貳拾六匁余など書上)	い(近世)ノ七月	渡邊屋儀藏	渡邊屋佐吉様	状	
W6 38	16	34	11		覚(糸わた・金巾式尺八寸など諸色代金三分式朱・各貫五百六十三文勘定につき)	い(近世)ノ七月	渡邊屋儀藏	本町・忠藏様	状	
W6 38	16	34	12		覚(縮・薄不足分代銀三匁書上)	い(近世)ノ七月	渡邊屋儀藏	岩間屋重藏様	状	
W6 38	16	34	13		覚(メ七十五匁代銭貳貫六百廿五文勘定につき)	亥(近世)七月	渡邊屋儀藏	一条安藏様	状	
W6 39					覚(米四斗入十七匁余代銭六百八拾七匁勘定につき)	卯(近世)七月	本郷・車屋・谷吉	渡辺甚藏様	状	
W6 40					覚(卯盆前通メ高銭五貫貳百拾七文勘定につき)	卯(近世)七月十五日	澤はた・御酒藏	中町・渡部儀藏様	状	
W6 41					覚(荷物苧筒・三百五拾文など書上)	(近世・年未詳)六月	丸大	寿丸御店様	状	
W6 42					覚(わらじ十・太打糸三尺など諸色代銭三貫四百九十七文相渡しにつき)	(近世・年未詳)七月廿二日	丸二店	寿丸様	状	
W6 43					覚(銭箱金物御かね代銀貳匁五分勘定につき)	(近世・年未詳)七月	前野や萬作	渡部屋義藏様	状	
W6 44					覚(花木五反・古帷子・苧枚など諸色代銀百廿六匁五分四リ請取につき)	(近世・年未詳)七月十五日	山田屋忠次郎	渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6 45					覚(麻布式丈苧尺など諸色代金壹両貳朱・五百三十七文請取につき)	卯(近世)七月十八日	山崎屋清左衛門	渡部屋甚藏様	状	
W6 46					覚(惣高金五匁貳分式朱ト五百四十文勘定につき)	卯(近世)七月十五日	吉田屋幸八(印、<ヲ>吉>吉田屋)	渡邊屋儀藏様	状	
W6 47					覚(上のりご五百五拾目・百六拾五文など諸色代銀メ壹貫百五文勘定につき)	卯(近世)七月	最上屋	〇様	状	
W6 48					覚(活春丸苧包代銀貳匁余など諸色代銭三貫四百三文指上につき)	(近世・年未詳)七月廿一日	<ヲ>	寿丸御店様	状	
W6 49	1				覚(茶三十匁・九拾文など諸色代銭メ六貫五百貳拾四文勘定につき)	午(近世)七月	渡部や伊太右衛門	渡部屋甚藏様	状	こより共
W6 49	2				覚(脚半・袴など諸色代銭メ壹貫百三拾文勘定につき)	たつ(近世)七月日	轡門	寿丸様	状	
W6 49	3				覚(長谷川なわ代造入用銭百五拾文勘定につき)	(近世・年未詳)七月十九日	小倉屋和助	わたなへ屋儀藏様	状	
W6 49	4				覚(手桶・丸桶など諸色代銭メ壹貫七百五拾三文勘定につき)	(近世・年未詳)七月	桶屋兼吉	[]様	状	後欠、破損あり

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 49	5				覚(わらじ十・たはこ入など諸色代銭メ三貫四十三文勘定につき)	(近世・年月未詳)廿日	<ワ>二>店	寿丸・御勝手様	状	破損あり
W6 49	6				覚(紙九拾九帖など諸色代金メ九拾五切余勘定につき)	(近世・年月日未詳)	渡部甚藏		状	破損あり
W6 49	7				覚(玉入拾八本代金壹切など諸色代金メ壹切・九百八十五文勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	破損あり
W6 49	8				覚(雄茸・くわい・玉子など諸色代銭メ五百八拾文請取につき)	辰(近世)七月	八百や圓四郎	渡部甚藏様	状	破損あり
W6 49	9				覚(嶋式反など諸色代銀九拾五五分勘定につき)	辰(近世)七月	<ワ>山>	丸御店様	状	破損あり
W6 49	10				覚(書状壹通・金四両貳朱・為替手形式通受取につき)	辰(近世・月未詳)十四日	喜多屋彦助代・利助	渡部儀藏様	状	破損あり
W6 49	11				覚(片染紺八拾四四百四拾文・茶八拾五貳百四拾文など諸色代銭メ五貫六百三拾四文勘定につき)	辰(近世)七月	渡部や伊太右衛門	渡部屋儀藏様	状	
W6 49	12				覚(金四両貳分式朱・六百九十三文、御改め御帳合成立下されたくにつき)	(近世・年未詳)七月十八日	丸山	順丸様	状	破損あり
W6 49	13				覚(平大巾壹反・拾七匁・嶋縮ミ十八反・七百九文など諸色代銀メ四拾壹匁四分・三文勘定につき)	辰(近世)ノ七月	鶴見屋傳右衛門	○御店様	状	
W6 49	14				覚(貳拾六状・壹石七升代銭壹貫百四拾七文など諸色代銭メ壹貫三百六拾七文勘定につき)	(近世・年未詳)七月	佐藤茂林太	渡部甚藏様	状	
W6 49	15				覚(麻仕立袴壹下代銀十六匁七分請取につき)	(近世・年未詳)七月十四日	山崎屋清右衛門	中町・○様	状	
W6 49	16				覚(嶋ちぢみ式十反など諸色代銀メ六拾五匁貳分・七文勘定につき)	(近世・年未詳)七月日	つるみ屋直治	渡邊屋■藏様	状	破損あり
W6 49	17				覚(丹の孫八様御買上候魚の割合代銭百七文勘定につき)	辰(近世)七月	菊池屋庄左衛門	わたなへ屋甚藏様	状	
W6 50	1				(書状、紙十疋など御送候荷物、隠に入帳仕候につき)	(文久2年)		○様	状	後欠カ
W6 50	2				覚(紙布上下地五反御願い申上候につき)	戊(文久2年)十月廿九日	吉田屋幸八(印、<ワ>吉>吉田屋)	渡邊屋儀藏様	状	
W6 50	3				(書状、金五拾両など借用につき)	(文久2年)十月十八日	小倉屋和助、平助	渡邊屋儀藏様、御尊店中様	状	
W6 50	4				(書状、飛脚便をもって別紙の通り送り上げ候などにつき)	(文久2年)十一月十五日	さ藤や菊左衛門、直兵衛	渡邊屋義藏様(ほか2名)	状	
W6 50	5				御記メ(梅印三拾反・花印三拾反、廿四日送りにつき)	(文久2年)	小倉屋平次	<ワ>御>印・御店中様	状	
W6 50	6				(書状、相認候字調書御改め御引合成立下されたくにつき)	(文久2年)十二月三日	さのや久右衛門、直兵衛	渡邊屋儀藏(ほか2名)	状	
W6 50	7				(書状、御店様分佐吉様へ御覧に入、品々仕切書など案内につき)	(文久2年)八月廿四日	さのや丹兵衛、貞兵衛	(○サ>ワ) 渡部屋儀藏様(ほか2名)	状	
W6 50	8				(書状、金四十四両御送金成立下され候段につき)	(文久2年)	川喜田久太夫(ほか2名)(印、<ワ>川>大傳馬)	渡邊屋義藏様、豊吉様	状	
W6 50	9				(書状、先便去月廿八日出ヲもって兼而御注文の取合三箇出荷につき)	(文久2年)閏八月十八日	長谷川次郎吉、豊七(印、<ワ>三>大傳馬一)	渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 50	10				覚(紙布上下地五反御送り成し下されたくにつき)	(文久2年)十二月朔日	ろ桑折・吉田屋幸八	白石・渡邊屋儀藏様、御店中様	状	
W6 50	11				(書状、秋巳来御用向仰せ付けられ候、および仕切書到来などにつき)	(文久2年)十一月廿八日	長谷川次郎吉、豊七(印)	渡部屋儀藏様、御店中様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6	50	12				覚(糸四斗入四俵預り成し下され、金貳両御拜借願い上げ候につき)	戊(文久2年)九月十九日	くさのや国五良	渡邊儀藏様、御店様	状	
W6	50	13				(書状、本文地錦差上候様申上候趣、拵反ばかり持参仕候につき)	(文久2年)九月廿日	<ヤ>三>店	○御印様	状	
W6	50	14				初相庭坂上銘百五十七面など祝儀取引につき)	(文久2年)十月六日	長谷川次郎吉		状	
W6	50	15				(書状、御注文の染方残らず出来のため別紙仕切書之通り近日大休出荷仕候につき)	(文久2年)十月十一日	佐野屋丹兵衛、貞兵衛	(ワタギサマ) 渡邊屋儀藏様、豊吉様、御店衆中	状	
W6	50	16				(書状、御注文の品相出候につき)	(文久2年)十月廿二日	小倉屋和助、半助	渡部や儀藏様、御店中様	状	
W6	50	17				(書状、御注文仰せ付けられ出来候につき)	(文久2年)十月廿六日	丸辻店	○御店様	状	
W6	50	18				(書状、御注文仰せ付けられ候松山中打類取合式簡相渡し候につき)	(文久2年)十月廿八日	長谷川次郎吉、豊七(印、<ヤ>三>)	(○サマ) 渡辺屋儀藏様	状	
W6	50	19				(書状、拔荷之義仰せ聞かされ早速入御申上候、生糸の義御改めのため当地成行などにつき)	(文久2年)十一月十五日	長谷川次郎吉、豊七(印、<ヤ>三>)	渡邊屋義藏様、豊吉様	状	
W6	50	20				(書状、初秋御用向仰せ付けられ候分別紙調書相加え候などにつき)	(文久2年)十一月十四日	さのや丹兵衛、貞兵衛	(渡儀様) 渡辺屋儀藏様、御尊店様中	状	
W6	50	21				(書状、今般大物惣仕切書御預りにつき)	(文久2年)十一月廿一日	川喜田久太夫(ほか2名)(印)	渡邊屋義藏様	状	
W6	50	22				(書状、御注文の品々、当節折悪敷品切二相成、誠二折角之御注文残念につき)	(文久2年)十一月四日	さのや丹兵衛、貞兵衛	(渡儀サマ) 渡辺屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様	状	
W6	50	23				覚(黒軸菅反など品物注文につき)	(文久2年)十月廿二日	渡邊屋儀藏(印)、豊吉	小倉屋和助様、半助様、御店中様	状	
W6	50	24				(書状、綿作の義肝心の取り入れ最中に至り永々の雨天続き、欠作に相成心配仕候につき)	(文久2年)十月日	長谷川次郎吉(印)、豊七	渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6	50	25				(書状、白羽二重の御注文に直印の義御座無く取りはからいななどにつき)	戊(文久2年)十月廿六日	小倉や和助、半助	渡部や儀藏様、豊吉様、御尊店様	状	
W6	50	26				追啓奉申上候(御注文下し置かれ候松山中打の儀追々延引などにつき)	(文久2年)十月八日	長谷川豊七	○儀藏様	状	
W6	50	27				(書状、金子の義、入割仰せ聞かされ候承知、および相庭報知につき)	戊(文久2年)九月十七日	<ヤ>三>三浦屋権四郎(ほか2名)	○御印様・渡辺儀藏様、御店中様	状	
W6	50	28				(書状、御注文のうち御見抜き遊ばされ候品物夫々荷造り差上申候につき)	戊(文久2年)閏八月五日	長谷川吉良次	渡邊儀藏様、御店衆中様	状	
W6	50	29				(書状、惣仕切書無事着御引合申上候につき)	(文久2年)閏八月十八日	川喜田久太夫、文兵衛(印)	渡邊屋義藏様	状	
W6	50	30				(書状、紙布羽織ほか注文御願い申上候につき)	(文久2年)閏月廿一日	東山屋作兵衛	渡部屋儀藏様	状	
W6	50	31				(書状、承知仕候通り、栄八様へ御届け仰せられ候願い上げにつき)	(文久2年)八月二日	三浦屋権四郎(ほか2名)	(○様) 渡辺儀藏様、御店中様	状	
W6	50	32				(書状、麻疹・コロリ流行などにつき)	(文久2年)八月十五日	長谷川次郎吉、豊七(印、<ヤ>三>大傳馬丁・金銀不用)	(○サマ) 渡辺屋儀藏様、豊吉様	状	
W6	50	33				(書状、先年流行のコロリ病同様に先月廿日頃より麻疹病大流行などにつき)	(文久2年)七月廿日	さのや丹兵衛(印)(ほか2名)	(○サマ) 渡部屋儀藏様、豊吉様、御店衆中様	状	
W6	50	34				(書状、刺糸御売り払い成し下され候様願い上げにつき)	(文久2年)閏八月九日	澤口安治	渡辺屋儀藏様、御店中様	状	
W6	50	35				(書状、当地成引の義も品私未だ引き続き、矢張品不足にて大いに差し支え相成候などにつき)	(文久2年)八月廿八日	長谷川次郎吉、豊七(印)	(○様) 渡辺屋義藏様、豊吉様	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 50	36				日記入(小袖飾など三品御用け成し下され候様願ひ上げにつき)	(文久2年)九月廿五日	小倉屋和助	○御印、渡部屋儀藏様、御店中様	状	
W6 50	37				(書状、品々別紙直段などにつき)	(文久2年)八月廿四日	さのや久右衛門、直兵衛	渡辺屋佐吉様、井兵衛様、御店衆中様	状	
W6 50	38				(書状、春中の御用向仰せ付けられ候品代のうち泉源殿為替差引銭などにつき)	(文久2年)七月廿一日	長谷川次郎吉、豊七(印)	(○サマ) 渡部屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 50	39				入日記(上こん拾枚など○御印分、山万御印分差し上げられ候につき)	(文久2年)九月十七日	<ヤマ三>店	○御印様	状	
W6 50	40				(書状、兼面御注文下し置かれ候松山嶋中折、段々延引などにつき)	(文久2年)九月廿五日	長谷川次郎吉、豊七(印)	(○サマ) 渡部屋儀藏様、豊吉様、御店中様	状	
W6 51	1				通(袋)	(文久2年)	<ヤマ長>店	渡儀殿	袋	
W6 51	2				仕切覚(廿三七松山結城式拾反など惣メ銀拾九貫三百六十九匁九分九リにつき)	壬戌(文久2年)八月吉日	長谷川吉郎治(印)	渡邊儀藏様	冊	
W6 51	3				覚(木綿代銀三貫四百七十九匁四分など諸色代金メ八両七分余勘定相済につき)	壬戌(文久2年)極月	長谷川吉郎治(印)	渡邊儀藏様、御店中様	状	
W6 51	4				覚(生掛井さん留・納戸織色など諸商品書上)	(文久2年)			冊	
W6 51	5				覚(松島五拾反・新布段拾状など諸商品・数量書上)	(文久2年)八月四日	佐吉(印、<井丸>奥州・白石・渡部屋)	甚藏様	冊	
W6 51	6				覚(信笈筵十一文・廿、花足袋廿など諸商品注文につき)	(文久2年)八月九日	○印	山田屋様	状	
W6 51	7				(覚、信笈筵十文・十文半取合、両家分足袋など諸商品注文につき)	(文久2年)			状	
W6 51	8				覚(下々古手・布段取合式駄代金八拾六切請取につき)	壬戌(文久2年)八月五日	長谷川吉郎治(印)	渡邊儀藏様、同庄松殿	状	
W6 51	9				(書状、去月中、源右衛門出張の節、金百卅兩御渡し下され御札につき)	(文久2年)二月廿二日	(徒山形)長谷川吉郎治(印)	(渡儀サマ・仙臺白石) 渡邊儀藏様、御店中様	状	包紙共
W6 51	10				(書状、木綿古手別紙仕切書の通り差上、および<ヤマ>印黒木綿など到着につき)	(文久2年)八月十三日	長谷川吉郎治(印)	渡邊屋儀藏様、正松様、御店中様	状	
W6 51	11				覚(糸綿・上中綿代金式両式券余受取につき)	(文久2年)八月十七日	松屋又兵衛(印、山形・七日町<ヤマ中>松屋)	上	状	
W6 51	12				覚(金三十五兩内訳勘定につき)	(文久2年)			状	
W6 51	13				覚(差引金三拾兩余勘定につき)	う(慶応3年)八月六日	三浦屋権四郎(印、<ヤマ三>羽州・山形・三浦権)	渡辺儀藏様	状	
W6 51	14				(覚、わた・古手代など諸色代銀四貫貳百五十七匁四分三リ勘定につき)	(文久2年)			状	
W6 51	15				仕切(浴・薄色六反代銀七拾三匁五分など木綿古手代銀メ八貫五百拾九匁八分式につき)	戊(文久2年)閏八月	長谷川吉郎次(印)	渡邊佐吉殿	冊	
W6 51	16				(書状、品切もの御用向仰せ付けられ少しだけ差上候につき)	(嘉永5年)五月十日	三浦屋権四郎	渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様	状	こより共
W6 51	16				覚(しなな拾五枚代銀三百四拾四匁六分七厘勘定につき)	(嘉永5年)二月廿七日	<ヤマ三>店	<○><ヤマ万>御阿印様	状	
W6 51	16				(書状、しなな漸々拾五枚だけ差上、佐兵衛様よりも御注文ありなどにつき)	(嘉永5年)二月廿七日	三浦屋権四郎(印)(まか2名)	渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考	
W6 51	16	4			覚(した)代銀三百四拾四匁六分七厘など勘定につき)	(嘉永5年)閏二月廿七日	<ヤ>三>店(印、<ヤ>三>羽州・山形・三権)	○御尊店様	状		
W6 51	16	5			覚(上)紺廿枚代銀四百拾八匁など諸色代銀貳百七拾貳匁三分勘定につき)	う(安政2年)十一月十八日	<ヤ>三>店(印、<ヤ>三>羽州・山形・金銀不用・三権)	○御尊店様	状		
W6 51	16	6			覚(上)紺貳拾枚代銀四百六拾匁など諸色代銀メ壹貫八百四拾七匁六分勘定につき)	子(嘉永5年)四月七日	三浦屋権四郎(印、<ヤ>三>羽州・山形・金銀不用・三浦権)	渡辺儀藏様、御店中様	冊		
W6 51	16	7			(書状、毎度御品切もの仰せ付けられ千両忝く、そのうち布段何分高直にて当惑仕候につき)	(嘉永5年)十月三日	三浦屋権四郎(印、<ヤ>三>羽州・山形・金銀不用・三浦権)	渡辺儀藏様、豊吉様、御店中様	状		
W6 51	16	8			覚(下)布段五丈代銀百四拾貳匁六分など諸色代銀メ四百拾九匁四分勘定につき)	子(嘉永5年)十月廿五日	<ヤ>三>店(印、<ヤ>三>羽州・山形・三権)	○御尊印様	状		
W6 51	16	9			覚(中)上綿代銀三百拾八匁五分など諸色代銀メ壹貫百五拾貳匁式分勘定につき)	う(安政2年)九月廿二日	三浦<ヤ>三>店(印、<ヤ>三>羽州・山形・金銀不用・三権)	○御尊店様	状		
W6 51	16	10			覚(メ)高金三両など諸色代金メ金三両・四貫七百九十六匁二分二厘勘定につき)	う(安政2年)十月廿四日	<ヤ>三>店(印、<ヤ>三>羽州・山形・三権)	○御尊印様	状		
W6 51	16	11			覚(下)布段百廿三匁三分など諸色代銀メ三貫百六拾九匁勘定につき)	う(安政2年)八月十一日	三浦屋権四郎(印、<ヤ>三>羽州・山形・金銀不用・三権)	渡辺儀藏様、御店中様	冊		
W6 51	16	12			覚(用)印河内布段貳拾四匁代銀七百六拾八匁など諸色代銀メ壹貫八百拾五匁分受取につき)	(嘉永5年)八月十一日	<ヤ>谷>店(印、<ヤ>谷>現金安売・羽州・山形・十日町・長谷川吉内)	仙台白石・渡辺屋儀藏様	状		
W6 51	16	13			覚(水引)代銀四拾三匁五分など諸色代銀メ三百三拾三匁八分請取につき)	(嘉永5年)八月十日	市村屋喜兵衛(印、<カ>ヤ>山形・十日町)	わたなへ屋儀藏様	状		
W6 51	17	1			(書状、<カ>ヤ>水>様分など金廿匁式朱・四百九拾四匁御送り申上候につき)	(嘉永2年)八月九日	三浦屋権四郎(印、<ヤ>三>羽州・山形・金銀不用・三権)	○御印様(ほか3名)	状	こより共	
W6 51	17	2			覚(上)糸綿代金五匁受取、荷物は明後十一日限り急度御渡しにつき)	(嘉永2年)八月九日	山形・十日町・笹間屋留吉(印)	仙台白石・渡辺儀藏様代・佐兵衛様	状		
W6 51	17	3			覚(<井>〇)様分など代金メ三拾貳匁壹分一朱ト百八十六匁勘定につき)	西(嘉永2年)八月八日	三浦屋店(印、<ヤ>三>羽州・山形・金銀不用・三権)	渡辺儀藏様	状		
W6 51	17	4			覚(丸角行式)反代金貳匁ト八百匁受取につき)	西(嘉永2年)八月八日	三浦屋店(印、<ヤ>三>羽州・山形・金銀不用・三権)	渡辺義藏様	状		
W6 51	17	5			覚(上)糸綿・上仲わた代金五匁のうち、壹両手金として預り、残金引替古銀にて御渡し申上候につき)	(嘉永2年)八月六日	山形・十日町・笹間屋留吉(印)	白石・渡辺儀藏様	状		
W6 51	17	6			覚(上)仲わた代金などメ金五匁勘定につき)	(嘉永2年)八月十一日	笹間屋・留吉(印、羽州・山形)	渡辺儀藏様	状		
W6 51	17	7			覚(小)ゆきなた廿四尺代銀拾匁八分など諸色代金四匁三分相済につき)	(嘉永2年)			状		
W6 51	17	8			覚(紺)十文・拾足廿八など〇サマ諸色代銀メ貳百十式匁九分、および井丸サマ・山万分など書上)	(嘉永2年)			状		
W6 52	1				覚(十二)月十三日朱など諸色代金メ壹両壹分余勘定につき)	卯(近世)正月廿六日		紙屋喜右衛門	渡辺屋甚藏様	状	こより共
W6 52	2				覚(十一)月廿八日壹貫六拾八文など諸色代銀メ拾貳貫七百拾九匁勘定につき)	丑(近世)極月		最上屋	○渡部屋様	状	
W6 52	3				覚(紺)貳百四拾匁代銀九百六拾匁文など諸色代銀メ五貫三拾四匁勘定につき)	寅(近世)十月八日		渡辺屋伊太右衛門	渡辺屋甚藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6	52	4				寛(塩引代銭貳貫百文など諸色代銭メ九貫百八十八文勘定につき)	(近世・年月日未詳)	中町・卯兵衛	たまりや様	状	
W6	52	5				寛(こんさき縮麻貳丈九尺代銭三貫五百文など諸色代銭メ七貫拾文勘定につき)	寅(近世)七月	水戸や	本家・渡部屋様	状	
W6	52	6				寛(玉子三十代銭貳百七拾文など諸色代銭メ拾壹貫七百八拾三文勘定につき)	とら(近世)七月廿七日	中町・卯兵衛	たまりや様	状	
W6	52	7				寛(打かけ五拾文など諸色代銭メ壹貫五百拾貳文勘定につき)	とら(近世)七月	なら屋草蔵	渡辺屋儀蔵様、豊吉様	状	
W6	52	8				寛(真綿四拾玖代銀五匁など諸色代銀メ貳拾六匁・貳百九拾文勘定につき)	寅(近世)七月	山崎屋三次郎	渡部屋儀蔵様	状	
W6	52	9				寛(びん付代金四貳朱など指引代金貳貳朱勘定につき)	寅(近世)七月	山崎屋三次郎(印)	渡部屋儀蔵様	状	
W6	52	10				寛(黒板帯廿四匁など諸色代銭三貫九百九拾五文勘定につき)	(近世・年月未詳)七月	石津屋十郎左衛門	渡辺屋儀蔵様	状	
W6	52	11				寛(綿ちちみ三十四反代銭壹貫三百六十文など諸色代銭メ貳貫七百七十八文勘定につき)	寅(近世)七月	鶴見屋傳右衛門	○御店様	状	
W6	52	12				寛(上杉八分代金壹匁など諸色代金メ壹切六百八十文受取につき)	とら(近世)七月	<ヤ>三>平兵衛	渡辺屋庄松様	状	
W6	52	13				寛(正月廿三日・四百八拾文など諸色代銀メ四匁五分・壹貫六百廿文相済につき)	とら(近世)七月	與八	寿丸様	状	
W6	52	14				寛(小桶代銭拾文など諸色代銭メ拾貫三百七拾三文勘定につき)	(近世・年月未詳)七月十四日	桶屋兼奈	中町・儀蔵様	状	
W6	52	15				寛(去年分代金貳貳朱・廿六文など勘定につき)	寅(近世)ノ七月五日	生酒屋甚之助	○印様	状	
W6	52	16				寛(蒸柳支壹つ代銀貳匁五分請取につき)	寅(近世)七月	石つや兵蔵	渡辺儀蔵様	状	
W6	52	17				寛(仏の梳七つ代など諸色代金貳歩ト六匁壹分・七文勘定につき)	寅(近世)ノ七月	鈴木藤左衛門	渡部儀蔵様	状	
W6	52	18				寛(丑の年暮勘定の上、酒代銭六百九拾六文不足につき)	寅(近世)ノ七月	御酒蔵	中町・渡部屋甚蔵様	状	
W6	52	19				寛(大妻五斗入拾俵代銭貳貫文勘定につき)	とら(近世)七月	本郷車屋谷吉	渡辺屋甚蔵様	状	
W6	52	20				寛(杉五分板七間にて銭貳貫三百七十九文御かし下されたくにつき)	(近世・年月未詳)七月十四	田中屋分・権右衛門	渡辺屋儀蔵様	状	
W6	52	21				寛(三拾四俵代銭壹貫四百文勘定につき)	(近世・年月未詳)七月	佐藤仁平	渡部甚蔵様	状	
W6	52	22				おほへ(去年中分あし炊代銭貳百四十文受取につき)	寅(近世)七月	黒沢運治	渡部儀蔵様	状	
W6	53	1				寛(平日壹枚代銭貳百五十文など諸色代銭メ七百九十五文勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	こより共
W6	53	2				寛(男帯拾六本ほか取合代銀拾匁九分五リなど諸色代銀メ百七拾七匁八分勘定につき)	子(近世)ノ七月	鶴見屋傳右衛門	○御店様	状	
W6	53	3				寛(草リ下駄貳足代銭百七拾文など諸色代銭メ七貫七百七拾貳文受取につき)	子(近世)ノ七月	高橋屋甚兵衛	渡邊屋儀蔵様 ■■(蔵様)	状	破損あり
W6	53	4				寛(茶紙・また代銭拾貳貫八百七十四文書上)	子(近世)七月	高橋屋甚兵衛	渡邊屋儀蔵様	状	
W6	53	5				寛(女おひ・風呂敷代など諸色代金四貳貳朱・三百貳拾四文受取につき)	子(近世)八月十三日	山崎屋清右衛門(印、<カ山>奥州・白石・長町・山崎屋)	渡部屋儀蔵様	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 53	6				覚(冷麦六人分代錢四百貳拾文受取につき)	子(近世)ノ七月	山崎味作	渡部甚藏様	状	
W6 53	7				覚(表巻反代など諸色代金五兩・五百四十六文勘定につき)	子(近世)七月	ちはや兵作	渡部屋儀藏様	状	
W6 53	8				覚(表具座八枚代金壹分受取につき)	(近世・年未詳)七月十四日	<ヤ三>半兵衛	渡邊屋甚藏様	状	
W6 53	9				覚(黒縁香菅箱代銀三匁五分勘定につき)	子(近世)七月	福嶋屋彦治郎	渡邊屋儀藏様	状	
W6 53	10				覚(上表こさ五枚代金壹歩勘定につき)	子(近世)ノ七月十五日	<ヤ三>半兵衛(印)<ヤ三>奥州・白石・亘理町・谷藤屋)	渡邊屋儀藏様	状	
W6 53	11				覚(手桶・たらい代など諸色代錢メ六貫三拾貳文勘定につき)	子(近世)ノ七月	桶屋兼松	中町・渡部や儀藏様	状	
W6 53	12				覚(す・玉子・平目代など諸色代錢メ九貫六百八拾二文勘定につき)	子(近世)ノ七月	卯兵衛	○印様	状	
W6 53	13				覚(手拭・ふきん・練糸小納戸代など諸色代錢メ貳貫貳拾六文勘定につき)	子(近世)ノ七月	渡部屋伊太右衛門	渡部屋甚藏様	状	
W6 53	14				覚(淺黄・拾五反など商品・数量書上)	子(近世)ノ七月	渡部屋伊太右衛門	渡部屋甚藏様	状	
W6 53	15				覚(三斗五升・壹貫百廿文など数量・錢高書上)	子(近世)ノ七月	大坂屋七右衛門	渡部屋甚藏様	状	
W6 53	16				おほへ(酒代錢四百八文受取につき)	子(近世)ノ七月廿日	小野屋利兵衛	中町・渡辺儀藏様	状	
W6 53	17				覚(白六貫七百めなどメ六貫八百目代金五兩貳歩ト五百文受取につき)	子(近世)七月	菊池屋万五郎	渡義様	状	
W6 53	18				覚(榜地巻反・嶋薄地上物四反代銀メ百六匁受取につき)	子(近世)七月廿日	まる山(印、<丸山>奥州・白石)	○御店様	状	
W6 53	19				覚(三拾貳匁五斗九升など諸色代錢メ壹貫九百三拾文勘定につき)	(近世・年未詳)七月	佐藤仁平	渡部甚藏様	状	
W6 53	20				覚(白七拾本代錢メ六百八拾文受取につき)	子(近世)七月十四日	石津や太右衛門(印、<ヤ水>奥州・白石・石津屋)	渡邊義藏様	状	
W6 53	21				覚(弁当蓋・食籠ふた結ほか取合代銀壹匁三分など金銀受取につき)	子(近世)ノ七月廿日	鈴木藤左衛門(印)	渡部儀藏様	状	
W6 53	22				覚(地きぬ・嶋ちゝみるいななど諸色代錢メ七貫四百六文勘定につき)	子(近世)ノ七月	つるみや直治	○御店様	状	
W6 53	23				覚(なつ袴代錢貳百四拾文など商品・代錢書上)	子(近世)ノ七月	ひのや興八	寿丸様	状	
W6 54	1				覚(嶋小紋ちらし・七百文など四品書上)	(近世・年月日未詳)	水之や久兵衛	○印御勝手様	状	こより共
W6 54	2				覚(京中布巻反・拾五文など取引につき)	申(近世)ノ十二月	つるみや傳右衛門	○御店様	状	
W6 54	3				覚(手桶・式十五文など諸色代錢書上)	申(近世)ノ十二月	利嘉店	渡部や義藏様	状	
W6 54	4				覚(黒縁・三匁五分など諸色代銀書上)	申(近世)ノ十二月	福嶋屋彦次郎	渡辺屋儀藏様	状	
W6 54	5				覚(布拾四反代錢三拾文勘定につき)	申(近世)十二月	旦木屋庄兵衛	渡部儀右衛門様	状	
W6 54	6				覚(古さしたひ中の代銀廿三匁七分請取につき)	申(近世)十二月	山田屋忠次郎	渡部屋義藏様	状	
W6 54	7				覚(大妻式拾など諸色代銀メ五貫九百七拾九匁勘定につき)	(近世・年未詳)極月	佐藤伊右衛門	渡部甚藏様	状	
W6 54	8				覚(刺糸壹地七〇掛代銀式匁九分など諸色代銀書上)	申(近世)十二月	山さきや三次郎	渡部屋儀藏様	状	
W6 54	9				覚(地入紋ちらん抱きく代銀壹匁五分勘定につき)	申(近世)ノ十二月	田町々	中町・渡部二而	状	
W6 54	10				覚(かれい三枚代など諸色代錢百四拾文勘定につき)	申(近世)ノ十二月	中町・卯兵衛	○御印様	状	
W6 54	11				覚(白正三六貫七百五十目など商品書上)	申(近世)ノ極月	菊地屋萬五郎	中町・渡義様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W6	54	12				覚(通入手代など諸色代金貳貳分、まげ候こと願い上げにつき)	(近世・年未詳)正月三日	角生	○印様	状	
W6	54	13				覚(食粉拾貳袋代銀六百七拾貳文勘定につき)	申(近世)ノ極月	石澤屋吉兵衛	渡辺義藏様	状	
W6	54	14				覚(下方五丈代銀拾貳匁五分など紙代銀書上)	(近世・年未詳)十二月	生酒屋甚之助	○印様	状	
W6	54	15				覚(判紙代金壹切一朱御入帳下さるべく候につき)	申(近世)十二月	山藤店	渡庄様	状	
W6	54	16				覚(白運壹反代銀貳拾九貫文勘定につき)	申(近世)三月	山崎屋清右衛門	渡辺屋儀藏様	状	
W6	55	1				覚(平中巾貳枚・白ち、み五反など諸色代銀メ四十八匁四分勘定につき)	申(近世)十二月六晦日	鶴見屋直次	渡邊屋庄松様	状	
W6	55	2				覚(「ちらん・わらじ・かふかい」代など諸色代銀メ三貫五百五十五文勘定につき)	申(近世)ノ七月	高橋屋甚兵衛	渡部屋儀藏様	状	
W6	56	1				覚(手桶・ひやく代など諸色代銀メ壹貫拾文勘定につき)	(近世・年未詳)八月朔日	桶屋利喜藏	中町・義藏様	状	こより共
W6	56	2				覚(鳴ち、み・平中巾代など諸色代銀メ九十八匁五分五リ・ち、み七十四反代銀貳貫九百六十目勘定につき)	(近世・年未詳)七月十四日	つるみや直治	渡邊屋御店様	状	
W6	56	3				覚(あさつき・はまくり・あわび代など諸色代銀メ拾壹貫貳百八十九文勘定につき)	申(近世)七月	中町・外兵衛	○印様	状	
W6	56	4				覚(白代金メ十八切貳朱・五百拾九文受取につき)	申(近世)七月十七日	菊地屋萬五郎	中町・儀藏様	状	
W6	56	5				覚(弁当蓋・黒わん・大平代など諸色代銀メ壹貫三百五十五文勘定につき)	申(近世)ノ七月	黒沢運治	渡部儀藏様	状	
W6	56	6				覚(平中巾・平大中・ふくさ代など諸色代銀メ百四拾及七分勘定につき)	申(近世)ノ七月	鶴見屋傳右衛門	渡義様	状	
W6	56	7				覚(鳥紙布貳拾枚など諸色代金壹切半ト百十二文勘定につき)	(近世・年未詳)七月十三日	斎藤勘十郎	渡部甚藏様	状	
W6	56	8				覚(小鯛・六論衍義代銀メ七匁壹分勘定につき)	申(近世)七月	いしつや兵藏	義藏様	状	
W6	56	9				覚(下しかん代など諸色代銀メ壹貫六百拾六文勘定につき)	(近世・年未詳)七月十七日	安藤や平治	渡部屋儀藏様	状	
W6	56	10				書出し(しゐたけ・茗荷・豆腐代など諸色代銀メ貳百六拾四文勘定につき)	申(近世)の七月	日下屋圓四郎	当町・甚藏様	状	
W6	56	11				(覚、石餅代銀壹匁五分請取につき)	申(近世)七月十四日	三木直右衛門	渡部義藏様	状	
W6	56	12				覚(たんす・つるへの壘代銀メ百廿五文勘定につき)	申(近世)ノ七月十四日	水戸友右衛門	中町・義藏様	状	
W6	56	13				覚(おすま六代銀三匁受取につき)	申(近世)七月	石津屋十郎左衛門	渡辺屋甚藏様	状	
W6	56	14				覚(冷麦五人分代銀三百七拾五文受取につき)	申(近世)七月	山崎味作	渡部義藏様	状	
W6	56	15				覚(黒縁香壹匁代銀三匁五分勘定につき)	申(近世)七月	福嶋屋彦治郎	渡邊屋儀藏様	状	
W6	56	16				覚(嶋ゆかた代など諸色代銀メ七貫九百三十文勘定につき)	(近世・年月日未詳)	三戸久	上	状	
W6	56	17				覚(米とき桶代銀四拾五文・手水鉢廿文書上)	(近世・年未詳)八月朔日			状	
W6	56	18				覚(呉座貳枚代など諸色代銀メ七匁四分勘定につき)	申(近世)七月	山崎屋三治郎	渡部屋儀藏様	状	
W6	57	1				覚(平広巾壹反・大ふくさ十七枚代銀十三匁六分など諸色代銀メ五十三匁貳分御算用下さるべく候につき)	(近世・年未詳)正月五日	鶴見屋直次	渡邊屋庄松様	状	こより共
W6	57	2				覚(火打壹枚・かま代銀メ四百七十文勘定につき)	(近世・年未詳)十二月晦日	水戸与右衛門	中町・儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W6	57	3				寛(上々白など商品書上)	未(近世)ノ極月	佐藤伊右衛門	渡部甚藏様	状	
W6	57	4				寛(中印五反代銀廿五匁など諸色代銀メ六拾五匁式分勘定につき)	未(近世)ノ十二月	鶴見屋傳右衛門	○御店様	状	
W6	57	5				寛(角ふた代銀貳拾文など諸色代銀メ貳百貳拾五文勘定につき)	未(近世)ノ十二月	黒沢運次	渡部儀藏様	状	
W6	57	6				寛(は印古たび十足代銀九匁八分など諸色代銀メ五拾貳匁五分受取につき)	未(近世)ノ十二月	<カ山>	○御店様	状	
W6	57	7				寛(上下地紙代銀百七十四匁九分など金貳両壹歩式未ト七百十六文指上につき)	申(近世)正月三日	生酒屋甚之助	渡邊儀藏様	状	
W6	57	8				寛(ひも代銀六匁など諸色代銀書上)	未(近世)十二月	ひのや興八	○様	状	
W6	57	9				寛(御紙廿五枚代金壹両三朱書上)	丑(近世)六月	生酒や甚之助	渡邊儀藏様	状	
W6	57	10				寛(白正代金拾切余など書上)	未(近世)極月卅日	林之助	渡義様	状	
W6	57	11				寛(唐草かめ巻ツ代銀八匁三分など諸色代銀メ十壹匁八分請取につき)	未(近世)三月	山形か・福嶋屋彦治郎	渡邊屋儀藏様	状	
W6	57	12				寛(郡内壹丈四尺代銀拾五匁六分請取につき)	未(近世)十二月	山崎屋清右衛門	渡邊屋儀左衛門様	状	
W6	58	1				(寛、下深谷村・米武俵・太郎治など書上)	丑(近世)三月十一日			状	こより共、前欠、付札 [丑三月十一日改 諸方 古新書帳あり]
W6	58	2				寛(山崎・三百帖の直段などにつき)	(近世・年未詳)八月十八日	渡邊屋儀藏	三浦屋幸吉様、御店中様	状	
W6	58	3				寛(本谷風・五百帖など諸色直段書上)	(近世・年未詳)八月十八日	渡辺屋儀藏	後藤屋吉兵衛様、御店中様	状	
W6	58	4				(つまようじ2点)	(近世・年月日未詳)	仙台上長町・ぬまたや弥惣治		状	包紙共
W6	58	5				(断簡、添手形・巻通)	(近世・年月日未詳)			状	前後欠
W6	58	6				(包紙、御祝義・壹分銀貳拾五両)	(近世・年月日未詳)	渡部儀藏(印)		状	
W6	58	7				(包紙)	(近世・年未詳)四月廿七日	大石屋大吉	白石・渡邊儀藏様	状	
W6	58	8				口上(先日後便拜見仕候、道具御払い申候につき)	(近世・年未詳)四月十六日	<ヤ上>卯左衛門		状	後欠
W6	58	9				(書状、糸五貫目計御引受下されたく申し参り候につき)	(近世・年未詳)六月十九日	平内	<カ山>御番台様	状	
W6	58	10				(書状、小子義余義なく佐用到来仕候、今日引き放しかね移行仕るべく候につき)	(近世・年月未詳)十九日	<ゾガミー>平内	○御主人様	状	
W6	58	11				(断簡、白紙)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	58	12				(書状、紙届き申さざるにつき)	(近世・年未詳)八月十九日	わたりより・兵き	白石町・渡義様	状	
W6	58	13				おほへ(打かけ獅子の根付壹つ代銀壹貫百五十文受取につき)	(近世・年未詳)八月十三日	安倍屋清之	上	状	
W6	58	14				(寛、其紙最上屋より御持参いたし一寸御出下されたくにつき)	(近世・年未詳)八月十六日	半城屋孝之殿内・たろき	渡邊屋義藏様	状	
W6	58	15				寛(根付三つ代銀三貫文請取につき)	(近世・年未詳)八月十三日	高橋屋喜兵衛(印、仙臺・柳町中程・高橋屋)	上様	状	
W6	58	16				寛(大急御相談申し上げたく、今日中御入来成し下されたくにつき)	(近世・年未詳)八月十五日	高橋屋喜右衛門	渡部屋義藏様	状	
W6	58	17				(書状、ちり金百個お送り下されたくにつき)	(近世・年未詳)八月十九日	<カ吉>より・重兵衛	○渡義様	状	
W6	58	18				(書状、ちり紙厚キ所御見抜巻つ半御贈り成し下されたくにつき)	(近世・年未詳)八月十五日	渡邊屋源三郎	渡邊屋儀藏様	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W6	58	19				(包紙断簡)	(近世・年月日未詳)		○御主人様	状	
W6	58	20				(書状、金子繰り合わせのため御扁宅の上、御都合成し下されたくにつき)	(近世・年月日未詳)九月十二日	太兵衛	甚蔵様	状	
W6	58	21				(書状、当月中旬より風唱御座候得共、商売方出毅請方にて舟岡・角田辺商売相成候につき)	(近世・年月日未詳)十一月廿九日	○より	山中屋	状	
W6	58	22				口上 (<お生>御店様より申来候、一昨日岩沼まで持ち遣わし飛脚の衆相婦り書状持のため下店にて開封、別紙の通りにつき)	(近世・年月日未詳)十二月朔日	<ツル山>	○御主人様	状	
W6	58	23				(書状、呉服物商売の義は先年より致し、御城下にて仕入候品のほか、他所直仕入御免仰せ渡され候などにつき)	(近世・年月日未詳)十一月廿九日	同(検断)・安右衛門	検断・正右衛門様	状	
W6	58	24				覚(金巻朱入書状普通受取につき)	亥(近世)ノ十月廿三日	藤山陶助	渡部儀蔵殿	状	
W6	58	25				覚(大豆五斗入拾壹俵・同四斗入式拾俵御渡しにつき)	子(近世)ノ三月廿四日	丸大	○印様	状	
W6	58	26				覚(小麦五斗入六俵など小麦・大豆御入帳成し下されたくにつき)	(近世・年月日未詳)十一月十八日	大庭屋	渡部屋様	状	
W6	58	27				覚(将油<ツツ>拾壹御渡し下されたくにつき)	(近世・年月日未詳)二月初日	小原清六	白石中町・儀蔵様	状	
W6	58	28				覚(紙布式百枚代金三歩三朱など紙布代金書上)	戌(近世)ノ十一月十五日	鈴木藤左衛門	高橋甚之丞様	状	
W6	58	29				覚(生糸代銀式百式拾二匁など請取、および薄地メ廿五反書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	58	30				覚(薄地六反出来のため指上につき)	(近世・年月日未詳)二月晦日	石井久馬太郎	渡邊屋儀蔵様	状	破損あり
W6	58	31				口演(生醬式拾壹、此者へ御かし下さるべく候につき)	(近世・年月日未詳)十二月廿七日	忠治郎(印)	渡邊屋儀蔵様	状	
W6	58	32				(覚、たまり式拾壹、此者へ御遣し下さるべく候につき)	(近世・年月日未詳)十二月卅日	小原カ・忠次郎	本家・渡邊屋殿	状	
W6	58	33				口演(生油四十盃御かし下されたくにつき)	(近世・年月日未詳)十二月晦日	高橋忠治郎	渡邊屋儀蔵様	状	
W6	58	34	1			覚(買入のため金式拾切御貸し渡し下されたくにつき)	(近世・年月日未詳)七月七日	最上屋平次郎	○御主人様、豊吉様	状	
W6	58	34	2			覚(金十両御貸し渡し下されたくにつき)	(近世・年月日未詳)七月七日	<ヱガミー>	○御主人様、豊吉様	状	
W6	58	35				覚(たまり拾壹、此ものへ御貸し渡し下されたくにつき)	丑(近世)正月廿一日	一条春蔵	渡部甚蔵様	状	
W6	58	36				(書状、先刻御願いの金子、何卒御拜借致したく金五両御かし下されたくにつき)	(近世・年月日未詳)四月十四日	<ヱガミー>平内	○御主人様、豊吉様	状	
W6	58	37				覚(飛切拾壹文・式拾足代銀三五など足袋数量・代銀書上、二伸にて当地相場銭に直し指上候につき)	(近世・年月日未詳)十二月十六日			状	2瓶1点
W6	58	38				(覚、大平代金拾両など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	58	39				(覚、銭百三十五文など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	58	40				覚(たまり拾壹、此ものへ御かしわたし下されたくにつき)	(近世・年月日未詳)三月十七日	養蔵	甚蔵様	状	
W6	58	41				(覚、白米四斗壹俵など商品書上)	子(近世)八月廿二日			状	
W6	58	42				(覚、米四斗五升入式俵ツ、幸六など都合四拾俵書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	58	43				覚(長薄へり四枚代銭七百式拾文など諸色代銭メ式買五百文勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W6	58	44				覚(米四斗入三十二俵受取につき)	子(近世)五月廿二日	大坂屋七右衛門	渡部屋甚藏様	状	
W6	58	45				(建物見取図、戸板并かまど之事、柱五十三本など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	58	46				商荷駄賃帳(利府町・原ノ町迄四百拾文など諸色駄賃ノ金壹歩壹朱・銭壹貫四百八十五文勘定につき)	天保七年十一月	石黒義輝分・兵作		冊	
W6	58	47				覚(中折四拾円印代銀四拾六匁壹分二厘など諸色代金七匁三分三朱余受取につき)	酉(近世)二月廿一日	八巻屋長右衛門(印、奥州・八巻屋長右衛門)	渡辺儀藏様、甚藏様	状	
W6	58	48				(覚、大子持八反など注文品書上)	申(近世)ノ八月十日			状	
W6	58	49				覚(筋縄百六十抱代銀九十四匁三分など諸色代金ノ式兩一歩一朱余勘定につき)	(近世・年未詳)十一月十七日	小西久兵衛	渡部義藏様	状	
W6	58	50				覚(土蔵後前巻ツ北口東へ立附代金式兩三分など勘定につき)	(近世・年未詳)三月十九日	福岡馬喰町・阿子嶋三十郎(印、 <ヤ>三>奥州・福岡、阿子嶋)	白石中町・渡部義藏様	状	
W6	58	51				覚(代銀四百四拾五匁勘定につき)	(近世・年未詳)八月三日	恩田屋惣七	小西御店様	状	
W6	58	52				(書状、正月十三日着仕候龍御上下地五疋直段につき)	(近世・年未詳)二月十五日	本郷二町目・大和屋文治郎	白石御城下・矢内太郎左衛門様	状	包紙共
W6	58	53				(書状、文晁真筆面其俵ニ而差上申候間、其御地ニ而表具仰せ付けられ下さるべく候につき)	(近世・年未詳)二月廿八日	丸屋佐助	白石・渡部甚藏様	状	
W6	58	54				(略図、深サ式尺式、三寸など書上)	(近世・年未詳)五月廿三日			状	3紙1点
W6	58	55	1			覚(金子借用出帳の御、遠藤や払い代金半切・壹貫六百七十四文など諸人用金ノ巻両分ト錢四貫二百五拾四文勘定につき)	酉(近世)十二月九日	山崎屋依吉	金子御仲間中様	状	こより共
W6	58	55	2			覚(島木綿式反代銀六拾五匁五分など諸色代銀ノ百七拾壹匁・百四十三文勘定につき)	(近世・年未詳)十二月九日	井丸		状	
W6	58	55	3			覚(金三百七拾五匁のうち式百七拾五匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	58	55	4			覚(○印代金拾九匁式分など諸色代金ノ六拾八匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	58	55	5			○分(利足立替代金拾八匁など諸色代金勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	58	55	6			覚(本最被架代銀七拾式匁書上)	(近世・年未詳)十二月九日	<ヤ>上>(印、<ヤ>上>奥州・白石・長町)	<井丸>御店様	状	
W6	58	55	7			(包紙、銀壹歩判式拾五匁、金銭書上などに再利用)	(近世・年月日未詳)	北五ヶ村肝入・山田豊三郎		状	
W6	58	55	8			覚(藤代金五匁など諸色代金勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	58	55	9			覚(末口之元・金三百七拾五匁など諸色代金書上)	(近世・年月日未詳)			状	後欠
W6	58	55	10			(書状、借金の義当月晦日迄ニ御送金申し上ぐべく候などにつき)	酉(近世)ノ十月廿二日			状	
W6	58	55	11			(書状、兼而御用差上置候金子御勘定などにつき)	(近世・年未詳)九月廿五日	早田傳之助	米竹木助様、渡辺庄五郎様	状	
W6	58	55	12			(書状、去ル午年中御用の金子追々御返済相成候につき)	(近世・年未詳)四月廿日	早田傳之助	米竹清右衛門様(まか3名)	状	
W6	58	55	13			(書状、夏中に申し渡されたく、いづれ御相談仕候につき)	(近世・年未詳)九月廿七日	米中和助	渡辺屋五郎様	状	
W6	58	55	14			覚(金三百七拾五匁などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	後欠カ
W6	58	55	15			(書状、兼而御用の金子追々御返済御望みにつき)	(近世・年未詳)六月十六日	早田傳之助	米竹清右衛門様(まか3名)	状	
W6	58	55	16			覚(金千百匁など書上)	(近世・年月日未詳)			状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W6	58	55	17			(封筒)	(近世・年月日未詳)	半田・早田傳之助	白石・菊池十朗左衛門様、 米竹清右衛門様	封筒	
W6	58	55	18			(書状、金百八両御返済、残金の義などにつき)	(近世・年月日未詳)六月三日	早田傳之助	米竹清右衛門様(まか3名)	状	
W6	59	1				覚(申ノ盆前品物代金貳貳式分式朱書上)	(近世・年月日未詳)極月	渡部屋儀藏	最上屋喜内様	状	
W6	59	2				覚(十一月廿四日さし添、金壹分ト六百文書上)	(近世・年月日未詳)極月	渡部屋儀藏	歌永三郎様	状	
W6	59	3				(覚、平井中五反、並申五反など諸品数量書上)	(近世・年月日未詳)極月	渡部屋儀藏	山田屋忠三郎様、御店中様	状	前欠
W6	59	4				覚(藩代銀メ九拾七貫式百四十五両書上)	(近世・年月日未詳)			状	後欠カ
W6	59	5				覚(当盆前惣入金百八拾四切三分書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	59	6				覚(代銭三拾五文・同式十文書上)	(近世・年月日未詳)			状	2紙1点
W6	59	7				(覚、ふり袖取合式つなど商品書上)	(近世・年月日未詳)			状	後欠カ
W6	59	8				覚(代銭三拾六文書上)	い(近世)極月	渡邊屋儀藏		状	
W6	59	9				覚(代銭貳拾八文書上)	い(近世)極月	渡部や儀藏		状	
W6	59	10				(断簡、白紙)	(近世・年月日未詳)			状	
W6	60	1				記(黒南京・拾円廿錢・十五反など書上)	(明治)廿一年九月三日	三ツ屋作次郎(印)	渡辺儀藏様	冊	こより共
W6	60	2				記(神・六円二拾四錢・三拾反など書上)	明治廿一年九月二日	外村与左衛門(印、<ヨ>外 村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様	冊	
W6	60	3				記(今泉・拾五円九錢四厘・四拾反など書上)	明治廿一年九月四日	外村与左衛門(印、<ヨ>外 村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様	冊	丁はずれ
W6	60	4				記(萌ぎ拾枚代など諸色代金メ七拾四円三拾二錢勘定につき)	明次廿一年九月八日	外村与左衛門(印、<ヨ>外 村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様	状	
W6	60	5				記(白梅百反代金三拾貳円余勘定につき)	(明治)廿一年九月十三日	外村与左衛門(印、<ヨ>外 村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様	状	
W6	60	6				仕限書(蒲団代など諸色代金參拾圓九十九錢勘定につき)	明治廿一年九月十三日	吉田丹治郎(印、東京・大傳 馬壹角・丹治郎)	渡邊儀藏様、惣吉様、御尊 店衆中様	状	
W6	60	7				記(西京紅しほり・並大巾代など諸色代金七百七拾一円六拾七錢六厘勘定につき)	明治廿一年九月十七日	外村与左衛門(印、<ヨ>外 村・東京・富沢町)	渡邊儀藏様、惣吉様	冊	
W6	60	8				記(博太織など諸色代金百六拾貳円余勘定につき)	明治廿一年九月十七日	太田源藏(印)	渡邊儀藏様、御店中様	冊	
W6	60	9				記(上総しま・琉久代など諸色代金メ貳百六拾六円三錢八リ勘定につき)	(明治21年)九月十七日	石井清兵衛、直七(印、東京)	渡辺儀造様、御店中様	冊	
W6	60	10				仕切書(雪印長打綿など諸色代金メ百四円四拾四錢につき)	明治廿一年九月十七日	蔵田屋定次郎(印、東京)	渡邊儀藏様、惣吉様	状	
W6	60	11				記(本綿廿五反代金メ拾一円三拾錢勘定につき)	(明治21年)九月廿一日	外村与左衛門(印、<ヨ>外 村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様	状	
W6	60	12				記(白梅二百反代金六拾五円五拾七錢三厘書上)	明治廿一年九月廿五日	外村与左衛門(印、<ヨ>外 村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様、惣吉様	状	
W6	60	13				仕切書(中字十交代金九拾壹円など諸色代金メ百拾六円拾四錢につき)	明治廿一年九月三十日	蔵田屋定次郎(印)	渡邊儀藏様	状	
W6	60	14				記(市・壹枚代金六拾七錢五厘など諸色代金四拾五円拾九錢勘定につき)	戊子(明治21年)十月四日	外村与左衛門(印、<ヨ>外 村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様、惣吉様	状	
W6	60	15				記(野田カケ地三反・九十錢など諸色代金六拾八円四十四錢壹厘勘定につき)	(明治)二十壹年十月四日	大井清兵衛、直七(印)	渡辺儀造様、惣吉様	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6 60	16				記(二等晒二指反・染悉皆代金メ七円六錢勘定につき)	(明治)廿一年十月三日	外村与左衛門(印、<ヨ>外村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様	状	
W6 60	17				記(三仲晒五反代金壹円拾六錢書上)	(明治21年)九月十一日	外村与左衛門(印、<ヨ>外村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様	状	
W6 60	18				記(和・改良島三拾枚代金拾二円七拾五錢など諸色代金メ五拾四円七十八錢五厘勘定につき)	明治廿一年十月六日	外村与左衛門(印、<ヨ>外村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様、惣吉様	状	壹匁印紙貼付
W6 60	19				記(生糸拾反代金五円四拾七錢など諸色代金メ四拾八円七拾七錢五厘勘定につき)	(明治21年)十月九日	外村与左衛門(印、<ヨ>外村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様	状	
W6 60	20				記(地濃村二拾反代金九円六拾六錢など諸色代金メ六拾三円三拾八錢二り勘定につき)	明治廿一年十月十三日	外村与左衛門(印、<ヨ>外村・東京・富沢町)	渡辺儀藏様	状	
W6 60	21	1			記(南京カギ印・十五代金拾円貳十錢など諸品代金書上)	(明治21年)十月三十日	三ツ屋作二郎(印、<ヲ>サ>東京・大門通・田所町・三ツ屋作治郎)	渡辺儀藏様	冊	
W6 60	21	2			仕切書(拾反代金九十三円十六錢など諸品代金につき)	(明治21年)十月廿四日	蔵田屋定治郎(印、東京・堀留町・寅丁目・蔵田屋)	渡辺儀藏様	冊	
W6 60	21	3			記(葉籾五反代金壹円六十錢五厘など諸品代金書上)	(明治)廿五年十月廿二日	近江屋彦兵衛(印、東京・富澤町・金銭不用・近江屋彦兵衛)	渡辺儀藏様、御專店衆中様	冊	
W6 61	1				紙金代借出入帳	天保六年乙未正月吉日	大畑屋兵助、平兵衛(印)	渡部義藏様、甚藏様	冊	付箋あり
W6 61	2				(書状、恩借の金子返済振の義申上候につき)	(近世・年未詳)十月十一日	兵助	甚藏様	状	
W6 61	3				覚(金五拾両のうち三両貳歩を相原屋かしなど、近日御登仙の御御渡し申上候につき)	(近世・年未詳)九月二日	平兵衛	儀藏様、甚藏様	状	
W6 61	4				覚(金五拾両のうち拾五両受取、およびメ四拾五両不足分の返済・利足につき)	(近世・年未詳)十月二日	渡邊屋甚藏	大畑屋平兵衛様	状	
W6 61	5				覚(目六式丸代金五両など諸品代金書上、および松原五丸など類似内容の添付あり)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 61	6				(覚、中枚原三拾五状代金三切半など諸色代金メ八拾両勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W6 61	7				(書状、紙式百状御かし成し下されたくにつき)	(近世・年未詳)四月七日	短期・平兵衛	渡儀様、渡甚様	状	
W6 61	8				覚(天保元寅年分四ヶ年符<ハ><ハ>申合候金五拾両のうち拾四両貳歩請取につき)	(近世・年月日未詳)			状	破損あり
W6 61	9				覚(直印百状代銀九十匁九分など諸色代金拾五両請取につき)	(近世・年未詳)二月十六日	渡辺屋義藏	大畑屋平兵衛様	状	
W6 62	1				(書状、分油など二品に金六切半御かし下されたくにつき)	(近世・年未詳)十一月九日	曾次郎	渡部屋様	状	こより共
W6 62	2				(書状、拾喜枚などの手形紛失仕候につき)	(近世・年未詳)十一月廿三日	郡山村・栄之助	小田や様	状	
W6 62	3				口上(金三切御かし下されたく願ひにつき)	(近世・年未詳)十一月廿日	長藏	儀藏様	状	
W6 62	4				覚(金式両式分式朱・佐々木哲次様などへ買紙相添につき)	(近世・年未詳)九月廿日	渡邊屋儀藏	源左衛門様	状	
W6 62	5				口上(生糸へ金式百両御かし下されたく御願ひにつき)	(近世・年未詳)十一月十六日	髪二分出	渡部豊吉様	状	
W6 62	6				(書状、帯喜筋の手形請取につき)	(近世・年未詳)九月朔日	舟岡町・床や庄吉	渡部屋義藏様	状	
W6 62	7				覚(金式両壹歩・七十文証文につき)	(近世・年未詳)十月廿五日	郡山ノ・度吉	儀藏様	状	
W6 62	8				(覚、小原村金兵衛殿しち物御渡し下されたくにつき)	(近世・年未詳)十一月十五日	小原・わたや	渡部様、しち場之衆	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W6	62	9			覚(貨物三品にて金五切、此者へ御かし下された くにつき)	(近世・年未詳)十一月十一日	寺屋敷・与市	わたなへ様	状	
W6	62	10			(覚、金七両式歩の質札紛失、後日に其札持参の節 私方二而急度始未仕候につき) 覚(質入にて金壹切半御渡し成し下され候様御願 いにつき)	(近世・年未詳)十一月十五日	上小原村・半沢長藏(印)	中町・質や甚藏様	状	
W6	62	11				(近世・年未詳)十一月九日	太田屋熊吉	しちや甚藏様	状	
W6	62	12			口上(忠右衛門に何時なりとも品御渡し下された く存じ上げにつき)	(近世・年月日未詳)	小田屋安藏(印)	渡邊屋儀藏様	状	
W6	62	13			(書状、別紙手形三枚指上候間、壹切指上候につき) 口上(此もの書付差上ケ候、御取り入れ下された くにつき)	(近世・年未詳)十月晦日 寅(近世)十月廿五日	仲 渡小路・佐川駒之進	本家・渡部屋番頭衆 渡邊屋御店中	状	
W7	1	1	1		(包紙、明治三十拾年上納切符)	(明治・年月日未詳)	寿丸勝手		状	こより共
W7	1	1	2		(領収証、町税拾九錢五厘)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊良作殿	状	
W7	1	1	3		(領収証、果税參錢九厘)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊良作	状	
W7	1	1	4		(領収証、水利組合費貳拾參錢九厘)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊卯吉殿	状	
W7	1	1	5		(領収証、地租田租貳拾錢)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊卯吉	状	
W7	1	1	6		(領収証、小学校授業料第六期二月・三月分壹円七 拾錢)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	1	7		(領収証、果税貳拾壹円四拾五錢)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	1	8		(領収証、水利組合費參拾錢五厘)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉殿	状	
W7	1	1	9		(領収証、水利組合費參拾壹錢五厘)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	1	10		(領収証、水利組合費參円四拾參錢參厘)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	1	11		(領収証、水利組合費貳拾壹円六錢參厘)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	1	12		(領収証、地租田租貳円四錢貳厘)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	1	13		(領収証、地租田租拾九円參拾壹錢四厘)	明治三十年五月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	1	14		(領収証、地租田租五拾六錢參厘)	明治三十年五月廿四日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	1	15		(領収証、年贖金壹円)	明治三十年二月十九日	日本赤十字社宮城支部刈 田郡委員長・遊佐正人(印)	白石町・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	1	16		(領収証、年贖金壹円)	明治三十年二月十九日	日本赤十字社宮城支部刈 田郡委員長・遊佐正人(印)	白石町・渡邊惣吉殿	状	
W7	1	1	17		(領収証、田租八円七拾五錢貳厘)	明治三十年二月廿三日	西根村収入役・八嶋惣吉(印)	西根村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	1	18	1	(領収証書(営業税參拾八拾參錢參厘))	明治三十年十一月三十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	1	18	2	(領収証書(細租拾八七錢七厘などにつき))	明治三十年十一月三十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	1	18	3	(領収証書(細租壹円三拾八錢九厘などにつき))	明治三十年十一月三十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	1	19		(領収証書(細租九拾七錢三厘などにつき))	明治三十年十一月廿一日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	1	20		(領収証書(細租九拾貳錢七厘などにつき))	明治三十年十一月廿一日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	1	21		(領収証書(細租拾九拾壹錢九厘などにつき))	明治卅年九月卅日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	1	22		(領収証書(細租壹円參拾八錢九厘などにつき))	明治卅年九月卅日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	1	23		(領収証(年贖金壹圓))	明治三十年九月廿日	白石分町區委員・齋藤吉彌(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	1	24		(領収証(年贖金壹圓))	明治三十年九月廿日	白石分町區委員・齋藤吉彌(印)	渡邊惣吉	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	25			領收証書(所得税拾八円六拾三錢)	明治卅年九月卅日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	26			領收証書(地租六拾九錢九厘)	明治卅年九月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	27			(領收証、小学校授業料壹円四拾錢)	明治卅年十一月十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	28			(領收証、果稅貳拾円四拾錢)	明治卅年十月卅一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	29			領收証書(醬油造石稅六拾貳円貳拾五錢五厘)	明治三十年九月廿四日	大河原支金庫(印)	白石町・渡辺儀藏	状	
W7	1	30			領收証書(營業稅拾六円九拾壹錢七厘)	明治三十年七月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	31			(領收証、小学授業料壹円四拾錢)	明治三十年八月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	32	1		(領收証、水車稅參拾錢)	明治卅年八月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	32	2		(領收証書、營業稅拾五錢)	明治卅年八月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	33	1		(領收証、車稅貳拾五錢)	明治卅年八月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	33	2		(領收証、荷車稅五拾錢)	明治卅年八月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	34			(領收証、関稅八円四拾五錢九厘)	明治卅年七月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	35			(領收証、營業稅六円七拾六錢六厘)	明治卅年七月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	36			(領收証、町稅百七円貳拾五錢)	明治卅年七月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	37			(領收証、小学校授業料第一期四月・五月分壹円四拾錢)	明治三十年七月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	38			領收証(年贖金壹円)	明治三十年七月十九日	日本赤十字社宮城支部刈田郡 白石町分区委員・齋藤吉弥(印)	白石町・渡辺惣吉殿	状	
W7	1	39			領收証(年贖金壹円)	明治三十年七月十九日	日本赤十字社宮城支部刈田郡 白石町分区委員・齋藤吉弥(印)	白石町・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	40			(領收証、角田・江尻間阿武隈川通堤防上置腹付工事協議費五円三拾四錢七リ)	明治三十年十一月廿二日	西根村収入役・八嶋惣吉(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	41			(領收証、果稅・地租割稅下半年拾五錢八リ)	明治卅年十二月十五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺卯吉	状	
W7	1	42			(領收証、果稅・地租割稅下半年九円拾七錢)	明治卅年十二月十五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部惣吉	状	
W7	1	43			(領收証、果稅・地租割稅下半年貳拾七円貳拾八錢)	明治卅年十二月十五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	44			(領收証、果稅・地租割稅下半年五円八拾五錢九リ)	明治卅年十二月八日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	45			(領收証、村稅地價割第二期貳拾四錢壹リ)	明治卅年十二月八日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	46			(領收証、村稅貳円五拾三錢七厘)	明治卅年十二月八日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	47			(領收証、果稅五拾五錢九厘)	明治卅年十二月八日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	48			(領收証、果稅四円四拾九錢壹厘)	明治卅年十二月八日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	49			(領收証、村稅壹円九拾四錢四厘)	明治卅年十二月八日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	50			(領收証、果稅貳円拾貳錢八厘)	明治三十年十二月八日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	51			(領收証、營業稅附加稅六円七拾六錢六厘)	明治卅年十一月三十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	52			(領收証、國稅營業割拾六円九拾壹錢八厘)	明治卅年十一月三十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	53			領收証書(地租三円六拾四錢五厘)	明治三十一年一月十日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	大平村・渡辺儀藏	状	
W7	1	54			領收証書(地租貳円拾五錢)	明治三十一年一月六日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	55			(領收証、小学校授業料壹円四拾錢)	明治卅一年一月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	56			(領收証、町稅百七円貳拾五錢)	明治卅一年一月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	57			(領收証、村稅拾壹錢六厘)	明治廿八年十月十九日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺惣吉代納・富沢清太郎殿	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	1	58			(領収証、県税九錢弍厘)	明治廿八年十二月十三日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	59			(領収証、地租拾三錢五厘)	明治廿九年一月十日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	60			(領収証、地租十三錢五厘)	明治廿九年二月廿七日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	61			(領収証、地租第五期田租拾參錢六厘)	明治廿九年三月廿三日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	62			(領収証、県税地租割上半期十錢六厘)	明治廿九年四月十三日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部惣吉	状	
W7	1	63			(領収証、地租第六期田租拾參錢五厘)	明治廿九年五月四日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	64			(領収証、村税拾壹錢六厘)	明治廿九年八月廿日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	65			(領収証、地租割稅拾錢五厘)	明治廿九年十二月十一日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	66			(領収証、地租第三期田租拾參錢五厘)	明治卅年一月八日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	67			(領収証、地租第四期田租拾參錢五厘)	明治卅年二月廿四日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	68			(領収証、地租第五期田租拾參錢九厘)	明治三十年三月廿八日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	69			(領収証、地租割稅追加式錢參厘)	明治三十年三月廿八日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	70			(領収証、地租割稅上半期拾三錢四厘)	明治卅年四月十四日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	71			(領収証、地租第六期田租拾參錢五厘)	明治三十年五月廿一日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部惣吉	状	
W7	1	72			(領収証、村税拾壹錢六厘)	明治卅年九月廿日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	73			(領収証、県税拾三錢參厘)	明治卅年十二月十五日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部惣吉	状	
W7	1	74			(領収証、村税三拾四錢七厘)	明治廿八年十月十九日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺儀藏代人・富沢權六	状	こより共
W7	1	75			(領収証、村税六拾九錢參厘)	明治廿八年十月十九日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺儀藏代理人・富沢清太郎	状	
W7	1	76			(領収証、地租第一期畑宅山林雜地租拾八錢參厘)	明治廿八年十月十九日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺儀藏代人・富沢權之助	状	
W7	1	77			(領収証、地租第一期畑宅山林雜地租拾八錢三厘)	明治廿八年十月十九日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺儀藏代理人・富沢清太郎	状	
W7	1	78			(領収証、県税五拾五錢壹厘)	明治廿八年十二月十三日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	79			(領収証、地租第三期田租壹円六錢五厘)	明治廿九年一月十日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	80			(領収証、地租第四期田租壹円六錢五厘)	明治廿九年二月廿七日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏代理人・富沢清太郎	状	
W7	1	81			(領収証、田租壹圓六錢五厘)	明治廿九年三月廿二日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡辺儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	82			(領収証、田租九十七錢壹厘)	明治廿九年四月十三日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	納人・渡部儀藏 代人・富沢清太郎	状	
W7	1	83			(領収証、田租壹圓六錢四厘)	明治廿九年四月四日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏代理人・富沢清太郎	状	
W7	1	84			(領収証、村税壹円六錢五厘)	明治廿九年八月廿日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	85			(領収証書(地租參円八錢七厘))	明治廿九年十一月廿八日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏代理人・富沢權之助	状	
W7	1	86			(領収証書(地租參拾錢八厘))	明治廿九年九月三十日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	87			(領収証、県税九拾七錢)	明治廿九年十二月十一日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏代理人・富沢清太郎	状	
W7	1	88			(領収証、地租壹円六錢五厘)	明治卅一年一月八日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	89			(領収証、地租壹円六錢五厘)	明治三十年二月廿四日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	90			(領収証、地租壹圓六錢五厘)	明治三十年三月廿八日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏代理人・富沢清太郎	状	
W7	1	91			(領収証、県税貳拾壹錢七厘)	明治卅年三月廿八日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏代理人・富沢清太郎	状	
W7	1	92			(領収証、県税壹拾四錢弍厘)	明治卅年四月十四日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	93			(領収証、地租九拾四錢六厘)	明治三十年五月廿一日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	94			(領収証、村税九拾八錢八厘)	明治卅年九月廿日	七ヶ宿村収入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏代人・富沢清太郎	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	95			領収証書(地租四拾壹錢五厘)	明治三十年九月廿日	七ヶ宿村収入役・鈴木馨(印)	渡部儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	96			領収証書(地租四拾壹錢貳厘)	明治三十年十一月卅日	七ヶ宿村収入役・鈴木馨(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	97			領収証書(地租四拾四錢六厘)	明治卅年十二月十五日	七ヶ宿村収入役・鈴木馨(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	98			領収証書(地租壹円五拾參錢)	明治三十年十二月三十日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	こより共
W7	1	99			領収証書(地租壹円五拾九錢七厘)	明治卅年十二月十三日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	100			領収証書(地租六拾九錢壹厘)	明治卅年十二月十三日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	101			領収証書(細租拾壹錢八厘などにつき)	明治卅年十一月廿七日	大鷹澤村長・大野泰吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	102			領収証書(細租拾六錢七厘)	明治卅年九月廿三日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	103			領収証書(田水渡渡參人代金五十四錢)	明治三十年六月	大鷹澤村長・大野泰吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	104			領収証書(租稅壹円五拾貳錢九厘)	明治卅年五月廿日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	105			領収証書(村稅地佃割六拾九錢貳厘)	明治三十年五月十二日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	106			領収証書(租稅壹円五拾九錢七厘)	明治卅年四月十二日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	107			領収証書(租稅壹円五拾貳錢九厘)	明治三十年三月廿四日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	108			領収証書(租稅貳拾七錢七厘)	明治三十年三月廿四日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	109			領収証書(租稅壹円五拾參錢)	明治三十年二月廿日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	110			領収証書(租稅壹円五拾參錢)	明治三十年一月七日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	111			領収証書(租稅地佃拾九錢壹厘)	明治三十年十二月八日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	こより共
W7	1	112			領収証書(細租貳拾七錢六厘などにつき)	明治三十年十二月廿四日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	113			領収証書(租稅)	明治三十年十月六日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	114			領収証書(地租拾九錢貳厘)	明治三十年四月十九日	小原村収入役・高橋力枝(印)	渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	115			領収証書(村稅地佃拾六錢六厘)	明治三十年四月十九日	小原村収入役・高橋力枝(印)	小原村・渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	116			領収証書(村稅地佃參錢參り)	明治三十年三月廿二日	小原村収入役・高橋力枝(印)	小原村・渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	117			領収証書(田租貳拾錢)	明治三十一年一月十三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	白石町・渡邊卯吉	状	
W7	1	118			領収証書(田租貳円拾四錢貳り)	明治三十一年一月十三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	白石町・渡邊惣吉	状	
W7	1	119			領収証書(田租拾九円參拾五錢參り)	明治三十一年一月十三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	120			領収証書(田租第二期五拾六錢五り)	明治三十一年一月十日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	大平村・渡辺儀藏	状	
W7	1	121			領収証書(田租第二期五円參拾壹錢九り)	明治三十一年一月十日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	大平村・渡部儀藏	状	
W7	1	122			領収証書(地租五円參拾壹錢六厘)	明治卅年五月廿九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	123			領収証書(地租三円拾六錢貳厘)	明治卅年五月廿九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	124			領収証書(村稅九拾貳錢壹厘)	明治三十年五月十二日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏股代納者・相澤文吉	状	
W7	1	125			領収証書(地租貳円拾四錢九厘)	明治三十年五月十二日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏股代納者・相澤文吉	状	
W7	1	126			領収証書(果稅六拾七円四拾錢)	明治卅年四月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	127			領収証書(果稅拾九錢八厘)	明治卅年四月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺卯吉	状	
W7	1	128			領収証書(果稅參円拾七錢)	明治卅年四月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	129			領収証書(果稅九円六錢四厘)	明治三十年四月十日	西根村収入役・八嶋惣吉(印)	西根村・渡辺儀藏股代納者・相澤文吉	状	
W7	1	130			領収証書(村稅九拾貳錢壹厘)	明治三十年四月九日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏股代納者・相澤文吉	状	
W7	1	131			領収証書(果稅貳円拾貳錢八厘)	明治三十年四月九日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏股代納者・相澤文吉	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	1	132			(領収証、県税五円八拾六錢)	明治卅年四月九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	こより共
W7	1	133			(領収証、村税壹円六拾五錢六厘)	明治卅年四月九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	134			(領収証、県税三円八拾貳錢五厘)	明治卅年四月九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	135			(領収証、村税貳円五拾參錢七厘)	明治卅年四月九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	136			(領収証、地租五拾六錢五厘)	明治卅年三月廿二日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	137			(領収証、村税貳拾四錢貳厘)	明治卅年四月九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	138			(領収証、県税五拾五錢九厘)	明治卅年四月九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	139			(領収証、県税九錢七厘)	明治卅年三月廿二日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	こより共
W7	1	140			(領収証、地租參円拾六錢貳厘)	明治卅年三月廿二日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	141			(領収証、県税追加地租割六拾六錢五厘)	明治卅年三月廿二日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	142			(領収証、県税追加地租割壹円壹錢八厘)	明治卅年三月廿二日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	143			(領収証、地租田租第五期五円參拾壹錢九厘)	明治卅年三月廿二日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	144			(領収証、地租田租第四期貳円拾五錢)	明治卅年二月廿日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	145			(領収証、地租田租第四期貳拾錢)	明治三十年二月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	146			(領収証、小学校授業料第五期十二・一月分壹円七拾錢)	明治三十年二月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	147			(領収証、地租田租第四期貳円拾四錢四厘)	明治三十年二月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	148			(領収証、県税地租割追加三拾七錢)	明治卅年三月廿三日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏殿代納者・谷津文吉	状	
W7	1	149			(領収証、地租第五期貳円拾四錢九厘)	明治卅年三月廿三日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏代納者・谷津文吉	状	
W7	1	150			(領収証、所得税貳拾六円參拾五錢五厘)	明治三十年三月廿八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	151			(領収証、地租田租第五期拾九円參拾壹錢三厘)	明治卅年三月廿三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	152			(領収証、地租田租第五期貳拾錢)	明治卅年三月廿三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	153			(領収証、地租田租第五期貳円拾四錢)	明治卅年三月廿三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	154			(領収証、地租割追加參錢四厘)	明治三十年	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺卯吉	状	
W7	1	155			(領収証、地租割追加五拾五錢壹厘)	明治三十年三月廿八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	156			(領収証、地租田租第四期五円三拾壹錢九厘)	明治三十年二月十九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	157			(領収証、地租田租第四期六錢五厘)	明治三十年二月十九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	158			(領収証、地租田租第四期拾九円五拾九錢五厘)	明治三十年二月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	159			(領収証、県租地租割追加四円七拾六錢)	明治三十年三月廿三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	160			(領収証、県租荷車税追加貳錢五厘)	明治三十年三月	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	破損あり
W7	1	161			(領収証、地租田租第四期三円拾六錢余)	明治三十年二月十九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	破損あり
W7	1	2	1		(覚、明治廿九年上納切符綴表紙)	(明治29年)	寿丸内	渡辺儀藏	状	こより共
W7	1	2	2		(領収証、地租第壹期畑租八拾貳錢八リなど合計壹円六拾壹錢四リ)	明治三十年九月廿二日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	3		(領収証、地租第壹期畑租九拾貳錢七リなど合計壹円貳拾錢壹リ)	明治三十年九月廿二日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	4		(領収証、畑租三円三錢六リなど合計三円三拾三錢)	明治三十年九月十九日	西根村収入役・八嶋惣吉(印)	西根村・渡辺儀藏	状	
W7	1	2	5		(領収証、灘油税第三期造石税四拾壹円八拾參錢七厘)	明治卅年一月廿七日	大河原支庫(印)	刈田郡白石町・渡辺佐吉	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	2	6		(領収証、村税地租制二期拾五銭ヅリ)	明治廿九年十二月十五日	小原村収入役・高橋力枝(印)	小原村・渡辺儀蔵保管人・ 小室清十郎	状	
W7	1	2	7		(領収証、畑租貳拾七銭六リなど合計参拾八銭六厘)	明治廿九年十二月二日	小原村収入役・高橋力枝(印)	小原村・渡辺儀蔵保管人・ 小室清十郎	状	
W7	1	2	8		(領収証、畑租貳拾七銭七リなど合計参拾八銭八リ)	明治二十九年九月三十日	小原村収入役・高橋力枝(印)	小原村・渡辺儀蔵保管人・ 小室清十郎	状	
W7	1	2	9		(領収証、村税地価割拾六銭六リ)	明治廿九年四月十七日	小原村収入役・高橋力枝(印)	小原村・渡辺儀蔵保管人・ 小室清十郎	状	
W7	1	2	10		(領収証、村税地価割拾五銭ヅリ)	明治廿九年四月十三日	小原村村長・高橋長十郎(印)	小原村・渡辺儀蔵保管人・ 小室清十郎	状	
W7	1	2	11		(領収証、田租第三期貳円六銭六リ)	明治三十年一月十四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	高橋利平	状	
W7	1	2	12		(領収証、荷車税下半年期貳拾五銭)	明治三十年一月■八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀蔵	状	破損あり
W7	1	2	13		(領収証、町税・車税營業割第二期三銭七リ)	明治三十年一月	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀蔵	状	破損あり
W7	1	2	14		(領収証、小学校授業料第四期十一月分壹円七拾銭)	明治廿九年一月	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀蔵	状	破損あり
W7	1	2	15		(領収証、県税地租制下半年期壹円六拾七銭参リ)	明治廿九年十二月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	高橋利平	状	
W7	1	2	16		(領収証、畑租拾参銭六リ)	明治廿九年九月廿五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	高橋利平	状	
W7	1	2	17		(領収証、畑租拾参銭五リ)	明治廿九年一月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	高橋利平	状	
W7	1	2	18		(領収証、県税地租制下半年期貳拾貳円七銭八リ)	明治廿九年十二月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀蔵	状	
W7	1	2	19		(領収証、県税地租制下半年期貳円五拾壹銭)	明治廿九年十二月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	2	20		(領収証、県税地租制下半年期拾五銭七厘)	明治廿九年十二月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	2	21		(領収証、県税地租制下半年期四円六拾四銭)	明治廿九年十二月五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀蔵	状	
W7	1	2	22		(領収証、県税地租制下半年期三円三銭九厘)	明治廿九年十二月五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	2	23		(領収証、県税地租制下半年期四拾四銭三厘)	明治廿九年十二月五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀蔵	状	
W7	1	2	24		(領収証、県税地租制第二期八円拾六銭六厘)	明治廿九年十二月一日	西根村収入役・八嶋惣吉(印)	渡辺儀蔵殿	状	
W7	1	2	25		(領収証、地租畑租など合計参円参拾貳銭九厘)	明治廿九年十二月十六日	西根村収入役・八嶋惣吉(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	2	26		(領収証、地租畑租など合計拾七円拾七銭七厘)	明治廿九年十一月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	2	27		(領収証、地租畑租など合計貳円拾貳銭貳厘)	明治廿九年十一月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	2	28		(領収証、村税地価割第二期貳円五拾参銭六厘)	明治廿九年十一月廿日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀蔵	状	
W7	1	2	29		(領収証、村税地価割第二期拾四銭壹厘)	明治廿九年十一月廿日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	2	30		(領収証、村税地価割第二期壹円六拾五銭五厘)	明治廿九年十一月廿日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀蔵	状	
W7	1	2	31		(領収証、地租畑租など合計壹円貳拾銭壹厘)	明治廿九年十一月廿日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀蔵	状	
W7	1	2	32		(領収証、地租畑租など合計壹円四拾銭参厘)	明治廿九年十一月廿日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀蔵	状	
W7	1	2	33		(領収証、県税拾六円六拾壹銭六厘)	明治廿九年十一月十五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀蔵殿	状	
W7	1	2	34		(領収証、地租田租壹円四銭壹厘)	明治廿八年五月廿日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡部儀蔵	状	
W7	1	2	35		(領収証、地租田租四拾八銭八厘)	明治廿八年五月廿日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡部儀蔵	状	
W7	1	2	36		(領収証、村税地租制第二期四拾五銭六厘)	明治廿八年十二月五日	大鷹澤村・大野傳十郎(印)	渡部儀蔵殿	状	
W7	1	2	37		(領収証、村税地租制第二期拾参銭五厘)	明治廿八年十二月五日	大鷹澤村・大野傳十郎(印)	渡部儀蔵	状	
W7	1	2	38		(領収証、県税地租制第二期三拾七銭四厘)	明治廿八年十二月五日	大鷹澤村・大野傳十郎(印)	渡部儀蔵殿	状	
W7	1	2	39		(領収証、県税地租制第二期七拾貳銭九厘)	明治廿八年十二月五日	大鷹澤村・大野傳十郎(印)	渡部儀蔵殿	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	1	2	40		(領収証、雑地租四錢七厘)	明治廿八年十一月廿七日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	41		(領収証、畑租拾壹錢八厘)	明治廿八年十一月廿七日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	2	42		(領収証、雑地租四錢八厘)	明治廿九年九月廿六日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	2	43		(領収証、畑租拾壹錢九厘)	明治廿九年九月廿六日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	44		(領収証、租稅壹円五拾貳錢九厘)	明治廿九年五月廿一日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	45		(領収証書(租稅貳拾參錢五厘))	明治廿九年四月十四日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	46		(領収証書(租稅八拾參錢五厘))	明治廿九年四月十四日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	47		(領収証書(租稅四拾五錢七厘))	明治廿九年四月十四日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	48		(領収証書(租稅四拾八錢八厘))	明治廿九年三月十八日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	2	49		(領収証書(租稅壹円四錢壹厘))	明治廿九年三月十八日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	2	50		(領収証書(租稅四拾八錢九厘))	明治廿九年二月廿二日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	2	51		(領収証、地租壹円四錢壹厘)	明治廿九年一月十四日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	2	52		(領収証、地租四拾八錢九厘)	明治廿九年一月十四日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	2	53		(領収証、田租四拾八錢九厘・村稅拾九錢六厘、合計六拾四錢五厘)	明治廿四年一月七日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡邊儀藏	状	こより共
W7	1	2	54		(領収証、田租拾九錢九厘・村稅九錢四厘、合計貳拾九錢三厘)	明治廿四年一月七日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	55		(領収証、地方稅貳拾貳錢壹厘)	明治廿四年三月十日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	56		(領収証、地方稅三拾六錢七厘)	明治廿四年三月十日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	57		(領収証、地租壹円四錢壹厘)	明治廿九年二月廿二日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	58		(領収証書(田租四拾八錢八厘))	明治廿四年四月一日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	59		(領収証書(田租拾九錢七厘))	明治廿四年四月一日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	60		(領収証書(田租四拾八錢八厘))	明治廿四年五月廿五日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	61		(領収証書(田租拾九錢八厘))	明治廿四年五月廿五日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	62		(領収証、村稅拾五錢七厘)	明治廿四年七月十五日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	63		(領収証、村稅九錢五厘)	明治廿四年七月十五日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	64		(領収証、畑租拾壹錢九厘)	明治廿四年九月十八日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	65		(領収証、畑租拾壹錢八厘・山林租四錢八厘)	明治廿四年九月十八日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	66		(領収証、畑租貳拾壹錢七厘・雜地租四錢七厘・地方稅貳拾貳錢壹厘、合計四拾八錢五厘)	明治廿四年十一月廿五日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	67		(領収証、畑租拾壹錢八厘・地方稅三拾六錢五厘、合計四拾八錢參厘)	明治廿四年十一月廿五日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	68		(領収証、地租四拾八錢九厘)	明治廿六年一月廿三日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡邊儀藏	状	こより共
W7	1	2	69		(領収証、地租三拾九錢)	明治廿六年一月廿三日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	70		(領収証、村稅三拾錢六厘)	明治廿五年十二月十九日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	71		(領収証、地方稅七拾壹錢三厘)	明治廿五年十二月十九日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	72		(領収証、畑租拾壹錢八厘)	明治廿五年十一月十九日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	73		(領収証、畑租貳拾壹錢七厘・山林租四錢八厘)	明治廿五年十一月十九日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	74		(領収証、畑租貳拾壹錢八厘・山林租四錢八厘)	明治廿五年九月廿六日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡邊儀藏	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	2	75		(領收証、畑租拾壹錢九厘)	明治廿五年九月廿六日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	2	76		(領收証、村稅三拾錢六厘)	明治廿五年八月廿五日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	77		(領收証、地租參拾八錢八厘)	明治廿五年五月廿二日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	78		(領收証、地租四拾八錢七厘)	明治廿五年五月廿三日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	79		(領收証、田租四拾九錢九厘)	明治廿五年三月廿一日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	80		(領收証、地方稅五拾八錢六厘)	明治廿五年三月廿一日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	81		(領收証、田租拾九錢九厘)	明治廿五年三月廿一日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	82		(領收証、田租拾九錢九厘)	明治廿五年二月十九日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	83		(領收証、田租四拾八錢九厘)	明治廿五年二月十九日	大鷹澤村収入役・半澤勝治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	84		(領收証、田租貳拾五錢)	明治卅年一月十七日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏代納・相沢文吉	状	
W7	1	2	85		(領收証、田租貳拾錢)	明治三十年一月十四日	白石町収入役・武藤弘洛(印)	渡辺卯吉	状	
W7	1	2	86		(領收証、田租貳拾五錢貳厘)	明治三十年一月十四日	白石町収入役・武藤弘洛(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	2	87		(領收証、田租拾九錢五厘)	明治三十年一月十四日	白石町収入役・武藤弘洛(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	88		(領收証、田租五拾六錢五厘)	明治三十年一月五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	89		(領收証、田租五門參拾壹錢九厘)	明治三十年一月五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	90		(領收証、田租三門拾九錢貳厘)	明治三十年一月五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	91		(領收証、果稅壹門六拾八錢五厘)	明治廿九年十二月四日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏代納・相沢文吉	状	
W7	1	2	92		(領收証、果稅八拾參錢五厘)	明治廿九年十二月十日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	こより共
W7	1	2	93		(領收証、果稅四拾參錢)	明治廿九年十二月十日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	94		(領收証、村稅貳拾參錢五厘)	明治廿九年十二月廿二日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	95		(領收証、村稅四拾五錢七厘)	明治廿九年十二月廿二日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	96		(領收証、雜地租四錢七厘)	明治廿九年十一月廿一日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	97		(領收証、地租拾壹錢八厘)	明治廿九年十一月廿一日	大鷹澤村収入役・遠藤武平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	98		(領收証、年賺金壹円)	明治廿九年十一月十一日	日本赤十字社宮城支部刈田郡委員長・遊佐正人	白石町・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	2	99		(領收証、年賺金壹円)	明治廿九年十一月十一日	日本赤十字社宮城支部刈田郡委員長・遊佐正人	白石町・渡辺惣吉殿	状	
W7	1	2	100		(領收証、町稅百六円貳拾壹錢壹厘)	明治廿九年十月廿日	白石町収入役・武藤弘洛(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	2	101		(領收証、小学校授業料壹円七拾錢)	明治廿九年十月廿八日	白石町収入役・武藤弘洛(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	2	102		(領收証、水車稅四拾六錢)	明治廿九年十月廿八日	白石町収入役・武藤弘洛(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	2	103		(領收証、町稅拾壹圓參拾壹錢五厘)	明治廿九年十月廿八日	白石町収入役・武藤弘洛(印)	渡部儀三郎殿	状	
W7	1	2	104		(領收証、商業稅貳拾貳円)	明治廿九年十月廿八日	白石町収入役・武藤弘洛(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	2	105		(領收証、職工稅貳拾錢)	明治廿九年十月廿八日	白石町収入役・武藤弘洛(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	2	106		(領收証、醬油造石稅四拾貳圓拾七錢八厘)	明治廿九年九月三十日	大河原支金庫(印)	刈田郡白石町・渡辺儀藏	状	
W7	1	2	107		(領收証、年賺金壹圓)	明治廿九年十月一日	日本赤十字社宮城支部刈田郡委員長・遊佐正人(印)	川村儀三郎殿	状	
W7	1	2	108		(領收証、所得稅貳拾六円參拾五錢五厘)	明治廿九年九月廿五日	白石町収入役・武藤弘洛(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	2	109		(領收証、畑租拾壹圓貳拾九錢參厘、合計拾七圓拾七錢八厘)	明治廿九年九月廿五日	白石町収入役・武藤弘洛(印)	渡辺儀藏	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題	(内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	2	110		(領收証、地租貳円拾貳錢貳厘)	明治廿九年九月廿五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉	状		
W7	1	2	111		(領收証、地租壹圓貳拾錢壹厘)	明治廿九年九月十五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状		
W7	1	2	112		(領收証、地租壹圓四拾錢參厘)	明治廿九年九月十五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状		
W7	1	2	113		(領收証、小学校授業料四拾錢)	明治廿九年八月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	萩本知念殿	状		
W7	1	2	114		(領收証、果税貳拾八錢九厘)	明治廿九年八月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	萩本知念殿	状		
W7	1	2	115		(領收証、町税壹圓四拾壹錢五厘)	明治廿九年八月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状		
W7	1	2	116		(領收証、小学校授業料壹圓七拾錢)	明治廿九年八月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状		
W7	1	2	117		(領收証、果税貳拾壹圓七拾六錢)	明治廿九年八月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状		
W7	1	2	118		(領收証、醬油税營業税貳圓五拾錢)	明治廿九年七月三十一日	大河原支金庫(印)	刈田郡白石町・渡辺儀藏	状		
W7	1	2	119		(領收証、町税百六円貳拾壹錢壹厘)	明治廿九年七月廿三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状		
W7	1	2	120		(領收証、荷車税貳拾五錢)	明治廿九年七月廿一日	大河原支金庫(印)	刈田郡白石町・渡辺儀藏	状		
W7	1	2	121		(領收証、荷車税八錢三厘)	明治廿九年七月二十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状		
W7	1	2	122		(領收証、年藏金壹圓)	明治廿九年七月十五日	日本赤十字社宮城支部刈田郡委員長・遊佐正人(印)	渡部惣吉殿	状		
W7	1	2	123		(領收証、年藏金壹圓)	明治廿九年七月十五日	日本赤十字社宮城支部刈田郡委員長・遊佐正人(印)	渡辺儀藏殿	状		
W7	1	2	124		(領收証、小学校授業料壹円七拾錢)	明治廿九年七月廿三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状		
W7	1	2	125		(領收証、果税營業税貳拾貳円)	明治廿九年七月拾三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状	125～128反綴一括	
W7	1	2	126		(領收証、果税營業税貳拾錢)	明治廿九年七月拾三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状	125～128反綴一括	
W7	1	2	127		(領收証、果税雜種稅水車稅四拾五錢)	明治廿九年七月拾三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状	125～128反綴一括	
W7	1	2	128		(領收証、町稅營業制拾壹円參拾貳錢五厘)	明治廿九年七月拾三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状	125～128反綴一括	
W7	1	2	129		(領收証、造石稅六拾參円四拾八錢九厘)	明治廿九年五月廿九日	大河原支金庫(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	130		(領收証、田租五拾六錢四厘)	明治廿九年五月廿五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	131		(領收証、田租五円三拾壹錢六厘)	明治廿九年五月廿五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	132		(領收証、田租參円拾六錢貳厘)	明治廿九年五月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	133		(領收証、書(田租拾九円五拾九錢八厘)	明治廿九年五月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	134		(領收証、果稅戶數制貳拾壹円七拾貳錢)	明治廿九年五月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	135		(領收証、書(田租貳拾錢)	明治廿九年五月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	136		(領收証、書(田租貳円拾四錢)	明治廿九年五月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	137		(領收証、田租八円七拾五錢貳厘)	明治廿九年三月廿一日	西根村収入役・八嶋惣吉(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	138		(領收証、田租貳円拾四錢九厘)	明治廿九年五月七日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	139		(領收証、村稅地價制九拾貳錢壹厘)	明治廿九年五月七日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	140		(領收証、果稅地價制壹円六拾八錢五厘)	明治廿九年四月四日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	141		(領收証、村稅地價制第一期九拾貳錢壹厘)	明治廿九年四月四日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡邊儀藏	状		
W7	1	2	142		(領收証、町稅地價制全額貳円七拾四錢五厘)	明治廿九年五月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉殿	状		
W7	1	2	143		(領收証、町稅地價制全額拾七錢壹厘)	明治廿九年五月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉殿	状		
W7	1	2	144		(領收証、町稅地價制全額貳拾四円壹錢四厘)	明治廿九年五月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状		
W7	1	2	145		(領收証、小学校授業料第六期二・三分壹円四拾錢)	明治廿九年五月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状		
W7	1	2	146		(領收証、水利組合費拾五錢四厘)	明治廿九年五月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊卯吉殿	状		

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	2	147		(領収証、水利組合費貳拾錢四厘)	明治廿九年五月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉殿	状	
W7	1	2	148		(領収証、水利組合費拾三円八拾四錢四厘)	明治廿九年五月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	149		(領収証、水利組合費貳拾錢)	明治廿九年五月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	150		(領収証、水利組合費六錢四厘)	明治廿九年五月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	151		(領収証、水利組合費貳円貳拾錢五厘)	明治廿九年五月六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	152		(領収証、村税地租制第一期八円拾六錢七厘)	明治廿九年四月十二日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	153		(領収証、村税地租制上半期四円四拾錢七厘)	明治廿九年四月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	154		(領収証、村税地租制第一期貳円五拾錢)	明治廿九年四月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	155		(領収証、村税地租制第二期貳拾四錢貳厘)	明治廿九年四月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	156		(領収証、果税地租制上半期四拾四錢參厘)	明治廿九年四月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	157		(領収証、果税地租制上半期參円貳錢九厘)	明治廿九年四月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	158		(領収証、村税地租制第一期貳円五拾五錢六厘)	明治廿九年四月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	159		(領収証、果税地租制上半期拾五錢七厘)	明治廿九年四月十四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉殿	状	
W7	1	2	160		(領収証、果税地租制上半期貳円五拾錢參厘)	明治廿九年四月十四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉殿	状	
W7	1	2	161		(領収証、果税地租制上半期貳拾貳円九錢六厘)	明治廿九年四月十四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	162		(領収証、田租第五期貳円拾四錢九厘)	明治廿九年三月廿三日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡邊儀藏殿(代理者・谷津多吉)	状	
W7	1	2	163		(領収証、地租第五期田租貳拾四錢貳厘)	明治廿九年三月廿八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	2	164		(領収証、地租第五期田租貳拾錢)	明治廿九年三月廿八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	2	165		(領収証、果税地租制上半期追徴金拾三錢參り)	明治廿九年三月廿八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	166		(領収証、地租第五期田租拾九円五拾九錢五り)	明治廿九年三月廿八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	167		(領収証、所得税明治廿八年后半分貳拾四円參拾參錢七厘)	明治廿九年三月廿八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	168		(領収証、質屋取締条例違犯罰金拾円)	明治二十九年三月十二日	大河原支金庫(印)	刈田郡白石町平民・渡邊儀藏	状	
W7	1	2	169		(領収証、田租第五期五拾六錢四り)	明治廿九年三月十日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	170		(領収証、田租五円參拾錢六厘)	明治廿九年三月十日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	171		(領収証、田租參円拾六錢壹厘)	明治廿九年三月十日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	2	172		(領収証、田租八円七拾五錢壹厘)	明治廿九年二月廿二日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	173		(領収証、小学校授業料壹円四拾錢)	明治廿九年二月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	2	174		(領収証、田租貳拾錢)	明治廿九年二月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	2	175		(領収証、田租貳円拾四錢貳厘)	明治廿九年二月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	2	176		(領収証、田租拾九円五拾九錢五厘)	明治廿九年二月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	1		大張村川張上納切符	明治廿三年十月			冊	
W7	1	3	2		(領収証、地方税壹円七錢三厘)	明治廿七年十一月廿一日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	3	3		(領収証、地方税三拾六錢五厘)	明治廿六年三月廿七日	大鷹澤村助役・遠藤善三郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	3	4		(領収証、地方税三拾六錢五厘)	明治廿六年十二月九日	大鷹澤村収入役・大野伝十郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	3	5		(領収証、雜地稅四錢七厘)	明治廿六年十一月十一日	大鷹澤村収入役・大野伝十郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	3	6		(領収証、村稅三拾五錢四厘)	明治廿六年十二月九日	大鷹澤村収入役・大野伝十郎(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	3	7		(領収証、畑地租拾壹錢九厘)	明治廿六年十一月十一日	大鷹澤村収入役・大野伝十郎(印)	渡邊儀藏殿	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	3	8		(領収証、村税四拾六錢九厘)	明治廿六年十二月九日	大鷹澤村収入役・大野伝十郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	9		(領収証、地方税貳拾七錢六厘)	明治廿六年十二月九日	大鷹澤村収入役・大野伝十郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	10		(領収証、田租第六期三拾八錢九リ)	明治廿六年五月十六日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	11		(領収証、村税地租制第一期四拾七錢)	明治廿六年七月十九日	大鷹澤村収入役・佐竹熊治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	12		(領収証、村税地租制第一期四拾八錢八リ)	明治廿六年五月十六日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	13		(領収証、村税地租制第一期四拾四錢八厘)	明治廿六年七月十九日	大鷹澤村収入役・佐竹熊治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	14		(領収証、地租第一期雜地租四錢八リ)	明治廿六年九月廿八日	大鷹澤村収入役・佐竹熊治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	15		(領収証、地租第一期畑地租拾壹錢八厘)	明治廿六年九月廿八日	大鷹澤村収入役・佐竹熊治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	16		(領収証、田租第四期三拾九錢)	明治廿六年二月廿四日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	17		(領収証、田租第四期四拾八錢九リ)	明治廿六年一月廿四日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	18		(領収証、田租第五期四拾八錢八リ)	明治廿六年三月廿七日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	19		(領収証、地方税三拾四錢八厘)	明治廿六年二月廿七日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	20		(領収証、地租三拾八錢九厘)	明治廿六年二月廿七日	大鷹澤村収入役・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	21		(領収証、地方地租制貳拾七錢六厘)	明治廿七年三月十四日	大鷹澤村村長・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	22		(領収証、地方地租制三拾円六錢五厘)	明治廿七年三月十四日	大鷹澤村村長・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	23		(領収証、地租三拾九錢)	明治廿七年二月十三日	大鷹澤村村長・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	24		(領収証、地租四拾八錢九厘)	明治廿七年二月十三日	大鷹澤村村長・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	25		(領収証、地租四拾八錢九厘)	明治廿七年一月十四日	大鷹澤村収入役・大野傳十郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	26		(領収証、地租三拾九錢)	明治廿七年一月十四日	大鷹澤村収入役・大野傳十郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	27		(領収証、県税地租制四拾四錢貳厘)	明治廿七年十二月十四日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	28		(領収証、雜地租四錢七厘)	明治廿七年十一月廿七日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	29		(領収証、畑地租貳錢三厘)	明治廿七年十一月拾七日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	30		(領収証、県税地租制八拾六錢)	明治廿七年十二月十四日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	31		(領収証、地租田租第五期四拾八錢八厘)	明治廿七年三月廿八日	大鷹澤村・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	32		(領収証、地租田租第五期三拾八錢九厘)	明治廿七年三月廿八日	大鷹澤村・遠藤善三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	33		(領収証、地租畑租第一期拾壹錢四厘)	明治廿七年九月十日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	34		(領収証、地租雜地租第一期四錢八厘)	明治廿七年九月十日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	3	35		(領収証、村税地租制第一期拾壹錢八厘)	明治廿七年九月十日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	3	36		(領収証、村税地租制第一期拾五錢七厘)	明治廿七年九月十日	大鷹澤村収入役・大町保五郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	37		(領収証、村費地租制第一期拾五錢六厘)	(明治)廿六年四月廿五日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	大張村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	3	38		(領収証、田租第六期貳拾參錢壹厘)	明治廿六年五月廿二日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	大張村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	3	39		(領収証、田租第五期貳拾三錢貳厘)	(明治26年)	大張村収入役・佐藤右膳(印)	大張村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	3	40		(領収証、田租第四期貳拾三錢貳厘)	明治廿六年二月八日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	大張村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	3	41		(領収証、田租第三期貳拾參錢貳厘)	明治廿六年一月五日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	大張村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	3	42		(領収証、畑租第二期貳拾五錢七厘)	明治廿五年十一月廿三日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	大張村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	3	43		(領収証、畑租第一期貳拾五錢七厘)	明治廿五年九月十七日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	大張村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	3	44		(領収証、田租第六期貳拾三錢壹厘)	明治廿五年五月廿八日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	45		(領収証、田租第五期貳拾參錢貳厘)	明治廿五年三月廿三日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	3	46		(領収証、田租第四期貳拾三錢貳厘)	明治廿五年二月廿日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	47		(領収証、田租第三期貳拾三錢貳厘)	明治廿五年一月四日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	48		(領収証、畑租第二期貳拾五錢七厘)	明治廿四年十一月廿四日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	49		(領収証、畑租第一期貳拾五錢七厘)	明治廿四年九月十七日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	50		(領収証、田租第三期貳拾三錢壹厘)	明治廿三年五月十四日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	51		(領収証、村費地佃割限外四拾壹錢貳厘)	明治二十五年七月廿三日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	52		(領収証、村費地佃割貳拾錢六厘)	明治廿五年四月廿五日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	53		(領収証、村費地佃割限外四拾壹錢貳厘)	明治廿四年七月廿六日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	54		(領収証、地方稅地租割第一期貳拾四錢)	明治廿六年	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	55		(領収証、地方稅地租割第二期貳拾四錢)	明治廿五年十二月四日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	56		(領収証、地方稅地租割第一期貳拾四錢)	明治廿五年三月十二日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	57		(領収証、地方稅地租割第二期貳拾四錢)	明治廿四年十二月七日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	58		(領収証、地方稅地租割追加貳拾錢六厘)	明治廿四年一月十五日	(印、大張村役場)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	59		(領収証、田租貳拾三錢貳厘)	明治廿三年一月十四日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	60		(領収証、地方稅地租割第一キ貳拾四錢)	明治廿四年三月五日	(印、大張村役場)	大張村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	3	61		(領収証、村費地佃割貳拾錢六厘)	明治廿四年四月廿八日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	62		(領収証、田租貳拾參錢貳厘)	明治廿三年三月十九日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	3	63		(領収証、畑租貳拾五錢七厘)	明治廿三年十月十八日	大張村収入役・佐藤右膳(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	1		(板綴表紙、明治廿三年五月～廿八年一月迄分、西根村高倉上納切符)	(明治28年)			状	
W7	1	4	2		(領収証、村稅壹門拾八錢九厘)	明治廿八年一月十日	西根村収入役・八島惣吉	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	3		(領収証、宅地租貳拾七錢七厘)	明治廿七年九月十七日	西根村収入役・八島惣吉	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	4		(領収証、山林原野租壹錢七厘)	明治廿七年九月十七日	西根村収入役・八島惣吉	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	5		(領収証、畑租貳門五拾五錢)	明治廿七年九月十七日	西根村収入役・八島惣吉	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	6		(領収証、郡費貳拾七錢六厘)	明治廿七年八月十日	西根村収入役・八島惣吉	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	7		(領収証、村稅壹門拾八錢九厘)	明治廿七年七月十六日	西根村収入役・八島惣吉	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	8		(領収証、田租六門八拾九錢壹厘)	明治廿七年五月十八日	西根村収入役・八島惣吉	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	9		(領収証、村稅壹門拾八錢九厘)	明治廿七年十月十五日	西根村収入役・八島惣吉	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	10		(領収証、普通水利組合費五拾四錢壹厘)	明治廿七年九月廿六日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	11		(領収証、普通水利組合費五拾參錢七厘)	明治廿七年四月二十日	伊具普通水利組合管理者・伊具郡長・遠藤元良(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	12		(領収証、明治廿七年度村稅第一期壹門拾八錢九厘)	明治廿七年四月十五日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	13		(領収証、明治廿七年度地方稅地租割第一期五門五拾四錢九厘)	明治廿七年九月廿六日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	14		(領収証、明治廿六年度田租第四期六門八拾九錢)	明治廿七年二月十六日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	15		(領収証、明治廿六年度村稅第四期壹門拾四錢)	明治廿七年一月廿六日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	16		(領収証、明治廿七年度田租第三期六門九拾八錢四厘)	明治廿七年一月三日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	4	17		(領収証、明治廿六年度畑租四拾八錢)	明治廿六年十一月廿日	西根村収入役・八島惣吉(印)	佐藤惣七殿	状	

箱	番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	4	18			(領収証、明治廿六年度地方税地租割第二期五円五拾四銭六厘)	明治廿六年十二月三日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	19			(領収証、明治廿六年度宅地租第二期七銭六厘)	明治廿六年十一月十二日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	20			(領収証、明治二十六年度村税地価割制超過税六円拾七銭壹厘)	明治廿六年十一月十三日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	21			(領収証、明治廿六年度畑租第二期五円九拾銭)	明治廿六年十一月十二日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	22			(領収証、明治廿六年度山林原野租第二期七銭七厘)	明治廿六年十一月十二日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	23			(領収証、明治廿六年度村税第三期五円拾四銭)	明治廿六年十月十七日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	24			(領収証、川及江尻開門普通水利組合費参拾七銭七厘)	明治廿六年十月三日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	25			(領収証、尾袋川惠水普通水利組合費拾五銭壹厘)	明治廿六年十月三日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	26			(領収証、明治廿六年度山林原野租第壹期七銭七厘)	明治廿六年九月十六日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	27			(領収証、明治廿六年度宅地租第壹期七銭七厘)	明治廿六年九月十六日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	28			(領収証、明治廿六年度畑租第壹期五円九拾銭七厘)	明治廿六年九月十六日	西根村収入役・八島惣吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	29			(領収証、村税地価割五円拾四銭)	明治廿六年七月十六日	西根村収入役・八島惣吉	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	30			(領収証、内川及江尻開門普通水利組合費参拾七銭八厘)	明治廿六年五月廿七日	西根村長・目黒喜平、西根村収入役・八島惣吉	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	31			(領収証、尾袋川惠水普通水利組合費拾五銭壹厘)	明治廿六年五月廿七日	西根村長・目黒喜平、西根村収入役・八島惣吉	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	32			(領収証、田租六円八拾八銭四厘)	明治廿六年五月十三日	西根村収入役・八島惣吉	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	33			(領収証、村税地価割五円拾四銭)	明治廿六年四月廿七日	西根村長・目黒喜平	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	34			(領収証、地方税地租割五円三拾七銭壹厘)	明治廿六年三月六日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	35			(領収証、田租六円八拾八銭四厘)	明治廿六年二月十三日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	36			(領収証、村税地価割五円七銭壹厘)	明治廿六年一月十四日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	37			(領収証、山林原野租七厘)	明治廿五年九月十四日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	38			(領収証、畑租五円六拾八銭壹厘)	明治廿五年九月十四日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	39			(領収証、尾袋川惠水普通水利組合費拾五銭二厘)	明治廿五年九月十四日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	40			(領収証、郡村宅地租七銭七厘)	明治廿五年九月十四日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	41			(領収証、山林原野租七厘、紛失二付再渡)	明治廿五年十一月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	42			(領収証、畑租五円六拾八銭)	明治廿五年十一月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	43			(領収証、郡村地租七銭六厘)	明治廿五年十一月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	44			(領収証、村税地価割五円七銭壹厘)	明治廿五年十月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	45			(領収証、尾袋川惠水普通水利組合費拾五銭六厘)	明治廿五年六月五日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡部儀藏殿	状	
W7	1	4	46			(領収証、村税地価割五円七銭壹厘、紛失二付再製)	明治廿五年七月廿日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	47			(領収証、地租六円拾六銭壹厘)	明治廿五年二月十六日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	48			(領収証、地方税地租割四円七拾六銭六厘)	明治廿五年三月五日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	49			(領収証、地租六円拾六銭壹厘)	明治廿五年五月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	50			(領収証、村税地価割五円七銭壹厘)	明治廿五年四月廿一日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	51			(領収証、地租六円拾六銭壹厘)	明治廿五年三月十六日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	52			(領収証、村税地租割限外課税六円六拾銭六厘)	明治廿四年十一月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎	渡辺儀藏殿	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	4	53		(領収証、郡村宅地租貳拾七錢六リ)	明治廿四年十一月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	54		(領収証、山林原野租第二期壹錢七リ)	明治廿四年十一月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	55		(領収証、畑租壹円六拾八錢壹厘)	明治廿四年九月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	56		(領収証、山林原野租第壹期壹錢七リ)	明治廿四年九月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	57		(領収証、郡村宅地租第壹期貳拾七錢七リ)	明治廿四年九月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	58		(領収証、村税第二期壹円貳錢壹リ)	明治廿四年八月十一日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	59		(領収証、村税第一期壹円二錢壹リ)	明治廿四年六月六日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	4	60		(領収証、田租第六期六円拾六錢)	明治廿四年五月十二日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	61		(領収証、尾袋川普通水利組合費六拾參錢五リ)	明治廿四年八月十一日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	62		(領収証、田租第五期六円拾六錢三リ)	明治廿四年三月廿一日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	63		(領収証、地方税地租割第一期四円七拾六錢六リ)	明治廿四年三月六日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	64		(領収証、地方税四円八錢九厘)	明治廿四年一月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	65		(領収証、田租六円拾六錢三厘)	明治廿四年一月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	66		(領収証、村税地租割壹円貳錢貳厘)	明治廿四年一月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	67		(領収証、田租六円拾六錢三厘)	明治廿三年十二月五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	68		(領収証、地方税三円八拾壹錢七厘)	明治廿三年十二月五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	69		(領収証、畑租壹円六拾八錢)	明治廿三年十月廿五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	70		(領収証、宅地租貳拾七錢六厘)	明治廿三年十月廿五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	71		(領収証、山林原野租壹錢七厘)	明治廿三年十月廿五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	72		(領収証、村税地租割壹円貳錢壹厘)	明治廿三年十月廿日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	73		(領収証、畑租壹円六拾八錢壹厘)	明治廿三年八月八日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	74		(領収証、山林原野租壹錢七厘)	明治廿三年八月八日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	75		(領収証、宅地租貳拾七錢七厘)	明治廿三年八月八日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	76		(領収証、地方税地租割追加貳拾八錢六厘)	明治廿三年八月八日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	77		(領収証、村税地租割壹円貳錢壹厘)	明治廿三年七月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	4	78		(領収証、村税地租割壹円貳錢壹厘)	明治廿三年五月十七日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	5	1		(仮綴表紙、明治廿三年壹月より同廿四年十二月迄白石町上納切符綴)	(明治24年)			状	
W7	1	5	2		(領収証、町税戸別割四拾壹円拾四錢三厘)	明治廿四年十二月三日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	5	3		(領収証、小学尋常科授業料七拾錢)	明治廿四年十二月七日	白石町収入役・武藤弘済	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	5	4		(領収証、地方税地租割貳拾八錢九厘)	明治廿四年十一月十八日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	5	5		(領収証、地租第二期郡村宅地租參拾錢壹厘)	明治廿四年十一月十八日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	5	6		(領収証、地方税地租割拾五円八拾錢)	明治廿四年十一月十八日	白石町収入役・武藤弘済	渡部儀藏殿	状	
W7	1	5	7		(領収証、地租第二期畑租五円拾五錢貳厘)	明治廿四年十一月十八日	白石町収入役・武藤弘済	渡部儀藏殿	状	
W7	1	5	8		(領収証、地租第二期郡村宅地租參圓七錢)	明治廿四年十一月十八日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	5	9		(領収証、地租第二期畑租四圓七拾九錢五厘)	明治廿四年十一月十八日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	5	10		(領収証、地租第二期雑地租三拾六錢)	明治廿四年十一月十八日	白石町収入役・武藤弘済	渡部儀藏殿	状	
W7	1	5	11		(領収証、地租第二期雑地租拾壹錢)	明治廿四年十一月十八日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	5	12		(領収証、地租第二期郡村宅地租貳拾七錢七厘)	明治廿四年十一月十八日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺儀藏殿	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	5	13		(領収証、日本赤十字社年贈金参円)	明治廿四年十月十六日	武藤弘济(印)	渡邊惣吉股	状	
W7	1	5	14		(領収証、日本赤十字社年贈金参円)	明治廿四年五月	日本赤十字社宮城縣委員 長・船越衛	渡邊惣吉股	状	
W7	1	5	15		(領収証、水車税四拾五錢)	明治廿四年十月十五日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	16		(領収証、商業税貳拾五円)	明治廿四年十月十五日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	17		(領収証、町税營業割貳拾貳円七拾五錢五厘)	明治廿四年十月十五日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	18		(領収証、醬油税・造石税四拾貳円八拾壹錢四厘)	明治廿四年九月卅日	大河原支金庫(印)	刈田郡白石町・渡辺儀藏	状	
W7	1	5	19		(領収証、郡村宅地租三円七錢壹厘)	明治廿四年九月廿九日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	20		(領収証、畑租五円拾五錢貳厘)	明治廿四年九月廿九日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	21		(領収証、小学尋常科授業料七拾錢)	明治廿四年九月廿九日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	22		(領収証、町税六円八拾六錢貳厘)	明治廿四年九月廿九日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	23		(領収証、町税拾貳錢四厘)	明治廿四年九月廿九日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	24		(領収証、地租四円七拾九錢五厘)	明治廿四年九月廿九日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	25		(領収証、地租三拾六錢)	明治廿四年九月廿九日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	26		(領収証、地租拾壹錢壹厘)	明治廿四年九月廿九日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	27		(領収証、郡村宅地租七拾五錢壹厘)	明治廿四年九月廿九日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	28		(領収証、郡村宅地租貳拾七錢七厘)	明治廿四年九月廿九日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	29		(領収書(所得税拾貳円六錢))	明治廿四年九月十六日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	30		(領収書(小学尋常科授業料七拾錢))	明治廿四年八月十八日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	31		(領収書(地方税貳拾六円六拾四錢四厘))	明治廿四年八月十八日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	32		(領収書(荷車税貳拾五錢))	明治廿四年七月十四日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	33		(領収書(荷車税貳拾五錢))	明治廿四年七月十四日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	34		(領収書(商業税貳拾五円))	明治廿四年七月十四日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	35		(領収書(水車税四拾五錢))	明治廿四年七月十四日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	36		(領収証、町税拾貳円七拾六錢五厘)	明治廿四年七月十四日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	37		(領収書(小学尋常科授業料七拾錢))	明治廿四年七月十四日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	38		(領収証、醬油税營業料貳円五拾錢)	明治廿四年七月廿二日	大河原支金庫(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	39		(領収証、醬油税造石税四拾壹円参拾錢四厘)	明治廿四年五月廿日	大河原支金庫(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	40		(領収書(町税拾三円三拾五錢九厘))	明治廿三年五月十八日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	41		(領収書(田租拾四錢五厘))	明治廿四年五月十八日	白石町収入役・武藤弘济(印)	常林寺股	状	
W7	1	5	42		(領収書(田租三円七拾壹錢五厘))	明治廿四年五月十八日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	43		(領収書(田租拾三円四拾錢壹厘))	明治廿四年五月十八日	白石町収入役・武藤弘济(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	5	44		(領収証、地租第六期田租貳拾六錢七リ)	明治廿四年五月十八日	白石町収入役・武藤弘济(印)	納人・常林寺股	状	
W7	1	5	45		(領収証、地方税戸數割第一期貳拾六円六拾四錢四リ)	明治廿四年五月十八日	白石町収入役・武藤弘济(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	46		(領収証、田租拾七錢)	明治廿四年五月十八日	白石町収入役・武藤弘济(印)	納人・渡邊惣吉股	状	
W7	1	5	47		(領収証、町税戸別割第一期四拾壹円拾四錢四リ)	明治廿四年五月四日	白石町収入役・武藤弘济(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	48		(領収証、畑租第二キ追役金貳拾六錢五リ)	明治廿四年三月廿七日	白石町収入役・武藤弘济(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	49		(領収証、所得税後半年分拾五拾七錢五リ)	明治廿四年三月廿七日	白石町収入役・武藤弘济(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	50		(領収証、宅地租第二期四拾七錢三リ)	明治廿四年三月廿七日	白石町収入役・武藤弘济(印)	納人・渡邊儀藏股	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	5	51		(領収証、地方税雑種税第一期四拾五銭)	明治廿三年七月十四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	52		(領収証、町税營業割第一期貳式円七拾五銭五リ)	明治廿三年七月十四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	53		(領収証、町税戸数割第一期五拾円拾五銭七リ)	明治廿三年六月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏股	状	
W7	1	5	54		(領収証、醬油税造石税四拾壹円九拾四銭五厘)	明治廿三年五月卅一日	大河原支金庫(印)	刈田郡白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	5	55		(領収証、地方税戸数割第一期貳拾三円四拾參銭八リ)	明治廿三年四月三十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏股	状	
W7	1	5	56		(領収証、授業料第四期六拾六銭)	明治廿三年三月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	57		(領収証、荷車税前半分貳拾五銭)	明治廿三年一月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	58		(領収証、町税荷車營業割第二期五銭)	明治廿三年一月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡部儀藏股	状	
W7	1	5	59		(領収証、地方税荷車税明治廿四年前半年分貳拾五銭)	明治廿三年一月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	60		(領収証、授業料第三期六拾六銭)	明治廿三年一月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	61		(領収証、地租第五期田租壹円七拾壹銭五リ)	明治廿四年三月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	62		(領収証、地租第五期田租拾三円四拾銭五リ)	明治廿四年三月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	63		(領収証、地方税地租割第一期拾円八拾銭五リ)	明治廿四年三月十三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡部惣吉股	状	
W7	1	5	64		(領収証、地方税地租割第一期貳拾八銭九リ)	明治廿四年三月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡部惣吉股	状	
W7	1	5	65		(領収証、地租第五期田租拾七銭)	明治廿四年三月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・帯林寺股	状	
W7	1	5	66		(領収証、地租第五期田租拾四銭六リ)	明治廿四年三月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	67		(領収証、町税地価割第二期六円七拾七銭五リ)	明治廿四年二月廿八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	5	68		(領収証、町税地価割第二期拾貳銭五リ)	明治廿四年二月廿八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡邊惣吉股	状	
W7	1	5	69		(領収証、町税地価割第二期拾貳銭五リ)	明治廿四年二月廿八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡邊惣吉股	状	
W7	1	5	70		(領収証、醬油税貳円五拾銭)	明治廿四年一月卅一日	大河原支金庫(印)	刈田郡白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	5	71		(領収証、醬油税など六拾貳円拾七銭七厘)	明治廿四年一月卅一日	大河原支金庫(印)	白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	5	72		(領収書(地方税地租割追加拾三円五拾五銭)	明治廿四年一月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	73		(領収書(地方税地租割追加貳拾四銭八厘)	明治廿四年一月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉股	状	
W7	1	5	74		(領収書(地租三円七拾壹銭五厘)	明治廿四年一月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	75		(領収書(地租拾七銭五厘)	明治廿四年一月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉股	状	
W7	1	5	76		(領収書(地租拾三円四拾銭五厘)	明治廿四年一月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	77		(領収書(地方税地租割五拾壹銭五厘)	明治廿三年十二月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	伊藤栄松股	状	
W7	1	5	78		(領収書(田租拾參円四拾銭五厘)	明治廿三年十二月八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	79		(領収書(町税戸別割五拾円五銭六厘)	明治廿三年十二月八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	80		(領収書(地方税地租割貳拾三銭貳厘)	明治廿三年十二月八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉股	状	
W7	1	5	81		(領収書(地方税地租割拾壹円貳拾九銭五厘)	明治廿三年十二月八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	82		(領収書(地方税地租割貳銭九厘)	明治廿三年十二月八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	83		(領収書(地方税地租割七銭八厘)	明治廿三年十二月八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	朽木隆曉股	状	
W7	1	5	84		(領収書(田租拾七銭五厘)	明治廿三年十二月八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉股	状	
W7	1	5	85		(領収書(田租三円七拾壹銭五厘)	明治廿三年十二月八日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏股	状	
W7	1	5	86		(領収書(宅地租貳拾七銭七厘)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部卯吉股	状	
W7	1	5	87		(領収書(町税營業割六拾七銭五厘)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊卯吉股	状	
W7	1	5	88		(領収書(宅地租五拾貳銭六厘)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉股	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	5	89		領収書(畑租四門九拾三錢壹厘)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	90		領収書(畑租四門六拾壹錢三厘)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	91		領収書(雑地租三拾六錢)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	92		領収書(宅地租貳門八拾三錢四厘)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺卯吉殿	状	
W7	1	5	93		領収書(地方税營業割壹門三拾五錢)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺卯吉殿	状	
W7	1	5	94		領収書(地方税雜種稅四拾五錢)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	95		領収書(明治廿三年度地方税營業稅第二期貳拾五圓)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	96		領収書(明治廿三年度町税營業割第二期貳拾貳圓七拾貳錢五厘)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	97		領収書(明治廿三年度雜地租第二期拾壹錢)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	5	98		領収書(明治廿三年度授業料第二期六拾六錢)	明治廿三年十月十一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	99		(領收証、明治廿三年度醬油稅造石稅第二期分四拾圓四拾貳錢貳厘)	明治廿三年九月卅日	大河原支金庫(印)	刈田郡白石町・渡部儀藏	状	
W7	1	5	100		領収書(明治廿三年度所得稅第一期拾圓五拾七錢五厘)	明治廿三年九月廿日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	5	101		領収書(明治廿三年度地方稅戶數割第二期貳拾三圓四拾三錢七厘)	明治廿三年八月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	102		領収書(明治廿三年度宅地租第一期貳拾七錢七厘)	明治廿三年八月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊卯吉殿	状	
W7	1	5	103		領収書(明治廿三年度刈田蚕糸業組合事務所錢五錢)	明治廿三年五月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	104		領収書(明治廿三年度畑租第一期四門六拾壹錢四厘)	明治廿三年八月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	5	105		領収書(明治廿三年度山林原野租第一期三拾六錢)	明治廿三年八月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	5	106		領収書(明治廿三年度雜地租第一期拾壹錢壹厘)	明治廿三年八月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	5	107		領収書(明治廿三年度畑租第一期四門九拾三錢壹厘)	明治廿三年八月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	5	108		領収書(明治廿三年度宅地租第一期五拾貳錢六厘)	明治廿三年八月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉殿	状	
W7	1	5	109		領収書(明治廿三年度宅地租第一期貳門八拾三錢四厘)	明治廿三年八月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	5	110		領収書(明治廿三年度町稅地租割第一期六圓五拾三錢貳厘)	明治廿三年八月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	111		領収書(明治廿三年度地方稅地租割追加九拾壹錢四厘)	明治廿三年八月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	112		領収書(明治廿三年度町稅地租割第一期拾貳錢四厘)	明治廿三年八月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	5	113		領収書(明治廿三年度地方稅地租割追加壹錢七厘)	明治廿三年八月廿二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部惣吉殿	状	
W7	1	5	114		稅令書(明治廿二年地方税營業稅第一期貳拾錢)	(明治)廿二年八月十七日	柴田刈田郡長・富田広信(印)	白石町・渡辺儀藏	状	
W7	1	5	115		領収書(明治廿三年度授業料第一期六拾六錢)	明治廿三年八月二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	5	116		(領收証、明治廿三年度醬油稅營業稅後半年分貳圓五拾錢)	明治廿三年七月卅日	大河原支金庫(印)	刈田郡白石町・渡辺儀藏	状	
W7	1	5	117		領収書(明治廿三年度荷車稅後半年分貳拾五錢)	明治二十三年七月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	118		領収書(明治廿三年度荷車稅後半年分貳拾五錢)	明治二十三年七月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	119		領収書(明治廿三年度町稅營業割荷車五錢)	明治二十三年七月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	5	120		領収書(明治廿三年度町稅營業割一期六拾七錢五厘)	明治二十三年七月十四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊卯吉殿	状	
W7	1	5	121		(領收証、地方税營業割壹圓三拾五錢)	明治二十三年七月十四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺卯吉殿	状	
W7	1	5	122		(領收証、地方税營業稅貳拾五圓)	明治二十三年七月十四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	6	1			(仮綴表紙、式拾貳年一月ヨリ十二月ノテ三澤村外三ヶ村切符)	(明治22年)			状	
W7	1	6	2			上納書(備荒公儲金四錢八厘)	明治廿二年十二月三日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	3			上納書(備荒公儲金貳錢九厘)	明治廿二年十二月三日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	4			上納書(村税地租割九錢四厘)	明治廿二年十二月三日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	5			上納書(村税地租割五錢六厘)	明治廿二年十二月三日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	6			上納書(地方税地租割拾壹錢三厘)	明治廿二年十二月三日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	7			上納書(地方税地租割拾八錢八厘)	明治廿二年十二月三日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	8			(領收証、田租拾九錢九厘)	明治廿二年十二月三日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	9			(領收証、田租拾九錢九厘)	明治廿二年十二月三日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	10			(領收証、山租四錢七厘)	明治廿二年十月十九日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	11			領收書(畑租拾壹錢八厘)	明治廿二年十月十九日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	12			領收書(畑租拾壹錢七厘)	明治廿二年十月十九日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	13			上納書(地方税地租割拾壹錢四厘)	明治廿二年八月廿二日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	14			(領收証、畑租拾壹錢九厘)	明治廿二年八月廿二日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	15			上納書(地租割拾八錢八厘)	明治廿二年八月廿二日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	16			(領收証、山租四錢八厘)	明治廿二年八月廿二日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	17			(領收証、畑租貳拾壹錢八厘)	明治廿二年八月廿二日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	18			上納書(村税地租割拾五錢七厘)	明治廿二年七月廿四日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	19			上納書(村税地租割拾九錢五厘)	明治廿二年七月廿四日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	20			(領收証、台帳割合費七錢五厘)	明治廿二年四月廿一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	21			(領收証、地方税地租割廿五錢)	明治廿二年四月十九日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	22			(領收証、地方税地租割貳拾五錢八厘)	明治廿二年四月十九日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	23			(領收証、地方税地租割拾五錢三厘)	明治廿二年四月十九日		渡部儀藏	状	
W7	1	6	24			(領收証、地方税地租割貳錢五厘)	明治廿二年四月十九日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	25			(領收証、名寄加添費壹錢)	明治廿二年四月十九日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	26			(領收証、田租拾九錢八厘)	明治廿二年四月二日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	27			(領收証、田租五拾六錢三厘)	明治廿二年四月二日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	28			(領收証、田租四拾八錢八厘)	明治廿二年四月二日		三澤村外三ヶ村戸長・西田泰一郎	状	
W7	1	6	29			(領收証、田租拾九錢九厘)	明治廿二年三月十九日		戸長・西田泰一郎	状	
W7	1	6	30			(領收証、田租四拾八錢八厘)	明治廿二年三月十九日		戸長・西田泰一郎	状	
W7	1	6	31			(領收証、田租五拾六錢四厘)	明治廿二年三月十九日		戸長・西田泰一郎	状	
W7	1	6	32			領收書(村費地租割六錢壹厘)	明治二十二年一月十四日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	33			領收書(村費地租割拾五錢三厘)	明治二十二年一月十四日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	34			領收書(村費地租割拾五錢六厘)	明治二十二年一月十四日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	35			(領收証、名寄調製費追加五錢九厘)	明治二十二年一月十四日		渡辺儀藏	状	
W7	1	6	36			(領收証、田租拾九錢九厘)	明治二十二年一月十四日		戸長・西田泰一郎	状	
W7	1	6	37			(領收証、田租四拾八錢九厘)	明治二十二年一月十四日		戸長・西田泰一郎	状	
W7	1	6	38			(領收証、田租五拾六錢五厘)	明治二十二年一月十四日		戸長・西田泰一郎	状	

箱 番号	棟1	棟2	棟3	棟4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	7	1		領収証書(県税六拾九錢七厘)	明治三十四年一月十一日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	2		領収証書(県税参拾錢五厘)	明治三十四年一月十一日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	3		領収証書(県税拾壹錢貳厘)	明治三十四年一月十一日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	4		領収証書(県税四錢九厘)	明治三十四年一月十一日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	5		領収証書(田税七拾四錢壹厘)	明治三十四年一月五日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	6		領収証書(畑税など六拾壹錢壹厘)	明治三十三年十一月廿三日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	7		領収証書(雑税参拾參錢九厘)	明治三十三年十一月廿三日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	8		領収証書(県税拾六錢九厘)	明治卅三年十月十日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	9		領収証書(県税壹圓四錢五厘)	明治卅三年十月十日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	10		領収証書(畑税など六拾壹錢貳厘)	明治三十三年九月廿一日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	11		領収証書(雑税参拾參錢九厘)	明治三十三年九月廿一日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	12		領収証書(県税六拾九錢貳厘)	明治三十三年八月一日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	13		領収証、県税六拾九錢六厘)	明治三十三年八月一日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺惣吉代納人・小室清十郎	状	
W7	1	7	14		領収証書(田租貳圓八拾三錢八厘)	明治卅四年二月九日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	7	15		領収証書(醤油造石稅貳百貳拾壹圓拾九錢六厘)	明治卅三年七月卅日	大河原支金庫	白石町・渡辺儀藏	状	
W7	1	7	16		領収証書(田租参圓六拾五錢壹厘)	明治卅四年二月廿日	齋川村収入役・佐藤金作(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	7	17		領収証、小学校授業料壹圓七拾錢)	明治卅四年二月廿八日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	7	18		領収証、戸籍手数料拾錢)	明治卅四年四月廿日	白石町収入役・武藤弘済	加藤文吾	状	
W7	1	7	19		領収証、手数料貳錢)	明治卅四年四月十九日	白石町収入役・武藤弘済	加藤文吾	状	
W7	1	7	20		領収証、戸籍手数料拾錢)	明治卅四年四月十九日	白石町収入役・武藤弘済	加藤文吾	状	
W7	1	7	21		領収証書(牧場敷地貸下料四圓)	明治卅四年四月卅日	大河原支金庫(印)	刈田郡七ヶ宿村・高橋菊太郎	状	
W7	1	7	22		領収証、寄地手数料五錢)	明治卅四年七月廿六日	白石町収入役・渡辺貞吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	7	23		領収証、戸籍手数料拾錢)	明治卅四年四月廿二日	白石町収入役・武藤弘済	加藤文吾	状	
W7	1	7	24		領収証書(田租貳圓八拾錢七厘)	明治三十四年二月廿八日	白石町収入役・武藤弘済	白石町製麵合資会社	状	
W7	1	7	25		領収証書(地租貳厘)	明治三十四年二月廿八日	白石町収入役・武藤弘済	白石町製麵合資会社	状	
W7	1	7	26		領収証書(田租貳拾七圓九錢貳厘)	明治三十四年二月廿八日	白石町収入役・武藤弘済	白石町製麵合資会社	状	
W7	1	7	27		領収証書(田租八圓拾錢三厘)	明治三十四年貳月廿六日	大平村収入役・古山太藏(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	7	28		領収証書(田租四圓八拾三錢貳厘)	明治三十四年貳月廿六日	大平村収入役・古山太藏(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	7	29		領収書(藤金拾圓)	明治卅四年二月五日	日本赤十字社宮城支部刈田郡 白石分区委員・岩澤銀三郎(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	7	30		領収証、戸籍手数料六拾錢)	明治卅四年二月廿七日	白石町収入役・武藤弘済	加藤文吾	状	
W7	1	7	31		領収証書(田租七拾四錢五厘)	明治三十四年貳月廿六日	大平村収入役・古山太藏(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	7	32		領収証書(田租九圓八拾六錢三厘)	明治卅四年二月十六日	西根村収入役・大沼梅治(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	7	33		領収証書(田租貳圓八拾四錢九厘)	明治卅四年二月十六日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	7	34		領収証書(田租六拾四錢五厘)	明治卅四年二月十六日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	7	35		(寛、大町分縣稅地租九錢八厘など書上)	(明治34年)			状	
W7	1	8	1		(坂綴表紙、明治廿三年九月ヨリ同廿四年十二月 之テ大平村上納切符)	(明治24年)			状	
W7	1	8	2		(領収証、地租捌壹圓五拾七錢五厘)	明治廿四年十二月九日	大平村収入役・高橋敬一郎	渡辺儀藏殿	状	

箱 番号	校1	校2	校3	校4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	9	5		(領收証、縣稅地租割八拾參錢貳リ)	明治卅二年四月十四日	大平村収入役・高橋敬一郎	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	6		(領收証、縣稅地租割拾円八厘)	明治卅二年四月十四日	大平村収入役・高橋敬一郎	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	7		(領收証、縣稅地租割六円七拾貳錢五厘)	明治卅二年四月十四日	大平村収入役・高橋敬一郎	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	8		(領收証、地租附加稅壹円九拾五錢六厘)	明治卅二年四月十四日	大平村収入役・高橋敬一郎	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	9		(領收証、地租附加稅貳円九拾壹錢)	明治卅二年四月十四日	大平村収入役・高橋敬一郎	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	10		(領收証、地租附加稅貳拾四錢貳厘)	明治卅二年四月十四日	大平村収入役・高橋敬一郎	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	11		(領收証、村稅地租割第一期九拾貳錢七リ)	明治卅二年四月三日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	12		(領收証、県稅地租割上半期三円拾六錢九リ)	明治卅二年四月三日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	13		(領收証、水利組合費貳拾八円六拾參錢參厘)	明治卅二年四月二十九日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	9	14		(領收証、水利組合費參拾七錢七リ)	明治卅二年四月二十九日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	9	15		(領收証、水利組合費貳拾九錢七リ)	明治卅二年四月二十九日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	9	16		(領收証、水利組合費五拾九錢六厘)	明治卅二年四月二十九日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	9	17		(領收証、水利組合費四円九拾錢壹リ)	明治卅二年四月二十九日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	9	18		(領收証、県稅地租割上半期四拾四円拾錢九リ)	明治卅二年四月十五日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	19		(領收証、町稅地租附加稅全額貳拾五円五拾八錢壹リ)	明治卅二年四月十五日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	20		(領收証、県稅地租割上半期四円七拾錢七リ)	明治卅二年四月十五日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	21		(領收証、明治卅二年度町稅地租附加稅全額貳円七拾四錢六厘)	明治卅二年四月十五日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	9	22		(領收証、明治卅二年度町稅地租附加稅全額拾七錢壹厘)	明治卅二年四月十五日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	9	23		(領收証、明治卅二年度県稅地租割上半期貳拾九錢五厘)	明治卅二年四月十五日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	9	24		(領收証、明治卅二年度県稅地租割上半期參円九拾七錢八厘)	明治卅二年四月十五日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	高橋源六	状	
W7	1	9	25		(領收証、明治卅二年度町稅地租附加稅全額貳円參拾錢七厘)	明治卅二年四月十五日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	高橋源六	状	
W7	1	9	26		(領收証、手數料貳錢)	明治卅二年四月二十八日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	片平善助殿	状	
W7	1	9	27		(領收証、村稅貳拾參錢六厘)	明治卅二年四月廿一日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	28		(領收証、村稅九拾錢四厘)	明治卅二年四月廿一日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	29		(領收証、縣稅八拾錢八厘)	明治卅二年四月八日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	30		(領收証、縣稅參円九錢七厘)	明治卅二年四月八日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	31		(領收証、水利組合費貳拾五円貳拾八錢壹厘)	明治三十三年三月十四日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	9	32		(領收証、水利組合費四円四錢壹厘)	明治三十三年三月十四日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	9	33		(領收証、水利組合費參拾四錢六厘)	明治三十三年三月十四日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	9	34		(領收証、蠶油造石稅貳拾參円拾參錢九厘)	明治卅一年九月廿九日	大河原文支庫(印)	白石町・渡辺儀藏	状	
W7	1	9	35		(領收証書(田租六円拾參錢七厘)	明治三十三年五月廿二日	大平村長・小関勇五郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	36		(領收証書(田租參円六拾四錢七厘)	明治三十三年五月廿二日	大平村長・小関勇五郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	37		(領收証、田地反別割・宅地反別割參拾四錢壹厘)	明治三十三年三月十四日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	9	38		(領收証、田地反別割貳拾六錢四厘)	明治三十三年三月十四日	白石町収入役・武藤弘濟(印)	渡辺卯吉殿	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	9	39		領収証書(地租貳円拾四錢九厘)	明治卅二年三月九日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏代納者・谷津文吉	状	
W7	1	9	40		領収証書(地租田租壹円五拾五錢四厘)	明治三十二年三月廿二日	齋川村収入役・佐藤金作	渡辺儀藏代リ・永沼孫七郎	状	
W7	1	9	41		(領収証、小学校授業料壹円四拾錢)	明治卅二年三月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	9	42		(領収証、小学校授業料壹円四拾錢)	明治卅二年三月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	9	43		領収証書(田租貳拾円四拾七錢)	明治卅二年三月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	9	44		領収証書(所得税貳拾六円四拾錢七厘)	明治卅二年三月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	9	45		領収証書(田租五円七拾錢)	明治卅二年三月廿五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	46		領収証書(明治三十一年五期分地租(田租)參円六拾四錢七リ)	明治三十二年三月廿五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	大平村・渡邊儀藏	状	
W7	1	9	47		領収証書(明治三十一年五期分地租(田租)五拾六錢五リ)	明治三十二年三月廿五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	48		(領収証、明治卅一年度手数料貳錢)	明治卅二年三月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	9	49		領収証書(明治三十一年五期分地租(田租)壹円九拾九錢七リ)	明治三十二年三月十四日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	50		領収証書(明治卅一年第四期分地租(田租)拾三錢五リ)	明治卅二年二月二十五日	七ヶ宿村収入役・泉太藏(印)	渡部惣吉	状	こより共
W7	1	9	51		領収証書(明治卅一年第四期分地租壹円拾貳錢貳リ)	明治卅二年二月二十五日	七ヶ宿村収入役・泉太藏(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	9	52		領収証書(田租壹円拾貳錢貳厘)	明治卅二年三月廿六日	七ヶ宿村収入役・泉太藏(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	9	53		領収証書(田租拾參錢五厘)	明治卅二年三月廿六日	七ヶ宿村収入役・泉太藏(印)	渡部惣吉	状	
W7	1	9	54		領収証書(田租拾參錢五厘)	明治三十二年五月廿二日	七ヶ宿村収入役・泉太藏(印)	渡部惣吉	状	
W7	1	9	55		(領収証、田租壹円七錢六厘)	明治三十二年五月廿二日	七ヶ宿村収入役・泉太藏(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	9	56		(領収証、村税地租捌八拾二錢參厘)	明治卅二年三月廿六日	七ヶ宿村収入役・吉田円次郎(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	9	57		(領収証、村税地租捌拾壹錢六厘)	明治卅二年三月廿六日	七ヶ宿村収入役・吉田円次郎(印)	渡部惣吉	状	
W7	1	9	58		(領収証、縣税地租捌貳円五錢五厘)	明治卅二年四月十五日	七ヶ宿村収入役・吉田円次郎(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	9	59		(領収証、縣税地租捌拾九錢九厘)	明治卅二年四月十五日	七ヶ宿村収入役・吉田円次郎(印)	渡部惣吉	状	
W7	1	9	60		(領収証、村税地租捌壹円拾九錢參厘)	明治卅二年五月三日	七ヶ宿村収入役・吉田円次郎(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	9	61		(領収証、村税拾壹錢六厘)	明治卅二年五月一七日	七ヶ宿村収入役・吉田圓次郎(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	9	62		領収証(鹽金壹圓)	明治三十二年二月廿六日	白石町分區・齋藤吉彌(印)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	9	63		領収証(鹽金壹円)	明治三十二年二月廿六日	白石町分區・齋藤吉彌(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	9	64		領収証書(田租六円拾四錢貳厘)	明治三十二年二月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	9	65		領収証書(田租貳拾円四拾七錢五厘)	明治三十二年二月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	66		領収証書(田租五円七拾錢)	明治三十二年二月廿二日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	67		領収証書(田租參円六拾五錢七厘)	明治三十二年貳月廿二日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	68		領収証書(田租五拾六錢五厘)	明治三十二年貳月廿二日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	69		領収証書(田租貳円拾五錢)	明治卅二年二月廿三日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	70		領収証書(田租貳拾錢)	明治三十一年十一月十七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	白石町・渡辺惣吉	状	
W7	1	9	71		(領収証、町税地租割金額拾七錢七リ)	明治卅一年六月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊卯吉	状	
W7	1	9	72		(領収証、明治卅一年度県税地租割税追加拾五錢)	明治卅一年九月十四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊卯吉	状	

箱	番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	9	73			(領收証、明治卅一年度県税地租割税下半年度参拾九錢六厘)	明治卅一年十二月十二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺卯吉	状	
W7	1	9	74			領收証書(田租貳拾錢)	明治三十一年五月卅二日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊卯吉	状	
W7	1	9	75			領收証書(三十一年一期分醬油造石税六拾参円八拾五錢)	明治卅一年五月卅日	大河原支金庫(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	76			領收証書(田租貳円拾四錢九厘)	明治卅一年五月十七日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	77			(領收証、村税地租割第二期九拾貳錢七リ)	明治卅一年十一月十七日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	78			(領收証、地租田租第六期三円六拾四錢三リ)	明治三十一年五月廿三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	大平村・渡辺儀藏	状	
W7	1	9	79			領收証書(地租田租五円参拾壹錢六厘)	明治三十一年五月廿三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	80			領收証書(地租田租五拾六錢三厘)	明治三十一年五月廿三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	81			(領收証、明治卅一年度県税戸数割上半期貳拾参円五拾貳錢)	明治卅一年五月廿三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	82			(領收証、明治卅一年度営業税附加税上半年期七円参拾九錢六厘)	明治卅一年五月廿三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	83			領收証書(租税営業税前期分参拾六円九拾八錢貳厘)	明治三十一年五月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	9	84			領收証書(明治三十年六期分租税地租貳拾四拾七錢)	明治三十一年五月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	白石町・渡辺儀藏	状	
W7	1	9	85			領收証書(明治三十年六期分租税地租貳円拾四錢)	明治三十一年五月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	白石町・渡辺惣吉	状	
W7	1	9	86			領收証書(明治卅一年第三期分租税地租貳円拾五錢)	明治卅二年一月八日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	87			(領收証、明治卅一年度小学校授業料第六期二・三月分壹円四拾錢)	明治卅一年七月十三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	88			(領收証、明治卅一年度小学校授業料第壹期四・五月分壹円四拾錢)	明治卅一年七月十三日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	89			領收証(糠金壹円)	明治三十一年七月五日	白石町分区委員・齋藤吉弥(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	90			領收証(糠金壹円)	明治三十一年七月五日	白石町分区委員・齋藤吉弥(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	91			(領收証、明治三十一年度町税地租割全額貳円七拾四錢五厘)	明治卅一年六月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	9	92			(領收証、明治三十一年度町税地租割全額貳拾四円七拾五錢九厘)	明治卅一年六月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	93			領收証書(明治三十年六期分租税地租壹円貳拾貳錢貳厘)	明治三十一年五月廿七日	齋川村長・松野七次郎代・永沼孫七郎	齋川村・渡辺儀藏	状	
W7	1	9	94			(領收証、明治三十一年度県税地租割追加六円八拾四錢八厘)	明治卅一年八月卅一日	西根村収入役・八嶋惣吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	95			(領收証、明治三十一年度町税戸別割第壹期百拾壹円貳拾五錢)	明治卅一年八月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	96			(領收証、村税地租割六錢六厘)	明治三十一年四月十九日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	9	97			(領收証、県税地租割一期三拾八錢四厘)	明治三十一年四月十二日	小原村収入役・小室善治郎(印)	渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	9	98			(領收証、明治三十一年度村税地租割第二期壹円九拾四錢四厘)	明治卅一年八月十八日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	99			(領收証、明治三十一年度村税地租割第二期貳拾四錢貳厘)	明治卅一年八月十八日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	9	135		領収証書(地租田租壹円五拾三銭貳厘)	明治三十二年一月四日	齋川村収入役・佐藤金作	渡辺儀藏代り・永沼孫七郎	状	
W7	1	9	136		領収証書(佃租郡村宅地租雑地租貳拾壹銭壹厘)	明治三十一年十一月廿八日	齋川村収入役・佐藤金作	齋川村・渡邊儀藏代り・永沼孫七郎	状	
W7	1	9	137		(領収証、県税地租割壹円五拾六銭七厘)	明治三十一年十二月六日	小原村収入役・小室善治郎	白石町・渡辺惣吉	状	
W7	1	9	138		領収証書(地租畑租宅地租雑地租四拾五銭九厘)	明治三十一年十二月六日	小原村収入役・小室善治郎	刈田郡白石町白石二百六十一番地・渡辺惣吉	状	
W7	1	9	139		(領収証、村税地価割税六拾九銭壹厘)	明治卅一年十二月七日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	140		(領収証、県税地租割壹円五拾六銭七厘)	明治三十一年十二月五日	小原村収入役・小室善治郎	小原村・渡辺惣吉	状	
W7	1	9	141		(領収証、手数料貳銭)	明治卅一年十二月十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	川村儀三郎殿	状	
W7	1	9	142		(領収証、手数料貳銭)	明治卅一年十二月十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	上西金四郎殿	状	
W7	1	9	143		(領収証、縣稅參円拾九銭六厘)	明治卅一年十二月一日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	144		領収証書(佃租など合計拾六銭六厘)	明治三十一年十一月二十一日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	145		(領収証、縣稅三円貳拾六銭七厘)	明治卅一年十二月四日	齋川村収入役・佐藤金作(印)	渡辺儀藏代り・永沼孫七郎	状	
W7	1	9	146		領収証書(佃租など合計壹円八拾四銭五厘)	明治三十一年十一月廿七日	大平村収入役・高橋敬一郎	大平村・渡辺儀藏	状	
W7	1	9	147		領収証書(佃租など合計壹円貳拾錢壹厘)	明治三十一年十一月廿七日	大平村収入役・高橋敬一郎	大平村・渡辺儀藏	状	
W7	1	9	148		(領収証、縣稅四拾錢七厘)	明治三十一年十二月九日	小原村収入役・小室善治郎	渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	9	149		領収証書(佃稅參拾七錢四厘)	明治三十一年十一月廿六日	小原村収入役・小室善治郎	渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	9	150		領収証書(佃稅參拾七錢四厘)	明治三十一年九月廿八日	小原村収入役・小室善治郎	渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	9	151		(領収証、縣稅拾四錢五厘)	明治三十一年九月十日	小原村収入役・小室善治郎	渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	9	152		(領収証、縣稅壹円拾壹錢九厘)	明治卅一年十二月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	153		(領収証、縣稅九円五錢七厘)	明治卅一年十二月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	154		(領収証、村稅參円九拾壹錢七厘)	明治卅一年十二月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	155		(領収証、村稅五円四拾貳錢)	明治卅一年十二月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	156		(領収証、縣稅拾貳円五拾參錢貳厘)	明治卅一年十二月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	157		(領収証、縣稅五拾八円四拾錢五厘)	明治卅一年十二月十二日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	158		(領収証、縣稅六円參拾四錢七厘)	明治卅一年十二月十二日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺惣吉	状	
W7	1	9	159		(領収証、村稅四拾八錢八厘)	明治卅一年十二月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	160		領収証書(佃租など合計貳円拾貳錢貳厘)	明治卅一年十二月二日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺惣吉	状	
W7	1	9	161		(領収証、國稅拾八円四拾九錢貳厘)	明治卅一年十二月二日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	162		(領収証、營業稅七円參拾九錢六厘)	明治卅一年十二月二日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	163		領収証書(營業稅參拾六円九拾八錢貳厘)	明治三十一年十二月二日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	164		領収証書(佃租など合計拾七円九拾八錢五厘)	明治三十二年一月十日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	165		領収証書(田租壹円五拾參錢)	明治三十二年一月十日	大鷹澤村収入役・佐竹甚吉	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	166		(領収証、町稅營業割參拾錢)	明治卅二年壹月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	9	167		(領収証、水車稅六拾錢)	明治卅二年壹月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	168		(領収証、縣稅五拾錢)	明治卅二年壹月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	169		(領収証、車稅貳拾五錢)	明治卅二年壹月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	9	170		(領収証、町稅參拾五錢)	明治卅二年壹月廿七日	白石町収入役・武藤弘済(印)	横山孫吉殿	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	171			(領收証、水車稅七拾錢)	明治卅二年壹月廿七日	白石町收入役・武藤弘濟(印)	横山孫吉	状	
W7	1	172			(領收証、町稅拾貳錢五厘)	明治卅二年壹月廿七日	白石町收入役・武藤弘濟(印)	横山孫三郎殿	状	
W7	1	173			(領收証、縣稅貳拾五錢)	明治卅二年壹月廿七日	白石町收入役・武藤弘濟(印)	横山孫三郎	状	
W7	1	174			(領收証書(醬油造石稅四拾參円五拾壹錢參厘))	明治卅二年壹月卅一日	大河原支金庫(印)	白石町・渡辺儀藏	状	
W7	1	175			(領收証、町稅百拾貳円貳拾四錢九厘)	明治卅二年二月八日	白石町收入役・武藤弘濟(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	176			(領收証、縣稅貳拾參円五拾貳錢)	明治卅一年十月卅一日	白石町收入役・武藤弘濟(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	177			(領收証書(地租貳拾伍拾參錢))	明治三十二年二月十三日	大鷹澤村收入役・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	178			(領收証書(地租貳拾四拾七錢五厘))	明治三十二年壹月十二日	白石町收入役・武藤弘濟(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	179			(領收証書(地租貳拾四拾錢五厘))	明治三十二年壹月十二日	白石町收入役・武藤弘濟(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	180			(領收証、小学校授業料壹円四拾錢)	明治卅二年一月十二日	白石町收入役・武藤弘濟(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	181			(領收証、小学校授業料壹円四拾錢)	明治卅二年一月十二日	白石町收入役・武藤弘濟(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	182			(領收証、小学校授業料壹円四拾錢)	明治卅二年一月十二日	白石町收入役・武藤弘濟(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	183			(領收証書(地租九拾四錢七厘))	明治卅二年一月十二日	七ヶ宿村收入役・鈴木肇代 理・書記・高橋□□(印)	渡部儀藏代人・富沢清太郎	状	こより共
W7	1	184			(領收証書(田租貳拾錢))	明治三十二年二月廿六日	白石町收入役・武藤弘濟(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	185			(領收証書(田租拾參錢五厘))	明治卅一年一月十二日	七ヶ宿村收入役・鈴木肇代 理・書記・高橋勇助(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	186			(領收証書(田租九拾四錢七厘))	明治卅一年二月十八日	七ヶ宿村收入役・鈴木肇(印)	渡部儀藏代理人・富沢清太郎	状	
W7	1	187			(領收証書(田租拾參錢五厘))	明治卅一年二月十八日	七ヶ宿村收入役・鈴木肇(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	188			(領收証書(田租九拾四錢七厘))	明治卅一年三月十七日	七ヶ宿村收入役・鈴木肇代 理・書記・高橋勇助(印)	渡部儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	189			(領收証書(田租拾參錢五厘))	明治卅一年三月十七日	七ヶ宿村收入役・鈴木肇代 理・書記・高橋勇助(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	190			(領收証、県稅地租制貳拾六錢八厘)	明治卅一年四月十一日	七ヶ宿村助役・鈴木庄三郎(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	191			(領收証、県稅地租制貳円貳拾四錢貳厘)	明治卅一年四月十一日	七ヶ宿村助役・鈴木庄三郎(印)	渡部儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	192			(領收証書(田租九拾四錢六厘))	明治卅一年五月廿一日	七ヶ宿村收入役・泉太藏(印)	渡部儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	193			(領收証書(田租拾參錢五厘))	明治卅一年五月廿一日	七ヶ宿村收入役・泉太藏(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	194			(領收証、県稅地租制貳円貳拾四錢參厘)	明治卅一年十二月十四日	七ヶ宿村收入役・泉太藏代 理・書記・鈴木四十郎(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	195			(領收証、県稅地租制貳拾六錢七厘)	明治卅一年十二月十四日	七ヶ宿村收入役・泉太藏代 理・書記・鈴木四十郎(印)	渡部惣吉	状	
W7	1	196			(領收証書(地租合計參拾六錢七厘))	明治三十一年十一月廿九日	七ヶ宿村收入役・泉太藏(印)	七ヶ宿村・渡部儀藏	状	
W7	1	197			(領收証書(地租合計參拾七錢))	明治三十一年九月拾八日	七ヶ宿村收入役・泉太藏(印)	渡部儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	198			(領收証、県稅地租制八拾五錢壹厘)	明治卅一年九月十一日	七ヶ宿村收入役・泉太藏(印)	渡部儀藏代人・富沢清太郎	状	
W7	1	199			(領收証書(田租拾參錢五厘))	明治三十二年一月十一日	七ヶ宿村收入役・泉太藏代 理・書記・鈴木四十郎(印)	渡部惣吉	状	
W7	1	200			(領收証、県稅地租制拾錢壹厘)	明治卅一年九月十一日	七ヶ宿村收入役・泉太藏(印)	渡部惣吉代人・富沢清太郎	状	
W7	1	201			(領收証書(田租九拾四錢壹厘))	明治三十二年一月十一日	七ヶ宿村收入役・泉太藏代 理・書記・鈴木左平(印)	渡部儀藏	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	9	202		(領收証、六円拾錢五厘)	(明治32年)	第二師團監督部主任收入官 更・陸軍二等軍吏・市川豊太	宮城県刈田郡白石町貳百 六拾六番地・佐藤多七	状	後欠
W7	1	9	203		領收証書(明治卅一年度地租割税上半期貳円四拾 錢四厘)	明治卅一年四月廿五日	刈田郡長・遊佐正人	刈田郡斎川村・渡邊儀藏	状	
W7	1	9	204		領收証書(卅年三分期造石税貳拾壹円四拾七錢)	明治卅一年一月廿九日	大河原文金庫(印)	白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	9	205		(領收証、明治三十年度県税戸数割別追加七円拾 四錢九厘)	明治卅一年一月廿四日	白石町收入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	206		(領收証、明治三十年度県税雜種稅水車稅下半年 參拾錢)	明治卅一年一月廿七日	白石町收入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	207		(領收証、明治三十年度町稅營業割第二期拾五錢)	明治卅一年一月廿七日	白石町收入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	208		(領收証、明治三十年度県税雜種稅水車稅下半年 五十錢)	明治卅一年一月廿七日	白石町收入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	209		(領收証、明治三十年度県税車稅營業割第二期貳 拾五錢)	明治卅一年一月廿七日	白石町收入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	210		(領收証、明治卅年度町稅地価割全額貳拾參円貳 拾參錢七厘)	明治卅一年一月廿七日	白石町收入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	211		(領收証、明治卅年度町稅地価割全額貳円七拾四 錢五厘)	明治三十一年一月廿七日	白石町收入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉殿	状	
W7	1	9	212		(領收証、明治卅年度町稅地価割全額拾七錢壹厘)	明治三十一年一月廿七日	白石町收入役・武藤弘済(印)	渡邊卯吉殿	状	
W7	1	9	213		(領收証、明治三十一年度県稅地租割上半期拾壹 円七拾三錢壹厘)	明治卅一年四月十五日	大平村收入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	214		(領收証、明治三十一年度県稅地租割上半期八円 五拾九錢貳厘)	明治卅一年四月十五日	大平村收入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	215		(領收証、明治三十一年度県稅地租割上半期壹円 拾壹錢九厘)	明治卅一年四月十五日	大平村收入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	216		(領收証、明治三十一年度村稅地価割第一期一円 九十四錢五ノ)	明治卅一年四月十五日	大平村收入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	217		(領收証、明治三十一年度村稅地価割第一期貳円 五拾三錢七厘)	明治卅一年四月十五日	大平村收入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	218		(領收証、明治三十一年度村稅地価割第一期貳拾 四錢貳ノ)	明治卅一年四月十五日	大平村收入役・高橋敬一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	219		(領收証、明治三十一年度県稅地租割上半期參拾 九錢七厘)	明治卅一年四月十四日	白石町收入役・武藤弘済(印)	渡邊卯吉	状	
W7	1	9	220		(領收証、明治三十一年度県稅地租割上半期六円 參拾四錢七厘)	明治卅一年四月十四日	白石町收入役・武藤弘済(印)	渡邊惣吉	状	
W7	1	9	221		領收証書(田租五拾六錢五厘)	明治三十一年三月廿三日	大平村收入役・高橋敬一郎(印)	大平村・渡邊儀藏	状	
W7	1	9	222		領收証書(田租五円參拾壹錢九厘)	明治三十一年三月廿三日	大平村收入役・高橋敬一郎(印)	大平村・渡邊儀藏	状	
W7	1	9	223		領收証書(田租參円六拾四錢五厘)	明治三十一年三月廿三日	大平村收入役・高橋敬一郎(印)	大平村・渡邊儀藏	状	
W7	1	9	224		領收証書(地租貳円拾四錢九厘)	明治三十一年三月廿日	耕野村收入役・谷津善四郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	9	225		領收証書(地租七円四拾九錢)	明治三十一年三月廿一日	西根村收入役・八嶋惣吉(印)	西根村・渡邊儀藏	状	
W7	1	9	226		領收証書(地租七円四拾九錢)	明治三十一年二月十五日	西根村收入役・八嶋惣吉(印)	西根村・渡邊儀藏	状	
W7	1	9	227		(領收証、小学校授業料壹円四拾錢)	明治卅一年三月五日	白石町收入役・武藤弘済(印)	渡邊儀藏殿	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	9	228		領收証(鎌金壹円)	明治三十一年三月五日	白石町分正員・斎藤吉弥(印)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	9	229		領收証(鎌金壹円)	明治三十一年三月五日	白石町分区委員・斎藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	9	230		領收証書(地租貳円拾五錢)	明治卅一年二月十三日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	231		領收証書(田租拾八円九拾壹錢四厘)	明治三十一年二月廿五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	232		領收証書(田租貳円拾四錢貳厘)	明治三十一年二月廿五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	9	233		領收証書(地租貳拾錢)	明治三十一年二月廿五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺卯吉	状	
W7	1	9	234		領收証書(田租參円六拾四錢五厘)	明治三十一年二月十七日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	大平村・渡辺儀藏	状	
W7	1	9	235		領收証書(田租五拾六錢五厘)	明治三十一年二月十七日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	大平村・渡辺儀藏	状	
W7	1	9	236		領收証書(田租五円參拾壹錢九厘)	明治三十一年二月十七日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	大平村・渡辺儀藏	状	
W7	1	9	237		領收証、縣稅五拾七円貳拾五錢壹厘)	明治卅一年四月十四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	238		領收証、村稅九拾貳錢壹厘)	明治卅一年四月四日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏殿代納者・相澤文吉	状	
W7	1	9	239		領收証、縣稅四円貳拾六錢壹厘)	明治卅一年四月四日	耕野村収入役・谷津善四郎(印)	渡辺儀藏殿代納者・相澤文吉	状	
W7	1	9	240		領收証書(郡村宅地租貳拾參錢參厘)	明治卅一年三月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	白石町・渡辺儀藏	状	
W7	1	9	241		領收証書(所得稅拾八円六拾參錢)	明治三十一年三月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	9	242		領收証書(田租貳拾四拾七錢四厘)	明治三十一年三月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	白石町・渡辺惣吉	状	
W7	1	9	243		領收証書(田租貳円拾四錢)	明治三十一年三月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	白石町・渡辺惣吉	状	
W7	1	9	244		領收証書(田租貳拾錢)	明治三十一年三月廿九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	白石町・渡辺卯吉	状	
W7	1	10	1	1	各村諸上納切符入(明治十八年ヨリ下)	(明治・年月日未詳)			袋	破損あり
W7	1	10	1	2	西根村・大張村・小原村・七北田村四ヶ村諸納切符 (十一年・廿二年度ノ)	(明治・年月日未詳)			封筒	
W7	1	10	1	3	領收証、畑地租壹円六拾八錢壹厘)	明治三十一年十月十九日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田 文藏(印)	高倉村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	1	4	領收証、山林地租壹錢七厘)	明治三十一年十月十九日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田 文藏(印)	高倉村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	1	5	領收証、宅地租貳拾七錢七厘)	明治三十一年十月十九日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田 文藏(印)	高倉村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	1	6	領收証、山林地租壹錢七厘)	明治三十一年八月十九日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田 文藏(印)	高倉村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	1	7	領收証、宅地租貳拾七錢七厘)	明治三十一年八月十九日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田 文藏(印)	高倉村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	1	8	領收証、畑地租壹円六拾八錢壹厘)	明治三十一年八月十九日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田 文藏(印)	高倉村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	1	9	領收証、地方稅地租割四円七拾六錢六厘・村費地 租割貳円四錢三厘)	明治三十一年八月十九日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田 文藏(印)	高倉村・渡部義藏	状	
W7	1	10	1	10	領收証、田地租六円拾七錢四厘)	明治三十一年一月七日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸 長・黒田文藏(印)	高倉村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	1	11	領收証、田地租六円拾七錢四厘)	明治三十一年四月五日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸 長・黒田文藏(印)	高倉村・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	1	12	領收証、公儲金六拾貳錢九厘)	明治三十一年十二月五日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田 文藏(印)	高倉村・渡辺儀藏	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	1	13	(領収証、田地租六円拾六銭弐厘)	明治廿一年十二月五日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田文蔵(印)	高倉村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	14	(領収証、地方税地租割、村費合計六円八拾銭九厘)	明治廿一年十二月九日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田文蔵(印)	高倉村納人・渡辺義蔵	状	
W7	1	10	1	15	記(上納分式拾三銭弐厘)	(明治21年)四月廿二日			状	
W7	1	10	1	16	(領収証、田地租六円拾七銭四厘)	明治二十一年三月十五日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文蔵(印)	高倉村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	17	記(西根村・高倉村費地租割弐円四銭三リ御渡しに相成候につき)	(明治)廿二年七月五日	佐久間金蔵(印)	渡辺義蔵様	状	
W7	1	10	1	18	(領収証、明治廿二年度公儲金六拾弐銭九厘)	明治廿二年十一月廿八日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	19	(領収証、明治廿二年度地方税地租割第三期弐円四拾五銭弐厘)	明治廿二年十一月廿八日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	20	(領収証、明治廿二年度田税第三期六円拾六銭三厘)	明治廿二年十一月廿八日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	21	(寛、明治廿二年度道路掃除河溝浚疏方拾三人七分三厘出夫致すべく候につき)	明治二十二年七月	伊具郡西根村役場(印)	渡辺義蔵	状	
W7	1	10	1	22	(寛、明治廿二年度急破ヶ所なご繕修方三拾人三分出夫致すべく候につき)	明治廿二年九月廿七日	伊具郡西根村役場(印)	渡辺義蔵	状	
W7	1	10	1	23	(領収証、明治廿二年度山林税第一期壹銭七厘)	明治廿二年八月廿日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	24	(領収証、明治廿二年度畑税第一期壹円六拾八銭壹厘)	明治廿二年八月廿日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	25	(領収証、明治廿二年度宅地租第一期弐拾七銭七厘)	明治廿二年八月廿日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	26	(領収証、明治廿二年度地方税地租割第二期弐円四拾五銭弐厘)	明治廿二年八月廿日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	27	(領収証、明治廿二年度第二期弐円四拾五銭弐厘)	明治廿二年	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	渡辺義蔵	状	
W7	1	10	1	28	(領収証、明治廿二年度宅地租第二期弐拾七銭六厘)	明治廿二年十月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	29	(領収証、明治廿二年度畑租第二期壹円六拾八銭)	明治廿二年十月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	渡辺義蔵	状	
W7	1	10	1	30	(領収証、明治廿二年度山林租第二期壹銭七厘)	明治廿二年十月十五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	渡辺義蔵	状	
W7	1	10	1	31	(領収証、田地租六円拾六銭六厘)	明治廿二年一月十日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文蔵(印)	高倉村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	32	(領収証、明治廿二年度地方税地租割第一期三円弐拾六銭八厘)	明治二十二年四月十日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文蔵(印)	高倉村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	33	(領収証、明治廿三年度地方税地租割第一期三円八拾壹銭八厘)	明治廿三年二月廿五日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	34	(領収証、明治廿二年度田税第四期六円拾六銭弐リ)	明治廿三年一月十日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	35	(領収証、明治廿二年度田税第六期六円拾六銭弐リ)	明治廿三年四月八日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	36	(領収証、田税六円拾六銭弐厘)	明治廿三年三月十六日	西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	37	(領収証、田地租六円拾六銭弐厘)	明治廿二年四月十三日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田文蔵(印)・事生・目黒喜平(印)	高倉村・渡辺義蔵殿	状	
W7	1	10	1	38	(領収証、村費地租割弐円四銭三厘)	明治廿二年七月六日	伊具郡西根村収入役・遠藤彦三郎(印)	西根村納人・渡辺義蔵	状	
W7	1	10	1	39	(領収証、地方税地租割拾六銭)	明治廿二年八月廿五日	小原村収入役・高橋力枝(印)	納人渡辺義蔵保管人・小室清十郎	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	1	40	(領收証、村費地価割拾七錢弐厘)	明治廿二年八月二日	小原村収入役・高橋力枝(印)	納人渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	41	(領收証、地方税地租割三拾弐錢)	明治廿二年四月十五日	(印)・刈田郡小原村戸長・高橋長十郎)	納人渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	42	(領收証、畑租など合計三拾弐錢)	明治廿二年十月十日	小原村収入役・高橋力枝(印)	納人渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	43	(領收証、畑租など合計三拾弐錢弐厘)	明治廿二年八月廿五日	小原村収入役・高橋力枝(印)	納人渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	44	(領收証、村費地価割拾七錢弐厘)	明治廿二年十月九日	(印)・刈田郡小原村戸長・高橋長十郎)	納人渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	45	(領收証、公儲金五錢三厘)	明治廿一年十二月十日	(印)・刈田郡小原村戸長・高橋長十郎)	納人渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	46	(領收証、地方税地租割三拾九錢九厘)	明治廿一年十一月十八日	小原村戸長・高橋長十郎(印)	納人渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	47	(領收証、地方税地租割四拾錢)	明治廿一年九月廿日	小原村戸長・高橋長十郎(印)	納人渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	48	領收書(村費地価割拾七錢弐厘)	明治廿一年四月廿日	小原村戸長・高橋長十郎(印)	小原村納人白石本郷 渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	49	(領收証、田租三拾九錢七厘)	明治廿三年一月十日	小原村収入役・高橋力枝(印)	納人渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	50	(領收証、田租など合計四拾四錢六厘)	明治廿二年十二月六日	小原村収入役・高橋力枝(印)	納人渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	51	(領收証、地方税地租割三拾七錢六厘)	明治廿二年十二月六日	小原村収入役・高橋力枝(印)	小原村納人渡辺儀藏保管人・小室清十郎	状	
W7	1	10	1	52	(領收証、地租弐錢四厘)	(明治)廿一年十月廿七日	戸長・守屋成憲(印)・宮城県宮城郡七北田村聯合戸長・守屋成憲)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	1	53	(領收証、地租弐錢七厘)	(明治)廿一年十月廿七日	戸長・守屋成憲(印)・宮城県宮城郡七北田村聯合戸長・守屋成憲)	宮城養吉股	状	
W7	1	10	1	54	(領收証、畑租弐弐拾四錢四厘)	(明治)廿一年十月廿七日	戸長・守屋成憲(印)・宮城県宮城郡七北田村聯合戸長・守屋成憲)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	1	55	(領收証、地租弐錢七厘)	(明治)廿一年八月廿九日	戸長・守屋成憲(印)・宮城県宮城郡七北田村聯合戸長・守屋成憲)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	1	56	(領收証、畑地租弐弐拾四錢五厘)	明治廿一年八月廿九日	戸長・守屋成憲(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	1	57	(領收証、地方税弐弐拾九厘)	明治廿一年八月廿九日	七北田村外七ヶ村戸長・守屋成憲(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	58	(領收証、山地租弐錢四厘)	明治廿一年八月廿九日	戸長・守屋成憲(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	1	59	(領收証、水害調費三拾四錢七厘)	明治廿二年十二月十五日	針生勇助(印)・宮城儀左衛門(印)	渡辺儀藏代・佐藤周吉	状	
W7	1	10	1	60	(領收証、田地租拾錢九厘)	明治廿二年十二月四日	収入役・錦戸景訓(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	1	61	(領收証、備荒儲蓄など合計五拾七錢五厘)	明治廿二年十二月廿五日	七北田村収入役・錦戸景訓(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	62	(領收証、田地租拾錢)	明治廿三年一月廿日	収入役・錦戸景訓(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	1	63	(領收証、地方税五拾九錢五厘)	明治廿三年三月十七日	七北田村収入役・錦戸景訓(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	64	(領收証、田地租拾錢弐厘)	明治廿三年三月廿二日	収入役・錦戸景訓(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	1	65	(領收証、村費地租割六拾五錢八厘)	明治廿二年六月四日	七北田村収入役・錦戸景訓(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	66	(領收証、山地租弐錢四厘)	明治廿二年八月廿二日	七北田村収入役・錦戸景訓(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	67	(領收証、地方税四拾七錢七厘)	明治廿二年八月廿二日	七北田村収入役・錦戸景訓(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	68	(領收証、畑地租弐弐拾四錢弐厘)	明治廿二年八月廿二日	七北田村収入役・錦戸景訓(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	69	(領收証、畑地租弐弐拾四錢五錢弐厘)	明治廿二年十月一日	七北田村収入役・錦戸景訓(印)	渡辺儀藏	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	1	70	(領收証、山野地租壹錢四厘)	明治廿二年十月一日	七北田村収入役・御戸景訓(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	71	(領收証、田地租拾六錢壹厘)	明治廿二年三月一日	戸長・守屋成憲(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	72	(領收証、地方稅六拾三錢七厘)	明治廿二年四月十一日	七北田村外七ヶ村戸長・守 屋成憲(印)	渡辺義藏	状	
W7	1	10	1	73	(領收証、田地租拾六錢)	明治廿二年四月六日	戸長・守屋成憲(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	74	(領收証、村費地佃割拾錢三厘)	明治廿一年八月十五日	伊具郡川張村外二ヶ村戸 長・山本美雄(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	75	(領收証、地租貳拾四錢壹厘)	明治廿一年八月十五日	伊具郡川張村外二ヶ村戸 長・山本美雄(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	1	76	(領收証、畑租貳拾五錢七厘)	明治廿一年八月十五日	伊具郡川張村外二ヶ村戸 長・山本美雄(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	1	白石郡山諸納切符(明治廿一年度ノ)	(明治21年)			封筒	破損あり
W7	1	10	2	2	(帶封、廿一年白石郡山上納)	(明治21年)			帯封	W7-1-10-2-3～W7-1-10- 2-96をまとめた帯封
W7	1	10	2	3	領收書(小原隧道開鑿費百四拾三円三拾貳錢五厘)	明治二十一年四月七日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎 藤吉弥	渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	4	証(刈田蚕糸業組合事務所費及委員筆紙墨料七拾 九錢)	明治廿一年八月五日	第壹区掘返場受取人・鈴木幸吉 (印)・奥州・白石中町・大畑屋)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	2	5	(領收証、畑租五円六錢五厘)	明治二十一年八月廿五日	戸長・斎藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	6	(領收証、地方稅地租割拾円三拾八錢壹厘)	明治廿一年八月廿五日	白石本郷外三村戸長・斎藤吉弥	納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	2	7	領收書(地方稅地租割貳円九拾貳錢六厘)	明治廿一年八月廿五日	白石本郷外三村戸長・斎藤吉弥	納人・渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	8	(領收証、畑租三円三拾四錢三厘)	明治二十一年八月廿五日	戸長・斎藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	9	(領收証、宅租貳円貳拾三錢四厘)	明治二十一年八月廿五日	戸長・斎藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	10	(領收証、山林租貳拾三錢九厘)	明治二十一年八月廿五日	戸長・斎藤吉弥	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	2	11	(領收証、宅租五拾貳錢六厘)	明治二十一年八月廿五日	戸長・斎藤吉弥	渡部惣吉殿	状	
W7	1	10	2	12	領收書(地方稅地租割貳拾八錢九厘)	明治廿一年八月廿五日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎 藤吉弥	納人・渡部惣吉	状	
W7	1	10	2	13	(領收証、宅租五拾五錢壹厘)	明治二十一年八月廿五日	戸長・斎藤吉弥	渡部卯吉殿	状	
W7	1	10	2	14	(領收証、授業料六拾錢)	明治廿一年十月六日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	15	(領收証、田租貳拾貳円六拾壹錢七厘)	明治二十一年三月廿七日	戸長・斎藤吉弥	渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	16	(領收証、所得稅拾貳円三拾八錢三厘)	明治二十一年三月廿七日	戸長・斎藤吉弥	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	2	17	(領收証、三拾四錢壹厘)	明治二十一年三月廿七日	戸長・斎藤吉弥	渡部惣吉殿	状	
W7	1	10	2	18	(領收証、田租五円九拾九錢五厘)	明治二十一年三月廿七日	戸長・斎藤吉弥	渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	19	(領收証、地押方入費五円九拾壹錢五厘)	(明治21年)三月廿三日	白石本郷戸長役場	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	20	(領收証、明治二十年第五、六期分田租貳拾九錢壹厘)	明治二十一年三月廿七日	戸長・斎藤吉弥	朽木隆晚殿	状	
W7	1	10	2	21	(領收証、明治二十一年度第二期分鹽油造石稅三 拾五円四拾錢四厘)	明治二十一年九月廿四日	戸長・斎藤吉弥(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	22	(領收証、明治二十一年度第一期分所得稅拾壹円 四拾參錢八厘)	明治二十一年九月廿四日	戸長・斎藤吉弥(印)	渡邊儀藏	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	10	2	23	領収書(明治廿一年度村費第二期拾貳円五拾錢)	明治二十一年九月廿四日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	2	24	(領収証、明治二十一年度第二期分宅租貳拾五錢六厘)	明治二十一年十月二十五日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡邊惣吉殿	状	
W7	1	10	2	25	(領収証、明治二十一年度第二期分宅租貳拾三錢九分)	明治二十一年十月二十五日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	2	26	(領収証、明治二十一年度第二期分畑租三円三拾四錢二分)	明治二十一年十月二十五日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	2	27	(領収証、明治二十一年度第二期分宅租五拾五錢五分)	明治二十一年十月二十五日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺卯吉殿	状	
W7	1	10	2	28	(領収証、明治二十一年度第二期分畑租五円六錢五分)	明治二十一年十月二十五日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	2	29	(領収証、明治二十一年度第二期分宅租貳円貳拾六錢三厘)	明治二十一年十月二十五日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	30	領収書(明治廿一年度雜種稅第二期六拾錢)	明治二十一年十一月二十五日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	31	領収書(營業割拾三円九拾六錢八厘)	明治廿一年十月廿五日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	納人・渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	32	領収書(營業稅三拾四円五錢五分)	明治二十一年十月廿五日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	納人・渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	33	(領収証、地方稅地租割拾円三拾八錢五分)	明治廿一年十二月八日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	納人・渡部儀藏	状	こより共
W7	1	10	2	34	(領収証、公儲金壹円三拾七錢)	明治廿一年十二月八日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	納人・渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	35	(領収証、地方稅地租割貳拾八錢九厘)	明治廿一年十二月八日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	納人・渡部惣吉	状	
W7	1	10	2	36	領収証(公儲金三錢八厘)	明治廿一年十二月八日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	納人・渡部惣吉	状	
W7	1	10	2	37	領収証(公儲金三拾八錢六厘)	明治廿一年十二月八日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	38	領収証(地方稅地租割貳円九拾貳錢六厘)	明治廿一年十二月八日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	39	(領収証、田租拾七錢五分)	明治廿一年十二月八日	戸長・齋藤吉弥(印、宮城県刈田郡白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	10	2	40	(領収証、田租貳円五拾九錢八厘)	明治廿一年十二月八日	戸長・齋藤吉弥(印、宮城県刈田郡白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	2	41	(領収証、田租拾壹円八拾九錢五分)	明治二十一年十二月八日	戸長・齋藤吉弥(印、宮城県刈田郡白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	2	42	(領収証、授業料六拾錢)	明治廿一年一月三十一日	戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	43	(領収証、醬油稅貳円五拾錢)	明治廿一年一月三十一日	戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	44	(領収証、荷車稅五拾錢)	明治廿一年一月三十一日	戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	45	(領収証、營業稅貳拾錢)	明治廿一年一月三十一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	46	領収書(村費拾貳円五十錢)	明治廿二年三月十五日	白石本郷外三村戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	10	2	47		(領収証、授業料六拾錢)	明治廿一年三月十五日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	48		(領収証、授業料壹円貳拾錢)	明治廿一年三月十五日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	49		(領収証、授業料六拾錢)	明治廿一年三月十五日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	50		(領収証、授業料六拾錢)	明治廿一年三月十五日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	51		領収書(追加地方税九錢)	明治廿一年三月十五日	白石本郷外三村戸長・斎藤吉弥(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	52		領収書(地方税三円)	明治廿一年三月十五日	白石本郷外三村戸長・斎藤吉弥(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	53		領収書(追加税三拾三錢九厘)	明治廿一年三月十五日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	54		(領収証、農事組合費拾錢四厘)	明治廿一年三月五日		渡辺惣吉	状	
W7	1	10	2	55		(領収証、明治廿一年度農事組合費壹円五錢三厘)	明治廿一年三月五日		渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	56		(領収証、明治廿一年度農事組合費三円六拾五錢五厘)	明治廿一年三月五日		渡邊儀藏	状	
W7	1	10	2	57		記(金拾四錢七厘領収につき)	(明治21年)			状	
W7	1	10	2	58		領収書(明治二十一年度荷車増賦五拾錢)	明治二十一年一月三十一日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	59		領収書(地価割第一期壹円貳拾五錢四厘)	明治廿一年四月廿六日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥	渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	60		領収書(明治廿一年度四円四拾四錢九厘)	明治廿一年四月廿六日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	61		領収書(金拾貳錢四厘)	明治廿一年四月廿六日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥(印)	納人・渡部惣吉	状	
W7	1	10	2	62		(領収証、醤油造石税四拾七円貳拾五錢貳厘)	明治廿一年五月廿三日	戸長・斎藤吉弥	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	2	63		領収書(地方税戸数割貳円)	明治廿一年五月廿三日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥	納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	64		領収書(小原村通開設金百四拾参円参拾貳錢五厘)	明治廿一年八月七日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥(印)	納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	65		(領収証、授業料六拾錢)	明治廿一年八月七日		納人・渡部惣吉	状	
W7	1	10	2	66		領収書(地券書換手数料拾八錢)	明治廿一年十一月廿四日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	67		證(玉・査検査料壹円)	明治廿一年九月廿六日	刈田蚕糸業組合事務所(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	68		領収書(地券書換手数料六錢)	明治廿一年九月十五日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	69		領収書(地券書換手数料三錢)	明治廿一年九月廿五日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	70		領収書(造酒地高下附六錢)	明治廿一年十一月十六日	白石本郷外三村戸長・斎藤吉弥	渡邊義藏	状	
W7	1	10	2	71		領収書(貳石分拾八錢)	明治廿一年十一月卅日	白石本郷外三村戸長・斎藤吉弥	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	2	72		証(証券印紙換分貳拾錢領収につき)	明治廿一年七月三日	(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	73		領収書(地券書換手数料拾貳錢)	明治廿一年九月三日	白石本郷外三村戸長・斎藤吉弥	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	2	74		領収書(地券書換手数料六拾六錢)	明治廿一年十一月十二日	白石本郷外三村戸長・斎藤吉弥	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	2	75		領収書(地価割七錢)	明治廿二年一月廿八日	白石本郷外三村戸長・斎藤吉弥	渡部儀藏	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	10	2	76		(領収証、宅租第一期分四拾九錢貳厘)	明治廿八年八月廿日	戸長 齋藤吉弥代理・筆生・佐藤近左五門	齋藤周治郎殿	状	
W7	1	10	2	77		(領収証、宅租第二期分四拾九錢壹厘)	明治廿八年十月廿五日	戸長・齋藤吉弥	齋藤周治郎殿	状	
W7	1	10	2	78		(領収証、土地台帳引合費九錢七厘)	明治廿八年十二月十九日		齋藤周治郎殿	状	
W7	1	10	2	79		(領収証、土地台帳調整費八錢三厘)	明治廿八年五月廿四日		齋藤周治郎殿	状	
W7	1	10	2	80		領収書(地価割第一期七錢)	明治廿一年四月廿八日	白石本郷外三村戸長・齋藤吉弥(印)	才藤周治郎	状	
W7	1	10	2	81		(領収証、宅地第一期分四拾九錢貳厘)	明治二十一年八月廿八日	戸長・齋藤吉弥	齋藤周治郎殿	状	
W7	1	10	2	82		(領収証、宅地第二期分四拾九錢壹厘)	明治二十一年十月二十六日	戸長・齋藤吉弥	齋藤周治郎殿	状	
W7	1	10	2	83		領収書(地方税地租割第一期拾六錢四厘)	明治廿一年八月廿八日	白石本郷外三村戸長・齋藤吉弥	才藤周治郎	状	
W7	1	10	2	84		領収書(地方税地租割第二期拾六錢四厘)	明治廿一年十二月八日	白石本郷外三村戸長・齋藤吉弥	才藤周治郎	状	
W7	1	10	2	85		領収書(公儲金貳錢四厘)	明治廿一年十二月八日	白石本郷外三村戸長・齋藤吉弥	才藤周治郎	状	
W7	1	10	2	86		(領収証、農事組合費拾三錢九厘)	明治廿二年三月九日		齋藤周治郎	状	
W7	1	10	2	87		(領収証、醬油造石税三キ五拾六円四錢四リ)	明治二十一年一月三十一日	戸長・齋藤吉弥	渡辺儀造殿	状	
W7	1	10	2	88		記(地券取寄帳費拾六錢領収につき)	明治廿一年四月廿七日	齋川村外二ヶ村戸長・齋藤吉弥(印)	森合村・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	89		(領収証、荷車税五拾錢)	明治二十一年七月三十日	戸長・齋藤吉弥	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	2	90		(領収証、醬油税后年課貳円五拾錢)	明治二十一年七月三十日	戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	2	91		領収書(荷車營業割貳拾錢)	明治廿一年七月三十日	白石本郷外三村戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	92		領収書(荷車増賦五拾錢)	明治廿一年七月三十日	白石本郷外三村戸長・齋藤吉弥	渡部儀藏	状	
W7	1	10	2	93		記(金拾壹錢七厘領収につき)	子(明治21年)七月十三日		高橋五郎左衛門	状	
W7	1	10	2	94		領収書(營業稅第一期三拾四円五錢弍リ)	明治廿一年六月廿日	白石本郷外三村戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	95		領収書(雜種稅一期六拾錢)	明治廿一年六月廿日	白石本郷外三村戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	2	96		領収書(營業稅一期拾三円九拾六錢八リ)	明治廿一年十二月廿日	白石本郷外三村戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	1		(封筒、廿二年度ノ白石郡山諸納切符)	(明治23年)			封筒	
W7	1	10	3	2		(通知、四等所得稅貳拾円參拾五錢五厘相定むに つき)	明治二十二年八月一日	柴田刈田郡長・富田廣信	刈田郡白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	3	3		(領収証、醬油税造石税第三期六拾參円九拾八錢)	明治廿三年一月卅一日	仙台国庫金出納所大河原出納支所	刈田郡白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	3	4		領収(醬油稅營業稅后半年分貳円五拾錢)	明治二十二年七月三十日	仙台国庫金出納所大河原出納支所	刈田郡白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	3	5		領収(醬油稅營業稅前半年分貳円五拾錢)	明治廿三年一月卅一日	仙台国庫金出納所大河原出納支所	刈田郡白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	3	6		(領収証、醬油税造石税第一期四拾円參拾四錢五厘)	明治廿二年五月廿八日	仙台国庫金出納所大河原出納支所	刈田郡白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	3	7		(領収証、應果土地名寄帳編製費九厘)	明治廿三年三月十五日	白石町収入役・武藤弘济	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	3	8		領収(醬油稅造石税第二期四拾円八拾五錢壹厘)	明治廿二年九月三十日	仙台国庫金出納所大河原出納支所	刈田郡白石町・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	3	9		領収書(地方税地租割第一期三錢)	明治廿二年三月十五日	白石町収入役・武藤弘济	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	10		領収書(田租第五期拾七錢)	明治二十二年三月十五日	白石町収入役・武藤弘济	渡邊惣吉殿	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	3	11	領収書(地方税地租割第一期式拾三錢貳厘)	明治廿三年三月十五日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	10	3	12	領収書(田租第五期式圓七拾四錢)	明治二十二年三月十五日	白石町収入役・武藤弘済	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	13	領収書(地方税地租割第一期拾壹圓貳拾九錢六厘)	明治廿三年三月十五日	白石町収入役・武藤弘済	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	14	領収書(田租第五期拾貳圓貳拾九錢)	明治二十二年三月十五日	白石町収入役・武藤弘済	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	3	15	領収書(地方税營業稅第二期拾錢)	明治二十二年十月十九日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺卯吉殿	状	
W7	1	10	3	16	賦課令状(町税營業稅第二期拾錢賦課・領収につ き)	明治二十二年十月十九日	白石町長・斎藤吉弥(印、収 入役・武藤弘済)	渡辺卯吉	状	
W7	1	10	3	17	領収書(宅地租第一期六拾七錢七厘)	明治廿二年八月十六日	白石町収入役・武藤弘済	渡部卯吉殿	状	
W7	1	10	3	18	領収書(宅地租第二期式拾七錢七厘)	明治廿二年十月十九日	白石町収入役・武藤弘済	渡辺卯吉殿	状	
W7	1	10	3	19	証(施業寄附金五月・六月分貳圓領収につき)	明治廿二年七月二日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	3	20	証(施業寄附金八月分壹圓領収につき)	明治廿二年八月卅一日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	3	21	証(施業寄附金六月分壹圓領収につき)	明治廿二年六月三十日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	22	証(寄付金廿二年四月分壹円領収につき)	明治廿二年四月三十日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	23	証(寄付金廿二年七月分壹円領収につき)	明治廿二年七月三十一日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	24	証(寄付金廿二年三月分壹円領収につき)	明治廿二年四月廿二日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	25	証(寄付金廿二年一月分壹円領収につき)	明治廿二年二月十六日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	26	証(寄付金廿一年十一月分壹円領収につき)	明治廿一年十一月卅日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	27	証(寄付金廿一年九月分壹円領収につき)	明治廿一年九月三十日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	28	証(寄付金廿二年九月分壹円領収につき)	明治廿二年九月三十日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	29	証(宮城縣第一期分担金壹円領収につき)	明治廿二年一月廿五日	大同俱樂部・河野廣中(印)	仙南俱樂部・渡辺儀藏殿	状	一銭印紙貼付
W7	1	10	3	30	領収証(明治二十一年度第一期分租拾四錢三厘)	明治二十一年八月十八日	戸長・斎藤吉弥(印、宮城縣 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・斎藤吉弥)	半田惣治殿	状	
W7	1	10	3	31	領収証(明治二十一年度第四期分租拾四錢二厘)	明治二十二年一月十九日	戸長・斎藤吉弥(印、宮城縣 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・斎藤吉弥)	朽木隆曉殿	状	
W7	1	10	3	32	(領収証、明治廿三年度地方税地租割七錢八厘)	明治廿三年三月十五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・朽木隆曉殿	状	
W7	1	10	3	33	証(寄付金廿二年十一月分壹円領収につき)	明治廿一年十一月三十日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	34	証(寄付金廿三年一月分壹円領収につき)	明治廿三年一月三十一日	宮城縣刈田病院会計係・大 和田莊松(印)	渡辺儀藏殿	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	10	3	35	証(寄付金廿二年十二月分壹円領収につき)	明治廿三年一月四日	宮城縣刈田病院会計係・大和田莊松(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	36	証(寄付金廿二年十月分壹円領収につき)	明治廿二年十月三十一日	宮城縣刈田病院会計係・大和田莊松(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	37	領収書(明治廿二年度地方税營業稅貳拾六円貳拾五錢)	明治二十二年十月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	38	上納書(明治廿二年度町税營業割拾三円三拾五錢)	明治廿二年十月十九日	(印)宮城縣刈田郡白石町収入役・武藤弘済	納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	39	領収書(明治廿二年度畑租三円六拾錢)	明治廿二年十月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	40	領収書(明治廿二年度畑租五円貳錢貳厘)	明治廿二年十月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	41	領収書(明治廿二年度宅地租貳円八拾三錢四厘)	明治廿二年十月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	42	領収書(明治廿二年度地方税雜種稅四拾五錢)	明治廿二年十月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	43	領収書(明治廿二年度山林原野租三拾六錢)	明治廿二年十月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	44	領収書(明治廿二年度山林原野租拾壹錢)	明治廿二年十月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	45	領収書(宅地租五拾貳錢六厘)	明治廿二年十月十九日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	10	3	46	賦課令状(町税營業割拾錢につき)	明治廿二年七月十六日	白石町長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	47	領収証、醬油造石稅五拾六円四拾貳錢五厘)	明治廿二年一月廿八日	戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	48	領収証、所得稅拾壹円四拾三錢七厘)	明治二十二年三月廿九日	戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	49	領収証、田租貳円六拾三錢五厘)	明治二十二年三月廿九日	戸長・齋藤吉弥	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	50	領収証、田租貳円六拾三錢貳厘)	明治二十二年三月廿九日	戸長・齋藤吉弥	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	51	(領収証、田租拾七錢)	明治二十二年三月廿九日	戸長・齋藤吉弥	渡部惣吉殿	状	
W7	1	10	3	52	領収書(地券台帳整理費九拾九錢三厘)	明治廿二年二月廿七日	戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	53	賦課令状(病院費六円貳拾五錢につき)	明治廿二年八月十六日	白石町長 齋藤吉弥 代理助 役・佐藤近左工門	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	54	領収書(宅地租貳円八拾三錢四厘)	明治廿二年八月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	55	領収書(畑租五円貳錢三厘)	明治廿二年八月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	56	賦課令状(町税地租割四円六拾九錢四厘につき)	明治廿二年八月十六日	白石町長・齋藤吉弥	渡部儀藏	状	
W7	1	10	3	57	領収書(地方税地租割五円五拾七錢三厘)	明治廿二年八月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	58	領収書(畑租三円六拾錢七厘)	明治廿二年八月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	59	賦課令状(町税地租割壹円三拾四錢九厘につき)	明治廿二年八月十六日	白石町長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	60	領収書(地方税地租割壹円六拾壹錢九厘)	明治廿二年八月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	61	領収書(山林原野租三拾六錢)	明治廿二年八月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	62	領収書(山林原野租拾壹錢九厘)	明治廿二年八月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	63	領収書(地方税地租割壹錢六厘につき)	明治廿二年八月十六日	白石町長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	64	領収書(宅地租五拾貳錢六厘)	明治廿二年八月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部惣吉殿	状	
W7	1	10	3	65	賦課令状(町税地租割拾貳錢四厘につき)	明治廿二年八月十六日	白石町長・齋藤吉弥	渡部惣吉殿	状	
W7	1	10	3	66	領収書(地方税地租割拾四錢九厘)	明治廿二年八月十六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部惣吉殿	状	
W7	1	10	3	67	(領収証、授業料六拾錢)	明治廿二年一月十九日		渡部惣吉殿	状	
W7	1	10	3	68				渡部惣吉殿	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	10	3	69		領収書(村費地価割拾貳錢四厘)	明治廿二年一月十九日	戸長・斎藤吉弥	渡部惣吉殿	状	
W7	1	10	3	70		領収書(村費地価割四円四拾四錢九厘)	明治廿二年一月十九日	戸長・斎藤吉弥	渡部儀藏	状	
W7	1	10	3	71		領収書(村費地価割壹円貳拾五錢四厘)	明治廿二年一月十九日	戸長・斎藤吉弥	渡部儀藏	状	
W7	1	10	3	72		(領収証、田租貳円五拾九錢八厘)	明治廿二年一月十九日	戸長・斎藤吉弥	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	73		(領収証、田租拾壹円八拾九錢五厘)	明治廿二年一月十九日	戸長・斎藤吉弥	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	3	74		(領収証、田租拾七錢壹厘)	明治廿二年一月十九日	戸長・斎藤吉弥 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・斎藤吉弥	渡部惣吉殿	状	
W7	1	10	3	75		(領収証、荷車税貳拾五錢)	明治二十二年一月十九日	戸長・斎藤吉弥(印)、宮城県 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・斎藤吉弥	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	76		領収書(荷車税貳拾五錢)	明治廿二年一月十九日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎 藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	77		領収書(醬油税貳円五拾貳錢)	明治二十二年一月十九日	戸長・斎藤吉弥(印)、宮城県 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・斎藤吉弥	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	78		領収書(營業人割貳拾錢)	明治二十二年一月十九日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎 藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	79		(領収証、地券紛失手数料參錢)	明治廿二年三月十二日	刈田郡三沢村外三ヶ村戸 長・西田泰一郎(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	80		(領収証、授業料六拾錢)	明治廿二年三月十八日	戸長 斎藤吉弥代理筆生・佐 藤近左エ門(印)、宮城県刈田 郡白石本郷外三ヶ村戸長役 場筆生・佐藤近左エ門)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	81		(領収証、田租拾七錢)	明治二十二年三月廿四日	戸長 斎藤吉弥代理筆生・佐 藤近左エ門(印)、宮城県刈田 郡白石本郷外三ヶ村戸長役 場筆生・佐藤近左エ門)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	10	3	82		(領収証、田租貳円六拾三錢貳厘)	明治二十二年三月廿四日	戸長 斎藤吉弥代理筆生・佐 藤近左エ門(印)、宮城県刈田 郡白石本郷外三ヶ村戸長役 場筆生・佐藤近左エ門)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	83		(領収証、田租拾貳円拾錢六厘)	明治二十二年三月廿四日	戸長 斎藤吉弥代理筆生・佐 藤近左エ門(印)、宮城県刈田 郡白石本郷外三ヶ村戸長役 場筆生・佐藤近左エ門)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	3	84		領収書(戸別割六円貳拾五錢)	明治二十二年三月廿四日	白石本郷外三ヶ村戸長 斎 藤吉弥代理筆生・佐藤近左 エ門(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	85		領収書(地方税壹円貳拾九錢貳厘)	明治二十二年二月廿五日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎 藤吉弥(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	86		領収書(地方税五錢)	明治二十二年二月廿五日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎 藤吉弥(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	87		領収書(地券台帳整理費拾錢六厘)	明治廿二年二月廿五日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎 藤吉弥(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	10	3	88		領収書(地券台帳整理費四円六拾貳錢壹厘)	明治廿二年二月廿五日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎 藤吉弥(印)	渡辺儀藏	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	3	89	領収書(所得税拾円拾七銭八厘)	明治二十二年九月廿四日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	90	(領収証、治安裁判所出張所建築費寄附金五拾五円)	明治二十二年九月廿四日	白石町長・斎藤吉弥(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	91	領収書(雑種税四拾五銭)	明治二十二年七月五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	92	領収書(地方税壹円貳拾九銭五厘)	明治二十二年七月五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	93	賦課令状(町税拾三円三拾五銭につき)	明治二十二年六月廿五日	白石町長・斎藤吉弥(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	94	領収書(地方税貳拾六円貳拾五銭)	明治二十二年七月五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	95	領収書(荷車税貳拾五銭)	明治二十二年七月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	96	領収書(荷車税貳拾五銭)	明治二十二年七月廿六日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	97	(領収証、授業料四拾銭)	明治二十二年五月十七日	白石町長・斎藤吉弥(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	98	領収書(地方税七円四拾三銭五厘)	明治二十二年四月十九日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	99	領収書(地方税貳円拾五銭八厘)	明治二十二年四月十九日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	100	領収書(地方税拾九銭八厘)	明治二十二年四月十九日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥(印)	渡辺惣吉	状	
W7	1	10	3	101	賦課令状(明治二十二年度村税別割三拾円につき)	明治二十二年九月二十日	白石町長・斎藤吉弥(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	102	賦課令状(明治二十二年度町税別割三拾円につき)	明治二十二年六月十一日	白石町長・斎藤吉弥(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	103	賦課令状(明治二十二年度町税追加戸別割につき)	明治二十二年十一月五日	白石町長・斎藤吉弥(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	104	(領収証、明治二十二年度田租拾貳円五拾九銭)	明治二十二年一月二十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	105	(領収証、明治二十二年度田租貳円七拾四銭)	明治二十二年一月二十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	106	(領収証、明治二十二年度地方税荷車税貳拾五銭)	明治二十二年一月二十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	107	(領収証、明治二十二年度地方税荷車税貳拾五銭)	明治二十二年一月二十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	108	(領収証、明治二十二年度田租拾七銭五厘)	明治二十二年一月二十日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡部惣吉	状	
W7	1	10	3	109	(領収証、明治二十二年度田租五拾五銭七厘)	明治二十三年一月十五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	110	(領収証、明治二十二年度田租一円五十二銭四厘)	明治二十三年一月十五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	111	(領収証、明治二十二年度田租三円三拾三銭二厘)	明治二十三年一月十五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	112	領収書(明治二十二年度所得税拾円拾七銭七厘)	明治二十二年三月十五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	113	(賦課令状、領収証、治安裁判所出張所建築費寄附金五拾五円)	明治二十二年十月廿日	白石町長・斎藤吉弥(印)	納人・渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	114	領収書(明治二十二年度公儲金壹円四拾四銭六厘)	明治二十二年十二月拾一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡部儀蔵	状	
W7	1	10	3	115	領収書(明治二十二年度公儲金四拾五銭五厘)	明治二十二年十二月拾一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡部儀蔵	状	
W7	1	10	3	116	領収書(明治二十二年度公儲金五厘)	明治二十二年十二月拾一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡部儀蔵	状	
W7	1	10	3	117	領収書(明治二十二年度田租貳円七拾四銭)	明治二十二年十二月拾一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	118	領収書(明治二十二年度田租貳円五拾五銭五厘)	明治二十二年十二月拾一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	119	領収書(明治二十二年度地方税地租壹円六拾五銭九厘)	明治二十二年十二月拾一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	120	領収書(明治二十二年度地方税地租壹円五拾七銭三厘)	明治二十二年十二月拾一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	121	領収書(明治二十二年度地方税地租壹圓九銭)	明治二十二年十二月拾一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	渡辺儀蔵	状	
W7	1	10	3	122	賦課令状(明治二十二年度町税地価割・領収につき)	明治二十二年十一月二十日	白石町長・斎藤吉弥(印)	納人・渡辺儀蔵	状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	10	3	123		賦課令状(明治廿二年度町税地価割壹円三拾四錢八厘領収につき)	明治廿二年十一月二十日	白石町長・斎藤吉弥(印)	納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	124		賦課令状(明治廿二年度町税地価割四円六拾九錢三厘領収につき)	明治廿二年十一月二十日	白石町長・斎藤吉弥(印)	納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	125		領収書(明治廿二年度公儲金三錢八厘)	明治二十二年十二月拾一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡部惣吉股	状	
W7	1	10	3	126		領収書(明治廿二年度田租拾七錢壹厘)	明治二十二年十二月拾一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺惣吉股	状	
W7	1	10	3	127		賦課令状(明治廿二年度町税地価割拾貳錢四厘領収につき)	明治廿二年十一月二十日	白石町長・斎藤吉弥(印)	納人・渡辺惣吉	状	
W7	1	10	3	128		領収書(明治廿二年度地方税地租割拾四錢九厘)	明治二十二年十二月拾一日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺惣吉股	状	
W7	1	10	3	129		領収書(明治廿三年度廿二年田租貳拾錢)	明治廿三年四月五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺卯吉股	状	
W7	1	10	3	130		領収書(明治廿三年度廿二年田租拾七錢)	明治廿三年四月五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺惣吉股	状	
W7	1	10	3	131		領収書(明治廿三年度廿二年田租貳円七拾三錢九厘)	明治廿三年四月五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	3	132		領収書(明治廿三年度廿二年田租貳円五拾五錢)	明治廿三年四月五日	白石町収入役・武藤弘済(印)	納人・渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	3	133		領収証、明治廿二年度田租五拾五錢七厘)	明治廿三年四月三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	134		領収証、明治廿二年度田租三円四拾錢壹厘)	明治廿三年四月三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	3	135		領収証、明治廿二年度田租壹円五拾貳錢四厘)	明治廿三年四月三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	4	1		(帶封、十八年高倉皆上納)	(明治)十八年	(印、渡邊)		状	
W7	1	10	4	2		(包紙、十九年高倉村諸上納計)	(明治)十九年	(印、渡邊)		状	こより共
W7	1	10	4	3		領収証、明治十八年度第五期田税六円六錢貳厘)	明治十九年三月五日	戸長・黒田文藏(印)、(印、目黒)	高倉村納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	4	4		領収証、明治十九年第三期分田地租六円拾七錢四厘)	明治十九年十二月六日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印) 文藏代り・筆生・目黒喜平(印)	高倉村・渡部儀藏股	状	
W7	1	10	4	5		領収証、明治十九年第二期分地租貳拾七錢六厘)	明治十九年十月廿日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	渡部儀藏股	状	
W7	1	10	4	6		領収証、明治十九年第二期分畑地租壹円六拾八錢)	明治十九年十月廿日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	渡部儀藏股	状	
W7	1	10	4	7		領収証、明治十九年第二期分山地租壹錢七厘)	明治十九年十月廿日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	高倉・渡部儀藏股	状	
W7	1	10	4	8		領収証、明治十九年第一期分畑地租壹円六拾八錢壹厘)	明治十九年八月十一日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	4	9		領収証、明治十九年第一期分山林地租壹錢七厘)	明治十九年八月十一日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	4	10		領収証、明治十九年第一期分宅地地租貳拾七錢七厘)	明治十九年八月十一日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	渡辺儀藏股	状	
W7	1	10	4	11		(断簡)	(明治19年)	(印、渡邊)		状	
W7	1	10	4	12		領収証、明治十九年第二期地方税地租割など租税ノ七円拾九錢九リ)	明治十九年十一月廿日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	高倉村納人・渡部義藏	状	
W7	1	10	4	13		領収証、明治十九年第一期地方税地租割など租税ノ六円五拾六錢九リ)	明治十九年五月十日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	高倉村納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	4	14		領収証、明治十九年度地押調査費三円四拾九錢七リ)	明治十九年四月十日	戸長・黒田文藏代り・筆生・目黒喜平(印)	高倉村納人・渡辺義藏	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7 1	10	4	15		(通知、道路大修繕地価割出夫貳拾七人六分課賦につき)	明治十九年九月	高倉村外三ヶ村戸長・黒田文蔵(印)	高倉村・渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	4	16		(通知、佐倉村地内工事地価割出人貳人八分賦課につき)	明治十九年十二月	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文蔵(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	4	17		(上納証、明治十八年度第一期畑税ほか租税壹円六拾七錢)	明治十八年八月廿六日	高倉村納人・入作分・渡辺儀蔵・代印(印)		状	
W7 1	10	4	18		(上納証、明治十八年度第貳期畑税ほか租税壹円六拾七錢壹リ)	明治十八年十月廿四日	高倉村納人・入作分・渡部義蔵・代印(印)		状	
W7 1	10	4	19		(覚、明治十八年度村費三円七拾四錢五厘書上)	(明治18年)	戸長・黒田文蔵(印)	渡部義蔵	状	
W7 1	10	4	20		(通知、明治十八年度佐倉村地内阿武隈川堤防工事地価割人夫貳人七分賦課につき)	明治十八年十二月六日	戸長・黒田文蔵(印)		状	
W7 1	10	4	21		(通知、佐倉村地内堤防予防工事人夫五人六分八リ為替金九拾錢九リ)	(明治)十八年五月九日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田文蔵(印)	伊具郡高倉村入作・刈田郡白石本郷・渡部義蔵	状	
W7 1	10	4	22		記佐倉村堤防人夫為替金九拾錢三リ受取につき)	(明治18年)	戸長代り・筆生・日黒喜平(印)	伊具郡高倉村入作・白石本郷・渡部義蔵	状	
W7 1	10	4	23		(領収証、明治十八年度田租四期六円六錢貳厘)	明治十八年十二月廿七日	戸長・黒田文蔵(印)	高倉村納人・渡辺儀蔵	状	帯封共
W7 1	10	4	24		(論達、明次<ママ>十八年度村費地価割第一期納期につき)	(明治)十八年六月十九日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田文蔵(印)	高倉村・組長・佐久間金蔵	状	
W7 1	10	4	25		(領収証、明治十八年度地方税地租割第二期ほか租税八円貳拾四錢四リ)	明治十八年十一月廿八日	戸長・黒田文蔵(印)	渡部義蔵	状	
W7 1	10	4	26		(領収証、明治十八年度田租三期六円六錢貳リ)	明治十八年十二月	戸長・黒田文蔵(印)	高倉村納人・入作・渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	4	27		(領収証、明治十八年度地方税地価割一期三円八拾九錢八リ)	明治十八年五月十五日	戸長・黒田文蔵(印)	白石本郷納人・高倉村・渡部義蔵	状	
W7 1	10	4	28		(上納証、明治十八年度畑税地価割一期三円七十四錢五リ)	明治十八年六月廿六日	刈田郡白石本郷納人・高倉村入作・渡部義蔵		状	
W7 1	10	5	1		(包紙、大平村廿二年度ノ諸納切符)	(明治23年)			状	
W7 1	10	5	2		(覚、地方税上納壹円九拾貳錢)	(明治21年)八月廿三日			状	「宮城縣刈田郡高倉村外二ヶ村戸長役場罫紙」を使用
W7 1	10	5	3		領収書(地方税壹円拾五錢九厘)	明治廿一年八月廿三日	高倉村二ヶ村戸長・〔 〕彦市・筆生・村上豊蔵(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	5	4		領収書(田租五拾五錢七厘)	明治廿二年三月十七日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	5	5		領収書(田租壹円五拾貳錢四厘)	明治廿三年三月十七日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	5	6		上納書(村税壹円七拾七錢九厘)	明治廿二年	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	5	7		領収書(田租壹円四拾錢壹厘)	明治廿三年三月十七日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	5	8		(領収証、地方税三円三拾壹錢六厘)	明治廿三年三月十七日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	5	9		記(人夫六人雇料九拾六錢受取につき)	明治廿三年十一月十四日	大平村惣代人・佐藤大吉(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	5	10		領収書(地方税・ビコウチヲトクメ二円三十五錢三厘)	明治廿二年一月三十日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	5	11		領収書(村税拾六錢貳厘)	明治廿二年九月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	5	12		領収書(村税六拾壹錢壹厘)	明治廿二年九月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	5	13		領収書(村税八拾五錢)	明治廿二年九月十三日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	
W7 1	10	5	14		領収書(地方税壹円八拾五錢四厘)	明治廿二年八月廿九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀蔵	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	5	15	領収書(山林原野租六拾錢五厘)	明治廿二年十月十一日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	16	領収書(畑租七拾五錢七厘)	明治廿二年十月十一日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	17	領収書(田租三円三厘)	明治廿二年十一月廿五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	18	領収書(田租五円五拾二錢二厘)	明治廿二年十一月廿五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	19	領収書(田租五拾五錢六厘)	明治廿二年十一月廿五日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	20	領収書(村費六拾五錢)	明治廿二年一月廿八日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥		状	
W7	1	10	5	21	領収書(山林原野租六拾八錢五厘)	明治廿二年八月十九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	22	領収書(畑租七拾五錢七厘)	明治廿二年八月十九日	大平村収入役・高橋敬一郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	23	領収証、土地台帳引合七錢五厘)	明治廿二年一月廿一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	24	領収証、土地台帳引合八錢)	明治廿二年一月廿一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	25	領収証、地券書換手数料參錢)	明治廿二年一月廿一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	26	領収書(村費八拾貳錢四厘)	明治廿二年一月廿五日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏代・高橋深藏	状	
W7	1	10	5	27	領収書(村費四拾壹錢五厘)	明治廿三年一月廿五日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	28	領収証、地所取締費貳拾九錢九厘)	明治廿二年四月十六日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	29	領収書(地方稅壹円三拾五錢八厘)	明治廿二年四月十六日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	30	領収書(地方稅八拾五錢四厘)	明治廿二年四月十六日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	31	領収証、地所取締費貳拾九錢)	明治廿二年三月十八日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	32	領収証、田租壹円貳拾二錢)	明治廿二年三月十八日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	33	領収証、田租壹円貳拾七錢)	明治廿二年三月十八日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	34	領収証、田租貳円七拾六錢八厘)	明治廿二年三月十八日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	35	領収証、田租貳円七拾六錢八厘)	明治廿二年三月十八日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	5	36	領収証、田租壹円貳拾三錢三厘)	明治廿二年一月七日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏代・高橋深藏	状	
W7	1	10	5	37	領収証、田租貳円七拾六錢七厘)	明治廿二年一月七日	齋川外二ヶ村戸長・市川龜次(印)	渡辺儀藏代・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	1	(仮綴表紙、十八年三所諸上納)	(明治18年)	(印、渡惣)		状	こより共
W7	1	10	6	2	(領収証、地租第二期四錢七厘)	明治十八年十月廿五日		渡邊儀藏	状	
W7	1	10	6	3	(領収証、地租第一期四錢八厘)	明治十八年八月三十一日		渡邊儀藏	状	
W7	1	10	6	4	記(地方稅地租割二キ拾四錢三厘など領収につき)	(明治)十八年三月五日	嶋貴基三郎(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	5	(領収証、村費第二期拾四錢三厘)	明治十八年十月廿五日		渡邊儀藏	状	
W7	1	10	6	6	(領収証、備荒儲田金壹錢九厘)	(明治)十八年十二月十一日	西田泰一郎	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	6	7	(領収証、六大起工費壹錢七厘)	(明治18年)十一月十二日	西田泰一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	6	8	(領収証、勸業費壹円十七錢)	(明治)十八年五月十八日	(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	6	9	(領収証、地租割營業稅拾四錢三厘)	明治十八年六月十八日	刈田郡三沢村戸長・西田泰一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	6	10	(領収証、地方稅貳拾八錢六厘)	明治十八年五月十六日	刈田郡三沢村戸長・西田泰一郎(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	6	11	(仮綴表紙、十八年中ノ目寄合諸上納)	(明治18年)	(印、渡惣)		状	こより共
W7	1	10	6	12	(仮綴裏表紙)	(明治18年)	(印、渡惣)		状	
W7	1	10	6	13	(領収証、地租田租六拾五錢七厘)	明治十八年十二月十六日		高橋深藏、渡辺儀藏	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	6	14	(領収証、地租田租四拾五錢七厘)	明治十八年十二月十六日	渡辺儀藏代理人・高橋深藏	渡辺儀藏代理人・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	15	(領収証、地租畑租など合計貳拾六錢)	明治十八年十月十六日	渡辺儀藏	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	16	(領収証、村費地価割四拾四錢)	明治十八年十月二十日	刈田郡中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	17	(領収証、村費地価割三拾八錢)	明治十八年十月二十日	刈田郡中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	18	(領収証、村費地価割四拾四錢)	明治十八年七月廿五日		渡部儀藏代理・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	19	(領収証、村費地価割三拾八錢)	明治十八年七月廿五日		渡部儀藏代理・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	20	(領収証、六次起工費及備荒儲蓄金拾壹錢九厘)	明治十八年十二月十六日		高橋深藏、渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	21	(領収証、六次起工費及備荒儲蓄金拾錢三厘)	明治十八年十二月十六日		森合村・渡辺儀藏代ノ人・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	22	(領収証、地方税地租割第二期四拾四錢)	明治十八年十二月十六日		中目村納人・高橋深藏、渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	23	(領収証、地方税地租割第二期三拾錢七厘)	明治十八年十二月十六日		森合村納人・渡辺儀藏	状	欄外に「貳圓拾貳錢五厘」とあり
W7	1	10	6	24	(領収証、地方税地租割四拾壹錢七厘)	明治十八年五月十日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎	白石本郷・渡辺儀藏代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	25	(領収証、地方税地租割三拾八錢七厘)	(明治)十八年五月十日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎	白石本郷納人・渡辺儀藏代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	26	(通知、砂利三勺余、土木委員へ引き渡すべく候につき)	(明治)十八年十一月十七日	中目村外二ヶ村戸長役場	白石・渡辺儀藏、高橋深藏	状	
W7	1	10	6	27	(断簡)	(明治)十八年	(印、渡惣)		状	
W7	1	10	6	28	(領収証、地租第一期八錢六厘)	明治十八年八月廿九日		森合村納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	29	(領収証、地租第一期貳拾六錢)	明治十八年九月四日		森合村納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	30	(領収証、地租第二期八錢六厘)	明治十八年十月		納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	31	(仮綴表紙、十九年中ノ目森合上納)	(明治)十九年	(印、渡惣)		状	こより共
W7	1	10	6	32	(仮綴裏表紙)	(明治)十九年	(印、渡惣)		状	
W7	1	10	6	33	(領収証、第三期分田租八拾八錢貳厘)	明治十九年十一月廿九日	戸長・小関勇五郎代リ・筆生	渡辺儀藏殿代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	34	(領収証、第三期田租八拾九錢)	明治十九年十一月廿九日	戸長・小関勇五郎代リ・筆生	渡辺儀藏殿代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	35	(領収証、第二期分畑租八錢七厘)	(明治)十九年	戸長・小関勇五郎	渡辺儀藏代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	36	(領収証、畑租五拾五錢六厘)	明治十九年十月十五日	戸長・小関勇五郎	渡辺儀藏殿代理・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	37	(領収証、山林租九錢九厘)	(明治)十九年	戸長・小関勇五郎	渡辺儀藏殿代理・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	38	(領収証、山林租五拾五錢六厘)	明治十九年八月廿一日	戸長・小関勇五郎	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	6	39	(領収証、山林租九錢九厘)	明治十九年八月廿一日	戸長・小関勇五郎	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	6	40	(領収証、畑租八錢七厘)	明治十九年八月廿一日	戸長・小関勇五郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	6	41	(領収証、田租四拾五錢七厘)	明治十九年四月十七日		渡辺儀藏代理・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	42	(領収証、田租六拾壹錢七厘)	明治十九年四月十五日		渡辺儀藏代理・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	43	(領収証、田租六拾壹錢七厘)	(明治)十九年		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	44	(領収証、田租四拾五錢七厘)	(明治)十九年		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	45	(領収証、地租田租四拾五錢七厘)	明治十九年一月廿七日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	46	(領収証、地租田租六拾壹錢七厘)	明治十九年一月廿七日		渡辺儀藏	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	10	6	47	(仮綴裏表紙)	(明治19年)	(印、渡惣)		状	
W7	1	10	6	48	(領収証、村費地価割三拾四錢貳厘)	明治十九年九月十三日		渡辺儀藏殿代理・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	49	(領収証、村費地価割貳拾六錢七厘)	明治十九年九月十三日		渡辺儀藏殿代理・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	50	(領収証、村費地価割貳拾六錢七厘)	明治十九年四月十五日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	51	(領収証、村費第一期三拾四錢貳厘)	明治十九年四月十五日		森合村・渡辺儀藏代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	52	(領収証、村費第一期六拾三錢九厘)	明治十九年五月十五日		高橋深藏、渡部儀藏	状	
W7	1	10	6	53	(断簡)	(明治19年)	(印、渡惣)		状	
W7	1	10	6	54	(領収証、地方税地租割二キ六拾貳錢貳厘)	明治十九年十一月廿九日		中目村・渡辺儀藏代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	55	(領収証、地方税地租割二キ八拾錢六厘)	明治十九年十一月廿九日		森合村・渡辺儀藏代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	56	(領収証、地方税地租割一キ七拾九錢貳厘)	明治十九年五月六日		森合村・渡辺儀藏代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	57	(領収証、地方税地租割一キ六拾貳錢貳厘)	明治十九年五月六日		中目村・渡部儀藏代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	58	(領収証、備荒公儲金八錢貳厘)	明治十九年十二月十三日		中目村・渡辺儀藏、高橋深藏	状	
W7	1	10	6	59	(領収証、備荒公儲金拾錢六厘)	明治十九年十二月十三日		森合村・渡辺儀藏、高橋深藏	状	
W7	1	10	6	60	(断簡)	(明治19年)	(印、渡惣)		状	
W7	1	10	6	61	地押費用見通割(十六日限り)八拾六錢七厘納むべしにつき)	(明治)十九年五月十六日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎(印)	白石本町・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	62	地押費用見通割(本日限り)壹円貳拾貳錢四厘納むべしにつき)	(明治)十九年()廿八日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎(印)	森合村・渡辺儀藏代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	63	記(森合村地押費壹円拾壹錢七厘領収につき)	(明治19年)九月十三日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎(印)	白石本町・渡辺儀藏代リ・高橋深藏	状	
W7	1	10	6	64	記(地押費地価割六拾壹錢領収につき)	(明治)十九年十月十五日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎(印)	高橋深藏、白石本郷納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	65	記(砂利壹勺三寸、十月十日までに運ぶべしにつき)	明治二十年十月二日	中目村外二ヶ村戸長役場(印)	中目村・渡辺儀藏(深藏代)	状	
W7	1	10	6	66	(通知、人足貳人五分賦課につき)	(明治)十九年		中目村・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	67	(領収証、村費第二期五拾九錢四厘)	明治十九年九月廿日		高橋深藏	状	
W7	1	10	6	68	証(明治十七年度地方税地租割中目村分貳拾三錢壹厘など領収につき)	明治十八年九月四日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎(印)	白石本郷・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	69	(領収証、明治十七年度地租増額中目村分貳円貳拾壹錢六厘)	明治十八年九月四日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎(印)	白石本郷・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	70	明治十七年度地方税地租割(中目村分貳拾三錢壹厘など領収につき)	明治十八年九月四日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎(印)	白石本郷・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	71	明治十七年度地租増額(森合村分田租八拾五錢など領収につき)	明治十八年九月四日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎(印)	白石本郷・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	72	税金書上(中目村分田租貳円四拾六錢八厘などにつき)	(明治18年)		白石本郷・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	6	73	(通知、中目村田租ノ不足壹円貳拾壹錢六厘など明治十七年度分取落につき)	(明治)十八年七月廿五日	中目村外二ヶ村戸長役場 肇生・松野長次郎(印)	白石本郷・渡辺儀藏	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題	(内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	6	74	(仮綴表紙、十九年二所外二ヶ村上納)	(明治19年)	(明治19年)	(印、渡惣)		状	
W7	1	10	6	75	(仮綴裏表紙)	(明治19年)				状	
W7	1	10	6	76	(領収証、田租拾三錢七厘)	明治十九年十一月三十日	戸長・西田泰一郎(印)	渡辺儀藏殿		状	
W7	1	10	6	77	(領収証、田租四拾九錢三厘)	明治十九年十一月三十日	戸長・西田泰一郎(印)	渡辺儀藏殿		状	
W7	1	10	6	78	(領収証、田租拾九錢壹厘)	明治十九年十一月三十日	戸長・西田泰一郎(印)	渡辺儀藏殿		状	
W7	1	10	6	79	(領収証、畑租拾壹錢九厘)	明治十九年八月十四日	竹甚吉(印)	渡辺儀藏殿		状	
W7	1	10	6	80	(領収証、畑租壹錢九厘)	明治十九年八月十四日	戸長・西田泰一郎代り・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏殿		状	
W7	1	10	6	81	(領収証、山林租四錢八厘)	明治十九年八月十四日	戸長・西田泰一郎代り・佐竹甚吉(印)	渡辺儀藏殿		状	
W7	1	10	6	82	(領収証、田租拾九錢)	明治十九年四月十日	(宮城県刈田郡三澤村外三ヶ村戸長役場)	白石本郷納人・渡辺儀藏		状	
W7	1	10	6	83	(領収証、田租拾九錢)	明治十九年三月廿五日	(宮城県刈田郡三澤村外三ヶ村戸長役場)	白石本郷納人・渡辺儀藏		状	
W7	1	10	6	84	(領収証、田租拾九錢壹厘)	(明治)十九年一月十三日	戸長・西田泰一郎(印)	渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	85	(断簡)	(明治19年)	(印、渡惣)			状	破損あり
W7	1	10	6	86	(領収証、地方税地租割九錢七厘)	明治十九年十一月三十日	戸長・西田泰一郎(印)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	87	(領収証、地方税地租割拾四錢三厘)	明治十九年十一月三十日	戸長・西田泰一郎(印)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	88	(領収証、地方税地租割三拾貳錢九厘)	明治十九年十一月三十日	戸長・西田泰一郎(印)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	89	(領収証、地方税地租割三十三式錢九厘)	明治十九年五月廿日	戸長・西田泰一郎(印)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	90	(領収証、地方税地租割九錢八厘)	明治十九年五月廿日	戸長・西田泰一郎(印)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	91	(領収証、地方税地租割拾四錢三厘)	明治十九年五月廿日	戸長・西田泰一郎(印)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	92	(領収証、備荒公儲金四錢九厘)	明治十九年十二月十五日	戸長・西田泰一郎(印)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	93	(領収証、備荒公儲金九厘)	明治十九年十二月十五日	戸長・西田泰一郎(印)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	94	(領収証、備荒公儲金壹錢三厘)	明治十九年十二月十五日	戸長・西田泰一郎(印)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	95	(断簡)	(明治19年)	(印、渡惣)			状	破損あり
W7	1	10	6	96	(領収証、村費地価割五錢四厘)	明治十九年九月	(宮城県刈田郡三澤村外三ヶ村戸長役場)	白石本郷・渡部儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	97	(領収証、村費地価割八厘)	明治十九年九月七日	(宮城県刈田郡三澤村外三ヶ村戸長役場)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	98	(領収証、村費地価割貳厘)	明治十九年九月七日	(宮城県刈田郡三澤村外三ヶ村戸長役場)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	99	(領収証、村費拾四錢)	明治十九年九月七日	(宮城県刈田郡三澤村外三ヶ村戸長役場)	大町村分納人・渡部儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	100	(領収証、村費拾四錢)	明治十九年三月廿五日	(宮城県刈田郡三澤村外三ヶ村戸長役場)	白石本郷納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	101	(領収証、村費五錢五厘)	明治十九年三月廿五日	(宮城県刈田郡三澤村外三ヶ村戸長役場)	白石本郷納人・渡辺儀藏		状	破損あり
W7	1	10	6	102	(賦課令状・領収証、地押入費四拾九錢四厘)	明治二十年一月十三日	三澤村外三ヶ村戸長・西田泰一郎(印)	納人・渡辺儀藏		状	破損あり

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	7	1	(帯封、白石本郷・郡山上納十八年ヨリ十九年迄書簿)	(明治19年)			帯 封	
W7	1	10	7	2	(上納証、明治十八年度村費第一期醬油営業割七拾五錢)	明治十八年九月卅日	納人・渡辺儀藏		状	
W7	1	10	7	3	(上納証、明治十八年度醬油造石税第二期式拾円八拾貳錢)	明治十八年九月卅日	納人・渡辺儀藏		状	
W7	1	10	7	4	(上納証、明治十八年度地方税中第一期營業稅貳拾八円貳錢五リ)	明治十八年九月卅日	納人・渡部儀藏		状	
W7	1	10	7	5	(上納証、明治十八年度村費第一期地価割などメ三拾四円三拾九錢七リ)	明治十八年九月卅日	納人・渡邊儀藏		状	
W7	1	10	7	6	(上納証、明治十八年度村費第一期地価割三拾錢壹リ)	明治十八年九月卅日	納人・渡邊惣吉		状	
W7	1	10	7	7	(上納証、明治十八年度村費第一期地価割貳円九拾五錢四リ)	明治十八年九月卅日	納人・渡辺儀藏		状	
W7	1	10	7	8	(上納証、明治十八年度村費第一期地価割壹円三拾三錢五リ)	明治十八年九月卅日	納人・高橋深藏		状	
W7	1	10	7	9	(上納証、明治十八年度地租第一期郡村宅地租四拾三錢壹リ)	明治十八年九月一日	納人・渡辺惣吉		状	
W7	1	10	7	10	(上納証、明治十八年度地租租など三円六拾七錢八リ)	明治十八年九月一日	郡山村納人・渡邊儀藏		状	
W7	1	10	7	11	(上納証、明治十八年度地租租など六円拾錢壹リ)	明治十八年九月一日	納人・渡辺儀藏		状	
W7	1	10	7	12	(上納証、明治十八年度地租第二期租など六円九錢九リ)	明治十八年十月	納人・渡邊儀藏		状	
W7	1	10	7	13	(上納証、明治十八年度地租第二期租など三円六拾七錢七リ)	明治十八年十月廿九日	郡山村分納人・渡辺儀藏		状	
W7	1	10	7	14	(上納証、明治十八年度地租第二期郡村宅地租四拾三錢)	明治十八年十月	納人・渡邊惣吉		状	
W7	1	10	7	15	(上納証、明治十八年度村費第二期地価割など三拾四円四拾六錢)	明治十八年十一月廿五日	納人・渡辺儀藏		状	
W7	1	10	7	16	(上納証、明治十八年度村費第二期地価割貳円九拾九錢六リ)	明治十八年十一月廿五日	納人・渡部儀藏		状	
W7	1	10	7	17	(上納証、明治十八年度村費第二期地価割三拾錢)	明治十八年十一月廿五日	納人・渡辺惣吉		状	
W7	1	10	7	18	(領収証、明治十八年度出費壹割三拾七円三拾五錢壹リ)	明治十八年七月三十日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥(印)	刈田郡白石本郷納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	19	(領収証、明治十八年度地方税下数割第壹期六拾四錢四リ)	明治十八年七月三十日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥(印)	刈田郡中町納人・渡邊惣吉	状	
W7	1	10	7	20	(領収証、明治十八年度地方税下数割第壹期壹円三拾八錢)	明治十八年七月三十日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥(印)	刈田郡中町納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	21	(領収証、村費拾五錢などにつき)	明治十八年七月廿五日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	22	(領収証、本町消防費三拾五錢)	(明治18年)	本町組長	渡部儀藏	状	
W7	1	10	7	23	(領収証、地租割八円四拾五錢九厘)	明治十八年五月三十日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥、筆生・谷津秀太郎	渡辺儀藏	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	10	7	24	(領収証、地租わり式円九拾五錢四厘)	明治十八年五月卅日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥、筆生・谷津秀太郎	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	25	(領収証、地租割三拾錢壹厘)	明治十八年五月卅日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥、筆生・谷津秀太郎	渡辺惣吉	状	
W7	1	10	7	26	(領収証、村費地価割及び営業割壹円三拾三錢壹厘)	明治十八年九月卅日		渡辺卯吉	状	
W7	1	10	7	27	(領収証、村費地価割及び営業割壹円三拾三錢壹厘)	明治十八年二月廿五日		渡辺卯吉	状	
W7	1	10	7	28	(領収証、地租郡村宅地租式拾壹錢八厘)	明治十八年九月一日		渡辺卯吉	状	
W7	1	10	7	29	(領収証、地租郡村宅地租式拾壹錢八厘)	明治十八年十月廿八日		渡辺卯吉	状	
W7	1	10	7	30	(領収証、地方税営業税三円七拾五錢)	明治十八年九月卅日		渡辺卯吉	状	
W7	1	10	7	31	(領収証、地方税下数割壹円九錢八厘)	明治十八年七月三十日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺卯吉	状	
W7	1	10	7	32	(領収証、村費小原新道開設費百四拾九円八拾三錢四厘)	明治十九年六月廿三日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	33	(領収証、田税貳拾三錢六厘)	明治十八年十二月十六日		渡部惣吉	状	
W7	1	10	7	34	(領収証、地方税地租割三拾錢などにつき)	明治十八年十二月十六日		渡辺惣吉	状	
W7	1	10	7	35	(領収証、地方税地租割貳円九拾九錢六厘)	明治十八年三月十六日		渡部儀藏	状	
W7	1	10	7	36	(領収証、田税貳円五拾九錢貳厘)	明治十八年十二月十六日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	37	(領収証、地方税地租割八円五拾貳錢三厘)	明治十八年十二月十六日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	38	(領収証、田税九円七拾壹錢貳厘)	明治十八年十二月十六日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	10	7	39	(領収証、村費地価割など租税合計百八拾五円五錢六厘)	(明治19年)	清治	渡辺義藏殿	状	
W7	1	10	7	40	(領収証、営業税貳円五拾錢) 記(郡山壹本松川除普請方人足代壹円五拾錢受取につき)	(明治)九年旧十二月廿六日		渡辺義藏殿	状	
W7	1	10	7	41	(領収証、営業税貳円五拾錢)	明治十九年七月廿七日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	7	42	(領収証、荷車税など合計六拾五錢)	明治十九年七月廿七日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	43	(領収証、荷車税五拾錢)	明治十九年七月廿七日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	7	44	(領収証、白石本郷地租費拾六錢)	明治十九年七月廿六日		阿部卯藏	状	
W7	1	10	7	45	記(渡辺儀藏人足壹人につき)	(明治19年)	組長・鈴木源藏	山田善八様	状	
W7	1	10	7	46	(覺、人足賃壹錢五厘請取につき)	明治十八年九月拾九日	郡山・山田善八(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	47	(領収証、白石本郷地租費拾九円九拾壹錢貳厘)	明治十九年七月廿四日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	48	(覺、地押費拾五錢壹厘受取につき)	(明治19年)四月三十日	川村牧平(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	49	記(地押入費貳円三錢貳厘役場納めにつき)	(明治19年)七月七日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	50	(領収証、地方税壹円拾四錢八厘)	明治十九年一月廿日		渡辺卯吉	状	
W7	1	10	7	51	(領収証、営業税三円七拾五錢)	明治十九年三月六日		渡辺卯吉	状	
W7	1	10	7	52	(領収証、営業税追加地方税×五円拾三錢)	明治十九年十月十七日		渡辺卯吉	状	端裏に「渡辺義藏殿」とあり
W7	1	10	7	53	(領収証、営業税五円)	明治十九年六月廿六日		渡辺卯吉	状	
W7	1	10	7	54	(領収証、宅地租四拾五錢八厘)	明治十九年八月十八日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺卯吉殿	状	
W7	1	10	7	55	(領収証、地方税七拾錢八厘)	明治十九年八月十八日		渡辺卯吉	状	
W7	1	10	7	56	(領収証、宅地租四拾五錢八厘)	明治十九年十月十七日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺卯吉殿	状	
W7	1	10	7	57	(領収証、地方税中戸数割八拾錢)	明治十九年三月十二日		納入・渡部卯吉	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	10	7	58	(領收証、田税第六期貳拾三錢五厘)	明治十九年四月十二日	戸長・齋藤吉	渡邊物吉	状	
W7	1	10	7	59	(領收証、田税第六期九円七拾壹錢壹厘)	明治十九年四月十二日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	60	(領收証、田税第六期貳円拾九錢貳厘)	明治十九年四月十二日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	61	(領收証、醬油營業割七拾五錢)	(明治19年)	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	62	(領收証、白石本郷地押費)	明治十九年七月	渡部惣吉	渡部惣吉	状	
W7	1	10	7	63	(領收証、地租三錢九厘)	明治十九年八月廿三日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	7	64	(領收証、烟租三円五拾七錢七厘)	明治十九年八月廿三日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	10	7	65	(領收証、第一期分宅地租四拾三錢壹厘)	明治十九年八月十八日	戸長・齋藤吉弥	渡部惣吉殿	状	
W7	1	10	7	66	(領收証、地方税中戸数割第二期貳円拾貳錢四厘)	明治十九年八月十八日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	67	(領收証、四円八拾壹錢四厘)	明治十九年八月十八日	戸長・齋藤吉弥	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	68	(領收証、第一期分宅地租壹円九拾壹錢貳厘)	明治十九年八月十八日	戸長・齋藤吉弥	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	7	69	(領收証、營業稅第一期三拾七円五拾錢)	明治十九年八月十八日	渡部儀藏	渡部儀藏	状	
W7	1	10	7	70	(領收証、地方税地租割一期三拾錢壹厘)	明治十九年五月廿日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	71	(領收証、地方税地租割一期九円九錢貳厘)	明治十九年五月廿日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	72	(領收証、地方税地租割一期貳円八拾八錢三厘)	明治十九年五月廿日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	73	(領收証、醬油營業稅後半期貳円五拾錢)	明治十九年一月廿六日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	74	(領收証、後半期増賦分など合計一円拾五錢)	明治十九年一月廿六日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	75	(領收証、送附堤防費八錢七厘)	明治十九年二月十八日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	76	(領收証、堤防人足費壹圓七拾四錢四厘)	明治十九年二月十八日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	77	(領收証、醬油營業稅後半期七拾五錢)	明治十九年三月六日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	78	(領收証、營業稅第二期貳拾八圓拾貳錢五厘)	明治十九年三月六日	渡邊儀藏	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	79	(上納証、明治十九年度地方税中戸数割第一期貳円四拾錢)	明治十九年三月十二日	渡部儀藏	渡部儀藏	状	
W7	1	10	7	80	(上納証、明治十八年度田税第五期貳拾三錢五厘)	明治十九年三月廿二日	納人・渡辺惣吉		状	
W7	1	10	7	81	(上納証、明治十八年度田税第五期貳円五拾九錢貳厘)	明治十九年三月廿二日	納人・渡邊儀藏		状	
W7	1	10	7	82	(上納証、明治十八年度田税第五期九円七拾壹錢貳厘)	明治十九年三月廿二日	渡辺儀藏		状	
W7	1	10	7	83	(上納証、明治十八年度醬油造石稅第三期六拾六円五拾四錢八厘)	明治十九年一月廿日	納人・渡辺儀藏		状	
W7	1	10	7	84	(上納証、明治十八年度田税第四期九円七拾壹錢貳厘)	明治十九年一月廿日	納人・渡部儀藏		状	
W7	1	10	7	85	(上納証、明治十八年度田税第四期貳円五拾九錢貳厘)	明治十九年一月廿日	納人・渡邊儀藏		状	
W7	1	10	7	86	(上納証、明治十八年度地方税中戸数割第二期壹円三拾三錢)	明治十九年一月廿日	納人・渡邊儀藏		状	
W7	1	10	7	87	(上納証、明治十八年度田税第四期貳拾三錢六厘)	明治十九年一月廿日	納人・渡部惣吉		状	
W7	1	10	7	88	(上納証、明治十八年度地方税中戸数割第二期五拾九錢四厘)	明治十九年一月廿日	納人・渡邊惣吉		状	
W7	1	10	7	89	(領收証、明治十九年度第一期分醬油造石稅四拾三円六拾四錢八厘)	明治十九年五月廿八日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	7	90	(上納証、明治十八年度村費地租割第一期など三拾五円貳拾貳錢貳厘)	明治十九年六月十七日	納人・渡邊儀藏		状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	1	10	7	91		(領収証、村費第二期小原新道開鑿費百四拾九円八拾三錢四厘)	明治十九年九月八日		納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	92		(領収証、第三期分田租四拾三錢三厘)	明治十九年十二月八日	戸長 齋藤吉弥代理筆生・佐藤近左工門	齋藤三八殿	状	
W7	1	10	7	93		(領収証、村費第一期地価割営業割壹円六拾貳錢三厘)	明治十九年九月廿日		納人・渡邊卯吉	状	
W7	1	10	7	94		(領収証、村費第一期地価割営業割壹円六拾貳錢五厘)	明治十九年五月十五日		納人・渡邊卯吉	状	
W7	1	10	7	95		(領収証、宅地第二期分四十三錢)	明治十九年十月十七日	戸長・齋藤吉弥	渡邊惣吉殿	状	
W7	1	10	7	96		(領収証、山林第二期分貳拾三錢九厘)	明治十九年十月十七日	戸長・齋藤吉弥	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	7	97		(領収証、畑第二期分三円五拾七錢六厘)	明治十九年十月十七日	戸長・齋藤吉弥	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	7	98		(領収証、宅地租第二期分四円九拾壹錢四厘)	明治十九年十月十七日	戸長・齋藤吉弥	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	7	99		(領収証、畑租第二期分四円貳拾壹錢四厘)	明治十九年十月十七日	戸長・齋藤吉弥	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	7	100		(領収証、營業稅第二期追加地方稅戸數割三拾七円六拾三錢)	明治十九年十月十七日		納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	101		(領収証、道路堤防費八錢七厘)	明治十九年二月十八日		納人・渡部卯吉	状	
W7	1	10	7	102		(領収証、公儲金四錢)	明治十九年十二月廿二日		納人・渡邊惣吉	状	
W7	1	10	7	103		(領収証、公儲金三拾八錢壹厘)	明治十九年十二月廿二日		納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	104		(領収証、公儲金壹円貳拾貳錢六厘)	明治十九年十二月廿二日		納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	105		(領収証、地方稅地租割第二期三拾錢)	明治十九年十二月八日	戸長 齋藤吉弥代理筆生・佐藤近左工門	納人・渡部惣吉	状	
W7	1	10	7	106		(領収証、第三期分田租貳拾三錢六厘)	明治十九年十二月八日		渡邊惣吉殿	状	
W7	1	10	7	107		(領収証、地方稅地租割第二期貳円八拾八錢三厘)	明治十九年十二月八日		納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	108		(領収証、地方稅地租割第二期追加地方稅戸數割九円三拾六錢九厘)	明治十九年十二月八日		納人・渡邊儀造	状	
W7	1	10	7	109		(領収証、第三期分田租貳円四拾壹錢七厘)	明治十九年十二月八日	戸長 齋藤吉弥代理筆生・佐藤近左工門	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	7	110		(領収証、第三期分田租拾六拾壹錢)	明治十九年十二月八日	戸長 齋藤吉弥代理筆生・佐藤近左工門	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	7	111		(領収証、村費第一期地価割拾貳錢七厘)	明治十九年九月廿日		納人・渡邊惣吉	状	
W7	1	10	7	112		(領収証、第二期分醬油稅三拾三円九拾六錢五厘)	明治十九年九月廿日	戸長・齋藤吉弥	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	7	113		(領収証、村費第二期地価割營業稅戸別割三拾五円貳拾三錢壹厘)	明治十九年九月廿日		納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	114		(領収証、村費第二期地価割壹円貳拾壹錢貳厘)	明治十九年九月廿日		納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	7	115		(領収証、村費第一期地価割拾三錢壹厘)	明治十九年五月十二日		納人・渡邊惣吉	状	
W7	1	10	7	116		(領収証、村費第一期地価割壹円貳拾五錢九厘)	明治十九年五月十五日		納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	8	1		(帶封、白石なび廿年請上納)	(明治21年)			帶封	
W7	1	10	8	2		證(明治二十年七月分會費二拾錢)	明治二十年八月八日	白石英學協會(印)	渡辺外吉君	状	
W7	1	10	8	3		証(白石小學校増築費寄附金貳拾五圓受取につき)	明治十八年六月十四日	白石本郷外三ヶ町戸長・齋藤吉弥(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	8	4		(領収証、地券書換手数料三錢)	明治廿一年二月八日	(印、佐藤)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	8	5		(領収証、消防費四十八錢)	(明治)二十一年正月廿一日	本町 両組長(印)	渡部外吉	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	8	6	(領収証、授業料六拾錢)	明治廿年十二月廿一日	(印、片岡)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	7	(領収証、營業割第一キ・第二キ四錢)	明治〔 〕<21カ>正月 廿一日	(印、片岡)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	8	(領収証、授業料一キ六拾錢)	明治廿年八月十八日	(印、片岡)	渡部儀藏	状	
W7	1	10	8	9	(領収証、明治十九年田租第四・五期分八拾四錢五リ)	明治二十年一月十三日	戸長・齋藤吉弥 (印、宮城縣 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・齋藤吉弥)	齋藤三八殿	状	
W7	1	10	8	10	(領収証、明治十九年度白石本郷地押費追加七錢八リ)	明治二十年一月十三日	(印、西山)	阿部林藏	状	
W7	1	10	8	11	(領収証、明治十九年度白石本郷地押費追加七錢七リ)	明治廿年一月三日	(印、西山)	渡部惣吉	状	
W7	1	10	8	12	(領収証、明治十九年田租第四・五期分四拾七錢貳リ)	明治二十年一月十三日	戸長・齋藤吉弥 (印、宮城縣 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・齋藤吉弥)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	10	8	13	(領収証、追加金九門七拾五錢七リ)	明治二十年一月十三日	(印、西山)	渡辺義藏	状	
W7	1	10	8	14	(領収証、明治十九年田租第四・五期分四門八拾三錢三リ)	明治二十年一月十三日	戸長・齋藤吉弥 (印、宮城縣 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・齋藤吉弥)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	15	(領収証、明治十九年田租第四・五期分貳拾壹門貳拾貳錢)	明治二十年一月十三日	戸長・齋藤吉弥 (印、宮城縣 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・齋藤吉弥)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	16	(領収証、明治十八年宅地租第二キノ内九錢三リ)	明治二十年一月十三日	戸長・齋藤吉弥 (印、宮城縣 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・齋藤吉弥)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	17	(領収証、土地台帳調整入費拾六錢七リ)	明治廿年五月廿四日	(印、西山)	渡邊惣吉	状	
W7	1	10	8	18	(領収証、土地台帳調整入費四門九拾貳錢)	明治廿年五月廿四日	(印、西山)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	8	19	(領収証、明治十九年醬油造石稅第三期分四拾八門九拾三錢三リ)	明治二十年一月廿一日	戸長・齋藤吉弥 (印、宮城縣 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・齋藤吉弥)	渡辺義藏殿	状	
W7	1	10	8	20	(領収証、明治二十年醬油前半期分貳門五拾錢)	明治二十年一月廿一日	戸長・齋藤吉弥 (印、宮城縣 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・齋藤吉弥)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	21	(領収証、明治十九年度村費醬油營業割七拾五錢)	明治二十年一月廿一日	(印、片岡)	渡辺義藏	状	
W7	1	10	8	22	(領収証、明治十九年度村費稅貳拾五錢)	明治二十年一月廿一日	(印、片岡)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	8	23	(領収証、明治二十年第一期村費稅五拾錢)	明治二十年一月廿一日	戸長・齋藤吉弥 (印、宮城縣 刈田郡白石本郷外三ヶ村 戸長・齋藤吉弥)	渡邊義藏殿	状	
W7	1	10	8	24	(領収証、明治廿年度村費稅增額五拾錢)	明治二十年一月廿一日	(印、片岡)	渡辺義藏	状	
W7	1	10	8	25	(領収証、明治廿年度地方稅戶數割第一期など合計貳門三拾壹錢六リ)	明治廿年三月廿二日	(印、片岡)	萩本千念	状	
W7	1	10	8	26	(領収証、明治廿年度地方稅戶數割第一期など合計百六拾六門四拾錢五リ)	明治廿年三月廿二日	(印、片岡)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	8	27	(領収証、明治十九年度地券書換手数料九錢)	明治廿年三月十九日	(印、さたけ)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	28	証(地券書換手数料壹枚分參錢)	明治廿年三月十八日	(印、片岡)	渡邊儀藏	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	8	29	証(地券書換手数料壹枚分參錢)	明治廿年二月十九日	(印)片岡	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	30	(領收証、田租拾壹円八厘)	明治廿年四月十一日	戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	31	(領收証、田租四拾貳錢貳厘)	明治廿年四月十一日	戸長・齋藤吉弥	齋藤三八殿	状	
W7	1	10	8	32	(領收証、田租貳拾三錢四厘)	明治廿年四月十一日	戸長・齋藤吉弥	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	10	8	33	(領收証、田租貳円四拾壹錢六厘)	明治廿年四月十一日	戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	34	(領收証、教育補助費拾貳円參拾七錢九厘)	明治廿年四月廿六日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	35	(覺、金拾円など書上)	戊(明治19年)十二月十七日			状	
W7	1	10	8	36	(領收証、地券書換手数料五枚分拾五錢)	明治廿年五月十三日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥(印)	森合村・高橋大藏	状	
W7	1	10	8	37	(領收証、登記料及手数料貳拾五錢)	明治二十年五月廿六日	白石本郷登記所(印)	渡辺儀藏代人・渡辺惣吉	状	
W7	1	10	8	38	(領收証、醬油造石税五円拾貳錢五厘)	明治廿年五月廿六日	戸長齋藤吉弥代理筆生・武藤弘濟	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	39	記(明治十九年度備荒儲蓄金拾五円受取につき)	明治廿年六月五日	組長・安藤榮治郎(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	40	(領收証、土地台帳地押費壹円八拾貳錢八厘)	明治廿年七月十三日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	41	(領收証、土地台帳地押費七錢壹厘)	明治廿年七月十三日		朽木隆暁	状	
W7	1	10	8	42	(領收証、地方税貳円七拾貳錢)	明治廿年七月廿日		渡部儀藏	状	
W7	1	10	8	43	(領收証、地方税など合計拾四錢五厘)	明治廿年八月十八日		朽木隆暁	状	
W7	1	10	8	44	(領收証、宅租五拾五錢壹厘)	明治廿年八月十八日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺卯吉殿	状	
W7	1	10	8	45	(領收証、宅租五拾貳錢六厘)	明治廿年八月十八日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	10	8	46	(領收証、宅租貳円貳拾六錢四厘)	明治廿年八月十八日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	47	(領收証、畑租三円三拾四錢三厘)	明治廿年八月十八日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	48	(領收証、山租貳拾三錢九厘)	明治廿年八月十八日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	49	(領收証、畑租四円七拾五錢壹厘)	明治廿年八月十八日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	50	(領收証、地方税など合計拾三円九拾五錢貳厘)	明治廿年八月十八日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	51	(領收証、地方税など合計四円拾八錢)	明治廿年八月十八日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	52	(領收証、地方税など合計四拾壹錢三厘)	明治廿年八月十八日		渡辺惣吉	状	
W7	1	10	8	53	(領收証、營業割貳拾錢)	明治廿年七月廿三日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	54	(領收証、荷積増賦五拾錢)	明治廿年七月廿三日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	55	(領收証、荷車税五拾錢)	明治廿年七月廿三日	戸長齋藤吉弥代理筆生・佐藤近左工門	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	56	(領收証、醬油税貳円五拾錢)	明治廿年七月廿三日	戸長齋藤吉弥代理筆生・佐藤近左工門	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	57	(領收証、畑租拾四錢三厘)	明治廿年八月廿日	戸長齋藤吉弥代理筆生・佐藤近左工門	半田惣治殿	状	
W7	1	10	8	58	(領收証、醬油造石税四拾五円七拾錢貳厘)	明治廿年九月廿九日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	8	59	(領收証、教育費補助費など合計貳拾貳円六拾壹錢三厘)	明治廿年九月廿九日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	60	(領收証、畑租四円七拾五錢)	明治廿年十月廿六日	戸長・齋藤吉弥(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	8	61	(領收証、第二期畑ノ三円三拾四錢三厘)	明治廿年十月廿六日	戸長・齋藤吉弥	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	8	62	(領收証、宅租第二期貳円貳拾六錢三厘)	明治廿年十月廿六日	戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏殿	状	

箱 番号	杖1	杖2	杖3	杖4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	8	63	(領收証、第二期分山林ノ武拾三錢九厘)	明治廿年十月廿六日	戸長・齋藤吉弥	渡部儀藏	状	
W7	1	10	8	64	(領收証、宅租第二期分五拾貳錢六厘)	明治廿年十月廿六日	戸長・齋藤吉弥	渡辺惣吉殿	状	
W7	1	10	8	65	(領收証、宅租第二期分五拾五錢壹厘)	明治廿年十月廿六日	戸長・齋藤吉弥	渡辺卯吉殿	状	
W7	1	10	8	66	(寢、合計壹円五十六錢五厘書上)	(明治20年)十一月九日			状	
W7	1	10	8	67	(領收証、地押方台帳引合費壹円八拾壹錢三厘)	明治廿年十二月十日		納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	68	(領收証、第三・四期分田租五円拾九錢六厘)	明治二十年十二月十日	戸長・齋藤吉弥	渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	8	69	(領收証、第三・四期分田租貳拾貳円六拾壹錢七厘)	明治二十年十二月十日	戸長・齋藤吉弥	渡部儀藏	状	
W7	1	10	8	70	領收書(公儲金三錢八厘)	明治二十年十二月十日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	渡部惣吉	状	
W7	1	10	8	71	領收書(地方秘地租割第二期村費地価割第二期四拾壹錢三厘)	明治二十年十二月十日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥		状	
W7	1	10	8	72	(領收証、第三・四期分田租三拾四錢壹厘)	明治二十年十二月十日	戸長・齋藤吉弥	渡部惣吉殿	状	
W7	1	10	8	73	領收書(公儲金三拾八錢七厘)	明治二十年十二月十日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	74	領收書(公儲金壹円三拾壹錢壹厘)	明治二十年十二月十日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	75	領收書(地方秘地租割第二期村費地価割第二期四円拾八錢)	明治二十年十二月十日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	76	領收書(地方秘地租割第二期村費地価割第二期拾円九拾五錢壹厘)	明治二十年十二月十日	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	77	(領收証、台帳引合費五円八拾八錢)	明治廿年十二月十七日		納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	78	(領收証、台帳引合費拾七錢壹厘)	明治廿年十二月十七日		納人・渡辺惣吉	状	
W7	1	10	8	79	(領收証、売棄稅二キ五錢)	明治廿年十二月十七日		納人・渡部儀藏	状	
W7	1	10	8	80	(領收証、營業稅第一期營業割六円三拾錢)	明治廿年六月廿九日		納人・渡部卯吉	状	
W7	1	10	8	81	(領收証、仲買營業稅第一期營業割五拾壹円拾錢)	明治廿年六月廿九日		納人・渡部儀藏	状	
W7	1	10	8	82	(領收証、營業稅第二期營業割仲買五拾壹円拾錢)	明治二十年	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	8	83	(領收証、營業稅第二期營業割第二期六円三拾錢)	明治二十年	白石本郷外三ヶ村戸長・齋藤吉弥	渡辺卯吉	状	
W7	1	10	9	1	(帶封、中ノ目・森合・坂谷・三沢廿年諸上納)	(明治20年)			状	
W7	1	10	9	2	領收書(明治十九年度地方秘地租割壹錢九リ)	明治廿年十二月九日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎(印)	森合村納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	3	記(中目村地押費地価割追加貳圓拾三錢四リ)	明治廿年二月廿一日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	4	(領收証、明治二十年度村費第一期拾五錢七リ)	明治二十年四月七日	(印、三ヶ村戸長・西田泰一郎)	白石本郷・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	5	(領收証、明治十九年第六期分田租四拾九錢貳リ)	明治二十年四月七日	戸長・西田泰一郎(印、宮城縣刈田郡三澤村外三ヶ村戸長・西田泰一郎)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	6	(領收証、明治十九年第六期分田租拾三錢六リ)	明治二十年四月七日	戸長・西田泰一郎(印、宮城縣刈田郡三澤村外三ヶ村戸長・西田泰一郎)	渡邊儀藏殿	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	9	7	(領収証、明治二十年度村費第一期六錢三リ)	明治二十年四月七日	(印、三ヶ村戸長・西田泰一郎)	納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	8	(領収証、明治十九年第六期分田租拾九錢)	明治廿年四月七日	戸長・西田泰一郎(印、宮城 縣刈田郡三澤村外三ヶ村 戸長・西田泰一郎)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	9	(領収証、明治廿年度地方税地租割第二期など合 計壹円八錢六リ)	明治廿年十二月	中目村外二村戸長小関勇 五郎代理・高橋深藏、代理・ 村上利二(印)	森合村納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	10	(領収証、地方税地租割など合計壹円六拾壹錢壹リ)	明治廿年十二月	中目村外二村戸長小関勇 五郎代理・遠藤勇、代理・高 橋深藏(印)		状	
W7	1	10	9	11	(領収証、明治廿年第三期分式円八拾四錢貳リ)	明治廿年十二月四日	中目村外二村戸長小関勇 五郎代理・遠藤勇、代理・高 橋深藏(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	12	(領収証、明治廿年第三期分壹円拾壹錢貳リ)	明治(20年)	中目村外二村戸長小関勇 五郎代理・遠藤勇、代理・高 橋深藏(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	13	(領収証、明治廿年第二期分山林租拾錢八厘)	明治(20)年十月廿二日	戸長・小関勇五郎代理・高 橋深藏(印、宮城縣刈田郡 中目村外二ヶ村戸長・小関 勇五郎)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	14	(領収証、明治廿年第二期分畑租八錢七リ)	明治(20)年十月廿二日	戸長・小関勇五郎代理・高 橋深藏(印、宮城縣刈田郡 中目村外二ヶ村戸長・小関 勇五郎)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	15	(領収証、明治廿年第二期分畑租五拾五錢六リ)	明治(20)年十月廿二日	戸長・小関勇五郎代理・高 橋深藏(印、宮城縣刈田郡 中目村外二ヶ村戸長・小関 勇五郎)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	9	16	(領収証、第二期畑租貳拾五錢七厘)	明治廿年十月十七日	伊具郡川張村外二ヶ村戸 長・山本美雄(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	9	17	地券謄印税(金四拾五錢など書上)	明治二十年三月十九日	戸長・西田泰一郎(印、宮城 縣刈田郡三澤村外三ヶ村 戸長・西田泰一郎)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	18	地券謄印税(金貳拾三錢五リなど書上)	明治二十年三月十九日	戸長・西田泰一郎(印、宮城 縣刈田郡三澤村外三ヶ村 戸長・西田泰一郎)	渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	19	(領収証、明治十九年第四期分田租四拾九錢三リ)	明治廿年一月八日	戸長・西田泰一郎(印、宮城 縣刈田郡三澤村外三ヶ村 戸長・西田泰一郎)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	9	20	(領収証、明治十九年第四期分田租拾三錢七リ)	明治廿年一月八日	戸長・西田泰一郎(印、宮城 縣刈田郡三澤村外三ヶ村 戸長・西田泰一郎)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	21	(領収証、田租拾九錢壹厘)	明治廿年一月八日	戸長・西田泰一郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	22	(領収証、田租拾三錢六厘)	明治廿年一月廿一日	戸長・西田泰一郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	23	(領収証、田租四拾九錢貳厘)	明治廿年一月廿一日	戸長・西田泰一郎	渡辺儀藏殿	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 ／ 備 考
W7	1	10	9	24	(領收証、田租拾九錢)	明治廿年一月廿一日	戸長・西田泰一郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	25	(領收証、村費四拾壹錢壹厘)	明治廿年三月十五日		渡辺儀藏、深藏	状	
W7	1	10	9	26	(領收証、村費五拾四錢九厘)	明治廿年三月十五日		中目村・渡辺儀藏、高橋深藏	状	
W7	1	10	9	27	(領收証、地押費貳円貳錢五厘)	明治廿年一月十日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	28	(領收証、地押費壹円拾五錢八厘)	明治廿年三月十五日		渡辺儀藏代り・高橋深藏	状	
W7	1	10	9	29	記(地券手数料九錢受取につき)	明治廿年三月八日		中目村・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	30	證(地券証印税三拾錢領取につき)	明治二十年一月廿七日	筆生・鈴木伊左治(印)	白石本郷・渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	31	(領收証、田租八拾九錢)	明治廿年一月七日	戸長・小関勇五郎(印)	中目村・渡辺儀藏代り・ 高橋深藏	状	
W7	1	10	9	32	(領收証、田租八拾八錢貳厘)	明治廿年一月七日	戸長・小関勇五郎(印)	中目村・渡辺儀藏代り・ 高橋深藏	状	
W7	1	10	9	33	(領收証、田租壹円拾錢壹厘)	明治二十年二月九日	戸長・小関勇五郎(印)	中目村・渡辺儀藏代り・ 高橋深藏	状	
W7	1	10	9	34	(領收証、田租壹円八拾六錢五厘)	明治二十年二月九日	戸長・小関勇五郎(印)	中目村・渡辺儀藏代り・ 高橋深藏	状	
W7	1	10	9	35	(領收証、田租壹円拾錢壹厘)	明治廿年三月廿九日	戸長・小関勇五郎(印)	中目村・渡辺儀藏代り・ 高橋深藏	状	
W7	1	10	9	36	(領收証、田租壹円八拾六錢五厘)	明治廿年三月廿九日	戸長・小関勇五郎(印)	中目村・渡辺儀藏殿、高橋 深藏	状	
W7	1	10	9	37	(領收証、村費拾五錢貳厘)	明治廿年三月十九日		白石本郷・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	38	(領收証、地方税三拾六錢八厘)	明治廿年八月十一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	39	(領收証、地方税三拾六錢)	明治廿年八月十一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	40	(領收証、地方税拾四錢三厘)	明治廿年八月十一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	41	(領收証、明治廿年第一期分山租壹錢九リ)	明治廿年八月十一日	戸長・西田泰一郎(印)、宮城 縣刈田郡三澤村外三ヶ村 戸長・西田泰一郎)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	42	(領收証、明治廿年第一期分畑租拾壹錢九リ)	明治廿年八月十一日	戸長・西田泰一郎(印)、宮城 縣刈田郡三澤村外三ヶ村 戸長・西田泰一郎)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	43	(領收証、明治廿一年第一期分山租四錢八リ)	明治廿年八月十一日	戸長・西田泰一郎(印)、宮城 縣刈田郡三澤村外三ヶ村 戸長・西田泰一郎)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	44	(領收証、明治二十年一度村費第二期拾五錢七リ)	明治二十年九月十二日	(印、大野)	白石本郷納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	45	(領收証、明治廿年度村費第二期六錢壹リ)	明治廿年九月十二日	(印、大野)	納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	46	(領收証、明治二十年第一期分畑租五拾五錢六リ)	明治廿年八月十八日	戸長・小関勇五郎(印)、宮城 縣刈田郡中目村外二ヶ村 戸長役場)代人・高橋深藏	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	47	(領收証、明治廿年第一期分畑租八錢七リ)	明治廿年八月十八日	戸長・小関勇五郎(印)、宮城 縣刈田郡中目村外二ヶ村 戸長役場)代人)	渡辺儀藏殿	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	10	9	48	(領収証、明治廿年第一期分山林租拾錢八リ)	明治廿年八月十八日	戸長・小関勇五郎(印、宮城縣刈田郡中目村外二ヶ村戸長役場)代リ	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	49	(領収証、土地台帳費六錢)	明治二十年八月十五日	(印、宮城縣刈田郡中目村外二ヶ村戸長役場)	森合村・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	50	領収書(明治廿年度地方税地租割一期九拾五錢弍リ)	明治廿年八月十八日	中目村外二村戸長・小関勇五郎(印)代リ	中目村・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	51	領収書(地方税弍円弍拾五錢七厘)	明治廿年八月十八日	中目村外二村戸長・小関勇五郎代リ	中目村・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	52	(領収証、村費四拾壹錢四厘)	明治廿年八月十八日		森合村・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	53	(領収証、村費五拾四錢弍厘)	明治廿年八月十八日		中目村・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	54	(領収証、田租五錢六厘)	明治廿年八月十八日	戸長・小関勇五郎(印)代リ	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	55	(領収証、地方税三拾五錢九厘)	明治廿年十二月一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	56	(領収証、土地台帳費六錢八厘)	明治廿年十二月一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	57	(領収証、備荒公儲金四錢七厘)	明治廿年十二月一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	58	(領収証、田租五拾三錢)	明治廿年十二月一日	戸長・西田泰一郎(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	59	(領収証、田租五拾三錢)	明治廿年十二月一日	戸長・西田泰一郎(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	60	(領収証、地方税拾四錢三厘)	明治廿年十二月一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	61	(領収証、土地台帳費弍錢弍厘)	明治廿一年十二月一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	62	(領収証、田租拾九錢壹厘)	明治廿年十二月一日	戸長・西田泰一郎(印)	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	63	(領収証、田租拾九錢壹厘)	明治廿年十二月一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	64	(領収証、備荒公儲金)	明治廿年十二月一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	65	(領収証、地方税三拾六錢七厘)	明治廿年十二月一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	66	(領収証、備荒公儲金四錢九厘)	明治廿年十二月一日		納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	67	(領収証、土地台帳費名寄調割郡費拾四錢六厘)	明治廿年十二月一日		納人・渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	68	(領収証、第二期分田租四拾九錢三厘)	明治廿年十二月一日	戸長・西田泰一郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	69	(領収証、第四期分田租四拾九錢三厘)	明治廿年十二月一日	戸長・西田泰一郎	渡辺儀藏殿	状	
W7	1	10	9	70	(寢、納金ノ三円七拾六錢書上)	(明治) 二十年十二月一日		渡辺儀藏	状	
W7	1	10	9	71	(領収証、村費第二期地価割拾五錢弍厘)	明治廿年九月十二日		白石本郷納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	10	1	(帶封、高倉・川張廿年諸上納)	(明治20年)			状	
W7	1	10	10	2	(領収証、明治廿年度村費地価割第一キ拾錢三リ)	明治廿年八月十六日	(印、戸長役場)	川張村納人・渡部儀藏	状	こより共
W7	1	10	10	3	(領収証、第一期地方税地租弍拾四錢)	明治廿年八月十六日	伊具郡川張村外二ヶ村戸長・山本美雄(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	4	(領収証、第一期畑租弍拾五錢七厘)	明治廿年八月十六日	伊具郡川張村外二ヶ村戸長・山本美雄(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	5	(領収証、地押費追加七錢)	明治廿年五月十二日	川張村外二ヶ村戸長役場(印)	川張村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	10	6	(領収証、明治廿年第一期畑地租弍円六拾八錢壹厘)	明治二十年七月廿四日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	高倉村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	7	(領収証、第一期山林地租壹錢七厘)	明治二十年七月廿四日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏	高倉村・渡邊儀藏殿	状	

箱 番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	1	10	10	8	(領収証、第一期分宅地租貳拾七錢七厘)	明治二十年七月廿四日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏	高倉村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	9	(領収証、第六期分田地租六円拾七錢四厘)	明治廿年四月十一日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏	高倉村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	10	(領収証、第五期分田地租六円拾七錢四厘)	明治廿年三月十七日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏	高倉村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	11	(領収証、地押調査費壹円八拾八錢壹厘)	明治廿年一月四日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	渡邊儀藏	状	
W7	1	10	10	12	(領収証、名寄調製費壹円拾八錢)	明治廿年一月四日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	渡部儀藏	状	
W7	1	10	10	13	(領収証、田地租六円拾七錢四厘)	明治廿年一月十六日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	高倉村・渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	10	14	(領収証、田地租六円拾七錢四厘)	明治二十年十一月卅日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	高倉村・渡部儀藏殿	状	
W7	1	10	10	15	(領収証、明治廿年度地方税地租割など合計七円四拾六錢)	明治二十年十一月卅日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	納人・渡邊義藏	状	
W7	1	10	10	16	(領収証、明治廿年第二期分山林地租壹錢七厘)	明治二十年十月十五日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	高倉村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	17	(領収証、明治廿年第二期分宅地租貳拾七錢七厘)	明治二十年十月十五日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	高倉村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	18	(領収証、明治廿年度堤川修繕費四拾錢四り)	明治廿年十月十一日	高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	渡邊義藏	状	
W7	1	10	10	19	(領収証、明治二十年第二期分畑地租壹円六拾八錢壹厘)	明治二十年十月十五日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	高倉村・渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	20	(領収証、明治廿年度地方税地租割・村費地価割合計六円八拾貳錢九厘)	明治廿年八月十一日	伊具郡高倉村外三ヶ村戸長・黒田文藏(印)	高倉村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	10	21	(領収証、明治二十年第二期地方税地租割貳拾四錢)	明治二十年十二月二日	伊具郡川張村外二ヶ村戸長・山本美雄(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	22	(領収証、明治二十年第三期田租貳拾三錢貳り)	明治二十年十二月二日	伊具郡川張村外二ヶ村戸長・山本美雄(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	23	(領収証、明治二十年第二期村費地価割・備荒公儲金合計拾三錢五り)	明治廿年十二月五日	(印、川張村外二ヶ村戸長役場)	川張村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	10	24	(領収証、明治二十年第四期田租貳拾三錢貳厘)	明治二十一年一月十日	伊具郡川張村外二ヶ村戸長・山本美雄(印)	渡邊儀藏殿	状	
W7	1	10	10	25	(領収証、明治廿年第五期田租貳拾三錢貳り)	明治廿一年二月廿八日	伊具郡川張村外二ヶ村戸長・山本美雄(印)	邊渡<フ>儀藏殿	状	
W7	1	10	10	26	(領収証、名寄調製費貳錢)	明治廿一年二月廿日	(印、川張村外二ヶ村戸長役場)	川張村納人・渡邊儀藏	状	
W7	1	10	11	1	(帯封、常林寺及上納切符)	(明治20年)			帯封	
W7	1	10	11	2	(領収証、第三期分田租拾四錢六厘)	明治十九年十二月十日	戸長・斎藤吉弥	朽木隆暁殿	状	
W7	1	10	11	3	(領収証、地方税地租割第二期追加地方税戸数割四拾五錢四厘)	明治十九年十二月十日		納人・朽木隆暁	状	
W7	1	10	11	4	(領収証、地方税地租割第二期九錢七厘)	明治十九年十二月十日		納人・朽木隆暁	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7 1	10	11	5		(領収証、第三期分田租廿六錢八厘)	明治十九年十二月十日	戸長・斎藤吉弥	朽木隆晚殿	状	
W7 1	10	11	6		(領収証、郡山地内堤防修繕費五錢六厘)	(明治19年)		朽木隆晚	状	
W7 1	10	11	7		(領収証、修繕費五錢六厘)	明治二十年二月十一日	中目村外二ヶ村戸長・小関勇五郎	納人・朽木隆晚	状	
W7 1	10	11	8		(納金督促状、地押費用見通制筆数割六拾四錢六厘)	(明治)十九年五月		森合村朽木隆晚(代リ)・小関重吉	状	
W7 1	10	11	9		領収書(地方税地租割第二期村費地価割第二期拾四錢四厘)	明治二十年十二月七日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥	朽木隆晚	状	
W7 1	10	11	10		領収書(公儲金壹錢三厘)	明治二十年十二月十日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥	朽木隆晚	状	
W7 1	10	11	11		(領収証、三・四期分田租五拾三錢四厘)	明治二十年十二月十日	戸長・斎藤吉弥	常林寺殿	状	
W7 1	10	11	12		(領収証、三・四期分田租貳拾九錢貳厘)	明治二十年十二月十日	戸長・斎藤吉弥	朽木隆晚殿	状	
W7 1	10	11	13		(領収証、地押方台帳引合費六錢九厘)	明治廿年十二月十日		納人・朽木隆晚	状	
W7 1	10	11	14		(領収証、台帳引合費追加壹錢壹厘)	(明治21年)三月十五日		納人・朽木隆晚	状	
W7 1	10	11	15		(領収証、第六期分田租拾四錢六厘)	明治廿年四月十一日	戸長・斎藤吉弥	朽木隆晚殿	状	
W7 1	10	11	16		領収書(公儲金四錢九厘)	明治二十年十二月七日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥	萩本千念	状	
W7 1	10	11	17		領収書(地方税地租割第二期村費地価割第二期五拾三錢三厘)	明治二十年十二月十日	白石本郷外三ヶ村戸長・斎藤吉弥	萩本千念	状	
W7 2	1	1	1		(封筒、仙台二日町佐藤徳之助大物代金帯金一件二付御訴訟→巻入)	明治六年西四月十七日～六月四日			封筒	「白石長町小関御菓子所」の封筒を再利用
W7 2	1	1	2		(包紙、伊具郡大蔵村佐藤常治訴訟事件示談につき)	明治貳拾壹年十月廿七日			包紙	
W7 2	1	2			証(代香料貳円受取につき)	明治廿一年九月五日	木村一衛(印、木村)	渡辺儀藏代・菊地吉治殿	状	
W7 2	1	3			受取証(伊具郡大蔵村被告佐藤常治訴状送達為シタル賃金六拾五錢につき)	明治廿一年九月七日	仙台始審治安裁判所使庁取締・後藤恒久、鈴木味之助(印)	原告・渡辺儀藏殿	状	
W7 2	1	4			(覚、大蔵村佐藤常治一件のため裁判処へ五拾円・貳拾円証券式通真治渡すにつき)	明治廿壹年九月廿三日			状	
W7 2	1	5			(覚、訴訟のため書類訴状正副八通印紙金六円五拾錢分貼用につき)	明治廿壹年九月五日			状	
W7 2	1	6			(覚、佐藤常治金五拾円、午二月ヨリ酉拾壹月迄利金五拾七円五拾錢など合計百貳拾五円勘定につき)	(明治21年)			状	
W7 2	1	7			(覚、印紙料六円五十錢などにつき)	明治廿一年九月十一日			状	
W7 2	1	8			記(拾五年二月壹日、金五拾円など佐藤常治分貸金書上)	明治十八年十一月			状	
W7 2	1	9			(覚、願書へ印紙を貼用判金六円五拾錢など佐藤常治身代限りのため裁判処へ届け方出願方へ伊藤庄助殿依頼・入費書上)	明治廿壹年		渡辺儀藏殿	状	
W7 2	1	10			(覚、明治十五年二月二日、田反別式反六畝代金五拾円など書上)	(明治21年)			状	
W7 2	1	11			(証文、田地四反十式分書入、抵当にて金四拾円借用につき)	明治十二年十二月廿二日	佐藤常治(印)	渡部儀藏殿	状	
W7 2	1	12			大蔵村佐藤常治身代限り調之巻	明治十八年十一月廿六日			冊	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	2	1	13		地所永代売渡証(写、反別五反廿九步、売渡金百四拾貳円貳拾五錢)	明治十八年十二月	伊具郡大蔵村売渡人・佐藤常治	刈田郡白石本郷・渡邊儀蔵殿	冊	
W7	2	1	14		地所売買定約証(反別五反廿九步、売渡金百四拾三円三十三錢三リ)	明治二十一年十月十一日	伊具郡大蔵村売渡人・佐藤常治(ほか2名)	渡辺儀蔵殿	冊	
W7	2	1	15		ひかへ(佐藤常治財産目録)	明治二十一年十月十六日			冊	
W7	2	1	16		上伸書(渡辺儀蔵ヨリ被告佐藤常治への地所抵当身代限り分賦要求につき)	明治二十一年九月廿九日	宮城県伊具郡大蔵村十四番地平民・被告・佐藤常治(印)(ほか原告代人2名)	仙台始審裁判所判事試補・井沢威殿	状	
W7	2	1	17		御検印願(佐藤常治へ係る身代限り分賦要求につき)	(明治21年)	宮城県刈田郡白石本郷或百三十番地平民・原告・渡邊儀蔵(印)		状	
W7	2	1	18		代人願(佐藤常治へ係る訴訟につき)	明治二十一年九月五日	(宮城県)磐代国刈田郡白石本郷(式)百三十番地平民・本人・渡邊儀蔵(印)(ほか代人2名)	仙台始審裁判所長・久保秀景殿	状	「受理(同日)・判事試補・井澤威(印)」とあり
W7	2	1	19		委任状(佐藤常治へ係る訴訟、代人菊地吉治へ一切の権限付与につき)	明治二十一年九月五日	宮城県磐代国刈田郡白石本郷二百三十番地平民・本人・渡邊儀蔵(印)		状	
W7	2	1	20		地所抵当貸金身代限り分賦要求ノ訴訟口御日延願	明治二十一年九月十四日	宮城県磐代国刈田郡白石本郷三百三十二番地平民・原告代人・菊地吉治(印)、代書人・本村一衛(印)	仙台始審裁判所判事試補・井沢威殿	状	「受理(同日)・判事試補・井澤威(印)」とあり
W7	2	1	21		(通知、盗難品拾外拾五品、買代金拾五円五拾錢、中目村平民佐久間久蔵より償還を受くべきにつき)	明治二十一年十月十七日	第一大区小区刈田郡本郷・質屋営業人・渡邊儀蔵		状	
W7	2	1	22		(通知、盗難品拾外拾五品、買代金拾五円五拾錢、中目村平民佐久間久蔵より償還を受くべきにつき)	明治二十一年十月十四日	(印、仙台裁判所)	宮城県平民・磐代国刈田郡白石駅・渡邊儀蔵	状	
W7	2	1	23		(覚、佐久間久蔵盗品細糸入袴など十六品・拾五円五十錢書上)	(明治二十一年十月)			状	
W7	2	1	24		依頼証之事(今般親死亡代替り、親代の通り万事御任せ悉皆御頼依仕置候につき)	明治十年十月■月	宮城県磐代国刈田郡白石本郷四百六十一番地平民・質屋営業・渡部儀蔵(印)	白石本郷本町三百八十五番地・上西半兵衛殿	状	
W7	2	1	25		御請書(佐久間久蔵より買取品々御不審の廉<???=>兼>あり品物書上)	明治二十一年六月六日	磐代国刈田郡白石本郷字中町四百六十号番地平民・質屋営業・時宗・渡邊儀蔵(印)	大川原<???>警察署御中	冊	
W7	2	1	26		御請書(佐久間久蔵より買取之品今般大田又左衛門召し捕られ盗品判明につき)	明治二十一年六月六日	渡辺儀蔵	大河原警察署御中	冊	
W7	2	2	1		覚(仙台二日町佐藤徳之助江白石本町国井屋徳治郎口入ヲ以取引仕候帳面之写)	壬申(明治5年)十一月九日	白石中町・渡部屋儀蔵(印)		冊	
W7	2	2	2		(書状、堤サマより仕入金の義につき)	(明治6年)五月廿五日	兄	甚蔵殿	状	
W7	2	2	3	1	指出し申一札之事(金貳百五十九円貳錢余)	(明治6年)			状	
W7	2	2	3	2	(書状、滞金借用罷在候所、今般御訴訟につき)	(明治6年)	拜借人・佐藤徳之助他三名		状	
W7	2	3			指出申候一札之事(佐藤徳之助太物買代金滞候のため御訴訟につき)	明治六年四月十五日	同(渡辺)儀蔵親類・上西半兵衛	宮城県七等出仕・完戸昌様	状	
W7	2	4			乍恐以書附奉御訴訟候(雛型)	(明治6年)			状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	2	5			(書状、<カ>御契約御同様故、紙面御認めにつき)	(明治6年)五月廿日	白石より・同(渡辺)甚蔵	御城下國分町・渡辺儀蔵様、傳五郎様	状	
W7	2	6	1		乍恐以書附奉願候(佐藤徳之助貸金滞出入訴訟につき)	(明治6年)			状	
W7	2	6	2		乍恐以書附奉願上候(佐藤徳之助へ貸金滞出入訴訟につき)	(明治6年)			状	
W7	2	7	1		(包紙)	(明治6年)四月廿一日	同(渡辺)甚蔵	御城下・名幸様二面・渡辺儀蔵様	状	
W7	2	7	2		(書状、甚蔵罷越相頼み勘弁なく存じ候につき)	(明治6年)四月廿一日	白石・同(渡辺)庄松、左吉	渡辺義蔵様、傳五郎様	状	
W7	2	7	3		(書状、御叔父様方へ相伺い、御役々御印形不殘申請指上申候につき)	(明治6年)四月廿一日	甚蔵	御兄様	状	
W7	2	7	4		(書状、島山より紙相場委細相認め遣候様申し参り候につき)	(明治6年)四月十九日	甚蔵	御兄様	状	
W7	2	8			(書状、先日は速路御出張何角御厚配御礼につき)	(明治6年)			状	
W7	2	9	1		(包紙)	(明治6年)	最上屋平内(印)	國分町・名孝様御止宿・渡部儀蔵様	状	
W7	2	9	2		(書状、長町寅吉殿仕入金拾両貸し渡し候につき)	(明治6年)五月十五日	最上屋平内(印)<シ>ガミー→白石・中町・最上屋	○御主人様	状	
W7	2	10			(書状、郵便ヲ以井丸御叔父様より委細仰せ上げられ候につき)	(明治6年)四月廿五日	○甚蔵	御兄様	状	封筒共
W7	2	11			(書状、県庁より小学校筆学先生に山内様仰せ付けられ一同入学相成候につき)	(明治6年)五月十九日	甚蔵	御兄様	状	
W7	2	12			(書状、家内一統三家共無事、<カ>様御書付御覧に入れ、および大惣殿代金為替の件などにつき)	(明治6年)五月十八日	○甚蔵	御兄様	状	
W7	2	13			(書状、此度一条昨今対決にも相成、何を申すも物入多分など申上候につき)	(明治6年)五月九日	(此衆・同)庄奈	(白石中町二面)義蔵様、傳五郎様	状	
W7	2	14			仙臺二日町佐藤屋徳之助江同所南町国井屋清次郎口入ヲ以取引仕候紙面之写	壬申(明治5年)十一月	白石・渡部屋儀蔵(印)		冊	
W7	2	15			(書状、阿子島殿蔵分出火ながら類焼など無く安心仕候、段々一件示談御利解ありなどにつき)	(明治6年)五月廿二日	兄分	甚蔵殿	状	
W7	2	16			(書状写、一件之義十四日にも御呼出し、又々十五日に追願申上、示談相成兼ね、および井丸御叔父様申上などにつき)	(明治6年)五月十九日	傳五郎、義蔵	丸角・井丸御両君様、甚蔵殿	冊	
W7	2	17			(書状追伸、先日徳五郎便をもって金四拾兩<カ>太<カ>受取などにつき)	(明治6年)五月廿二日			状	
W7	2	18			(書状、大石屋分今日金四拾兩請取、および先日送られ候鴨縮式反不用のため相戻し申候などにつき)	(明治6年)五月十九日	兄分	甚蔵殿、半平殿	状	
W7	2	19			乍恐以書付奉願上候(下書、渡辺儀蔵より佐藤徳之助へ貸金滞金出入訴訟につき)	明治六年五月十日			状	
W7	2	20			(書状、一件追々延引、歎願書指出し下宿仕候處、および清治郎方は砂糖代金見詰御出荷下され候などにつき)	(明治6年)五月十三日	兄分	甚蔵殿、半平殿	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	21	1			(書状、当方江は御説諭仰せられ何分御心強く御歎願成され候様仕りたく存じ候につき)	(明治6年)五月十五日	(白石石)左吉	(仙台国分町二而)儀藏様、傳五郎様	状	包紙共
W7	21	2			(書状、対決の場へ至り大丈夫の御覚悟決心も心安じべからずにつき)	(明治6年)五月十五日	小林覚徳	渡部儀藏様	状	
W7	21	3			(書状、為替申問候間、御都合御指図成し下されたく願ひ上げ候などにつき)	(明治6年)五月十五日	○甚藏	御兄様	状	
W7	21	4			(封筒)	(明治6年5月)十五日	白石石・同苗左吉	仙台御出張先・渡部儀藏様	封筒	
W7	22				(封筒)	(明治6年5月)九日	(白石石)同(渡辺)甚藏	御城下御桌下・渡辺儀藏様	封筒	
W7	23				(封筒)	(明治6年5月)十八日	(白石石)同(渡辺)甚藏	城下御出張先二而・渡辺儀藏様	封筒	
W7	24				(書状、二日町佐藤屋助七事大村屋庄左衛門・佐藤屋徳之助江其御抜い白石中町渡邊屋儀藏太物取引益勘定延引催促につき)	庚午(明治6年)十月	仙台二日町坊長・嵯峨順作・同大町三四五丁目同・清水惣三郎	白石中町・市長・佐藤虎五郎様	状	包紙共
W7	25				(書状、過日御注文申上候紙布縮のほかに式反極々至急御取寄下されたく願上につき)	(明治6年)五月四日	宗方成兵衛	渡邊儀藏様	状	
W7	26				(通知、明九日第十字当字江遅延無く罷出につき)	(明治6年)	(白石石)支庁(白石本郷二等戸長・吉野直十郎)	白石本郷・渡邊儀藏、外二指添吉人	状	封筒共
W7	27	1			(書状、紙布紙料段々願ひ、金拾五兩程相渡候、渡人分申問には中町旦那の大金請け返金の儀、中町小旦那へ頼み呉候様相談あるにつき)	(明治6年)旧四月廿七日	(白石石)堤権左衛門平安	(仙台本町・名取屋幸八様御宅二而)渡部儀藏様	状	包紙共
W7	27	2			(書状、飛脚者戻し委細申上候、定而御心配何程か御安心成し下され候、およびχナ>などへ貸金方につき)	(明治6年)五月廿三日	○甚藏	御兄様	状	
W7	28				口上(相願候紙布縮式反につき)	(明治6年)七月八日	宗方成兵衛	渡部儀藏様	状	
W7	29	1			(封筒)	(明治6年)五月七日	白石石・同甚藏	御城下国分町・名取屋幸八様御宅二而・渡辺儀藏様	封筒	
W7	29	2			(書状、χ山>にて今般売私・買付、およびχ大>へ三拾枚相送るべく候につき)	(明治6年)五月七日	○甚藏	御兄様	状	
W7	29	3			(書状、五日高甚殿帰宅、および斎藤殿へ御送りの品物参着などにつき)	(明治6年)5月7日	(甚藏)	(御兄様)	状	
W7	29	4			(書状、ちん代相掛りのため見合わせ申すべく候などにつき)	(明治6年)五月七日	○甚藏	御兄様	状	
W7	30	1			(封筒)	(明治6年)五月二日	白石石・同甚藏(印、白石・中町・渡邊屋)	御城下国分町・名取幸八様御宅二而・渡辺儀藏様	封筒	
W7	30	2			(書状、隣山田屋掃宅仰せ下され安心仕候、当地にては五月一日市長衆へ指出候などにつき)	(明治6年)第五月二日	○甚藏	御兄様	状	
W7	30	3			(書状、井丸契様より郵便をもって明後日仰せ上げられ彼箱御借り、今日菊庄殿取計候などにつき)	(明治6年)第五月四日	○甚藏	御兄様、傳五郎様	状	
W7	31				(書状、対決之儀埒明申さず御決意の通り、佐・傳等御人へ対決願御差出し成され候などにつき)	(明治6年)五月九日	佐吉	儀藏様、傳五郎様	状	封筒共

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	2	32			(書状、昨日留主中御光来の由、一件方持病の疝氣相発し難義仕候につき)	(明治6年)四月十二日	小林覚菫	渡部儀藏様	状	
W7	2	33			(書状、只今より御本丸へ参り申したく御用向御繰合御供につき)	(明治6年)四月廿日	奥山	渡儀様	状	
W7	2	34			(書状、先日の紙布縮御頼み申候早速送付の御札、および白三反にて三河巻歩式朱のところ四両差上候につき)	(明治6年)五月十五日	宗方(成兵衛)	渡邊(儀藏)様	状	包紙共
W7	2	35			(書状、肴町一条此頃かんのや利藏殿参り相談、先日中取極メ申聞候などにつき)	(明治6年)四月廿七日	白石・渡邊屋甚藏	御城下国分町・渡辺儀藏様	状	
W7	2	36			(書状、名幸氏尽力御頼みに罷成、および別而の手続とは申し兼ね候などにつき)	(明治6年)五月九日	小林覚菫	渡部義藏様	状	
W7	2	37			寛(訴訟示談金・入料メ四両受取につき)	とり(明治6年)五月廿九日	内藤徳次	松治郎様	状	
W7	2	38			(書状、先般貴答は丸角の兄様へ報告申上候、小林氏一昨廿二日夜帰宅の由、甚藏方へ報知あり、および持参の桑苗芝辻方へ相談取方付などにつき)	(明治6年)四月廿四日	佐吉(従白石・渡邊佐吉)	義藏様、傳五郎様(仙臺國分町郷宿・名取屋幸八様止宿二而・渡部儀藏様)	状	封筒共
W7	2	39			(封筒)	(明治6年)四月十五日	白石石・同(渡辺)甚藏(印、白石中町)	城下國分町二而・渡辺儀藏様	封筒	
W7	2	40			(書状、御親父様御別紙并衣類等御廻し成し下さる分、持たせの件願い、上げにつき)	(明治6年)五月九日	白石石・同苗・甚藏	御城下御出張・渡辺傳五郎様	状	
W7	2	41			(書状、諸紙<ヤ>大>并清治郎方へ荷着次第相送り申すべく候、および秀太郎指し遣し御用向などに御使い下され候につき)	(明治6年)五月九日	甚藏	御兄様	状	
W7	2	42			(書状、昨七日清治郎より状着、沙とふ六樽相送り呉候と申し参り、および<ヤ>大>へ荷物送付などにつき)	(明治6年)五月八日	○甚藏	御兄様	状	
W7	2	43			(書状、貴君様御紙面、身に余り御家内様御中察し奉り候につき)	(明治6年)五月九日	御内二而・遠藤儀藏	御旦那様	状	
W7	2	44	1		乍恐追訴奉歎願候(控、太物代帯金一件につき)	明治五年	磐城国第十七大區刈田郡小區白石中町・訴人・渡邊儀藏(まか3名)	宮城縣御廳	状	2紙1点
W7	2	44	2		(覚、歎願書訴人など氏名の写し)	(明治5年)			状	
W7	2	45			(宮城県布令字、男子月代禁止、開明の風俗に相進候につき)	明次六年二月	宮城縣權參事・遠藤温	第十七大区・区長	状	
W7	2	46			(封筒)	(明治6年)■月廿五日	自白石・同甚藏	御出張先・渡辺儀藏様	封筒	破損あり
W7	2	47			(書状、三十日御認め貴札小原の衆が一昨晩相届け呉候由、山田の伝意とは大いに相違のため示談埒明かね、および小麦・温麵・米など諸品下落の様子などにつき)	(明治6年)五月二日	佐吉(白石石・同苗・佐吉)	儀藏様、傳五郎様(御縣下御出張先・渡邊儀藏様)	状	破損あり、封筒共
W7	2	48			乍恐以書付奉御訴訟候(下書、太物売代金滞難決につき)	明治六年四月	訴人・渡邊儀藏(印)(まか4名)	一等戸長・山田信胤殿	冊	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7 2	49				乍恐大物代滞金一件二付追訴奉敷願候(控)	明治五年	磐城国第十七大区刈田郡小一區白石中町四百四十四番屋敷住居・商・訴人・渡邊儀蔵(印)(ほか4名)	一等戸長・山田信胤殿	冊	「親類・農・小林覚進」の署名あり
W7 2	50	1			(断簡、4種の印あり)	(明治6年)			状	4紙1点
W7 2	50	2			記(大物代滞金拾円請取につき)	明治六年五月廿九日	渡辺屋儀蔵	佐藤屋徳之助様、 渡邊<ツツ> 徳治様	状	
W7 2	50	3			覚(替ちん拾五五分など勘定につき)	西(明治6年)ノ五月	佐藤屋徳之助	渡義様	状	
W7 2	50	4			(書状、ぜひ塩釜江参り申したく候などにつき)	(明治6年)五月廿一日	薄見屋秀右衛門	渡辺義蔵様	状	W7-2-50-6とほぼ同じ内容
W7 2	50	5			指出し一札之事(案、大物代滞金貳百五十九円余の返済につき)	(明治6年)	(徳之助)		状	W7-2-50-6とほぼ同じ内容
W7 2	50	6			指出し申一札之事(案、大物代滞金の返済につき)	(明治6年)	(徳之助)		状	W7-2-50-5とほぼ同じ内容
W7 2	50	7			乍恐書付ヲ以奉申上候(渡辺儀蔵と佐藤徳之助の訴訟につき)	(明治6年)	(渡辺儀蔵)		状	
W7 2	50	8			金子借用証文之事(大物代滞金の返済に関する訴訟につき)	(明治6年)			状	W7-2-50-5とほぼ同じ内容
W7 3	1				(書状、先達の御馳走御礼、および角田笹利よりの別紙につき)	(近世・年未詳)十二月十一日	<オ-ダ> 宍生>茂吉	<ツツ久>御主人様(平兵衛様)	状	封筒共、付箋「紙方一巻関係」とあり
W7 3	2				(書状、白神遇印百文のためこのうち新品直下げなどにつき)	(近世・年未詳)五月廿四日	平右衛門	傳三郎様(ほか23名)	状	
W7 3	3				乍恐奉願候御事(不景気のため醤油売り捌き御吟味願いにつき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 3	4				覚(白石方正出金五拾両など差引ノ百七拾切余勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 3	5				(願書案、諸紙払底のため御店方完買御指支に相至り御寄合御吟味罷成につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 3	6				(覚、御別紙の通り御直買仰せ付けられ候御首尾につき)	(近世・年未詳)三月十二日	三助	直次郎様	状	
W7 3	7				(願書、去年格作不熟のため上牧原地元買入直段金壹切にて七拾半より九拾位まで高直による商売薄利につき)	嘉永四年二月	刈田郡白石中町・紙中場・善次(印)(ほか2名)	検断・兵助殿(ほか2名)	冊	奥印:白石町検断 三治郎(印)(ほか2名)→大肝入・阿部傳右衛門殿
W7 3	8				(覚、白石町石津屋十良左衛門・同町渡邊義蔵方より買調候紙直段につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 3	9				小売直段書(秋原上三百廿文など紙類につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 3	10				(書状、九日二ノ荷物参着致候、昨九日丸森出張仕候也、諸紙弥増高直などにつき)	(近世・年未詳)十二月十日	笹森や利兵衛	白石町・阿子嶋屋様	状	
W7 3	11				地元買入直段・御城下紙店へ売払候直段(中舟八拾位より九拾半位迄など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 3	12				(覚、地元買入直段中舟金壹切に五帖より五帖半程迄など当時諸紙地元買入直段并御城下表の駄送の上売払候直段取調につき)	(近世・年月日未詳)			状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	3	13			順達(紙商売の義此度御上様より仰せ渡されたため御相談仕りたく、広嶋屋八重治宅へ御寄合下され候につき)	(近世・年未詳)四月二日	善治(まか2名)	本町・庄助様(まか11名)	状	
W7	3	14			(書状案、諸紙荷不足のため過ル廿八日出張に都合五駄の高手配に及び候につき)	戊(近世)正月元日			状	
W7	3	15			覚(上秋原金吾歩二付四帖三分五帖迄など紙直投書上)	酉(近世)ノ七月二日	渡部屋儀藏(印)		状	
W7	3	16			覚(良助式百帖・弥右衛門百帖などメ四千三百五十帖勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	3	17			写(覚、皮格受け払い始末のため白石町紙中揚ヶ商人と御城下紙商人加藤直助など御国産方一件につき)	(安政6年)十一月廿八日	白石三人	御河公様	冊	
W7	3	18			乍恐奉願上候御事(案、此度諸品直下ケのため難儀、御吟味成し下されたくにつき)	(近世・年月日未詳)	短町・紙中揚商人・平助(まか2名)	米竹三次郎殿(まか2名)	状	
W7	3	19			(覚、郡方へ御書出之通り紙直投御書調、明早朝私方へ相廻され申すべく候につき)	(近世・年未詳)二月十八日	三治郎	甚藏殿	状	
W7	3	20			(書状、仲間一統寄合任り、飛脚をもつて申し遣し候につき)	(近世・年未詳)九月十二日	後藤屋吉藏、三浦屋徳兵衛	渡辺屋儀藏様(まか2名)	状	
W7	3	21			当秋紙御城下勘定直投書上左二申上候	卯(近世)ノ九月朔日	丸森中揚中仲間	白石中揚御仲間様中	状	
W7	3	22			(覚、別紙の通り御廻し申上候間、御当番のため願上候につき)	(近世・年未詳)十二月十日	佐兵衛	茂吉様	状	
W7	3	23			(書状、直投書并二品物成行など御挨拶仰せ下すべく候につき)	(近世・年未詳)九月十五日	後藤屋吉藏、三浦屋徳兵衛	渡辺屋儀藏様(まか2名)	状	
W7	3	24			(書状案、丸森町才藤屋善右衛門殿俵、買方のため当所へ御越居候につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	3	25			(覚、諸紙売買相場取調、当時市中売買直投申上候につき)	(近世・年月日未詳)			状	後欠
W7	3	26			(書状案、当秋相場引下ケ買方仕るべきも無く候などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	3	27			紙小売直投(目録上中・秋原上中下など書上)	(近世・年未詳)十二月九日	紙中間		状	
W7	3	28			乍恐同上書ヲ以奉申上候御事(楮不熟米高直のため紙漉人共難渋につき)	(近世・年未詳)九月五日			状	
W7	3	29			直投書(正月・五月の秋原につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	3	30			写(大肝入阿部傳右衛門よりの達、紙商人楮皮取扱御郡控外の趣、一統御心得有るべきにつき)	(近世・年未詳)十一月廿五日	検断・清太郎(まか5名)	紙中揚商人・義藏殿(まか2名)	状	返信として「大肝入・阿部傳右衛門」→「検断兼」→「紙中揚商人」とあり
W7	3	31			(覚、秋原など諸紙直下げ売買につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	3	32			写(刈田郡にて漉出しの諸紙地元直投御吟味につき)	天保十年十一月	白石町検断・三治郎(まか4名)	大肝入・阿部伝右衛門殿	状	
W7	3	33			地元小賣諸紙直投書(上杉原など諸紙直下げ商売仕候につき)	万延元年五月	良吉(まか3名)	三次郎殿(まか2名)	状	
W7	3	34			(覚、上杉原など諸品直下げ仰せ渡され候につき)	万延元年五月	白石町紙商人・平兵衛(まか3名)	兵助殿、三次<郎殿>	状	前欠

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	35				(書状案、諸紙格別直段引下ケ商売罷在候につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	36				(書状案、御城下表諸品直下ケの義御趣意をもって仰せ渡され候につき)	卯(近世)十二月廿二日			状	
W7	37				丸森之直段書写(上之杉原など丸森中揚より御城下への売直段につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	38				直段書上左ニ(杉原など紙直段取調につき)	(近世・年月未詳)十二月三日	丸森	白石様	状	
W7	39				(書状、御奉札の通り仰せ渡され候、御吟味相認メ指出につき)	(近世・年月未詳)五月廿六日	当番検断・清太郎	紙中揚・丹治殿(ほか3名)	状	
W7	40				(覚、別紙に諸紙直段書上候などにつき)	(近世・年月未詳)十二月七日	幸助	笹森屋善之助様	状	
W7	41				地元直段(中船・上杉原など諸紙につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	42				(覚、杉原上漣元ケ八帖より九帖位迄など諸紙直段書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	43				(書状、丸森市相場紙直段取調につき)	(近世・年月未詳)十二月七日	笹森や利兵衛	御城下紙中揚御一統様中	状	
W7	44	1			(覚、料紙式百帖など本光院買上紙代金につき)	戊(近世)三月	谷津廣治、武田源兵衛	小和田繁次様	状	帯封「本光院様御買上紙御首尾合書一巻」共
W7	44	2			(達、短ケ町同役手前より添書をもって申し付けにつき)	(近世・年月未詳)三月十二日	検断・三治郎	渡部屋儀藏殿	状	
W7	44	3			(覚、本光院買請紙早速取揃下さるべく候につき)	(近世・年月未詳)三月十一日	阿部豊輔	検断・兵助殿	状	
W7	45				(包紙)	(近世・年月日未詳)		白石本町ニテ・阿子嶋屋喜治様	状	
W7	46				(願書、金拵五両に利足をもって取引仕候様成し下されたく候につき)	安政六年五月	刈田郡白石町・質屋義藏(ほか3名)	三治郎殿(ほか2名)	状	
W7	47				(願書、市中相場取引のところで紙漣人共勝手の筋にも相至り候などにつき)	安政六年十二月	刈田郡白石町御城下・舟中揚・半兵衛(ほか2名)	検断・三治郎(ほか5名)	冊	
W7	48				當茂新紙賣直段書	文久四年戊十二月			状	
W7	49				覚(上杉原金巻歩につき四帖五分より五帖迄など諸紙直段書上)	酉(近世)七月二日			状	
W7	50				乍恐奉伺候御事(手揃に相成候迄は買方諸紙自分物置などへ人置、品相揃い、御城下払いに相登せ候様成し下されたく候につき)	天保七年二月	角田町・中揚商人・利兵衛、同所・御判肝入・清兵衛	大肝入・小嶋喜兵衛殿	状	
W7	51				急順達(此度諸品直下ケ仰せ渡され諸紙小買直段につき)	(近世・年月未詳)五月十八日	儀藏(ほか2名)		状	
W7	52				(書状案、諸品直下ケ仰せ渡され候御趣意をもって紙漣人共へも相談などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	前後欠
W7	53				御城下売高(大奉書金巻切につき八分など諸紙金額書上)	(近世・年月未詳)十二月朔日			状	
W7	54				(願書、楮直段に応じ紙相場の御吟味成し下されたく候につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	55				(書状、御産物御城下店に御送り兼ね、御挨拶成されるべく候などにつき)	(近世・年月未詳)十二月卅日	三浦屋徳兵衛、後藤屋吉兵衛	白石中揚・渡辺屋儀藏様(ほか3名)	状	
W7	56				(覚、中透四帖八分より六帖迄など諸紙直段につき)	未(安政6年)九月十五日			状	
W7	57	3			(書状、直段御時宜に応じ、御国用御間欠成すべく候などにつき)	安政六年未ノ九月			状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	3	58			(覚、上中舟七帖など諸紙直段につき)	(近世・年月日未詳)	渡辺本店・清助		状	
W7	4	1			温麺売立帳(桑嶋源若縁十六円など取引につき)	明治七年八月一日			冊	「明治七年七月吉日・生糸買方覚・生酒屋半兵衛」を再利用
W7	4	2			覚(温麺十六箇残金引替荷物御渡し申上候につき)	申(万延元年)ノ十一月廿二日	最上屋平次郎	文内様	状	
W7	4	3			覚(温麺代銀四拾貫八百八拾九匁など代金メ四両五分三朱相渡し候につき)	庚申(万延元年)七月廿九日	金原田・徳海店(印、<イ>眞 >奥伊達・金原田・徳海店)	梁川<イ>ヤキ>サマ御店	状	
W7	5	1	1		(包紙、生糸方・水油方一巻入)	申(万延元年)冬			状	
W7	5	1	2		入記(綿糸代式拾貳匁など代銀メ三貫七百七拾貳匁につき)	亥(文久3年)二月朔日			状	
W7	5	2			(書状、油直段御直し御払い下されたく候につき)	(近世・年未詳)十二月廿八日	桑折・佐藤新左衛門	白石・渡辺儀藏様	状	
W7	5	3			覚(水油拾壹貫五拾目代金壹両三分式朱相渡し候につき)	申(万延元年)七月廿七日	岩瀬屋音七	白石ノ勘次郎様	状	
W7	5	4			水油御通帳(十月六日廿貳貫七百目受取などにつき)	万延元年十月	○最上屋平次郎	<カ>辻>御店様	冊	包紙「水油通入<カ>辻>サマ」文中に(印、○)刻田白石中町・渡部」共
W7	5	5			覚(七月廿六日油皆掛拾三貫百目など取引につき)	(近世・年未詳)七月廿九日			状	
W7	5	6			覚(温麺四箇代金四両・六百八拾文など差上申候間、御入帳下され候につき)	戊(文久2年)四月廿八日	八巻や味右衛門	渡儀様	状	
W7	5	7			覚(水油拾三貫目入替樽代金壹両三分式朱・三百四拾三文相渡し候につき)	(近世・年未詳)十二月九日	金原田・徳海店(印、<イ>眞 >奥伊達・金原田・徳海店)	白石中町・渡辺屋儀藏様	状	
W7	5	8			覚(古樽十式本代錢九貫四拾八文など御差引分御遣し下さるべく候につき)	(近世・年未詳)十二月十一日	直三郎	渡部御店中様	冊	
W7	5	9			記(小岩喜右衛門殿ほか式入すつ巻目拾錢など取調につき)	(明治)廿年一月四日	佐藤佐助(印、岩代國・伊達郡・桑折驛・大ニ・佐藤佐助)	渡辺儀造様	冊	
W7	5	10			在油渡判取通(梁川八巻屋様通水拾三貫四百目など取引につき)	萬延元年十月吉日			冊	
W7	5	11			記(砂代金三拾錢受取につき)	(明治)十九年五月十日	同所・平治(印)	佐藤佐助様	状	こより共
W7	5	12			覚(代出し五十錢など代金メ壹円八錢四厘勘定につき)	(明治)廿年一月	大ニ	大工・和松殿	状	
W7	5	13			(覚、桑折の本陣より白石へ酒壺斗出産物持参につき)	申(万延元年)十二月廿九日	斎藤正五郎(印)		状	
W7	5	14	1		(書状、油代残金確認および前金御勘定依頼などにつき)	(近世・年未詳)十二月廿九日	桑折・本陣・新左衛門	白石・渡邊儀藏様	状	端裏に「熊鷹御持しとあり
W7	5	14	2		入記(内綿か糸九把・銀壹貫四百六十九匁などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	5	14	3		覚(水油百貫六百目代金壹両ト六拾四文不足のため御渡し下されたく候につき)	(近世・年未詳)十一月廿八日	安らねや精右衛門	寿丸御店様	状	
W7	5	14	4		覚(メ壹貫四百六拾九匁余御預り申上候につき)	亥(近世)ノ二月朔日	渡邊屋儀藏(印、奥州・白石・中町・渡部屋)	源左衛門様、御内様	状	
W7	5	14	5		(書状、先日生糸御送り下され当地油屋幸助殿方へ金子引替仰せ付けられ、および生糸相場御直段などにつき)	(近世・年未詳)二月十日	中島平兵衛	渡辺屋儀藏様、御店衆中様	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7 5 14	6				覚(生糸三貫八百七拾貳匁代金五拾五兩三分一朱・六文相渡し、相済候につき)	亥(近世)二月八日	つちや太助(印、奥州・福島・上町・榎屋)	舛屋要助殿、油屋幸助殿	状	
W7 5 15	1	1			(菓子袋、裏面に墨書「油切手入」とあり)	(近世・年月日未詳)	白石・長町〔 〕		袋	文字簿のため判読困難
W7 5 15	1	2			覚(皆掛貳拾四貫八百目壹樽・同貳拾四貫六百目壹樽売買につき)	亥(近世)七月十七日	小下倉村・忠兵衛(印)	中町・渡部屋御手代・藤兵衛様	状	
W7 5 15	2				(覚、渡辺屋義藏襖代金拾兩受取につき)	(近世・年月未詳)七月十日	小下倉村・忠兵衛(印)	(渡辺屋義藏)	状	
W7 5 15	3				覚(皆掛貳拾四貫八百目御改め下さるべく候につき)	亥(近世)ノ七月十一日	小下倉・油屋忠兵衛	渡部屋様	状	
W7 5 15	4				覚(金五兩請取につき)	(近世・年月未詳)七月廿日	小下倉村・忠兵衛(印)	渡部義藏様	状	
W7 5 15	5				(書状、小樽油代行き違い候由、金拾五兩僅二受取、水油直段も承知成し下されたく候につき)	亥(近世)ノ七月十五日	小下倉村・忠兵衛(印)	渡部屋義藏様、御手代・藤兵衛様	状	
W7 5 16					油通帳	萬延元年十一月	<カ)ヤ井>店	寿丸御店様	冊	
W7 6 1	1				(覚、寅吉貳拾貫目など書上)	(元治元年)			状	包紙「千年糸方巻」・こより共
W7 6 1	2				(覚、百〇式壹箇・八百廿九匁など取引につき)	(元治元年)			状	
W7 6 1	3				(覚、清右衛門買留のうち生糸九貫目につき)	(元治元年)十月十四日	検断・正右衛門	渡辺屋儀藏殿	状	
W7 6 1	4				(書状、高橋屋権三郎殿生糸買入の分、伊達商人へ売払候につき)	(元治元年)七月廿九日	山家清藏	白石中町・渡辺義平様	状	
W7 6 1	5				覚(糸買金八拾五兩御預り仕候につき)	子(元治元年)ノ九月廿六日	渡辺屋儀藏(印)	桑嶋与市様	状	
W7 6 1	6				覚(白石町商人義兵衛、生糸五貫七百四拾目買調につき)	元治元年七月廿九日	柴田郡大川原町御判肝入・久太郎(印)	金ヶ瀬町御判肝入・良左衛門様、御同役様中	状	
W7 6 1	7				(覚、生糸代金百八十六兩壹分式朱など引合につき)	(元治元年)			状	
W7 6 1	8				(覚、三本木ノ大三郎殿分五兩など代金メ拾壹兩式分三朱と三百文勘定につき)	(元治元年)六月廿九日	傳五郎、七五郎	上	状	
W7 6 1	9				覚(生糸九貫百六十匁代金百三拾貳兩余、差引殘金四拾七兩余相渡し候につき)	子(元治元年)九月廿六日	桑嶋与一郎(印、奥州・伊達・掛田・桑嶋)	渡辺屋清五郎殿	状	
W7 6 1	10				覚(代金十三兩貳分三朱など勘定につき)	(元治元年)十一月廿日	□右衛門(印、奥州・大河原<カ)三>)	渡辺屋半兵衛様	状	
W7 6 1	11				(書状、〇之義昨日迄二調達いたしし上申候廻行き届き申さずにつき)	(元治元年)十月五日	桑嶋与一郎	渡辺尊兄様、同豊吉様	状	
W7 6 1	12				(書状、先達而中、藤兵衛方へ御渡しに相成候金子につき)	(元治元年)			状	
W7 6 1	13				(覚、生糸御境目通過証雛型につき)	元治元年			状	
W7 6 1	14				(覚、鶴見屋長右衛門殿六貫九百四十六匁など勘定につき)	(元治元年)			状	
W7 6 1	15				(覚、角上三四式など諸品代銀メ九貫六百六十式匁勘定につき)	(元治元年)			状	
W7 6 1	16				(覚、三四式・式四九など諸品代銀メ式貫九百廿七匁勘定につき)	(元治元年)			状	前欠カ
W7 6 1	17				覚(忠人殿壹兩三歩式朱など人名・金額書上)	(元治元年)			状	

箱	番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	6	1	18			(書状、御入割仰せ下され候処、六五と六八を間違え申候につき、裏面に「メ壹貫貳百二十式匁」など勘定寛あり)	(元治元年)			状	
W7	6	1	19			口上(引合にて三澤村茶之丞殿生糸御遣し候につき)	(元治元年)六月廿五日	松兵衛	平吉様	状	
W7	6	1	20			寛(庄之助をもって入用金百両御届り成され御預りにつき)	子(元治元年)九月廿七日	米竹清右衛門	渡邊儀藏殿	状	
W7	6	1	21			約定手形之事(生糸拾八貫日前後など当月十一日取引につき)	子(元治元年)ノ七月四日	最上屋平内(印、奥州・白石・殿上屋)、藤藏	佐藤貴三郎様、山田豊三郎様	状	
W7	6	1	22			(書状、御預りの金子拾五両につき)	(元治元年)八月五日	山田豊三郎	白石中町・渡辺甚藏様	状	
W7	6	1	23			生糸高調(金壹両に上判御紋金など書上)	(元治元年)			状	
W7	6	1	24			(寛、五貫七百四十目書上)	(元治元年)			状	
W7	6	1	25			刈田郡出産之生糸出産高調(生糸貳百拾六貫目などにつき)	(元治元年)		儀兵衛殿	状	
W7	6	1	26	1		寛(生糸四百廿両程・正金四両など書上)	子(元治元年)ノ七月四日	質屋義藏	彦内殿	状	
	6	1	26	2		(書状、生糸方直々手配申上候につき)	(元治元年・月未詳)廿六日	井丸・隠居	○御主人様	状	
W7	6	1	27			(書状、御都合六反御役の儀は始末仕らず候につき)	(元治元年)六月十四日	山奈左市	白石中町・渡邊義藏様、御支配人様	状	
W7	6	1	28			指出申一札之事(私宅において生糸御取組成され候諸取引破談につき)	(元治元年)			状	
W7	6	1	29			指出置一札之事(五賀村豊三郎と拙者生糸売買約定仕候につき)	元治元年十一月四日	才藤兵三郎	渡邊儀藏様	状	
W7	6	1	30	1		人記壹(三八八・三六五などメ九貫七百五匁につき)	(元治元年)			状	
	6	1	30	2		人記二(三三三・三六三などメ九貫三百三匁につき)	(元治元年)			状	
W7	6	1	31			寛(買入代金指引貳百七拾八両三分ト錢七百四拾八文相払い申候につき)	(元治元年)七月四日	越後屋惣兵衛(印、奥州・梁川)	渡部屋儀藏様	状	
W7	6	1	32			人記(品番二〇など諸品代銀三貫六百五十六匁御引合につき)	(元治元年)九月廿一日	沢口安治	○御店様	状	
W7	6	1	33			(書状、直段の儀御相談申上候、九貫目にて代金百七拾五両成さるべく候などにつき)	(元治元年)十一月廿一日	左藤兵三郎	渡辺屋儀藏様	状	
W7	6	2	1	1		目印手札(御国産生糸真綿)	(元治元年)	御国産生糸真綿・受拂所出役・佐藤嘉右衛門		状	包紙共、同じ文書10点同封
W7	6	2	1	2		(寛、十八日柳町市メ金九十九両余差引につき)	(元治元年)十八日			状	
W7	6	2	1	3		寛(メ貳貫九百八十目代金三十七両ト五匁六分など書上)	(元治元年)			状	
W7	6	2	1	4		寛(生糸九貫目代金百四拾両引合のため内金七両請取につき)	子(元治元年)ノ六月廿五日	米竹清右衛門(印、カカ山>奥州・白石)、渡部屋儀藏	永之丞様	状	
W7	6	2	1	5		(寛、生糸貳拾七貫目三箇、渡邊屋儀藏買得のうち、油屋庄次郎へ売取のため指し送り越河御境目通行につき)	元治二年丑正月廿二日	御国産生糸白巻・受拂處(印)、見届・三浦平介(印)		状	
W7	6	2	1	6		七百八拾四番入記(生糸六貫八百四拾五匁指登せにつき)	子(元治元年)十二月廿五日	仙臺生糸造問屋・得可寿屋徳藏(印、奥州・仙臺・大明・得可主屋)	落主・中井新三郎殿、伊達梁川・斎藤屋廣吉殿	状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7 6	2	2			入記(緒糸などメ四貫六拾八目につき)	子(元治元年)ノ十二月			状	
W7 6	2	3			入記(メ六貫八百四十五匁につき)	子(元治元年)十二月廿四日			状	
W7 6	2	4			覚(生糸拾貫九百七拾七匁代金貳百三兩卜四匁四分七リ指引売上代金受取につき)	子(元治元年)ノ十二月廿六日	斎藤屋幸助(印、<カノ>)	渡部屋甚藏様	状	
W7 6	2	5			(書状、先日御飛え置き生糸の義、梁川にて御見事拜見、および当時相場直段など報知につき)	(元治元年)十月廿四日	桑嶋与一郎	渡邊儀藏様	状	
W7 6	2	6			(書状、御引合置の金子漸々今日百拾三兩出金にて差送り荷物明日着、および金子借用・質物などにつき)	(元治元年)十一月四日	梁川・山七二而・桑嶋与一郎 (印、奥州・伊達・掛田・桑島)	白石・渡辺儀藏様、同・豊吉様	状	
W7 7					(略函、本町など田畑書上)	(近代・年月日未詳)			状	鉛筆書き
W7 8	1	1	1		(書状、諸品借用仕りたく、私桑畑など売払金子御座候につき)	(文久元年)			状	包紙「文久元年西夏生糸方巻入共
W7 8	1	1	2		(書状、古証文隨ニ請取、宜敷思召下されたくにつき)	(文久元年)			状	後欠
W7 8	1	1	3		(書状、引上候迄御勘弁御猶予成されたく願ひ上げ候につき)	(文久元年)			状	前欠
W7 8	1	1	4		覚(善作殿へ八木貳石余などメ八石七斗五升書上などにつき)	(文久元年)			状	
W7 8	1	1	5		(里程表、黒沼より吉川まで)	(文久元年)			状	
W7 8	1	1	6		(書状、渡部庄五郎方へ至来仕り、仙表分旦那様へ御願ひ申上候につき)	(文久元年)八月六日	奥東山分・今井十右衛門	澤端様、御内様	状	
W7 8	1	1	7		(書状、御主人様より借用分へ米四俵御渡し候などにつき)	(文久元年)七月廿日	藤兵衛	御兄様	状	
W7 8	1	1	8		(書状案、生糸の義追々延引のため登仙御願ひ申上候、別家佐吉又々御城下表へ委細御願ひに御出し申候などにつき)	(文久元年)			状	後欠
W7 8	1	1	9		(包紙、葉2粒入り)	(文久元年)	渡辺屋		状	
W7 8	1	1	10	1	(書状、手負借用仕候のため米二而御送りにつき)	(文久元年)七月廿日	分白石・藤兵衛	大川原本町・伊勢屋長次様	状	
W7 8	1	1	10	2	(書状、当春中より御願ひの通り、御主人様より借用金の件につき)	(文久元年)七月廿日	分白石・藤兵衛	大川原本町・銀右衛門様	状	
W7 8	1	1	11		(入用帳、大川原泊り賃錢六百文など書上)	(文久元年)八月朔日	平次郎、藤兵衛		冊	なかに一紙を含む
W7 8	1	1	12		(覚、メ十五把・三貫九百四十四匁書上)	(文久元年)			状	
W7 8	1	2			(覚、惣吉殿・幸右衛門殿、上ちり紙・中ちり紙書上)	(文久元年)	平次〔 〕		状	
W7 8	1	3			入記事(生糸など惣メ百九拾六兩壹分貳式朱など勘定帳)	(文久元年)			冊	
W7 8	1	4			覚(奥仙生糸九貫目入三箇程百匁兩の直段、うち拾兩手附金荷物申渡仕りべく候につき)	(文久元年)			状	
W7 8	1	5			(入記帳、横山様五貫九百三拾四目などメ貳百六拾七匁貳分式朱・六百廿二匁勘定につき)	(文久元年)			冊	
W7 8	1	6			万日記(馬貳疋賃錢三百文・ふせん三十文など八月分費用書上)	文久元年西ノ七月吉	藤衛(藤兵衛カ)		冊	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7	8	1	7		生糸買方帳(押、郡山善吉殿、金五両巻分一朱など六月分書上)	文久元年西六月吉日	寿丸		冊	
W7	8	2			(入記帳、イ印メ九貫九拾三匁勘定などにつき)	(万延元年)九月十三日			冊	
W7	8	3			(覚、井丸出入費用および糸買方調につき)	(万延元年)			状	
W7	8	4			(書状、証文の義御相談致さず不義理御座候につき)	(万延元年)三月廿四日	吉兵衛	三五郎様	状	
W7	8	5			御国産方萱(平蔵・金三両式朱、広蔵金三歩などメ四十巻両巻分三朱・百六十九文勘定につき)	(万延元年)			状	
W7	8	6			山中買生糸控(与惣兵衛金貳両三朱などメ金六拾壹両巻歩勘定につき)	(万延元年)			冊	
W7	8	7			生糸買方日記帳	万延元年六月	渡辺豊吉		冊	
W7	8	8	1		覚(井丸様分四百文など勘定につき)	(万延元年)七月			状	
W7	8	8	2		嘉六殿・左平殿指引之覚(関町佐平殿へかし金壹朱など書上)	(万延元年)十二月十二日			状	
W7	8	9			入記(三百廿四などメ七貫六百六十五匁勘定につき)	(万延元年)			状	
W7	8	10	1		覚(貳百拾匁などメ壹貫五百九拾貳匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	8	10	2		紛糸買入(貳百八拾八匁・庄三郎、メ金貳両貳分ト四百七文など勘定覚)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	8	10	3		(覚、権之助殿私金五両巻分壹朱ト百文など惣メ金三拾四両など勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	8	10	4		山中買方控(勘七殿式両三歩式朱などメ金六拾壹両巻歩勘定につき)	(近世・年月日未詳)			冊	
W7	8	10	5		覚(秀之助殿巻両巻朱などメ金三十四両三朱・三百文、三貫五百四十匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	8	10	6		(覚、長之助巻両などメ百拾貫貳百廿四匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	8	10	7		覚(湯ノ原甚吉殿九両など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	8	10	8		(覚、人足代銭五拾文など諸入用金メ四切巻朱余勘定につき)	(近世・年月未詳)八月	源左衛門	甚兵衛様	状	
W7	8	10	9		(書状、別紙三通諸雑用取調割合など、代金此者へ御渡し成し下さるべく候につき)	(近世・年月未詳)八月廿五日	齊藤源左衛門	渡部甚蔵様	状	
W7	8	10	10		覚(貳百拾匁など諸色代金メ百貳切余勘定につき)	(近世・年月未詳)八月四日	東小路・源左衛門	中町・甚蔵様	状	
W7	8	10	11		(書状、生糸調端置候処、御勘定下され候様仰せ渡され候につき)	(近世・年月未詳)八月廿二日			状	
W7	8	10	12		(覚、百貳拾匁などメ壹貫三百拾三匁分直段書上)	(近世・年月未詳)八月六日			状	
W7	8	10	13		記(百八十匁などメ四貫四百八拾五匁分直段書上)	(近世・年月未詳)八月四日			状	
W7	8	10	14		覚(豊吉様金廿両など人名・金銭書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	8	11			(覚、忠之助殿歩巻朱などメ金四十三両三歩を岩浪吉兵衛方へ入れられ候につき)	(近世・年月未詳)七月八日			冊	
W7	8	12			入記(商品四拾五把メ九貫百六拾三匁など惣メ金貳百六拾貳両余勘定につき)	(近世・年月日未詳)			冊	
W7	8	13			(覚、紙染ちん代銭壹貫百廿文などメ銀八拾九匁六分四厘勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7 8	14				覚(生糸廿壹貫三百十壹匁売上代金相違なく申上候につき)	(近世・年未詳)九月晦日	三寿<ヤ>加>(印)	渡邊屋様	状	
W7 8	15	1			覚(生糸代金百拾壹匁三分式朱請取につき)	(近世・年未詳)十月朔日	浅のや利助	白石ノ・上様	状	
W7 8	15	2			覚(四貫貳拾目など六口メ貳拾壹貫三百廿八匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 8	15	3			入記(二三、三式八など拾貳把メ四貫三拾七匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 8	15	4			入記(三〇、式九九など六拾八包メ九貫五拾八匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 8	15	5			入記(三〇、三〇四など四拾八包メ拾貫八百四十六匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 8	15	6			入記(三八七、三九八など貳拾八把メ八貫貳百五十目勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 8	15	7			入記(三〇、式九九など三拾把分半メ九貫五拾八匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 8	16	1			(証文断簡、仙台国産覚)	万延元年	国産方取扱人・小谷新右衛門(印)(ほか3名)		状	こより共、前欠、付箋「西年分戊春迄糸方仕切」とあり
W7 8	16	2			(書状、仙台行糸方出金、貴所様方にて拾七匁、小子方にて拾六匁奈仕置内訳につき)	(万延元年)十月十日	新宅	御本家様	状	
W7 8	16	3			覚(千右衛門払いなど金七百匁勘定につき)	(万延元年)			状	
W7 8	16	4			入記(百八十七などメ四貫三百六拾匁につき)	(万延元年)			状	
W7 8	16	5			口上(先達の売上候生糸三百拾匁と肝入方へ書記申候、および御買上の大まゆ駄賃銀百五十文失念のため御知らせにつき)	(万延元年)七月十三日	横川・二瓶純太	白石長町・米竹和平様	状	
W7 8	16	6			覚(八月廿六日出し百匁など井丸支払い金メ貳百四拾六匁余勘定につき)	(万延元年)			状	
W7 8	16	7			(覚、此間中の源左衛門様御持ち返し金百十貳匁三歩の算用、三者にて三等分勘定につき)	(万延元年)八月十五日	寿丸	角山様、井丸様	状	
W7 8	16	8			覚(湯の原分上下駄賃銀貳百文など書上)	(万延元年)			状	
W7 8	16	9			(覚、船子生糸御買上五貫八百匁の内分出につき)	(万延元年)八月十五日	湯原町分・忠三郎	白石町・佐兵衛様	状	
W7 8	16	10			覚(喜四郎殿六匁貳朱などメ金三拾四匁分三朱勘定につき)	申(万延元年)八月	渡邊屋豊吉		状	
W7 8	16	11			(手形、銀九貫五拾九匁)	戊(文久2年)十月朔日	得可す屋徳藏(印、仙台・大町)	八嶋屋嘉藏殿	状	
W7 8	16	12			覚(白石中屋平兵衛様淡紙三貫六百匁請取、および駄賃銀七百廿文相済につき)	戊(文久2年)十月朔日	仙臺大町三丁目・京屋彌兵衛(印)	内勘藏様	状	
W7 8	16	13			覚(六百七十三などメ貳貫百九十匁代金貳拾壹匁壹歩余勘定につき)	(文久2年)			状	
W7 8	16	14			覚(奥仙生糸九貫目入五箇、手附金拾五匁受取につき)	戊(文久2年)九月廿一日	渡部屋義藏(印、○・奥州・白石・中町・渡部屋)	西大久保平次右衛門様	状	
W7 8	16	15			覚(岩沼にて旅籠代、酒代共六百四拾五文など旅費メ金壹朱・銀壹貫七百八拾九文勘定につき)	(文久2年)四月十一日	佐兵衛		状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7 8	16	16			覚(奥仙生糸四拾五貫七百三十四匁代金メ四百九十八匁三分式朱・銀三匁分九リ勘定につき)	(文久2年)五月廿一日	渡部屋義藏(印、白石・中町・渡部屋)	平治右衛門様	状	
W7 8	16	17			(覚、三三式など三口メ拾壹貫四百八十一匁勘定につき)	(文久2年)			状	
W7 8	16	18			九月十二日改地糸壹番(二五きなどメ拾壹貫七百六匁代金百十匁式赤余勘定につき)	(文久2年)			状	
W7 8	16	19			覚(奥仙生糸四拾五貫七百三十日代金四百六拾三匁式赤余など勘定につき)	(文久2年)			冊	
W7 8	16	20	1		(覚、三百三拾五番入記につき)	戊(文久2年)十月朔日	得可主屋徳藏(印、<カ>千>奥州・仙台・大町・得可主屋)	八嶋屋嘉兵衛殿	状	
W7 8	16	20	2		(覚、木藤式百六拾式文、長町より中田町へ出入などにつき)	(文久2年)			状	
W7 8	16	21			覚(奥仙生糸五百三拾六など諸品請取につき)	戊(文久2年)十月十九日	越後屋惣兵衛(印)、孫兵衛	渡部屋儀藏様	状	
W7 8	16	22			覚(金十匁三分大河原生糸など諸品・金額書上)	(文久2年)			状	
W7 8	16	23			(覚、三百三拾六番入記につき)	戊(文久2年)十月朔日	得可主屋徳藏(印、<カ>千>奥州・仙台・大町・得可主屋)	八嶋屋嘉兵衛殿	状	
W7 8	16	24			(覚、三式など諸品メ八貫四百七拾壹匁など売買につき)	(文久2年)			冊	
W7 8	16	25	1		(覚、三〇式・巻反切など諸品四貫六百四拾壹匁売買につき)	(文久2年)			状	
W7 8	16	25	2		(覚、三〇式など諸品メ六貫式百九拾五匁売買につき)	(文久2年)			状	
W7 8	16	25	3		(覚、三〇式など諸品書上)	(文久2年)			状	
W7 8	16	25	4		(覚、三九六など諸品メ四貫八匁につき)	(文久2年)			状	
W7 8	16	26			(覚、三式巻など四拾八反メ銀壹貫八百八拾式匁など取引につき)	(文久2年)			状	
W7 8	16	27			(覚、三九五など諸色代銀メ拾九貫三拾五匁につき)	(文久2年)			冊	
W7 8	16	28			<ヤ>印入記(式〇三など諸色代銀メ七貫式百八匁取引につき)	(文久2年)			状	
W7 8	16	29			(書状、掛毛見得渡るため明日仙台迄出張などにつき)	(文久2年)十一月八日	新宅・左吉	御本家・甚藏様	状	
W7 9	1				(覚、清太郎分取入八俵代銀四百九拾四匁分六厘指上申候につき)	(明治2年)九月	儀藏	御中間中様	状	袋「巳年」塩商書付入共
W7 9	2				覚(塩代銭拾貳貫九百六文御渡し差下候につき)	巳(明治2年)ノ十月六日	金山町・今朝治(印)	白石町・御塩問屋・渡辺義藏様	状	
W7 9	3				覚(塩請取分代金三拾四匁余勘定につき)	(明治2年)十月廿七日	井丸・隠居	寿丸様	状	
W7 9	4	1			覚(儀藏分御塩六俵などメ廿九俵指送につき)	辰(明治元年)ノ十二月十日	金山町・御塩問屋・今朝治(印)	所々御改御役人様	状	
W7 9	4	2			覚(塩百貳拾俵代銭壹貫八百文御渡し成し下されたくにつき)	巳(明治2年)ノ正月	左倉村・御塩問屋・圓七	白石町・御塩問屋・儀藏様	状	
W7 9	4	3			覚(塩百貳拾俵代銭五貫六百文御渡し下されたくにつき)	巳(明治2年)ノ正月	左倉村・御塩問屋・圓七(印)	白石町・御塩問屋・儀藏様	状	
W7 9	5				覚(宇田濱の塩八俵ト駄ちん共廿四貫百三拾文御渡し下されたくにつき)	巳(明治2年)ノ九月	金山町・今朝治(印)	白石町・塩問屋・頭取・渡部義藏様	状	
W7 9	6	1			(覚、白石御城下中町御塩問屋儀藏へ御塩貳拾俵指送のため御首尾成し下されたくにつき)	巳(明治2年)ノ八月三日	左倉村・御塩問屋・圓七(印)	所々御改御役人様	状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	9	6	2		(覚、白石町御塩問屋儀藏などへ塩八拾俵、亘り荒濱御藏分荷送りのため御首尾成し下されたくにつき)	巳(明治2年)ノ四月十五日	左倉村・御塩問屋・圓七(印)	所々御改御役人様	状	
W7	9	7			(覚、白石中町御塩問屋頭取渡辺儀藏へ塩四拾俵、今朝御藏分御払いのため道中異儀無く相通さるべく候につき)	巳(明治2年)七月六日	長澤文作	処々御改所	状	
W7	9	8			(覚、白石町御塩問屋頭取渡辺儀藏へ塩貳拾三俵、御藏分御払いのため道中異儀無く相通さるべく候につき)	(明治2年)十月	長澤文作(印)	所々御改所	状	
W7	9	9			(覚、塩三十俵七十五石代金四拾六兩三分貳朱書上)	(明治2年)			状	
W7	9	10	1		(覚(塩代金四兩三分壹朱ト五十七文勘定につき)	(明治2年)十月廿五日	菊地十右衛門	渡辺儀藏様	状	
W7	9	10	2		(覚(塩代金七兩貳分一朱受取につき)	巳(明治2年)ノ十月廿九日	山崎屋清右衛門(印)	渡部義藏様	状	
W7	9	11			(覚(塩五拾俵代金六拾九兩貳分三朱受取につき)	巳(明治2年)ノ十一月十二日	高山屋留之助	渡辺屋儀藏様、御店中様	状	
W7	9	12			(書状、山形塩<ヤ>上>の壹俵、九十の壹俵引合につき)	(明治2年)十月	左吉	儀藏様	状	
W7	9	13			(覚(荒濱塩方不足分代金貳兩貳分がなと勘定につき)	(明治2年)			状	
W7	9	14			(覚、五十俵代銀四貫百八十一匁貳分五厘など書上)	(明治2年)			状	
W7	9	15			(覚(醬油代金一分貳朱など御渡し下されたくにつき)	ミ(明治2年)ノ十二月	佐倉村・圓七(印)	白石町・御塩問屋	状	
W7	9	16			(覚、白石御塩問屋儀藏へ塩拾七俵、亘理分御払いのため道中異儀無く相通さるべく候につき)	巳(明治2年)ノ八月朔日	奥津正左衛門(印)	所々御改所	状	
W7	9	17	1		(覚、メ三拾石五升代金百五十六兩貳分貳朱勘定につき)	(明治2年)			状	
W7	9	17	2		(覚、代銀八貫五百目など書上)	(明治2年)			状	
W7	9	17	3		(式斗四升廻り覚(代銀八貫五百目など書上)	(明治2年)			状	
W7	9	17	4		(覚、銀八貫六百目など諸色代銀メ貳百八十貫四百目勘定につき)	(明治2年)			状	
W7	9	18	1		(覚、すこ塩十五、亘理荒濱御藏より相通し申候につき)	巳(明治2年)ノ正月卅日	左倉村御塩問屋・圓七(印)	品々御改・御役人様	状	
W7	9	18	2		(覚、御塩四拾俵、亘理荒濱より相通し申候につき)	巳(明治2年)ノ四月十一日	左倉村御塩問屋・圓七(印)	品々御改・御役人様	状	
W7	9	18	3		(覚、塩四拾七俵、亘理荒濱御藏より相通し申候につき)	巳(明治2年)ノ四月十日	左倉村御塩問屋・圓七(印)	品々御改・御役人様	状	
W7	9	19			銭出入通帳	明治二年六月吉日	渡邊儀藏(印)	御用達所・渋谷善兵衛様	冊	
W7	9	20	1		(書状、塩拾五俵・味兵衛など、他領塩買入の分駄送り成し下され候につき)	(明治2年)九月十日	渡部義藏	円七様	状	
W7	9	20	2		(覚、貳百六十六匁き分など代金メ三兩き分余勘定につき)	(明治2年)			状	
W7	9	20	3		(覚、すこ塩三拾五俵、亘理荒濱御藏より相通し申候につき)	巳(明治2年)ノ九月十四日	左倉村・御塩問屋・円七(印)	品々御改・御役人様	状	
W7	9	20	4		(覚(塩五駄の駄送貨御渡し下されたく願ひ上げ候につき)	巳(明治2年)ノ九月十七日	左倉村・御塩問屋・円七(印)	白石町・御塩問屋・渡部儀藏様	状	
W7	9	20	5		(覚(金三拾兩分・味兵衛様など金銭・人名書上)	(明治2年)			状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7 9	20	6			覚(金貳拾八両壹朱など代金メ三拾三両壹分貳朱勘定のつき)	(明治2年)			状	後欠か
W7 9	20	7			他領塩買入割合左二(味兵衛・拾五俵など書上)	(明治2年)			状	
W7 9	20	8			(書状、駄送りに相成候他領塩、何程着に相成候哉、御名前下の御印御遣し下されたく存じ奉り候につき)	(明治2年)九月九日	義藏		状	
W7 9	21				覚(塩貳百九拾九俵御買上代金請取につき)	明治貳年九月	荒浜・廻船問屋・米吉(印) (ほか2名)	奥津正右衛門様	状	
W7 9	22				(書状、塩四俵御渡し下されたく願ひ上げにつき)	(明治2年)九月廿一日	四ツ目屋勇治(印、仙台・宮町・竹田・四ツ目屋)	渡邊屋儀藏様	状	
W7 9	23				覚(金三両三朱などメ金三両貳分余勘定につき)	(明治2年)九月廿六日	渡部屋義藏	鶴みや様	状	
W7 9	24				覚(志駄・平兵衛などへ大急駄送成し下されたく願ひ上げ候につき)	巳(明治2年)ノ九月十三日	長藏	円治様	状	
W7 9	25				(覚、御詰合御役人様上ケ物・金貳両貳分余など書上)	(明治2年)			状	2紙1点
W7 9	26				覚(金三十両・十郎右衛門などメ金三百七拾五両上納金御渡しにつき)	(明治2年)九月三日	円治	長藏様	状	
W7 9	27				(書状、御直増御沙汰向の御下知を御取り計らい下されたく候などにつき)	(明治2年)九月九日	正左衛門	儀藏様	状	
W7 9	28				(書状、御拝借金のうち金五両は御返上などにつき)	(明治2年)九月廿九日	山方・佐兵衛	○御主人様	状	
W7 9	29				覚(武者米吉屋金百両借用などにつき)	(明治2年)九月	長藏、多五郎	儀藏様	状	
W7 9	30				(覚、刈田郡ほか各郡塩問屋共付)	(明治2年)			冊	
W7 9	31				覚(別紙入料金五両貳分余などメ金三拾五両壹分貳朱勘定につき)	(明治2年)			状	
W7 9	32				覚(刈田郡貳百俵・山中七ヶ宿の分見込貳拾九俵などメ塩五百四拾九俵勘定につき)	(明治2年)九月			状	
W7 9	33	1			(覚、塩取引諸書上)	(安政6年)			冊	
W7 9	33	2	1		覚(吟塩九拾俵・すこ六拾俵など代金メ百六両三分式朱余ほか勘定につき)	(安政6年)十月十七日			冊	
W7 9	33	2	2		手元調(圓治様金壹朱・舟ちんなどメ金八両ほか勘定につき)	(安政6年)九月廿八日			冊	
W7 10	1	1	1	1	(覚、金三百三十両壹分一朱・七百四十四文勘定、および傳馬飛脚買五百文・わた三四五代金貳拾四切半など書上)	(安政6年)八月廿三日			状	包紙・こより共、3紙1点
W7 10	1	1	1	2	(書状、御買物方あらあら最早御出帆、および小子女相渡候金子各様にて御受取の御取台申上候などにつき)	(安政6年)十月四日	従東山・永澤茂兵衛	気仙沼御出張先二而・鶴見屋専右衛門様	状	
W7 10	1	1	1	3	覚(生糸代金三両余・真綿代金貳両余請取につき)	(安政6年)八月廿二日	受拂所(請拂所)	鈴木新八殿、谷口惣兵衛殿	状	
W7 10	1	1	1	4	覚(酒五合代百八文など酒食代錢メ壹貫百六十四文勘定につき)	(安政6年)八月八日	狼川深水・新吉	白石・義藏様	状	
W7 10	1	1	1	5	(手形、御国産方商人鈴木新八義、米相下にて買納本所まで駄送仕りたく候につき)	安政六年八月九日	米相下検断・又八郎(印)	所々御役所様中	状	
W7 10	1	1	1	6	(覚、久四郎様真綿代金改正式両壹分三朱など書上)	(安政6年)			状	

箱番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7 10	1	1	1	7	覚(伊達行生糸式筒・真綿四箇・端荷など書上)	(安政6年)八月廿三日			状	
W7 10	1	1	2		萬覚帳(岩沼・三本木など千マヤ永澤茂兵衛殿方行道中入用につき)	安政六未七月吉日	(佐平)		冊	
W7 10	1	1	3		イトしらへ買帳	安政六年七月廿八日	渡部義		冊	
W7 10	1	1	4		万延元年分御國産生糸并繻真綿買方通帳(序文のみ、未使用)	(万延元年)	中井新三郎、見届・菊池左五郎(印)	御町方・産業方	冊	奥印:此番所にて詰合・古山常治(印)
W7 10	1	2	1	1	覚(瓶上々真綿・中綿代金メ式拾三切八分式)四毛荒上代受取につき)	(安政6年)八月三日	勇吉	永沢茂兵衛様	状	こより共
W7 10	1	2	1	2	覚(料紙三拾状代銀五百拾匁など代金メ千拾式切四分余勘定につき)	(安政6年)八月十六日	鈴木松兵衛	傳五郎様、佐平様	状	
W7 10	1	2	1	3	覚(真綿代金三拾五匁受取につき)	(安政6年)八月九日	山田屋丈吉(印、<カネ山>仙臺・登米・九日町・山田屋)	渡部屋儀藏様	状	
W7 10	1	2	1	4	覚(上真綿壹貫三百五匁・上中壹貫式百目代金メ三拾壹匁式券・銀三匁五分六リ受取につき)	未(安政6年)ノ八月七日	瀧のや栄助(印、<ヤラ大>仙臺・本吉郡・柳津町・瀧野屋)	渡部屋儀藏様	状	
W7 10	1	2	1	5	おほへ(式八匁などメ壹貫九百六十五匁などまわた代金メ三拾六匁式分・三匁三分六リ勘定につき)	(安政6年)			状	
W7 10	1	2	1	6	(覚、生糸・真綿代金メ三拾六匁式券余請取につき)	(安政6年)八月八日	大坂屋利兵衛	渡邊屋儀藏様	状	
W7 10	1	2	1	7	覚(生糸六貫廿六目代金六拾八匁式券・銀十匁九分五リ受取につき)	未(安政6年)八月十二日	山田屋軍次(印、<カネ山>仙臺・登米・九日町・山田屋)	渡邊屋儀藏様、主藤屋七兵衛様	状	
W7 10	1	2	1	8	(覚、四百拾匁などメ式貫百八十五匁代金拾壹匁式未余勘定につき)	(安政6年)			状	
W7 10	1	2	1	9	手扣(拾九貫四百七十一匁代金九拾六匁壹歩三朱・銀三匁三分六リ相済ほか勘定につき)	(安政6年)			冊	
W7 10	1	2	1	10	覚(六貫拾匁代金六拾八匁式券・銀拾匁九分五リ勘定につき)	(安政6年)			状	
W7 10	1	2	2		駄賃帳	安政六年未八月吉日	鈴木新八、渡部屋義藏		冊	
W7 10	1	2	3		(包紙、正味百拾五匁など)	(安政6年)			状	
W7 10	2				(書状、紙直段引揚買入六ヶ敷、生糸下落相聞得直揚相成るべき哉につき)	(安政6年)五月十五日	永沢茂兵衛	最上屋平次郎様、鶴見屋専右衛門様	状	
W7 10	3				覚(生糸式筒代金壹匁受取につき)	未(安政6年)八月廿二日	得可寿屋徳藏(印)	鈴木新八様	状	
W7 10	4				生糸真綿調(イト式百十四匁御手形三拾五切半など勘定、および金代出入覚などにつき)	(安政6年)			冊	
W7 10	5				送り(御城下買入惣兵衛真綿買入持参仕りたき段申出候、道中御異儀無く相廻され候様存じ奉り候につき)	安政六年八月十七日	本吉南宿場町・検断・卯兵衛	所々御役所様、御城下御会番	状	
W7 10	6				覚(夏毛まなしなどメ七匁買上代書上)	(安政6年)十月十四日	渡邊善三郎	小西屋久兵衛様	状	
W7 10	7				(覚、宗七衆代式百文など代金メ改正四百五拾四匁式朱・三百五拾文勘定につき)	(安政6年)			状	前欠か
W7 10	8				(封筒、五番揚)	(安政6年)			封筒	
W7 10	9				(書状、糸売買見合追々の成行愚察致し兼ね御取合につき)	(安政6年)九月廿三日	永沢茂兵衛	最上屋平次郎様、鶴見屋専右衛門様	状	

箱 番号	枚1	枚2	枚3	枚4	表 題 (内 容)	作 成 年 月 日	差 出 人	受 取 人	形 態	状 態 / 備 考
W7 10	10				(書状、福嶋生糸相場金花山八十三兩の由に随い 当所送り百拾五、六兩に成され候につき)	(安政6年)十月朔日	千原町・永沢茂兵衛	鶴見屋専右衛門様	状	端裏に「氣仙沼御出張 先二而・御急用」とあり
W7 10	11				(覚、井丸出入の記帳などにつき)	(安政6年)			状	6紙1点
W7 11	1				覚(奥糸六貫九百五拾壹匁代金貳百十貳兩壹分余 など勘定につき)	(近世・年未詳)閏四月十五日	淀屋与志郎、卯五郎	渡辺屋儀藏様、甚藏様	状	封筒「奥方生糸書付入」 共
W7 11	2				覚(金百五拾兩借用のため生糸二而指上候につき)	卯(近世)八月九日	大須・土田貞三郎(花押)	白石町・渡部屋儀藏様	状	
W7 11	3				覚(三貫四百貳拾八指上につき)	(近世・年未詳)十月廿三日	渡左	御本家様	冊	
W7 11	4				覚(壹五四など諸品九百八十六匁などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 11	5				覚(金三拾切拜借および返済方法につき)	(近世・年未詳)八月廿二日	大須・土田貞三郎言平(花 押)	白石中町・渡部屋儀藏様	状	
W7 11	6				覚(広間方百四十六匁など諸入用銀メ五貫八百五 拾壹匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 11	7				覚(京之助様・四百七拾五匁など諸色取引につき)	卯(近世)十二月廿日			状	
W7 11	8				(書状、是非三百貫御下し下されたくにつき)	(近世・年未詳)八月十六日	佐々木市郎	渡辺儀藏様	状	2紙1点
W7 11	9				覚(八百九拾七匁など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 11	10				(書状、此者へ金式切相渡されたく候などにつき)	(近世・年未詳)十月十七日	源左衛門	儀藏様	状	
W7 11	11				(書状、去月中、貞三郎持參の糸、先月廿九の割へ 御勘定下され候などにつき)	(近世・年未詳)十月十七日	佐々木市郎	渡辺儀藏殿	状	
W7 11	12				覚(生糸壹貫四百九匁代金五拾兩壹匁ト錢四百五 拾七文など書上)	卯(近世)ノ十月十五日	小沢孝右衛門		状	
W7 11	13				(書状追而書、貴殿へ紙面ニ而これ有り候ハ、郷 中へ金子相渡し候哉など存じ奉り候につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 11	14				(書状、御無心仕候品々は是非御下し願ひ上げ候 などにつき)	(近世・年未詳)十二月四日	佐々木市郎	渡辺儀藏様	状	2紙1点
W7 11	15				(書状追而書、天印九十五匁から百目に御引合下 されたく候などにつき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 11	16				(書状、職人へ御吟味に相成候ハ、二反二而袴三 ツ相出し候につき)	(近世・年未詳)十一月二日	佐々木市郎	渡部屋儀藏様	状	
W7 11	17				(覚、貳百九拾三など代銀メ六貫り拾四匁勘定につき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 11	18				(書状、金拾切貸し渡し下されたく候につき)	(近世・年未詳)八月廿二日	斎藤源左衛門	渡辺儀藏様	状	
W7 11	19				(書状、金百五十兩相違無く請取につき)	(近世・年未詳)七月廿五日	佐々木市郎	斎藤源左衛門様	状	
W7 11	20	1			(書状、大須へ仲遣し昨日帰宅仕り、今井要治など 相頼み生糸持参仕候につき)	(近世・年未詳)十月朔日	小澤孝右衛門	源左衛門様	状	包紙共
W7 11	20	2	1		覚(代金三兩三分など書上)	(近世・年月日未詳)			状	
W7 11	20	2	2		覚(本小倉袴一丈貳尺九寸、十番仕立御下し下さ れたくにつき)	(近世・年未詳)十二月十四日	大須	渡部屋様	状	
W7 11	20	2	3		覚(御印壹反代銀七十匁など請取下されたくにつき)	(近世・年未詳)十二月十四日	佐々木市郎	渡辺儀藏様	状	
W7 11	21				(書状、金子御下し下されたくにつき)	(近世・年未詳)八月十五日	佐々木市郎	渡部屋儀藏様	状	
W7 11	22				(覚、光式貞照清信女十三回忌など法事参列者書上)	弘化二年八月朔日			状	
W7 11	23				(覚、百ヶ日法要参列者書上)	(弘化2年)			状	

箱番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	作成年月日	差出人	受取人	形態	状態/備考
W7	11	24			(書状案、真綿御引合に御座候ハ、金子不足のため来月五日迄金子三十両御拝借願ひにつき)	(近世・年月日未詳)			状	
W7	12	1			記(品物代金弍円九十錢請取につき)	(明治十九年十一月廿三日)	渡辺常吉(印、渡常)	本陣様	状	こより共
W7	12	2			記(杉式間物など代金三円六拾五錢三厘受取につき)	(明治十九年十一月廿三日)	近辺・秋元金十郎	幸町・佐藤新右衛門様	状	
W7	12	3			覚(渡儀へ金拾両弍分三朱・弍百三十八文御渡しにつき)	申(明治17年)十一月十七日	小倉屋和助(印、奥・福島・本町<カ>小倉屋)	山崎屋和助様	状	
W7	12	4			(覚、人夫駄賃など入用金拾七円八拾錢勘定につき)	(明治19年)			状	
W7	12	5			(覚、叭入巻俵・五拾六貫弍分七厘など書上)	(明治19年)			状	
W7	12	6			記(庭木四十箇代金四圓受取につき)	(明治19年)十一月二八日	小岩喜右衛門(印)	佐藤や佐助様	状	
W7	12	7			記(けや木残金四円五拾錢御渡し御願ひにつき)	明治十八年十一月十八日	蓬田藤三郎、亀岡源四郎(印、伊達郡伊達崎<カ>石>亀源)	佐藤佐助様、佐藤新右衛門様	状	
W7	12	8			記(トヨ材十四本など十四貫四百七十目勘定につき)	(明治19年)二月廿三日	西町・高橋兵治(印)	旧御本陣様	状	
W7	12	9			記(大工拾吉殿など三百拾弍八・手大工栄助殿など拾巻人相違無くにつき)	(明治)二十年一月廿九日	佐藤新右衛門(印)	渡部儀藏様	状	
W7	12	10			記(鏡十丁など代金廿七錢三厘九毛受取につき)	(明治19年)十二月十日	西町・高橋兵治	日本陣様	状	
W7	12	11			証(土突石掘請負賃金五門請取につき)	(明治19年)七月六日	新松岩吉	御本陣・旦那様	状	
W7	12	12			(覚、支出・請取金書上)	(明治19年)			冊	
W7	12	13			(覚、日別商品支出三拾六品代金弍拾八円四拾錢勘定につき)	明治十一年七月十日	磐城国刈田郡白石本郷四百六拾巻番地・質屋営業・時宗・渡邊儀藏		冊	
W7	12	14			記(土蔵立屋人夫費用など入用金四拾弍円四拾七錢七厘受取につき)	(明治19年)一月	左官・秋葉豊松(印)	上様	状	
W7	12	15			キ(七月廿日から十二月十九日まで惣メ金九拾五円六錢五厘勘定につき)	(明治19年)			状	
W7	12	16			おほへ(五分板三間代金七十五錢・八分板二尺八寸代金十九錢六分)受取につき)	(明治19年)十一月廿七日	吉田長吉(印、岩代・伊達・吉田長吉)	上	状	
W7	12	17			おほへ(大割四十二本代金一円三十一錢など受取につき)	(明治19年)十一月廿一日	吉田長吉(印、岩代・伊達・吉田長吉)	上	状	
W7	12	18			記(大割七本代金弍拾二錢など諸色代金六拾六錢五厘受取につき)	(明治19年)十二月三十日	吉田長吉	渡本順様	状	
W7	12	19			(覚、長太郎殿五円など諸色代金メ七拾弍円九拾五錢七厘五毛ほか糸買金調につき)	(明治19年)			冊	
W7	12	20			記(大割七本代金二十弍錢など諸色代金メ弍円十錢のうち弍円受取につき)	(明治19年)十一月三十日	吉田長吉	上	状	
W7	12	21			覚(三口割糸綿代金弍両受取、此手形引替糸綿相渡し申候につき)	申(近世)七月晦日	梁川・近江屋惣兵衛(印、奥州・伊達・梁川<カ>近江屋)	白石・渡邊屋儀藏様	状	
W7	12	22			記(すな五拾箱代金弍円受取につき)	(明治19年)十二月十三日	ふしぐろ村・斎藤吉藏	桑折村・佐藤新右衛門様	状	
W7	12	23			丸平(大工小屋掛菅人などメ六十五人五分金拾弍円七拾九錢書上)	(明治19年)	新岡庄助	佐藤様	状	

白石市文化財調査報告書第51集

渡辺家文書Ⅱ 〽現況目録2〽

平成二九年三月一七日 発行

編集 白石市教育委員会

発行 白石市文化遺産活用推進委員会
〒九八九―〇二〇六
白石市字寺屋敷前二五―六

電話 〇二二四―二二―一三四三
印刷 株式会社東北プリント

※表紙・裏表紙の図は、渡辺家文書の資料より掲載。

Handwritten Japanese calligraphy (kuzushiji) covering the entire page. The text is dense and written in a traditional style, likely a historical document or a collection of poems.

悲情

百集



平成28年度文化庁

文化遺産を活かした地域活性化事業